徳島県埋蔵文化財センター調査報告書　第71集

観音寺遺跡（Ⅳ）

道路改築事業（徳島環状線国府工区）関連埋蔵文化財発掘調査報告書

《第２分冊　観察表・写真図版編》

２００７

徳　島　県　教　育　委　員　会
財団法人　徳島県埋蔵文化財センター

徳島県埋蔵文化財センター調査報告書　第71集

観音寺遺跡（Ⅳ）

道路改築事業（徳島環状線国府工区）関連埋蔵文化財発掘調査報告書

《第２分冊　観察表・写真図版編》

２００７

徳島県教育委員会
財団法人　徳島県埋蔵文化財センター

本　文　目　次（第２分冊）

観察表……1
写真図版……115
自然化学分析等……183

表　目　次（第２分冊）

表３　木製品……4
表４　土器……78
表５　金属製品……110
表６　石器……113
表７　骨製品……113
表８　観音寺遺跡における樹種同定結果……193
表９　種名表……207
表10　総破片数……207
表11　魚類出土一覧表……207
表12　爬虫類出土一覧表……207
表13　哺乳類出土点数……207
表14　出土鳥類一覧表……208
表15　哺乳類部位別表……209
表16　ウマの体高値一覧……210
表17　ウシの体高値一覧……211
表18　イヌの頭蓋骨一覧表……212
表19　イヌの下顎骨一覧表……212
表20　イヌの四肢骨体高値一覧表……212
表21　徳島県内出土の日本古代銭貨……221

図　版　目　次（第２分冊）

図版１　北区（1999年度１－１区）　第３遺構面検出状況
　　北区（1999年度１－２区）　第４遺構面完掘状況……117
図版２　北区（1999年度１－２区）　SK5004遺物出土状況
　　北区（1999年度１－２区）　SP5004遺物出土状況
　　北区（1999年度１－２区）　SX5003遺物出土状況……118
図版３　北区（2001年度１区）　第１遺構面検出状況……119

図版４　北区（2001年度１区）　第５遺構面完掘状況
北区（2001年度２区）　第４遺構面完掘状況 ……120
図版５　南区（2000年度２区）　第３遺構面検出状況
南区（2000年度２区）　第５遺構面完掘状況 ……121
図版６　南区（2004年度３区）　第２遺構面完掘状況
南区（2004年度３区）　第４遺構面完掘状況 ……122
図版７　南区（2003年度８区）　第４遺構面完掘状況
南区（2003年度８区）　SR3001Ⅲ層　鋤（141）出土状況
南区（2003年度８区）　SR3001Ⅴ層　曲物（160）出土状況 ……123
図版８　南区（2004年度１区）　SR3001Ⅳ層　木製品出土状況
南区（2004年度１区）　SR3001Ⅳ層　人形（2031）出土状況
南区（2004年度２区）　SR3001Ⅴ層　曲物「貝」（680）出土状況 ……124
図版９　南区（2004年度１区）　SR3001Ⅵ層　牛馬骨出土状況(1)
南区（2004年度１区）　SR3001Ⅵ層　牛馬骨出土状況(2)
南区（2004年度１区）　SR3001Ⅵ層　馬下顎骨出土状況 ……125
図版10　南区（2005年度１区）　調査区全景（北から）
南区（2005年度２区）　SR3001　南岸完掘状況（北から）
南区（2005年度２区）　SR3001　南岸完掘状況（東から） ……126
図版11　南区（2005年度１区）　SR3001Ⅲ層　土器溜まり遺物出土状況
南区（2005年度１区）　SR3001Ⅲ層　銅印（2775）出土状況
南区（2005年度１区）　SR3001Ⅴ層　曲物蓋（935）出土状況 ……127
図版12　南区（2005年度１区）　SR3001Ⅲ層　墨書土器「松島」（860）出土状況
南区（2005年度１区）　SR3001Ⅴ層　人形（975）出土状況
南区（2005年度１区）　SR3001Ⅵ層　人形（1116）出土状況 ……128
図版13　南区（2005年度２区）　SR3001Ⅲ層　柄杓（1302）出土状況
南区（2005年度２区）　SR3001Ⅲ層　墨書土器（1523）出土状況
南区（2005年度２区）　SR3001Ⅲ層　檜扇（1277）出土状況 ……129
図版14　南区（2005年度１区）　SR3001Ⅲ層　猪下顎骨出土状況
南区（2005年度１区）　SR3001Ⅴ層　牛馬骨出土状況
南区（2005年度２区）　SR3001Ⅴ層　馬肩甲骨出土状況 ……130
図版15　北区（1999・2001年度）　第１～３遺構面　出土遺物 ……131
図版16　北区（1999・2001年度）　SR4001　出土遺物 ……132
図版17　北区（1999・2001年度）　第４遺構面　出土遺物 ……133
図版18　北区（1999・2001年度）　SR5001　出土遺物 ……134
図版19　北区（1999・2001年度）　第５遺構面　出土遺物 ……135
図版20　南区（2000年度１区）　SR3001　出土遺物(1) ……136
図版21　南区（2000年度１区）　SR3001　出土遺物(2) ……137
図版22　南区（2000年度１区）　SR3001　出土遺物(3) ……138
図版23　南区（2000年度１区）　SR3001　出土遺物(4) ……139
図版24　南区（2000年度１区）　SR3001　出土遺物(5) ……140

図版25　南区（2000年度１区）　SR3001　出土遺物(6) ……141
図版26　南区（2000年度１区）　SR3001　出土遺物(7)
　　南区（2000年度２区）　出土遺物 ……142
図版27　南区（2003年度８区）　SR3001　出土遺物 ……143
図版28　南区（2003年度８区）　SX3001　出土遺物 ……144
　　南区（2003年度８－２区）　SR3001　出土遺物
図版29　南区（2005年度１区）　SR3001　出土遺物(1) ……145
図版30　南区（2005年度１区）　SR3001　出土遺物(2) ……146
図版31　南区（2005年度１区）　SR3001　出土遺物(3) ……147
図版32　南区（2005年度１区）　SR3001　出土遺物(4) ……148
図版33　南区（2005年度１区）　SR3001　出土遺物(5) ……149
図版34　南区（2005年度１区）　SR3001　出土遺物(6) ……150
図版35　南区（2005年度１区）　SR3001　出土遺物(7) ……151
図版36　南区（2005年度２区）　SR3001　出土遺物(1) ……152
図版37　南区（2005年度２区）　SR3001　出土遺物(2) ……153
図版38　南区（2005年度２区）　SR3001　出土遺物(3) ……154
図版39　南区（2005年度２区）　SR3001　出土遺物(4) ……155
図版40　南区（2005年度２区）　SR3001　出土遺物(5) ……156
図版41　南区（2005年度２区）　SR3001　出土遺物(6) ……157
図版42　南区（2005年度２区）　SR3001　出土遺物(7) ……158
図版43　南区（2004年度１区）　SX1001　出土遺物
　　南区（2004年度１区）　SR3001　出土遺物(1) ……159
図版44　南区（2004年度１区）　SR3001　出土遺物(2) ……160
図版45　南区（2004年度１区）　SR3001　出土遺物(3) ……161
図版46　南区（2004年度１区）　SR3001　出土遺物(4) ……162
図版47　南区（2004年度１区）　SR3001　出土遺物(5) ……163
図版48　南区（2004年度１区）　SR3001　出土遺物(6) ……164
図版49　南区（2004年度１区）　SR3001　出土遺物(7) ……165
図版50　南区（2004年度１区）　SR3001　出土遺物(8) ……166
図版51　南区（2004年度１区）　SR3001　出土遺物(9) ……167
図版52　南区（2004年度１区）　SR3001　出土遺物(10) ……168
図版53　南区（2004年度１区）　SR3001　出土遺物(11) ……169
図版54　南区（2004年度２区）　SR3001　出土遺物(1) ……170
図版55　南区（2004年度２区）　SR3001　出土遺物(2) ……171
図版56　南区（2004年度２区）　SR3001　出土遺物(3) ……172
図版57　南区（2004年度２区）　SR3001　出土遺物(4) ……173
図版58　南区（2004年度３区）　SR3001　出土遺物
　　南区（2002年度７区）　SR3001　出土遺物
　　南区（2007年度１区）　SR3001　出土遺物(1) ……174
図版59　南区（2007年度１区）　SR3001　出土遺物(2) ……175
図版60　南区（1998年度１区）　SR3001　出土遺物(1) ……176

図版61　南区（1998年度１区）
図版62　南区（1998年度１区）
図版63　南区（1998年度１区）
図版64　南区（全年度）
図版65　北区（全年度）
（全年度）
（全年度）
図版66　（全年度）
SR3001　出土遺物(2) ……177
SR3001　出土遺物(3) ……178
SR3001　出土遺物(4) ……179
SR3001　出土金属製品 ……180
出土金属製品
出土石製品
出土骨製品 ……181
出土銭貨 ……182
図版67　観音寺遺跡の木材Ⅰ ……195
図版68　観音寺遺跡の木材Ⅱ ……196
図版69　観音寺遺跡の木材Ⅲ ……197
図版70　観音寺遺跡の木材Ⅳ ……198
図版71　観音寺遺跡の木材Ⅴ ……199
図版72　観音寺遺跡の木材Ⅵ ……200
図版73　観音寺遺跡の木材Ⅶ ……201
図版74　観音寺遺跡の木材Ⅷ ……202
図版75　動物遺体１ ……213
図版76　動物遺体２ ……214
図版77　動物遺体３ ……215
図版78　動物遺体４ ……216
図版79　動物遺体５ ……217
図版80　動物遺体６ ……218
図版81　動物遺体７ ……219

挿図目次（第２分冊）

第492図　哺乳類出土点数内訳……207
第493図　ウマの推定体高……210
第494図　ウマ 時代別体高分布 ……210
第495図　ウシの推定体高……211
第496図　ウシ 時代別体高分布 ……211
第497図　イヌの推定体高……212

自然科学分析等（第２分冊）

徳島県観音寺遺跡における樹種同定 ……185
観音寺遺跡出土の動物遺体 ……203
徳島県内出土の日本古代銭貨 ……220

観　察　表

表3　木製品

表4　土　器

表5　金属製品

表6　石　器

表7　骨製品

観察表凡例

・木製品の分類、名称および型式は『木器集成図録・近畿原始編』（奈良国立文化財研究所　1993）と『木器集成図録・近畿古代編』（奈良国立文化財研究所　1994）を基準にし、これに従った。

・遺構番号は原則として発掘調査時のものを踏襲したが、番号の連続しないものについては連続するように変更した。

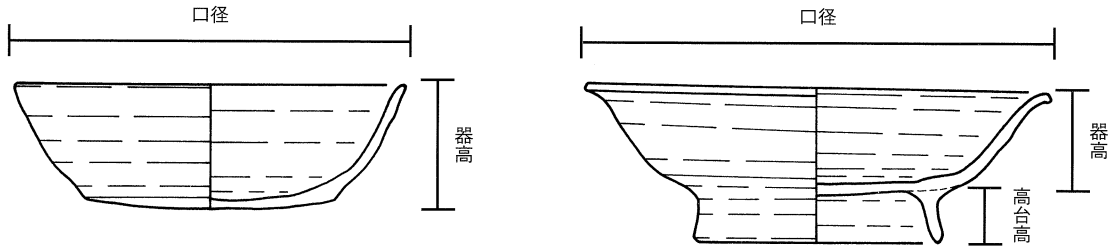
・調査区は広範囲にわたり、調査区により遺構の状況が大きく異なるため、遺跡の北半分と南半分をそれぞれ北区・南区とし、北区については各遺構面ごとに、南区についてはSR3001を各調査年度・区で分割し、各層位ごとに遺物出土状況ドット図など各平面図をのせている。また、第Ⅳ系国土座標を表記することで絶対位置と方位に代えている。

・調査区番号は原則として本報告書段階において発掘調査時のものを使用している。調査区番号の前に「98－」とあるものは1998年度に発掘調査を行った時点で出土したものである。

・法量は可能な限り計測し、残存値および復元値は（　）で表している。計測値はcm、重量の単位はgで表記した。

・表面の状態は、整理作業担当者が保存処理前の実測の際に肉眼観察を行った結果を記してある。

・大別層位の中で帰属層位が複数に渡るもの（例：Ⅲ～Ⅴ層）は、その範囲の中で最上位層に含めた。



土器　計測部位

表３　木製品

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点（大グリッド）（中グリッド）（小グリッド）	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
32	農具	木錘	SR4001	北区（01－1）	Loc.F－1 ε－Ⅲ P－10	17.0	6.1	5.2	くびれ部分の長さ3.5cm。	やや滑らか		芯持ち材	－	
33	容器	円形曲物側板底板	SR4001	北区（01－2）	Loc.F－1 ε－Ⅲ O－11	(16.4)	16.2	器高 4.6cm	底板は木釘３本、木釘孔５ヶ所残存。刃物傷多数。側板は樺皮結合用小孔８ヶ所残存。側板厚３mm、底板厚１cm、底板復元径＝15.5cm。	やや滑らか	釘結合曲物F 型式	板目	－	Ⅶ
34	容器	円形曲物底板	SR4001	北区（01－1）	Loc.F－1 ε－Ⅲ P－10	(18.5)	(5.7)	1.2	側板をはめ込む溝有り。裏面に使用痕有り。直径＝２mm の孔がＬの中心に有る。樺皮結合用小孔２ヶ所残存。復元径＝23.4cm。	やや滑らか	樺皮結合曲物Ｃ型式	板目	－	
35	容器	円形曲物底板	SR4001	北区（01－2）	Loc.F－1 ε－Ⅲ N－12	15.5	(9.2)	1.1	側面に木釘孔２ヶ所残存。側面の下部に穿孔１ヶ所残存。復元径＝15.5cm。裏面に、刃物傷多数有り。	やや粗い	釘結合曲物F 型式	板目	ヒノキ	Ⅶ
36	容器	把手付楕円形曲物底板	SR4001	北区（01－1）	－	63.5	(22.8)	1.2	樺皮結合紐３ヶ所残存。穿孔３ヶ所。底板に溝有り。表面は刃物傷多数。	やや滑らか	樺皮結合曲物Ｃ型式	板目	－	
37	文房具	木札	SR4001	北区（01－2）	Loc.F－1 ε－Ⅲ N－13	21.0	4.4	0.6	人形の可能性有り。下部中央に穿孔有り。	やや粗い	付札形	板目	－	Ⅶ
38	祭祀具	人形	SR4001	北区（01－2）	Loc.F－1 ε－Ⅲ P－10	9.1	2.2	0.2	薄い板の上端を丸く切り込み、足はＶ字に成形。胴体に切り込み有り。切り込み：左右両側に下から各２回。	滑らか	正面全身人形	柾目	－	Ⅶ
39	祭祀具	舟形	SR4001	北区（01－2）	Loc.F－1 ε－Ⅲ M－14	(16.7)	4.5	2.1	全体的に摩滅している。屋形船形。平底。	粗い	Ａ２類	板目	－	Ⅶ
40	祭祀具	舟形	SR4001	北区（01－2）	Loc.F－1 ε－Ⅲ L－16	16.0	3.4	3.5	２ヶ所に刳り込みを入れて、屋形部を成形。屋形船形。丸底。樹皮残存。	やや粗い	Ａ２類	芯持ち材	－	Ⅶ
41	祭祀具	舟形	SR4001	北区（01－2）	－	16.3	3.6	2.0	船首に上面からの削り有り。屋形部の削り出しが浅い。屋形船形。平底。	やや粗い	Ａ２類	辺材	－	
42	祭祀具	舟形	SR4001	北区（01－2）	Loc.F－1 ε－Ⅲ O－11	(8.7)	4.4	5.2	全面を削って成形。屋形船形。平底。	やや滑らか	Ａ２類	芯持ち材	－	Ⅶ
43	祭祀具	舟形	SR4001	北区（01－2）	Loc.F－1 ε－Ⅲ N－12	(12.8)	2.5	2.1	屋形部の削り出しが浅い。屋形船形。丸底。	やや滑らか	Ａ２類	芯持ち材	－	Ⅶ
44	祭祀具	舟形	SR4001	北区（01－1）	Loc.F－1 ε－Ⅲ P－９	(11.6)	2.4	2.1	屋形部の削り出しが浅い。屋形船形。丸底。	滑らか	Ａ２類	芯持ち材	ヒサカキ属	
45	祭祀具	斎串	SR4001	北区（01－1）	Loc.F－1 ε－Ⅲ P－９	(8.4)	1.9	0.6	上部欠損。下部は片側から斜めに削って尖らせる。	やや滑らか	Ａ型式	板目	－	
46	祭祀具	斎串	SR4001	北区（01－2）	Loc.F－1 ε－Ⅲ N－12	(19.3)	1.6	0.5	切り込み：左側に上から１回、右側に上から２回。	粗い	ＣⅢ型式	板目	－	Ⅶ
47	部材	部材	SR4001	北区（01－2）	Loc.F－1 ε－Ⅲ N－13	(44.8)	2.2	1.2	上端部に両側面からの抉り有り。	やや滑らか		柾目	－	Ⅶ
51	紡織具	紡輪	第４包含層	北区（01－2）	－	6.0	(4.2)	1.5	正円で中心に貫通する径８mm の紡茎孔が有る。復元径＝6.0cm。	粗い		板目	トガサワラ	
64	工具	掛矢	SR5001	北区（01－2）	Loc.F－1 ε－Ⅲ M－11	30.2	8.6	8.1	芯持ち材の約1/2を頭とし、他の部分を細く削って柄をつくる。頭部に鋭利な刃物で刻まれた細線有り。全面削りによって成形。対応する二面に敲打による窪み有り。	やや粗い		芯持ち材	－	
65	工具	柄	SR5001	北区（01－2）	Loc.F－1 ε－Ⅲ J－19	(31.0)	2.9	2.4	上部に身を差し込むための楕円形の孔有り。辺材を丁寧に削り成形。上下共に焼けこげ。	滑らか		辺材	－	
66	農具	田下駄	SR5001	北区（01－1）	Loc.F－1 ε－Ⅲ S－10	(42.1)	(7.1)	1.4	方形のホゾ穴２ヶ所残存。	粗い		板目	ヒノキ	
67	農具	編棒	SR5001	北区（01－2）	－	33.7	1.1	1.1	両端を細く尖るように成形。細かい削りにより断面は円形。	滑らか		辺材	－	
68	農具	木錘	SR5001	北区（01－2）	Loc.F－1 ε－Ⅲ L－13	13.0	6.1	3.9	断面は正方形で、未製品の可能性有り。	やや滑らか		辺材	－	
69	農具	鎌柄	SR5001	北区（01－1）	Loc.F－1 ε－Ⅲ Q－13	(49.3)	3.2	2.4	全体的に細かく丁寧な削りにより断面を楕円形に成形。上端部は斜め45°に反る。上端部に茎孔有り。木釘２ヶ所残存。	滑らか		辺材	－	
70	漁猟具	櫂	SR5001	北区（01－2）	－	(75.4)	(7.0)	4.2	厚みのある木製品を削り出し、柄の下端を次第に広げて水かきとする。水かきの一面に細かな削りが多い。	粗い	一木式	柾目	－	
71	容器	楕円形曲物底板	SR5001	北区（01－2）	Loc.F－1 ε－Ⅲ K－20	(56.6)	(8.7)	(1.1)	樺皮結合紐残存。樺皮結合紐用小孔２組（２孔で１組）。	やや滑らか	樺皮結合曲物Ｄ型式	板目	－	
72	祭祀具	斎串	SR5001	北区（01－2）	Loc.F－1 ε－Ⅲ J－18	30.7	2.7	0.3	切り込み：左側上段に上から２回、中段に下から３回、下段に下から６回。右側には無し。上下両端は右辺が短くなるように斜めに削り、台形状を呈する。	やや粗い	ＡＶ型式	板目	－	

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量 L	法量 W	法量 H	特徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
73	祭祀具	斎串	SR5001	北区(01－1)	Loc.F－1 ε－Ⅲ P－9	(9.0)	1.8	0.1	上端部は右上から左下に斜めに削って尖らせる。下部欠損。	滑らか	A型式	柾目	－	
74	祭祀具	斎串	SR5001	北区(01－2)	Loc.F－1 ε－Ⅲ N－12	(12.4)(36.4)	2.0	0.3	すべて上からの切り込み：左側4ヶ所に各1回。右側は6ヶ所に分散し、1回が3ヶ所、2回が2ヶ所、3回が1ヶ所。	粗い	C Ⅳ型式	板目	－	
75	祭祀具	斎串	SR5001	北区(01－2)	Loc.F－1 ε－Ⅲ L－19	(12.8)	2.2	0.7	やや厚手の板の上端部を圭頭状に削る。	粗い	C型式	板目	－	
76	部材	部材	SR5001	北区(01－2)	Loc.F－1 ε－Ⅲ J－17	(49.1)	7.2	1.9	厚手の板の片端を丁寧に削って細くする。転用の可能性有り。ホゾ穴有り。	やや滑らか		板目	－	
131	雑具	火鑽板	SD3001	南区(00－2)	－	7.5	1.7	1.5	使用痕2ヶ所。	粗い		辺材	コナラ属アカガシ亜属	
141	農具	鋤	SR3001	南区(03－8)	Loc.F－1 δ－Ⅲ R－19	29.2	18.7	4.3	柄が取り付けられていた痕有り。上部は摩滅・欠損により調整は不明。下部は工具幅2.9cmの削りにより成形。	やや粗い		板目	ヒノキ	Ⅲ
142	農具	柄	SR3001	南区(03－8)	－	92.8	2.2	2.2	上部に手で握られたような圧痕有り。下端部は片面より削り尖らせる。	粗い		芯持ち材	－	Ⅲ
143	農具	馬鍬	SR3001	南区(03－8)	－	23.7	1.9	1.7	厚みのある木材を削り出し成形。その後、摩滅によって表面は滑らか。	滑らか		辺材	－	Ⅲ
144	祭祀具	人形	SR3001	南区(03－8)	－	(16.8)	1.0	1.0	上端は斜めに切り落とし尖らせる。目・鼻・口を削りにより表現。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅲ
145	祭祀具	斎串	SR3001	南区(03－8)	Loc.F－1 δ－Ⅲ Q－20	25.3	0.9	0.4	全面削りで成形。	やや滑らか	C Ⅰ型式	板目	－	Ⅲ
146	祭祀具	斎串	SR3001	南区(03－8)	Loc.F－1 δ－Ⅲ Q－19	(9.1)	1.4	0.2	切り込み：左右両側に上から各1回。	やや粗い	C Ⅲ型式	板目	－	Ⅲ
147	祭祀具	斎串	SR3001	南区(03－8)	Loc.F－1 δ－Ⅲ R－18	(13.1)	1.7	0.2	下端部は両側面からの削りによって尖らせる。	やや滑らか	C型式	板目	ヒノキ	Ⅲ
148	用途不明	不明	SR3001	南区(03－8)	－	8.5	3.3	2.9	表面全体に樹液、漆のような付着物有り。柄か。	滑らか		芯持ち材	－	Ⅲ
158	農具	鋤先	SR3001	南区(03－8)	－	(13.6)	1.4	1.4	丁寧に削って下端部を尖らせる。上端部穿孔痕有り。	滑らか		辺材	－	V
159	服飾具	檜扇	SR3001	南区(03－8)	－	(6.5)	(1.7)	0.2	上端部は鈍角の圭頭状を呈する。	滑らか	不明	板目	－	V
160	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(03－8)	Loc.F－1 δ－Ⅲ Q－19	28.2	(14.2)	0.7	樺皮結合用の孔2ヶ所残存。復元径＝28.2cm。	やや滑らか	樺皮結合曲物E型式	板目	－	V
161	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(03－8)	Loc.F－1 δ－Ⅲ Q－20	(13.1)	(3.5)	0.5	側板の圧痕（刃物で印を付けたものか）有り。樺皮結合紐1ヶ所残存。樺皮結合用小孔1対残存。裏面刃物傷有り。復元径＝17.6cm。	やや粗い	樺皮結合曲物E型式	板目	－	V
162	文房具	木札	SR3001	南区(03－8)	－	(10.0)	2.7	0.6	左右一対の切り欠き有り。	滑らか	付札形	板目	－	V
163	容器	円形曲物側板	SR3001	南区(03－8)	－	(32.0)	2.6	0.2	箍の一部と思われる。	滑らか	樺皮結合曲物	板目	－	V
164	祭祀具	剣形	SR3001	南区(03－8)	Loc.F－1 δ－Ⅲ Q－19	(18.5)	1.0	0.4	下端部は両側からの削りによって細く成形。斎串か。	滑らか		板目	－	V
165	祭祀具	紡織具形	SR3001	南区(03－8)	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－19	(9.4)	0.8	0.8	細い棒の上端を圭頭状に削り、5mm下に切り欠きを入れ成形。断面は平行四辺形。	やや粗い		辺材	－	V
166	祭祀具	人形	SR3001	南区(03－8)	Loc.F－1 δ－Ⅲ R－19	(16.6)	3.0	0.3	上部を切り込んで頭部を成形。墨で眉・目・鼻を描く。胴に刺孔有り。切り込み：左側下部に下から2回、右側下部に下から3回。	やや粗い	正面全身人形	板目	－	V
167	祭祀具	人形	SR3001	南区(03－8)	－	(20.4)	0.9	0.9	芯持ち材に目・口・顎を彫り込んで表現。両側面に首を表現した彫り込み有り。下端は斜めに切り落として成形。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	ウツギ属	V
168	祭祀具	人形	SR3001	南区(03－8)	－	(20.1)	1.3	1.3	目は深く、頬・口は浅い彫り込みで表現。	粗い	円筒状人形	芯持ち材	－	V
169	祭祀具	人形	SR3001	南区(03－8)	Loc.F－1 δ－Ⅲ R－18	(15.8)	1.1	1.0	芯持ち材に目・鼻・口・顎を浅い彫り込みにより表現。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V
170	祭祀具	棒状祭祀具	SR3001	南区(03－8)	Loc.F－1 δ－Ⅲ Q－18	20.1	1.2	1.0	断面多角形。上端は斜めに削り落とし、下端は尖るように削られる。	やや滑らか		板目	－	V
171	祭祀具	人形	SR3001	南区(03－8)	－	(13.8)	1.2	1.2	上端は斜めに切り落とし、目・口・顎を彫り込んで表現。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V
172	祭祀具	人形	SR3001	南区(03－8)	Loc.F－1 δ－Ⅲ Q－19	(9.3)	1.1	1.4	目・鼻・口を彫り込んで表現。上端は削りにより成形。	やや粗い	円筒状人形	芯持ち材	－	V
173	祭祀具	人形	SR3001	南区(03－8)	Loc.F－1 δ－Ⅲ Q－19	(6.5)	0.9	1.1	目・口・顎・左頬を彫り込んで表現。上端は斜めに切り落とす。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V
174	祭祀具	斎串	SR3001	南区(03－8)	Loc.F－1 δ－Ⅲ Q－20	13.2	2.1	0.2	台形状を呈する。	やや滑らか	A Ⅰ型式	柾目	－	V
175	祭祀具	斎串	SR3001	南区(03－8)	－	(13.2)	2.1	0.4	欠損が多く状態が悪い。切り込み：左側に上から5回、右側に上から8回。	滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	V

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
176	祭祀具	斎串	SR3001	南区(03－8)	－	(12.5)(19.2)	2.1	0.6	切り込み：左側に上から４回、右側に上から６回。	やや粗い	Ｃ Ⅲ型式	板目	－	Ⅴ
177	祭祀具	斎串	SR3001	南区(03－8)	Loc.F－１ δ－Ⅲ Q－19	33.0	2.4	0.7	切り込み：左側上部に上から６回、下部に下から３回。右側上部に上から８回、下部に下から６回。	やや滑らか	Ｃ Ⅴ型式	板目	－	Ⅴ
178	祭祀具	斎串	SR3001	南区(03－8)	－	29.2	2.1	0.4	切り込み：左側に上から７回、下から５回。右側に上から５回、下から６回。	粗い	Ｃ Ⅴ型式	板目	－	Ⅴ
179	祭祀具	斎串	SR3001	南区(03－8)	Loc.F－１ δ－Ⅲ Q－19	(20.8)	1.5	0.3	切り込み：左側に下から５回、右側に下から７回。上部欠損。	やや粗い	Ｃ Ⅴ型式	板目	－	Ⅴ
180	祭祀具	斎串	SR3001	南区(03－8)	Loc.F－１ δ－Ⅲ Q－18	32.0	1.5	1.8	上部は断面台形。下部は面取りを行い断面多角形。	滑らか	Ｄ Ⅰ型式	柾目	－	Ⅴ
181	祭祀具	斎串	SR3001	南区(03－8)	Loc.F－１ δ－Ⅲ Q－19	(12.2)	1.6	0.2	切り込み：左側に上から４回、下から４回。右側に上から４回、下から６回。	滑らか	Ｃ Ⅴ型式	板目	－	Ⅴ
182	祭祀具	斎串	SR3001	南区(03－8)	Loc.F－１ δ－Ⅲ Q－19	(11.8)	1.8	0.3	切り込み：左側に上から10回、下から５回。右側に上から５回、下から７回。	やや粗い	Ｃ Ⅴ型式	板目	－	Ⅴ
183	祭祀具	斎串	SR3001	南区(03－8)	－	(10.4)	1.6	0.3	切り込み：左側に上から８回、下から３回。右側に上から５回、下から３回。	やや粗い	Ｃ Ⅴ型式	板目	－	Ⅴ
184	祭祀具	斎串	SR3001	南区(03－8)	－	25.9	0.7	0.3	屈曲している。上端部左右からの削りで成形。下端部は杭状に尖らせる。	やや粗い	Ｄ Ⅰ型式	板目	－	Ⅴ
185	容器	栓状木器	SR3001	南区(03－8)	Loc.F－１ δ－Ⅲ Q－18	3.4	1.5	1.4	ごく僅かに塗装の痕跡有り。中央に貫通していない、円錐状のくりぬき有り。	やや粗い		芯持ち材	－	Ⅴ
186	部材	部材	SR3001	南区(03－8)	Loc.F－１ δ－Ⅲ Q－18	10.9	3.3	1.3	全体的に摩滅している。上部の右側にコの字型の切り込みを入れているが、左側は摩滅のため、不明瞭。	やや滑らか		板目	－	Ⅴ
187	杭	杭	SR3001	南区(03－8)	Loc.F－１ δ－Ⅲ Q－19	(35.9)	2.9	2.2	下端部をやや丁寧に削って、尖らせる。上端欠損。	滑らか		芯持ち材	－	Ⅴ
188	杭	杭	SR3001	南区(03－8)	Loc.F－１ δ－Ⅲ P・Q－18	(52.1)	1.7	1.2	下端部を丁寧に削って細くしているため、部材の可能性有り。	滑らか		板目	－	Ⅴ
195	雑具	叩板	SR3001	南区(03－8)	Loc.F－１ δ－Ⅲ Q－18、19	22.1	9.2	1.8	厚手の板の両側面を削り、持ち手部分を成形。指による圧痕残存。左側面は摩滅により加工痕不鮮明。	滑らか		板目	ヒノキ	Ⅵ
196	祭祀具	斎串	SR3001	南区(03－8)	－	(11.0)	1.5	0.3	上端部は鈍角の圭頭状を呈する。	滑らか	Ｃ Ⅰ型式	柾目	－	Ⅵ
197	祭祀具	斎串	SR3001	南区(03－8)	Loc.F－１ δ－Ⅲ R－17、18	(18.0)	1.7	0.4	上端は左右より削り、尖らせていたと思われる。下端は細く成形。刀形や剣形の可能性有り。	粗い	Ｄ Ⅰ型式	柾目	－	
199	祭祀具	人形	SX3001	南区(03－8)	Loc.F－１ δ－Ⅲ R－18	左(5.0) 右(2.1)	(1.2)(1.0)	(0.3)(0.1)	薄い板の上部を左右から切り込んで頭部を成形。目・眉等を墨で書いて表現。	やや滑らか	正面全身人形	板目	－	
200	祭祀具	斎串	SX3001	南区(03－8)	Loc.F－１ δ－Ⅲ R－19	(14.4)	2.3	0.2	切り込み：左側上部に上から４回、下部に上から１回。右側上部に上から10回、下部に下から２回。	粗い	Ｂ Ⅴ型式	板目	－	
201	祭祀具	斎串	SX3001	南区(03－8)	－	31.1	2.3	0.5	切り込み：左側上部に上から７回、右側上部に上から６回。	滑らか	Ｃ Ⅲ型式	板目	－	
202	祭祀具	斎串	SX3001	南区(03－8)	－	(6.4)(15.3)	2.0	0.5	切り込み：左側に上から２回。	やや粗い	Ｃ Ⅲ型式	板目	－	
203	祭祀具	斎串	SX3001	南区(03－8)	－	(11.9)	2.2	0.2	切り込み：左側上段に上から２回、下段に上から３回。右側上段に上から２回、下段に上から４回。	やや滑らか	Ｃ Ⅲ型式	板目	－	
204	祭祀具	斎串	SX3001	南区(03－8)	－	(8.8)	1.8	0.4	切り込み：左側に上から６回、右側上段に上から３回、下段に上から２回。	粗い	Ｃ Ⅲ型式	板目	－	
205	祭祀具	斎串	SX3001	南区(03－8)	－	(6.1)	1.5	0.2	切り込み：左側に上から２回、右側に上から１回。	滑らか	Ｃ Ⅲ型式	板目	－	
206	祭祀具	斎串	SX3001	南区(03－8)	Loc.F－１ δ－Ⅲ R－19	32.6	2.2	0.4	切り込み：左側上部に上から８回、下部に下から４回。右側上部に上から８回、下部に下から５回。	滑らか	Ｃ Ⅴ型式	板目	－	
207	祭祀具	斎串	SX3001	南区(03－8)	Loc.F－１ δ－Ⅲ R－19	31.3	1.8	0.5	切り込み：左側に上から４回、右側に上から６回、下から５回。	粗い	Ｃ Ⅴ型式	板目	－	
212	服飾具	檜扇	SR3001	南区(03-8-2)	－	①(22.7) ②(23.7) ③(23.6)	1.7 1.7 1.7	0.3 0.7 0.6	①②③要孔１残存。　②墨痕か。	やや滑らか	Ａ Ⅰ型式	板目	－	Ⅴ
213	服飾具	下駄	SR3001	南区(03-8-2)	－	14.3	6.4	1.8	右足用。小型の下駄（子供用か）。連歯下駄。使用により摩滅している。前歯と後歯の間を丸く刳り抜く。	やや滑らか	Ｃ Ⅱ ｂ型式	板目	－	Ⅴ
214	祭祀具	人形	SR3001	南区(03-8-2)	－	(12.7)	1.1	1.1	上端部を斜めに削る。目・口・顎（もしくは目・鼻・口）を浅く彫り込んで表現。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅴ
215	部材	部材	SR3001	南区(03-8-2)	－	14.0	2.3	2.0	上部を細く削り、きのこ状の頭部を成形。	やや滑らか		芯持ち材	－	Ⅴ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
216	部材	部材	SR3001	南区(03-8-2)	－	1.7	(10.5)	0.8	全体的に丁寧な削りにより、面取りが施される。湾曲しており、把手の可能性がある。	やや滑らか		柾目	－	Ⅴ
217	杭	杭	SR3001	南区(03-8-2)	－	(29.7)	2.2	2.1	芯持ち材を四方から削り、先端が細くなるように成形。	滑らか		芯持ち材	－	Ⅴ
218	杭	杭	SR3001	南区(03-8-2)	－	(16.6)	4.0	4.3	厚みのある芯持ち材の下端部を３方向から斜めに削り、先端を切り落とす。	滑らか		芯持ち材	－	Ⅴ
219	杭	杭	SR3001	南区(03-8-2)	－	(11.0)	3.2	3.1	下端部を四角錐に成形し、先端は鋭利に尖らせる。	滑らか		芯持ち材	－	Ⅴ
227	祭祀具	人形	SR3001	南区(02－7)	Loc.F－1 δ－Ⅳ H－9	(12.7) (9.0)	1.7	1.8	目・口を浅く彫り込んで表現。上端は表裏から、山形に削り成形。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅵ
228	祭祀具	人形	SR3001	南区(02－7)	Loc.F－1 δ－Ⅳ O－9	(16.3)	1.1	1.5	芯持ち材に、目・口・頬を彫り込む。全体につぶれて変形。状態が悪い。樹皮一部残存。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅵ
229	祭祀具	人形	SR3001	南区(02－7)	Loc.F－1 δ－Ⅳ O－9	(9.4)	1.3	1.3	目・口を浅く彫り込んで表現。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅵ
230	祭祀具	人形	SR3001	南区(02－7)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－9	(25.8)	1.7	1.3	芯持ち材の上端部を斜めに切り落とし、頭部を成形。目・鼻・口・頬を浅い彫り込みによって表現。目・鼻・口・頬・頭部が黒く変色している。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅵ
231	祭祀具	人形	SR3001	南区(02－7)	Loc.F－1 δ－Ⅳ O－9	15.9	1.3	1.4	上端部にＶ字形の切り込みが有る。目・口・頬を浅い彫り込みで表現。	粗い	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅵ
232	祭祀具	人形	SR3001	南区(02－7)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－9	(8.0)	1.7	2.2	目・鼻・口を彫り込みによって表現。	粗い	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅵ
233	杭	杭	SR3001	南区(02－7)	Loc.F－1 δ－Ⅳ O－10	(155.9)	7.6	6.6	少し湾曲した自然木の下端を、杭状に尖らせたもの。	滑らか		芯持ち材	コナラ属コナラ節	Ⅵ
235	農具	編台か	SR3001	南区(00－1)	－	2.1	(15.1)	1.2	上部に６ヶ所の刻み有り。両端部欠損。目盛板の可能性有り。	粗い		板目	－	Ⅱ
236	紡織具	糸巻横木	SR3001	南区(00－1)	－	9.0	2.2	1.1	相欠き仕口の中心に、軸孔有り。	やや滑らか	Ａ型式	板目	ヒノキ	Ⅱ
237	部材	部材	SR3001	南区(00－1)	－	15.6	2.3	0.8	上端部に３ヶ所、下部に１ヶ所の穿孔が有る。	滑らか		板目	－	Ⅱ
238	農具	木錘	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ L－19	20.8	6.3	4.8	芯持ち材を粗く削り、くびれ部分を成形。全体に雑な造り。	滑らか		芯持ち材	－	Ⅲ
239	紡織具	中筒	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－20	(21.0)	3.5	0.9	やや厚めの板の上端部に左右から切り欠きを入れる。下部欠損。	やや粗い		柾目	スギ	Ⅲ
240	部材	部材	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－20	15.0	1.7	1.5	棒状の部材。下端は右側面から弧を描くように深く削る。	滑らか		辺材	－	Ⅲ
241	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－19	(17.6)	(3.0)	0.3	側板による円周状の圧痕。外面に刃物傷多数。復元径＝18.2cm。	やや粗い	樺皮結合曲物Ｅ型式	板目	－	Ⅲ
242	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－20	14.9	14.7	0.9	木釘孔４ヶ所残存。	やや滑らか	釘結合曲物Ｆ型式	板目	－	Ⅲ
243	祭祀具	棒状祭祀具	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ I－19	24.7	0.6	0.6	断面台形で、両端部を尖らせる。	滑らか		辺材	－	Ⅲ
244	祭祀具	人形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－1	(27.4)	2.2	2.9	目・口・顎・頬を浅い彫り込みによって表現。下端部は削りによって尖らせる。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅲ
245	祭祀具	人形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－1	(25.5)	1.6	1.5	芯持ち材の上端を削り（５回）で成形。下端部は斜めに削って杭状に成形。上部には目・口・顎を彫り込んで表現。その裏面にも、片目・口が彫り込まれている。	やや滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅲ
246	祭祀具	人形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－1	(20.3)	0.9	0.9	上端は斜めに成形。目・口・顎を彫り込んで表現。	やや滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅲ
247	祭祀具	人形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ H－8	(13.9)	1.4	1.3	細い芯持ち材の一端を斜めに切り落として頭部を成形。目・口・顎を彫り込んで表現。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅲ
248	祭祀具	人形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ O－19	8.5	2.0	1.1	表面を面取りで細かく成形。上部は表面と両側面からの削りによって頭部を成形。陽物形の可能性有り。	滑らか	立体人形	辺材	－	Ⅲ
249	祭祀具	人形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－2	(8.2)	1.1	1.1	正面上部に鼻・口を浅い彫り込みで表現。目の部分は欠損。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	ウツギ属	Ⅲ
250	祭祀具	人形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－2	(5.2)	0.8	0.7	目（彫り込み残存）の位置で欠損。口は残存する。側面は左右ともに削り有り。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅲ
251	祭祀具	人形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－19	(14.6)	1.0	1.0	芯持ち材に目・口・顎を彫り込み表現。顔の裏側に2.3cmの削り有り。	やや滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅲ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点（大グリッド）（中グリッド）（小グリッド）	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
252	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－3	(9.0)	1.3	0.3	切り込み：左側に上から6回、右側に上から6回。	滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	Ⅲ
253	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ H－8	25.3	1.4	0.1	切り込み：左右両側に上から各5回、下から各5回。	滑らか	C Ⅴ型式	板目	－	Ⅲ
254	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ H－8	(25.0)	0.9	0.2	切り込み：左側に上から5回、下から5回。右側に上から6回、下から8回。	やや滑らか	C Ⅴ型式	板目	－	Ⅲ
255	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ I－19	(22.1)	1.9	0.2	切り込み：左側に上から3回、下から10回。右側に下から8回。	粗い	C Ⅴ型式	板目	－	Ⅲ
256	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ O－20	(18.8)	1.8	0.3	切り込み：左右両側の上段に上から各3回。中段に下から各1回。	粗い	C Ⅴ型式	板目	－	Ⅲ
266	工具	柄	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ H－4	(45.5)	2.6	1.5	全体に、ほぼ同じ太さ。断面は楕円形状を呈する。	やや滑らか		辺材	－	Ⅳ
267	農具	木錘	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－20	(6.6)	4.1	4.2	削り部分以外は樹皮が残存。くびれ部分を丁寧に成形。	滑らか		芯持ち材	－	Ⅳ
268	祭祀具	紡織具形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ H－6	(15.6)	1.4	0.9	上端部を丸く成形し、両側から浅く切り欠きを入れる。下部欠損。	やや滑らか		辺材	－	Ⅳ
269	祭祀具	紡織具形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－20	14.6	0.7	0.6	両端部に浅い切り欠きを入れて成形。	粗め		板目	－	Ⅳ
270	祭祀具	紡織具形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－5	(12.5)	2.0	0.4	上端部のみに切り欠きを入れて成形。	滑らか		板目	－	Ⅳ
271	祭祀具	人形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－5	(31.1)	2.3	1.9	芯持ち材の上部に目・口・額を彫り込んで表現。下端は斜めに削って杭状に成形。	樹皮に覆われている	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅳ
272	祭祀具	人形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－3	(28.4)	1.0	1.1	芯持ち材に口・顎・頬を彫り込んで表現。目無し。上端部は斜めに切り落とし、下端部は杭状に尖らせる。	やや滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅳ
273	祭祀具	人形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－2	(24.5)	2.0	1.2	目・口・顎（もしくは目・鼻・口）を浅く彫り込んで表現。下端部は杭状。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅳ
274	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－20	(4.6)	1.7	0.2	台形状の斎串の一端。	やや滑らか	A 型式	板目	－	Ⅳ
275	部材	棒状木製品	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ H－6	(22.5)	0.6	0.5	上端部は圭頭状に尖らせ、下端部欠損。刺串の可能性有り。	やや滑らか		板目	－	Ⅳ
276	紡織具	糸巻横木	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ M－18	10.1	2.2	0.6	相欠き仕口の中心に軸孔有り。	やや粗い	A 型式	辺材	－	Ⅳ
277	文房具	木札	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－18	(8.5)	2.5	0.6	上部の両側面から三角形の抉り有り。	やや滑らか	付札形	板目	－	Ⅳ
278	祭祀具	人形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ M－19	(5.9)	1.5	1.5	上端部六角形に細く削り出す。眉・目・口・額・頬を彫り込んで表現。目に涙のような切り込み有り。	やや滑らか	立体人形	辺材	－	Ⅳ
279	祭祀具	舟形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ Q－1	15.6	2.1	1.1	左右に各3ヶ所、切り込みがある。丸木舟形。丸底。	やや粗い	A 1類	柾目	－	Ⅳ
280	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－20	(7.0)	1.0	0.2	切り込み：左右両側に上から各4回。	滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	Ⅳ
281	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ Q－20	(10.5)	1.1	0.2	下端部を尖らせる。	滑らか	C 型式	板目	スギ	Ⅳ
292	農具	横槌	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ H－6	28.8	6.6	5.6	一木造り。身部に樹皮残存。	滑らか		芯持ち材	－	Ⅴ
293	農具	横槌	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－20	28.1	7.4	6.8	一木造り。柄の部分を有頭状に削り出す。表面中央に刃物傷有り。全体に使用痕（敲打痕）有り。	やや粗い		芯持ち材	－	Ⅴ
294	工具	有頭棒	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ H－3	14.7	3.9	1.8	上部は斜めにカットされている。上部の両側面を削り、頭部を成形。	粗い		辺材	－	Ⅴ
295	工具	木釘	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－19	25.5	2.4	2.2	頭部から軸にかけてゆるやかなカーブを描く。頭径＝2.0cm。下部は削りによって尖らせる。	やや滑らか		辺材	－	Ⅴ
296	紡織具	糸巻横木	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－20	9.2	2.4	1.2	相欠き仕口の中心に軸穴有り。	やや滑らか	A 型式	辺材	－	Ⅴ
297	農具	鎌柄	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ S－3	(16.8) (8.4)	2.3	1.3	上部に鎌の刃部を装着するための細長いスリットが有る。	粗い		板目	－	Ⅴ
298	農具	編棒	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－3	(51.8)	1.4	1.3	削りによって断面多角形の棒状に成形される。	滑らか		辺材	－	Ⅴ
299	紡織具	糸巻枠木	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ L－19	(16.1)	1.8	(1.3)	横木を入れるための孔が1ヶ所。貫通していない。下部欠損。	やや粗い	A 型式	辺材	－	Ⅴ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
300	紡織具	織機	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－1	(36.3)	2.7	2.6	芯持ち材の端部を面取りし、頭部を成形。	滑らか		芯持ち材	－	V
301	武器	丸木弓	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ O－20	(60.4)	1.7	1.6	端部の両側から削って、扁平で凸状の末弭を成形。	滑らか		芯持ち材	－	V
302	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ N－19	15.2	14.9	0.3	樺皮結合紐３ヶ所残存。結合用穿孔と思われる欠損１ヶ所有り。	やや滑らか	樺皮結合曲物Ｅ型式	板目	－	V
303	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－1	18.7	(7.7)	0.6	内面に側板による円周状の圧痕有り。外面に焼印と刃物傷多数有り。復元径＝18.6cm。	やや滑らか	結合方法不明Ｅ型式	柾目	－	V
304	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－1	15.2	4.8	0.5	内面に側面による圧痕。外面に刃物傷多数有り。復元径＝16.8cm。樺皮結合紐１ヶ所残存。	やや滑らか	樺皮結合曲物Ｅ型式	柾目	－	V
305	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ S－2	(11.8)	(2.5)	0.6	復元径＝20.2cm。樺皮結合紐１ヶ所残存。	やや粗い	樺皮結合曲物Ｅ型式	板目	－	V
306	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－1	(17.3)	(7.5)	0.7	内面に側面による圧痕有り。樺皮結合紐１ヶ所残存。復元径＝18.6cm。	滑らか	樺皮結合曲物Ｅ型式	柾目	－	V
307	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－2	(12.3)	(2.7)	0.6	側面に断面四角形の木釘１ヶ所残存。復元径＝18.0cm。	やや滑らか	釘結合曲物Ｆ型式	柾目	－	V
308	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－3	13.5	(3.7)	0.8	側面に木釘孔１ヶ所有り。復元径＝26.0cm。	やや滑らか	釘結合曲物Ｆ型式	柾目	－	V
309	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－3	(16.9)	(7.2)	0.7	側面に木釘孔１ヶ所有り。復元径＝17.8cm。	やや滑らか	釘結合曲物Ｆ型式	柾目	－	V
310	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－19	(13.7)	(5.6)	0.6	側面に木釘孔２ヶ所有り。復元径＝14.4cm。	やや滑らか	釘結合曲物Ｆ型式	柾目	－	V
311	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－20	13.8	14.0	0.6	側面に木釘孔５ヶ所有り。うち１ヶ所は円形木釘残存。復元径＝14.0cm。	やや滑らか	釘結合曲物Ｆ型式	柾目	－	V
312	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－2	(18.5)	(9.7)	0.5	側板用段差が残存。裏面は平らである。やや不整円形を呈する。復元径＝19.0cm。	やや滑らか	結合方法不明Ｄ型式	柾目	－	V
313	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－4	(14.9)	(4.1)	(0.7)	復元径＝17.8cm。	やや粗い	結合方法不明曲物	板目	－	V
314	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ H－3	11.7	(9.1)	0.7	ほぼ正円に近い楕円形（一部欠損）。端部の成形も滑らか。復元径＝11.6cm。	滑らか	結合方法不明曲物	板目	－	V
315	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－20	9.8	9.9	0.6	側面に木釘孔３ヶ所有り（木釘残存）。	粗い	釘結合曲物Ｆ型式	柾目	－	V
316	容器	楕円形曲物底板	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－19	(52.5)	(6.2)	0.8	樺皮結合紐３ヶ所残存。側板止め用の板が残存。側板による円周状の圧痕有り。	滑らか	樺皮結合曲物Ｅ型式	板目	－	V
317	容器	楕円形曲物底板	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－3	(42.6)	(12.7)	1.0	両面に使用痕有り。樺皮結合紐用孔２ヶ所残存。うち１ヶ所に樺皮残存。	滑らか	樺皮結合曲物Ｅ型式	板目	－	V
318	容器	方形曲物底板	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－20	3.6	(9.3)	0.6	平面形が隅丸方形を呈する。穿孔１ヶ所残存。樺皮結合紐１ヶ所残存。片面に刃物傷多数有り。	やや滑らか	樺皮結合曲物Ｅ型式	板目	－	V
319	容器	方形曲物底板	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－20	47.7	7.0	0.6	表裏に使用痕多数有り。	やや粗い	結合方法不明	板目	－	V
320	容器	方形曲物底板	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－18	(8.0)	32.1	0.6	表面に使用痕有り。結合用の小孔２ヶ所残存。	やや粗い	樺皮結合曲物Ｅ型式	板目	－	V
321	容器	楕円形曲物底板	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－19	(21.5)	(6.2)	0.6	樺皮結合紐１ヶ所残存。	やや滑らか	樺皮結合曲物Ｅ型式	柾目	－	V
322	容器	円形曲物側板	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－2	16.6	16.6	器高5.5cm	樺皮結合紐１ヶ所残存。穿孔１ヶ所残存。復元径＝16.6cm。板厚0.2cm。	滑らか	結合方法不明曲物	板目	－	V
323	容器	円形曲物蓋板	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－1	16.9	(4.3)	0.6	中央部に穴有り。把手が付いていた痕か。復元径＝16.9cm。	滑らか	結合方法不明曲物	柾目	－	V
324	容器	円形曲物側板	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－1	17.5	17.5	器高5.6cm	樺皮結合紐２ヶ所残存。下部に穿孔４ヶ所残存。結合部の近くに穿孔１ヶ所残存。釘孔か。結合部の内面にけびき線。表面に樹皮残存。	やや粗い	釘結合曲物Ｆ型式	柾目	－	V
325	容器	方形容器側板	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－19	3.4	29.9	0.4	右端部に組み合わせのためのホゾ有り。器高3.4cm。	滑らか	結合方法不明曲物	板目	－	V
326	容器	槽	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－1F－1	42.8	12.6	7.8		やや滑らか		辺材	ヒノキ	V
327	容器	栓	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－2	3.5	2.5	2.2	円柱状に加工し、上下の縁辺を面取りしている。中心に穿孔が有り、穿孔部に径７mm、長さ３cmの棒が残存している。	滑らか		芯持ち材	－	V
328	食事具	匙	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－19	12.5	1.5	0.3	頭部は楕円形で平坦。	滑らか	Ｂ型式	板目	－	V

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
329	食事具	杓子	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－19	(28.6)	8.6	0.7	扁平な板状で、裏面に使用痕有り。	やや粗い	A型式	柾目	－	V
330	文房具	算木	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ H－8	3.8	1.1	0.6	角柱状木製品の両端を方錐形に成形している。四面に4本の刻線が有る。	やや粗い		辺材	－	V
331	文房具	木札	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－19	9.0	2.1	0.7	上端部を鈍角の圭頭状に成形。右辺上部に切り欠き有り。	やや粗い	付札形	板目	－	V
332	文房具	木札	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－19	(10.0)	(1.7)	0.4	上部に直径3mmの穿孔有り。	滑らか		板目	－	V
333	遊戯具	琴柱	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－4	2.0	4.0	0.6	上端部中央に琴糸を渡した溝有り。下端部の中央を三角形に切り落とし足部分を作る。上部から下部に向かって厚くなる。	やや滑らか	A型式	板目	－	V
334	遊戯具	独楽	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－20	4.6	4.0	3.3	上面の中央部に穿孔有り。深さ約1.5cm。	粗い		芯持ち材	タブノキ	V
335	祭祀具	刀子形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－20	(16.7)	1.4	0.4	全面を削りにより成形。特に刃部に細かな削り面が有る。	やや滑らか	A型式	板目	－	V
336	祭祀具	刀子形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－19	(12.0)	1.9	0.7	厚手の板を成形し、断面菱形を呈する。	やや滑らか	C型式	辺材	－	V
337	祭祀具	紡織具形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－4	(7.5)	1.0	0.9	上端に浅い切り欠きを入れて成形。下部欠損。	やや滑らか		板目	－	V
338	祭祀具	紡織具形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－1	(7.9)	0.7	0.8	上端に浅い切り欠きを入れて成形。下部欠損。	やや粗い		辺材	－	V
339	祭祀具	紡織具形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－2	(6.3)	1.3	0.7	337、338と類似しているが、断面形状はやや扁平。	やや滑らか		板目	－	V
340	祭祀具	紡織具形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ H－3	19.5	1.1	1.0	上下端とも浅い切り欠きを施す。	滑らか		辺材	－	V
341	祭祀具	紡織具形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－2	(16.4)	0.9	0.6	上端部は切り欠きにより成形。下部欠損。	やや滑らか		柾目	－	V
342	祭祀具	人形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－20	(17.3)	1.1	1.1	芯持ち材に目・鼻・口を彫り込んで表現。上端は斜めに切り落とす。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V
343	祭祀具	人形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－20	(29.6)	1.6	1.4	目・口を彫り込んで表現。	やや滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V
344	祭祀具	人形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ Q－2	(15.1)	1.1	1.0	角柱状木製品の一面に目・鼻・口を浅く彫り込んで表現。上端は方錐形に成形。	滑らか	円筒状人形	板目	－	V
345	祭祀具	人形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－19	(13.3)	1.3	0.9	目・鼻・口を彫りこんで表現。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V
346	祭祀具	人形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－20	(12.8)	0.9	1.0	上端部は斜めに切り落とす。目・鼻・口・頬を浅く彫り込んで表現。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V
347	祭祀具	人形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－20	(11.5)	1.7	1.0	節を利用。目・鼻・口・頬を彫り込んで表現。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	ウツギ属	V
348	祭祀具	人形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－5	(58.6)	4.8	4.1	上端部は方錐状に成形。下端部は杭状に尖らせる。目はやや深く、口・頬は浅く彫り込んで表現。頸部は4ヶ所の浅い彫り込みで表現。樹皮残存。	やや滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V
349	祭祀具	人形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－5	47.3	1.5	1.4	目が4ヶ所。口ともに深い彫り込みで表現。上端部は8分目まで斜めに削った後、先端を立ち上げて頭部を表現。下端部は斜めに切り落とし杭状に成形。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V
350	祭祀具	人形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－2	(46.0)	2.4	2.6	目・口を浅い彫り込みで表現。2重に削ったもの。下端部は杭状に成形。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V
351	祭祀具	人形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－2	(42.3)	(2.7)	(2.2)	口・顎を深い彫り込みで表現。上下両端は欠損。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V
352	祭祀具	人形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	(22.9) (19.8)	2.4	2.1	目・口・顎を彫り込みで表現。	やや粗い	円筒状人形	芯持ち材	－	V
353	祭祀具	人形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－2	32.2	2.2	1.7	目・口・顎を浅い彫り込みで表現。上端部は裏側へ切り落として尖らせる。下端部は杭状に尖らせて成形。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V
354	祭祀具	人形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－4	(27.4)	2.8	2.4	目・口・顎を浅い彫り込みで表現。上端部は左右からの削りで山形に成形。下端部は杭状。	やや粗い	円筒状人形	芯持ち材	－	V
355	祭祀具	人形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－1	(25.0)	2.2	2.4	目・口を深い彫り込みで表現。上端部は左右からの削りで山形に成形。全面に樹皮有り。	やや粗い	円筒状人形	芯持ち材	－	V

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点（大グリッド）（中グリッド）（小グリッド）	法量 L	法量 W	法量 H	特徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
356	祭祀具	人形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－2	(29.2)	1.5	1.5	目・鼻・口・頬を浅い彫り込みで表現。下端は斜めに切り落として杭状に成形。	やや滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V
357	祭祀具	人形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F・G－1	(47.6)	2.2	2.2	目・口を彫り込んで表現。上端は3方向から斜めに削って山形に尖らせ、下端は前面から斜めに削り杭状に成形。樹皮残存。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V
358	祭祀具	人形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ H－8	(44.1)	(2.2)	(2.0)	目・鼻・口を切り込みによって表現。上下両端部を裏側から斜めに切り落として成形。	粗い	円筒状人形	芯持ち材	－	V
359	祭祀具	人形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－2	(43.8)	3.5	3.0	目・鼻・口を浅い彫り込みで表現。下端部は杭状に尖らせる。欠損部分が多く、状態不良。一部樹皮残存。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V
360	祭祀具	人形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－1	(30.4)	1.1	1.1	鼻・口を彫り込みで表現。上下両端欠損。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V
361	祭祀具	人形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－20	(20.0)	2.4	2.3	目・鼻を浅く彫り込んで表現。特に左目は、縦に3重に表現される。上下両端は欠損。	粗い	円筒状人形	芯持ち材	－	V
362	祭祀具	人形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－19	(14.4)	1.7	1.7	目・鼻・口を彫り込みで表現。上端部を斜めに切り落として、頭部を成形。	やや滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V
363	祭祀具	人形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	(13.5)	1.6	1.5	目・口・顎を浅い彫り込みで表現。頭部は3方向から削り落とす。	やや粗い	円筒状人形	芯持ち材	－	V
364	祭祀具	人形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－2	(10.0)	1.3	1.3	目を上下2段の彫り込みによって表現したものか。頭部に斜め上からの刃物傷有り。木の中心部が抜ける。上下両端欠損。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V
365	祭祀具	人形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－1	(5.8)	1.7	1.4	目・口・頬を浅い彫り込みで表現。上下両端欠損。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V
366	祭祀具	人形	SR3001	南区（00－1）	－	(7.1)	1.9	2.1	三面に顔を表現したものか。浅い彫り込みによって目・鼻・口を表現。	やや滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V
367	祭祀具	人形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－19	(11.9)	1.0	1.0	目・口・顎を浅い彫り込みによって表現。上部の一端を斜めに切り落とし、頭部を成形。下部欠損。	やや滑らか	円筒状人形	芯持ち材	ウツギ属	V
368	祭祀具	人形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－20	(31.3)	3.7	3.2	目・鼻・口を浅い彫り込みで表現。上端部は裏側からの削りで成形。大部分が樹皮に覆われている。下端部は杭状。	粗い	円筒状人形	芯持ち材	－	V
369	祭祀具	人形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	37.3	1.8	1.6	目・口を浅く彫り込んで表現。下端部は杭状に尖るように成形。上端は3回切り落とし、段を作って頭部を成形。一部樹皮残存。	やや滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V
370	祭祀具	人形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－3	36.5	1.8	1.5	目・口を浅い彫り込みで表現。下端は斜めに削って杭状に成形している。一部に樹皮有り。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V
371	祭祀具	人形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－19	(33.7)	1.8	1.9	目・鼻・口を彫り込みによって表現。下端は杭状に削り成形。芯持ち材中心は空洞化している。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V
372	祭祀具	人形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－1	(32.1)	2.6	2.25	線状の刻みによって目・鼻・口を表現。顎は大きく深い彫り込みによる。上端部は前面へ斜めに切り落として成形。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V
373	祭祀具	人形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－1	(14.3)	1.5	1.6	目・口・顎を浅い彫り込みによって表現。上端部は削り成形、下部欠損。	やや粗い	円筒状人形	芯持ち材	－	V
374	祭祀具	人形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－20	(14.0)	1.0	1.1	目・鼻・口を彫り込みによって表現。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V
375	祭祀具	人形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ M－18	(8.3)	1.4	1.4	目・口を浅い彫り込みで表現。細い芯持ち材の一端を切り落として頭部を成形。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V
376	祭祀具	人形	SR3001	南区（00－1）	－	(6.8)	(1.3)	1.5	目・口・顎を浅い彫り込みによって表現。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V
377	祭祀具	人形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ O－20	(7.0)	1.0	0.8	目・鼻・口を浅い彫り込みによって表現。上端部を前面に向かって斜めに切り落とす。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V
378	祭祀具	人形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ O－20	6.5	1.1	1.1	目・口を浅い彫り込みで表現。	粗い	円筒状人形	芯持ち材	－	V
379	祭祀具	人形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－20	8.1	0.6	0.6	上端部を前後斜めに切り落とし、下端部は周囲から鋭く杭状に削る。全体を細かい削りにより成形。上部は下部よりやや細い。目・口を小さな彫り込みで表現。	滑らか	立体人形	辺材	－	V
380	祭祀具	人形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－1	(16.1)	2.5	0.3	板の上部に両側から切り込みをいれ、頭部を成形。墨で顔を表現。手・足は下からの切り込みによって成形。	やや滑らか	正面全身人形	板目	－	V
381	祭祀具	人形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－1	17.6	(2.6)	0.3	380と酷似。ほぼ同じ特徴を持つ。	滑らか	正面全身人形	板目	－	V

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量L	法量W	法量H	特徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
382	祭祀具	人形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ Q－20	13.8	1.8	2.6	上端部は頸部を彫り込み、頭部を立体的に成形。目・鼻・口・首を彫り込んで表現。下端部にも同様に頭部を成形するが、顔の表現は無い。	滑らか	立体人形	辺材	－	V
383	祭祀具	舟形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－19	(22.4)	4.5	3.4	船首に上面からの削り有り。屋形部の削り出しが浅い。屋形船形。平底。	やや滑らか	A２類	芯持ち材	－	V
384	祭祀具	舟形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－20	20.1	2.8	2.1	樹皮が残存した状態で、２ヶ所に刳り込みを入れ、屋形部を成形。屋形船形。平底。	粗い	A２類	芯持ち材	－	V
385	祭祀具	舟形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－2	(18.7)	3.5	3.1	２ヶ所に刳り込みを入れ、屋形部を成形。屋形船形。平底。樹皮残存。	滑らか	A２類	芯持ち材	－	V
386	祭祀具	舟形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ I－19	(20.1)	3.5	2.6	船体上部を逆台形状に削る。屋形部は無く、丸木舟形に近い形状を呈する。平底。	やや滑らか	A２類	芯持ち材	－	V
387	祭祀具	舟形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－2	(16.6)	3.9	3.4	芯持ちの材の全面を削り船首、船尾と屋形部を削り出す。屋形船形。平底。	やや滑らか	A２類	芯持ち材	－	V
388	祭祀具	舟形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	16.0	4.6	4.1	芯持ち材に２ヶ所の刳り込みを入れて屋形部を成形。屋形船形。平底。樹皮残存。船首、船尾を両側から削って尖らせる。	滑らか	A２類	芯持ち材	－	V
389	祭祀具	舟形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－2	(13.4)	3.6	2.7	芯持ち材に２ヶ所の刳り込みを入れて屋形部を成形。屋形船形。丸底。	やや粗い	A２類	芯持ち材	－	V
390	祭祀具	舟形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－3	(12.5)	2.4	2.5	芯持ち材の一端を斜めに削る。浅い削り出しにより船体を表現。丸底。	やや滑らか	A２類	芯持ち材	－	V
391	祭祀具	舟形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ H－4	(10.7)	2.1	1.9	上面に樹皮が残存する芯持ち材に刳り込みを入れる。船尾欠損。屋形船形。丸底。	やや粗い	A２類	芯持ち材	－	V
392	祭祀具	舟形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－1	(17.3)	3.7	3.7	船首、船尾の両端からの削り出しによって屋形部を成形。屋形船形。平底。	やや粗い	A２類	辺材	－	V
393	祭祀具	舟形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－3	18.7	3.1	3.9	船体上部の中央を刳り込むことで、屋形部のない船体を表現する。屋形船形。平底。	滑らか	A２類	芯持ち材	－	V
394	祭祀具	舟形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－4	(16.2)	3.8	2.8	芯持ち材に２ヶ所の刳り込みを入れて屋形部を成形。屋形船形。平底。部分的に樹皮残存。	やや滑らか	A２類	芯持ち材	－	V
395	祭祀具	舟形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－20	18.1	3.5	3.2	船首、船尾の両端から浅く削りだして屋形部を成形。屋形船形。平底。392に類似する。	やや滑らか	A２類	芯持ち材	－	V
396	祭祀具	舟形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－5	(17.7)	3.6	2.7	船首、船尾の両端から浅く削りだして屋形部を成形。屋形船形。平底。392に類似する。	滑らか	A２類	芯持ち材	－	V
397	祭祀具	舟形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ H－2	15.8	3.6	3.8	２ヶ所の浅い刳り込みによって屋形部を粗く成形。屋形船形。平底。	やや滑らか	A２類	芯持ち材	－	V
398	祭祀具	舟形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－3	(17.0)	4.0	3.7	芯持ち材に２ヶ所の刳り込みを入れて屋形部を成形。摩滅、欠損が激しい。屋形船形。平底。	やや粗い	A２類	芯持ち材	－	V
399	祭祀具	舟形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－20	(14.9)	3.4	3.9	船首に１ヶ所、浅い刳り込み有り。船尾部は欠損。屋形船形か。平底。	やや粗い	A２類	芯持ち材	コナラ属アカガシ亜属	V
400	祭祀具	舟形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－3	(14.1)	3.6	2.7	両端を欠損。２ヶ所の浅い刳り込みによって屋形部を成形。屋形船形。丸底。全体につぶれて変形。	やや粗い	A２類	芯持ち材	－	V
401	祭祀具	舟形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－1	(15.7)	3.7	3.0	芯持ち材に２ヶ所の刳り込みを入れて屋形部を成形。両端は側面からの削りにより細く成形。屋形船形。平底。388に類似する。	やや滑らか	A２類	芯持ち材	－	V
402	祭祀具	舟形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－20	(19.5)	3.1	3.9	芯持ち材の２ヶ所に丁寧な刳り込みを入れて屋形部を成形。屋形船形。平底。	やや滑らか	A２類	芯持ち材	－	V
403	祭祀具	舟形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－1	16.4	4.2	4.1	船首、船尾の両端からの削りだしによって屋形部を成形。屋形船形。平底。屋形部に樹皮残存。392に類似する。	滑らか	A２類	芯持ち材	－	V
404	祭祀具	舟形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－20	(16.2)	2.3	2.2	芯持ち材の２ヶ所に浅い刳り込みを入れて屋形部を成形。屋形船形。丸底。船尾は一部欠損。	やや粗い	A２類	芯持ち材	－	V
405	祭祀具	舟形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－1	(13.1)	3.1	3.2	芯持ち材の２ヶ所に浅い刳り込みを入れて屋形部を成形。屋形船形。丸底。樹皮残存。	やや粗い	A２類	芯持ち材	－	V
406	祭祀具	舟形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－3	(11.5)	2.2	2.0	未製形の芯持ち材に刳り込みを入れて粗く屋形部を成形。船尾部分欠損。屋形船形。丸底。	滑らか	A２類	芯持ち材	－	V
407	祭祀具	舟形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－20	16.4	3.0	1.9	船体の上部中央を薄く削り、船首と船尾を残して成形。丸木舟形か。平底。	やや粗い	A１類	辺材	－	V
408	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－20	(20.0)	2.3	0.5	板材の両端をそれぞれ１側面から削り、台形状に成形。	やや粗い	AⅠ型式	板目	－	V
409	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－20	(19.3)	2.4	0.5	板材の両端をそれぞれ１側面から鋭く斜めに切り落とし成形。切り込み：左側に下から１回。	やや滑らか	AⅢ型式	板目	－	V

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点（大グリッド）（中グリッド）（小グリッド）	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
410	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－19	9.3	2.0	0.1	両面に墨痕有り。上下端ともに1方向からの削りによって台形状に成形。	やや滑らか	AⅠ型式	板目	－	V
411	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－20	(11.0)	1.9	0.1	両面に墨痕有り。上下端ともに1方向からの削りによって台形状に成形。410に類似。	粗い	AⅠ型式	板目	－	V
412	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	(28.5)	2.5	0.3	切り込み：右側上部に上から2回。左右非対称。左側は三角形の大きな切り込み有り。	滑らか	AⅢ型式	板目	－	V
413	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－20	20.2	2.3	0.6	上下端とも1方向からの削りによって台形状に成形。切り込み：左側上部に下から1回。	やや滑らか	AⅢ型式	板目	－	V
414	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－20	19.4	2.5	0.5	上下端とも1方向からの削りによって台形状に成形。切り込み：左側に下から1回。	滑らか	AⅢ型式	板目	－	V
415	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－20	(19.2)	2.3	0.5	上下端とも1方向からの削りによって台形状に成形。切り込み：左側上部に下から1回。上端部に削り面。	やや滑らか	AⅢ型式	板目	－	V
416	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－4	(18.3)	1.6	0.2	切り込み：左側上部に上から1回、右側上部に上から2回。	粗い	AⅢ型式	柾目	－	V
417	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－20	(12.2)	1.7	0.3	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	滑らか	AⅢ型式	板目	－	V
418	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－20	19.9	4.1	0.5	4片接合。上下両端とも両側からの削りによって尖らせている。	やや粗い	BⅠ型式	柾目	－	V
419	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－20	7.3	0.8	0.2	上下両端とも両側からの削りによって尖らせている。中央部に孔有り。	やや粗い	BⅠ型式	板目	－	V
420	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ O－20	7.0	1.1	0.4	圭頭状を呈する。下部は下端に向かって幅が狭く、先端は尖っている。	滑らか	BⅠ型式	板目	－	V
421	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ O－20	(9.3)	1.4	0.3	圭頭状を呈する。	滑らか	CⅠ型式	板目	－	V
422	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－20	(12.6)	2.2	0.3	下端部は削りにより尖る。上部欠損のため、切り込みの型式は不明。	やや滑らか	C型式	板目	－	V
423	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－2	(17.9)	(2.1)	(0.5)	中央部が細く成形されている。下端部は尖る。切り込み不明。	やや粗い	C型式	板目	－	V
424	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－20	14.0	1.6	0.8	厚みがあり、断面5角形を呈す。下端部は尖る。	やや粗い	C型式	板目	－	V
425	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－20	(12.9)	1.8	0.3	下端部は1方向からの削りによって尖らせる。	やや粗い	C型式	板目	－	V
426	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－20	(49.1)	2.1	1.1	断面は四角形で、圭頭状を呈する。下部欠損。表面に大きく削った痕有り。粗い削り。	やや滑らか	CⅠ型式	板目	－	V
427	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－19	41.5	1.3	0.3	圭頭状を呈し、下端は鋭く尖らせる。切り込み無し。	粗い	CⅠ型式	板目	－	V
428	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－19	(23.7)	1.2	0.4	上端は大部分が1方向からの削りによって尖らせる。切り込み無し。	やや滑らか	CⅠ型式	板目	－	V
429	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－19	(16.4) (1.7)	1.4	0.3	切り込み無し。	粗い	CⅠ型式	板目	－	V
430	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－3	(11.5)	1.4	0.4	切り込み無し。	やや粗い	CⅠ型式	柾目	－	V
431	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－20	24.5	2.2	0.3	切り込み：左右両側上部に上から各2回。	やや粗い	CⅢ型式	板目	－	V
432	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－20	20.6	1.1	0.2	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	滑らか	CⅡ型式	辺材	－	V
433	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－3	(17.3)	1.5	0.9	切り込み：右側上部に上から1回。	粗い	CⅡ型式	柾目	－	V
434	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ N－18	(20.0)	1.4	0.6	切り込み：左右両側に上から各2回。	やや滑らか	CⅢ型式	板目	－	V
435	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	27.7	1.4	0.4	切り込み：左側上部に上から1回、右側上部に上から2回。	やや滑らか	CⅢ型式	柾目	－	V
436	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	(26.1)	2.3	0.4	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	やや滑らか	CⅢ型式	板目	－	V
437	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	25.7	1.8	0.4	表面やや丸みが有る。切り込み：左側上部に上から1回（2回にみえるが、年輪で表面剥離）、右側上部に上から1回。	粗い	CⅢ型式	板目	－	V
438	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－20	21.7	1.1	0.2	切り込み：左側上部に上から3回、右側上部に上から1回。	滑らか	CⅢ型式	板目	－	V
439	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	27.7	1.5	0.5	切り込み：左側上部に上から1回、右側上部に上から1回。	滑らか	CⅢ型式	板目	－	V

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量 L	法量 W	法量 H	特徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
440	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－1	(18.0)(8.8)	1.3	0.3	切り込み：左側上部に上から2回、右側上部に上から1回。	粗い	C Ⅲ型式	板目	－	V
441	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－3	(30.7)	2.2	0.2	3片接合。切り込み：左側上部に下から5回、右側上部に下から1回。以下欠損のため不明。	粗い	C Ⅲ型式	柾目	－	V
442	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－19	(19.4)	2.1	0.1	切り込み：左側上部に上から1回、右側上部に上から2回。	やや粗い	C Ⅲ型式	板目	－	V
443	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－20	16.5	1.7	0.3	切り込み：左右両側上部に上から各1回。上端と下端の厚みが異なる。粗く削った簡単なつくり。	やや滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	V
444	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	16.5	1.9	0.3	切り込み：左側上部に上から3回、右側上部に上から2回。	やや滑らか	C Ⅲ型式	柾目	－	V
445	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－20	16.0	3.0	0.2	切り込み：左右両側上部に上から各1回。右側面部は欠損。	やや粗い	C Ⅲ型式	板目	－	V
446	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－4	14.8	1.6	0.2	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	V
447	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	(12.7)	1.5	(0.3)	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	粗い	C Ⅲ型式	柾目	－	V
448	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－20	(15.5)	2.4	0.3	上端は圭頭状、下端はやや細く尖らせる。	やや滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	V
449	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	－	(16.1)	(1.9)	(0.4)	切り込み：左側上部に上から3回、右側上部に上から4回。	やや粗い	C Ⅲ型式	板目	－	V
450	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	(15.3)	1.9	0.4	切り込み：左側上部に上から2回。右側上部に上から1回。	滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	V
451	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	(16.1)	1.9	0.4	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	V
452	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－20	(15.3)	2.9	0.4	粗く削って成形しているため、形状不整。切り込み：右側上部に上から1回。上下両端、左側上部に欠損有り。	滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	V
453	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－20	(14.9)	1.8	0.3	切り込み：左側上部に上から3回。右側上部に上から2回。縦方向の裂け目有り。	やや粗い	C Ⅲ型式	板目	－	V
454	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	(15.7)	1.5	0.3	切り込み：左側上部に上から2回。右側上部に上から5回。	やや滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	V
455	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	(14.0)	2.0	0.2	切り込み：左側上部に上から1回。右側上部に上から2回。	やや粗い	C Ⅲ型式	板目	－	V
456	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	(13.4)	2.8	0.3	切り込み：左側上部に上から1回。右側面欠損により不明。	やや粗い	C Ⅲ型式	板目	－	V
457	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－20	15.5	1.8	0.3	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	やや滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	V
458	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	(12.5)	2.0	0.2	切り込み：左側に下から19回、右側に下から13回。	やや滑らか	C Ⅲ型式	柾目	－	V
459	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－19	(12.6)	1.4	0.2	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	やや滑らか	C Ⅲ型式	柾目	－	V
460	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－20	(11.5)	1.7	0.3	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	やや滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	V
461	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－3	(10.5)	1.9	1.5	切り込み：左側上部に上から2回、右側上部に上から3回。	やや滑らか	C Ⅲ型式	柾目	－	V
462	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－19	(8.3)	2.1	0.3	切り込み：左側上部に上から3回、右側上部に上から4回。	やや粗い	C Ⅲ型式	板目	－	V
463	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－20	(8.7)	1.1	0.2	切り込み：左側上部に上から1回、右側上部に上から2回。	粗い	C Ⅲ型式	柾目	－	V
464	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－20	(9.3)	2.1	0.3	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	粗い	C Ⅲ型式	板目	－	V
465	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	(7.5)	1.6	0.2	切り込み：左側上部に下から9回以上。右側上部に下から11回以上。	やや粗い	C Ⅲ型式	柾目	－	V
466	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－2	(6.3)	1.2	0.1	切り込み：左右両側上部に上から5回以上。	粗い	C Ⅲ型式	柾目	－	V
467	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－20	(10.5)	1.9	0.3	切り込み：左側上部に上から6回、右側上部に上から7回。	やや粗い	C Ⅳ型式	板目	－	V
468	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－19	44.5	(2.9)	0.4	切り込み：左右両側上部に上から各10回。下から各7回。	やや粗い	C Ⅴ型式	板目	－	V
469	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－19	43.4	2.6	0.3	切り込み：左右両側上部に上から各9回、下から各7回。	やや滑らか	C Ⅴ型式	板目	－	V

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
470	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－19	(44.5)	(2.7)	(0.4)	切り込み：左右両側上部に上から各11回、下から各6回。	やや滑らか	ＣⅤ型式	柾目	－	Ⅴ
471	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－19	43.2	2.6	0.4	切り込み：左側上部に上から10回、下から8回、右側上部に上から8回、下から9回。	粗い	ＣⅤ型式	板目	－	Ⅴ
472	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－4	34.5	2.2	0.1	切り込み：左側上部に下から10回、下部に上から7回。右側上部に下から10回、下部に上から8回。	やや粗い	ＣⅤ型式	柾目	－	Ⅴ
473	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－4	33.3	2.6	0.3	切り込み：左側上段に下から3回、中段に下から3回、下段に上から8回　右側上段～中段に下から11回、下段に上から7回。	やや滑らか	ＣⅤ型式	柾目	－	Ⅴ
474	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－20	32.0	1.8	0.4	切り込み：左側上部の上段に上から5回、中段に下から7回、下段に上から5回。右側上部の上段に上から5回、中段に下から6回、下段に上から6回。	やや滑らか	ＣⅤ型式	板目	－	Ⅴ
475	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－19	29.7	2.5	0.2	切り込み：左側上部に上から1回、下から1回。右側上部に上から2回、下から1回。すべて欠損している。	滑らか	ＣⅤ型式	柾目	－	Ⅴ
476	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－1	(13.0)(21.7)	1.5	0.3	切り込み：左側上部の上段に上から2回で5ヶ所、中段に1回1ヶ所。下段に下から6回。右側上部に上から1回。下から2回。	やや滑らか	ＣⅤ型式	柾目	－	Ⅴ
477	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	(27.0)	2.5	0.4	切り込み：左側上部の上段に下から3回、中段に下から2回、下段に上から12回、右側上部の上段に下から11回、下段に上から16回。	やや粗い	ＣⅤ型式	柾目	－	Ⅴ
478	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	(30.0)	(2.5)	(0.5)	切り込み：左側上部に上から14回、下から4回。右側上部に上から14回、下から5回。	粗い	ＣⅤ型式	板目	－	Ⅴ
479	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－1	(14.3)(12.0)	1.7	0.3	切り込み：左側中央部に上から5回、下から4回。右側上部に上から2回、中央部に上から3回。	粗い	ＣⅤ型式	板目	－	Ⅴ
480	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ H－6	21.2	1.3	0.2	切り込み：左側上部に上から1回6ヶ所、2回が1ヶ所。下部に下から1回。右側上部に上から1回5ヶ所、2回1ヶ所。	やや滑らか	ＣⅤ＋型式	板目	－	Ⅴ
481	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－19	(17.1)	1.7	0.4	切り込み：左側上部に上から10回、下から6回。右側上部に上から10回、下から5回。	粗い	ＣⅤ型式	板目	－	Ⅴ
482	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－20	(16.2)	2.7	0.3	切り込み：左側上部に上から8回、下から7回。右側上部に上から7回、下から7回。	やや粗い	ＣⅤ型式	板目	－	Ⅴ
483	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	(13.8)	2.9	4.0	切り込み：左側上部に上から12回、下から12回。右側上部に上から14回、下から11回。	やや滑らか	ＣⅤ型式	板目	－	Ⅴ
484	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ H－3	(7.8)	1.9	0.4	切り込み：左側上部に上から13回、右側上部の上段に下から10回。下段に下から6回。	粗い	ＣⅤ型式	板目	－	Ⅴ
485	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	(12.7)	2.0	0.3	切り込み：左側上部に上から9回、下から14回。右側上部に上から6回、下から10回。	やや粗い	ＣⅤ型式	柾目	－	Ⅴ
486	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－20	(14.7)	(1.4)	(0.3)	切り込み：左側上部に上から8回。右側上部に下から9回。	やや滑らか	ＣⅤ型式	板目	－	Ⅴ
487	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－3	18.0	2.0	0.8	やや厚手の板の上端を圭頭状に削り、上部両側に三角形の抉りを入れる。下端は両側から尖らせる。木簡の033形式に類似。	滑らか	ＣⅥ型式	板目	－	Ⅴ
488	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－20	(17.8)	2.1	0.2	上端を圭頭状に削り、上部両側に三角形の抉りを入れる。下端は両側から尖らせる。	粗い	ＣⅥ型式	柾目	－	Ⅴ
489	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－20	55.6	1.7	0.3	切り込み：左右両側上部に上から各4回、下から各4回。	滑らか	ＣⅤ型式	板目	－	Ⅴ
490	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－20	(36.5)	1.8	0.5	切り込み：左側中央部に下から3回。右側上部に上から5回、中央部に下から8回。	粗い	ＣⅤ型式	板目	－	Ⅴ
491	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ O－20	33.8	2.1	0.4	切り込み：左側上部の上段に上から2回、中段に下から7回、下段に上から1回。右側上部に下から6回。	粗い	ＣⅤ型式	柾目	－	Ⅴ
492	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－4	(34.5)	0.9	0.7	上部欠損。下端を鋭く尖らせる。刺串か。	やや滑らか	ＤⅠ型式	板目	－	Ⅴ
493	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	30.0	1.9	0.6	表裏共に全面削り。上端は圭頭状を呈し、下端は徐々に細く削らせる。	滑らか	ＤⅠ型式	板目	－	Ⅴ
494	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－20	(21.1)	1.0	0.9	切り込み：右側上部に下から4回深く入る。下端は鋭利に尖っている。断面正方形。刺串か。	やや滑らか	Ｄ型式	辺材	－	Ⅴ
495	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ P－1	(15.6)	2.7	0.9	切り込み：左側上部に上から2回、右側上部に上から1回。上部欠損。	やや滑らか	ＤⅡ型式	板目	－	Ⅴ
496	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	29.6	1.9	0.4	切り込み：右側上部に上から2回。上端は斜めに削る。	やや滑らか	ＤⅢ型式	板目	－	Ⅴ
497	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	(13.5)	0.9	0.9	切り込み：右側に下から2ヶ所。先端部は鋭利に尖っている。断面正方形。刺串か。	滑らか	ＤⅢ型式	辺材	－	Ⅴ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
498	祭祀具	斎串	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－1	21.4	2.2	0.6	上下端部の左右に三角形の抉り有り。下端がやや細く成形。木簡の031形式に類似。	滑らか	D Ⅵ型式	板目	－	Ⅴ
499	雑具	自在	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	(13.5)	5.1	1.6	自在鉤の上部に使われていた部材。板の両端に貫通する孔をあけている。	やや滑らか		板目	コナラ属アカガシ亜属	Ⅴ
500	部材	板材	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－2	(7.4)	10.2	1.0	曲物の一部を切り折りしたもの。転用して木簡などに使用した残りの板材か。	やや滑らか		板目	－	Ⅴ
501	部材	部材	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ M－18	5.9	7.7	3.6	辺材の使用。上部が細くなるように成形されている。	やや滑らか		板目	－	Ⅴ
502	部材	部材	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－4	7.1	3.2	2.0	上部はキノコの傘のように張り出し、その下は細く削っている。下面に貫通しない穴が有る。ホゾ穴か。	やや滑らか		柾目	－	Ⅴ
503	部材	部材	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－20	3.7	1.7	1.4	円柱状の木の上下両端を中心に向かって削って尖らせる。下面の中央部に深さ3.3cmの穴があいているが、貫通していない。	やや滑らか		芯持ち材	－	Ⅴ
504	部材	部材	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－4	3.9	1.5	1.5	503に類似しているが、中心に径0.3cmの穴が有る。	やや滑らか		芯持ち材	－	Ⅴ
505	部材	部材	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－3	(11.3)	2.3	2.0	棒状木製品の下端部を削り六角形に成形。中央部に穿孔有り。	滑らか		芯持ち材	－	Ⅴ
506	部材	部材	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－20	61.7	2.9	2.7	上端部は杭状に尖らせる。上部には削りによる断面台形状の抉りと浅い削り痕有り。下部は削り落とし。	滑らか		芯持ち材	－	Ⅴ
507	部材	棒状木製品	SR3001	南区(00－1)	－	20.0	0.7	0.7	断面は不整八角形。上下端を斜めに削り落とす。刺串か。	やや粗い		辺材	－	Ⅴ
508	部材	部材	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－5	(13.7)	1.7	0.8	側面に断面正方形の木釘1ヶ所残存。	やや粗い		柾目	－	Ⅴ
509	部材	部材	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－2	16.5	3.0	1.4	全体的に摩滅している。	やや粗い		柾目	－	Ⅴ
510	用途不明	不明	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－1	14.1	4.7	0.6	木の葉形に成形。穿孔6ヶ所有り。裏面は粗く仕上げる。	滑らか		板目	－	Ⅴ
511	部材	不明	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－19	(13.6)	3.6	1.0	両端部に穿孔2ヶ所有り。全体を削りによって楕円形に成形。	やや滑らか		辺材	－	Ⅴ
512	部材	不明	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ H－2	(5.0)	0.7	0.5	下端部を尖らせる。	滑らか		辺材	－	Ⅴ
513	部材	不明	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－20	(5.4)	(7.0)	0.4	木釘が4枚の板にささった状態で残存。板は柾目、木釘は辺材である。	やや滑らか		柾目	－	Ⅴ
514	部材	部材	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－20	(18.0)	1.9	0.6	上部に穿孔3ヶ所有り。	やや粗い		柾目	－	Ⅴ
515	部材	部材	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ H－5	(22.2)	0.9	0.4	表面中央部に刳り込み有り。	滑らか		板目	－	Ⅴ
516	杭	杭	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	(29.5)	1.2	0.8	下端部を尖らせる。断面は長方形。	やや滑らか		辺材	－	Ⅴ
517	杭	杭	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	(21.4)	1.1	1.0	角柱状で下端は四方からの削りにより尖らせる。断面は長方形。	滑らか		辺材	－	Ⅴ
518	杭	杭	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	(21.4)	1.5	0.8	角柱状で下端は両側面からの削りにより鋭利に尖らせる。	やや滑らか		辺材	－	Ⅴ
519	杭	杭	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	(20.0)	1.3	0.9	下端は両側面からの削りにより尖らせる。	やや滑らか		辺材	－	Ⅴ
552	農具	木錘	SR3001	南区(00－1)	－	15.7	5.0	4.1	芯持ち材の中央部を削って細く整形。	やや粗い		芯持ち材	－	Ⅵ
553	容器	円形曲物側板	SR3001	南区(00－1)	－	19.1	20.5	器高5.2	樺皮結合用小孔1ヶ所残存。内面に罫引線有り。復元径＝20.5cm。	やや粗い	樺皮結合曲物	柾目	ヒノキ	Ⅵ
554	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ Q－3	(18.6)	(7.7)	0.6	不明の穿孔1ヶ所残存。側板による円周状の圧痕有り。側板の内側に樺皮結合用小孔が2ヶ所残存。復元径＝18.6cm。	滑らか	樺皮結合曲物E型式	板目	－	Ⅵ
555	部材	部材	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ K－19	(29.8)	2.5	0.7	上部の両側面に三角形の切り欠き有り。	粗い		板目	－	Ⅵ
556	部材	部材	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ K－20	(36.6)	2.5	0.5	上部の両側面に三角形の切り欠き有り。555に類似するが、上端は折れ。	やや滑らか		板目	－	Ⅵ
557	祭祀具	人形	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ M－18	9.0	2.9	3.0	芯持ち材に目・口を彫り込み顔を表現。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	サクラ属	Ⅵ
558	祭祀具	鳥形か	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－20	1.5	11.5	0.3	首を伸ばした状態を表現か。	やや滑らか	A型式	板目	ヒノキ	Ⅵ
559	祭祀具	舟形	SR3001	南区(00－1)	－	17.5	3.8	3.5	船首の側面に削りがある。船尾は欠損。屋形船形。平底。	やや粗い	A2類	芯持ち材	ヤナギ属	Ⅵ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点（大グリッド）（中グリッド）（小グリッド）	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
560	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－20	48.0	2.3	3.5	切り込み：左側上部に下から1回、中央部に下から1回が2ヶ所。右側は下から1回が9ヶ所。	粗い	B Ⅳ型式	板目	－	Ⅵ
561	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	－	(6.5)	1.7	0.3	切り込み：左側に上から7回、右側に上から6回。	やや粗い	C Ⅲ型式	柾目	－	Ⅵ
562	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ K－6	(16.4)	2.0	0.4	下端部を尖らせる。	やや滑らか	C 型式	板目	－	Ⅵ
563	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－20	(16.2)	1.8	3.0	切り込み：左右両側の上端に上から各1回。	滑らか	C Ⅲ型式	柾目	－	Ⅵ
564	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ L－18	(67.8)	8.0	1.4	やや厚手の板の上端を圭頭状に成形し、下部はやや細く削る。斎串としては大形。	やや滑らか	C Ⅰ型式	板目	－	Ⅵ
565	杭	杭	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ H－8	(32.5)	(1.3)	0.8	下端部を尖らせる。	滑らか		辺材	－	Ⅵ
566	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ O－4	(13.2)	3.0	0.4	大形の斎串の下端部か。	粗い	C 型式	板目	ヒノキ	Ⅵ
567	杭	杭	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ O－1	29.0	1.9	1.5	側面を丁寧に面取りして、緩やかな多角形に成形。上部に1ヶ所削り込み有り。下端部は杭状に成形。	滑らか		辺材	－	Ⅵ
573	祭祀具	人形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F・G－2	(16.7)	2.3	0.2	顔を墨で表現。左手部分に切り込み3回。	滑らか	正面全身人形	板目	－	Ⅷ
574	祭祀具	舟形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ H－1	(12.7)	(4.2)	(3.9)	大まかな削りによって屋形部を削り出す。船尾欠損。屋形船形。平底。	やや粗い	A 2 類	芯持ち材	－	Ⅷ
575	祭祀具	舟形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ M－8	(10.1)	(3.1)	2.3	船尾欠損。屋形船形。平底。	やや粗い	A 2 類	芯持ち材	ツブラジイ	Ⅷ
576	部材	部材	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ H－1	(8.2)	3.7	1.2	厚めの板を刳り込んで、凹みを付けたもの。下部欠損。	滑らか		板目	－	Ⅷ
582	工具	篦	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－19	21.1	1.8	0.6	4面ともに丁寧な削りにより成形。	滑らか		板目	－	Ⅸ
583	漁猟具	櫂か	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ I－2	(55.0)	(9.0)	4.0	水かきの先端を片面から削って薄く成形。全体に摩滅している。	粗い		辺材	ヒノキ	Ⅸ
584	祭祀具	人形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ N－3	30.2	2.0	2.0	上端を斜めに切り落とす。目・口を浅く彫り込んで表現。全体に樹皮が残存。	粗い。	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅸ
585	祭祀具	舟形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ P－5	(18.0)	5.3	3.2	船首・船尾は欠損。船体上部を刳り込んで屋形部を削り出す。粗い成形。屋形船形。平底。	粗い	A 2 類	芯持ち材	－	Ⅸ
586	祭祀具	舟形	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ P－8	(23.2)	(4.6)	(3.2)	芯持ちの板材から成形。屋形部は浅い削りで成形。全体的に粗い成形。屋形船形。	粗い	A 2 類	芯持ち材	－	Ⅸ
587	祭祀具	舟形	SR3001	南区（00－1）	－	19.0	3.5	3.5	船体上部は両端からの浅い削りによって屋形部を成形。右側面に削り有り。屋形船形。平底。樹皮一部残存。	やや滑らか	A 2 類	芯持ち材	－	Ⅸ
588	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ K－1	25.7	2.5	0.2	上端部は斜めに切り落とす。	やや滑らか	A 型式	板目	－	Ⅸ
592	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（00－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	23.0	(8.5)	0.8	摩滅のため破損部分多い。裏面はほとんど欠損。復元径＝23.0cm。	粗い	結合方法不明曲物	板目	ヒノキ	
593	祭祀具	舟形	SR3001	南区（00－1）	－	17.3	3.4	3.4	両端からの削りによって屋形部を成形。摩滅、圧迫による傷み多し。屋形船形。平底。	やや粗い	A 2 類	芯持ち材	－	
594	祭祀具	舟形	SR3001	南区（00－1）	－	16.7	3.7	2.7	両端からの浅い削りによって屋形部を成形。側面も削る。屋形船形。平底。	滑らか	A 2 類	芯持ち材	－	
595	祭祀具	斎串	SR3001	南区（00－1）	－	(7.1)	1.4	0.3	切り込み：左側は下から3回、右側は上から1回。上端は斜めに切り落とす。	やや粗い	A 型式	板目	－	
597	農具	編棒	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ M－18	(31.2)	2.0	1.2	下端部を丁寧に削って丸く成形。全体にやや楕円形の断面。	やや粗い		辺材	－	Ⅱ
598	農具	編棒	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ K－17	(14.7)	1.3	1.3	全面を削って棒状に成形。片側から抉りを入れた鉤状の部分有り。	やや滑らか		辺材	－	Ⅱ
599	紡織具	中筒	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ K－17	(36.2)	5.6	2.5	厚い板の両端部に抉りを入れ、I字状を呈する。一端は欠損。	やや滑らか		板目	－	Ⅱ
600	紡織具	織機	SR3001	南区（04－2）		(26.1)	2.3	1.1	摩耗により、加工痕不明。	粗い		板目	－	Ⅱ
601	服飾具	檜扇	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ K－17	(18.7)	(1.4)	0.2	要の部分に小さな円孔1ヶ所有り。3片が残存。いずれも下端部欠損。LWHは残存状態のもっとも良い1片の値。	やや滑らか	A 型式	板目	－	Ⅱ
602	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ M－17	(15.7)	(5.8)	0.7	樺皮結合紐2ヶ所残存。復元径＝16.8cm。	やや粗い	樺皮結合曲物E型式	柾目	－	Ⅱ
603	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ K－17	(14.1)	(5.3)	0.6	側板による円周状の圧痕残存。樺皮結合用小孔2ヶ所に樺皮結合紐残存。復元径＝16.4cm。	やや滑らか	樺皮結合曲物E型式	板目	－	Ⅱ
604	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ M－17	16.5	(3.9)	0.6	側板による円周状の圧痕。樺皮結合用小孔1ヶ所残存。復元径＝16.4cm。	やや粗い	樺皮結合曲物E型式	柾目	－	Ⅱ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量L	法量W	法量H	特徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
605	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ M－17	16.0	(3.9)	0.6	側板による圧痕一部残存。樺皮結合用小孔1ヶ所残存。復元径＝16.0cm。	やや粗い	樺皮結合曲物E型式	板目	－	Ⅱ
606	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ L－17	14.4	(6.0)	0.7	側板による圧痕有り。復元径＝14.4cm。	滑らか	結合方法不明E型式	板目	－	Ⅱ
607	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ Q－16	(12.7)	(4.6)	0.5	縁辺は削りにより円形に成形。復元径＝13.6cm。	やや粗い	結合方法不明曲物	板目	－	Ⅱ
608	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ I－18	(10.5)	(2.6)	0.5	欠損多く型式不明。復元径＝15.1cm。	滑らか	結合方法不明曲物	柾目	－	Ⅱ
609	容器	方形曲物底板	SR3001	南区(04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ K－17	26.5	(4.1)	0.3	樺皮結合紐2ヶ所残存。底板を結合したものか。両端は中央部より薄く成形。	滑らか	結合方法不明曲物	板目	－	Ⅱ
610	容器	楕円形曲物底板	SR3001	南区(04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ K－17	(23.3)	(8.3)	0.7	側板による円周状の圧痕の一部が残存。	滑らか	結合方法不明E型式	板目	－	Ⅱ
611	容器	挽物基部	SR3001	南区(04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ L－17	7.0	7.0	2.1	裏面にロクロの爪による傷と、爪の傷によると思われる割れ、それぞれ2ヶ所残存。転用か。	粗い		横木取	－	Ⅱ
612	食事具	箸	SR3001	南区(04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ K－17	(25.8)	1.0	0.6	細長い棒を削り丸く成形。先は細く尖らせる。	滑らか		辺材	－	Ⅱ
613	文房具	木札	SR3001	南区(04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ R－15	(6.6)	3.2	0.5	上端の両側面に各1ヶ所の切り欠き有り。	滑らか	付札形	柾目	－	Ⅱ
614	文房具	木札	SR3001	南区(04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ M－17	(8.8)	3.1	1.0	上端の両側面に各1ヶ所の切り欠き有り。	滑らか	付札形	板目	－	Ⅱ
615	文房具	木札	SR3001	南区(04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ L－17	7.7	1.9	0.5	長方形の板状。	滑らか		板目	－	Ⅱ
616	祭祀具	人形	SR3001	南区(04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ I－18	(9.6)	2.4	0.2	薄い板に墨で顔と服を表現。	滑らか	正面全身人形	板目	－	Ⅱ
617	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ L－17	12.4	1.2	0.2	幅の狭い平行四辺形状を呈する。	やや滑らか	AⅠ型式	板目	－	Ⅱ
618	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ R－15	(11.9)	4.5	1.0	上端部が圭頭状を呈する。	粗い	CⅠ型式	板目	－	Ⅱ
619	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ Q－16	(13.8)	2.5	0.5	切り込み：左側中央部に上から1回、他は上部欠損により不明。	やや滑らか	CⅢ型式	柾目	－	Ⅱ
620	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ L－18	(19.8)	1.3	0.3	切り込み：右側中央部に下から1回。	滑らか	CⅢ型式	板目	－	Ⅱ
621	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ M－17	(12.0)	1.7	0.3	切り込み：左右両側とも下から4回。	やや粗い	CⅢ型式	板目	－	Ⅱ
622	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ M－17	(34.3)	(3.3)	0.6	上部欠損。下部はやや細く成形。	やや滑らか	C型式	板目	－	Ⅱ
623	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ L－18	(15.1)	1.4	0.4	やや厚手の板の下端を尖らせる。	滑らか	C型式	柾目	ツガ属	Ⅱ
624	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ L－18	(11.7)	1.7	0.5	細長い薄板の両側から削り、下端を尖らせている。	滑らか	C型式	板目	－	Ⅱ
625	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ M－17	(7.6)	1.1	0.3	下部の大部分を欠損し、切り込みは不明。圧迫により変形している。	やや滑らか	C型式	板目	－	Ⅱ
626	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ O－17	(19.5)(9.2)	2.0	0.4	下端は片側から削って尖らせる。	やや粗い	DⅠ型式	板目	－	Ⅱ
627	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ L－17	28.6	1.2	0.6	下端部削りによって尖らせる。断面楕円形。	やや粗い	DⅠ型式	板目	－	Ⅱ
628	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ L－17	(18.2)	0.8	0.8	上端部は両側から斜めに切り込み中央を尖らせる。	滑らか	DⅠ型式	柾目	－	Ⅱ
629	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ L－18	(21.8)	0.7	0.7	下端は3方向からの削りによって尖らせる。断面は正方形。刺串か。	滑らか	D型式	辺材	－	Ⅱ
630	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ L－17	(9.5)	0.8	0.3	下端を鋭利に尖らせる。	滑らか	D型式	板目	－	Ⅱ
631	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ K－17	(12.7)	3.2	0.4	欠損のため形状不明。	やや粗い	不明	板目	－	Ⅱ
632	祭祀具	棒状祭祀具	SR3001	南区(04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ K－18	(74.0)	1.5	0.8	下端は削りによって細く成形。	粗い		板目	－	Ⅱ
633	部材	板材	SR3001	南区(04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ L－17	9.6	3.4	1.4	厚い板の角を丁寧に面取りして成形。	やや滑らか		板目	－	Ⅱ
634	部材	台座	SR3001	南区(04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ M－18	4.3	(22.3)	1.1	長方形の板材に、弧状の刳形を入れる。	やや粗い		板目	－	Ⅱ
635	部材	部材	SR3001	南区(04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ J－18	4.3	4.3	0.9	厚みのある板を丸く削り、中央に穴をあける。座金か。	やや滑らか		板目	－	Ⅱ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点（大グリッド）（中グリッド）（小グリッド）	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
636	部材	部材	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－17	35.4	2.0	1.9	上下両端をＬ字に加工し、ホゾを成形。	滑らか		辺材	－	Ⅱ
643	部材	不明	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－19	5.8	5.0	0.9	四角い板の角を削り楕円状に成形。中心から外れた場所に穿孔有り。	滑らか		板目	－	Ⅲ
647	農具	編台	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－18	(21.4)	2.6	0.8	側面に18ヶ所の切り込み有り。摩滅している部分有り。歯の可能性も有る。	やや滑らか		板目	－	Ⅳ
648	農具	編棒	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－18	(27.4)	0.8	0.7	丁寧な削りで断面円形に成形。	やや滑らか		辺材	－	Ⅳ
649	服飾具	留針	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－19	17.5	0.7	0.5	全体を丁寧な削りで成形。両端を鋭利に尖らせる。	滑らか		辺材	－	Ⅳ
650	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－18	16.1	15.4	0.5	側板による円周状の圧痕有り。樺皮結合紐２ヶ所残存。	やや滑らか	樺皮結合曲物Ｅ型式	板目	－	Ⅳ
651	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－19	(13.4)	(5.7)	0.7	側面に木釘痕１ヶ所残存。裏面に刃物傷多数。復元径＝14.0cm。	滑らか	釘結合曲物Ｆ型式	柾目	－	Ⅳ
652	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－19	(13.6)	(6.2)	0.7	木釘痕２ヶ所残存。復元径＝13.6cm。	滑らか	釘結合曲物Ｆ型式	板目	－	Ⅳ
653	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－18	(34.5)	(13.3)	1.0	側面に釘孔と木釘が折れて詰まっている釘孔が計11ヶ所に残存。表面刃物傷有り。裏面刃物傷多数有り。復元径＝37.0cm。	滑らか	釘結合曲物Ｆ型式	板目	－	Ⅳ
654	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－18	(31.8)	(5.9)	(0.7)	ややいびつな円形を呈する。復元径＝39.4cm。	やや粗い	結合方法不明曲物	板目	－	Ⅳ
655	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－19	7.0	5.2	0.8	裏面に漆を塗布。釘孔３ヶ所。木釘が残存する。	滑らか	釘結合曲物Ｆ型式	板目	－	Ⅳ
656	祭祀具	人形	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ I－19	(19.1)	1.9	1.9	上端は削りにより面取り。目・鼻・口を浅い彫り込みで表現。下部欠損。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅳ
657	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ I－18	(13.5)	1.0	0.8	厚みのある板の上端を圭頭状に削る。下部欠損。	やや粗い	ＢⅠ型式	板目	－	Ⅳ
658	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－18	(17.1)	3.7	0.5	上端は鈍角の圭頭状を呈する。下部欠損。	粗い	ＣⅠ型式	板目	－	Ⅳ
659	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－18	(20.1)	1.9	0.2	上端は圭頭状を呈する。上部と下部の両側２ヶ所に抉り有り。下部欠損。	やや粗い	ＣⅥ型式	板目	－	Ⅳ
660	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－18	(18.6)	1.9	0.1	下端は両側面からの削りで尖らせる。上部の両側に抉り有り。	滑らか	Ｃ型式	板目	－	Ⅳ
661	部材	不明	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－19	(4.5)	(6.6)	円盤0.7 軸0.4	八角形の車輪の様な物に軸が差し込まれている。軸の中央部には木釘が残存する。	やや滑らか		板目	－	Ⅳ
662	部材	部材	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－18	11.1	3.1	3.1	上部は削りによって仕口を成形。下部やや斜めに成形。	粗い		辺材	－	Ⅳ
663	雑具	腰当て	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－19	6.2	64.3	0.9	中央部の上側には紐を通すための孔が２ヶ所残存。穴の左右は削りによってやや細く成形される。	やや粗い		板目	－	Ⅳ
671	工具	楔か	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－18	7.0	2.8	1.4	全体に粗い削り。	粗い		辺材	－	Ⅴ
672	紡織具	紡輪	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－19	4.5	4.4	0.7	円盤状の板の中央に穿孔。左右で厚みが異なる。穿孔径＝0.7cm。	滑らか		板目	－	Ⅴ
673	紡織具	糸巻	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ I－18	15.5	4.8	1.4	厚手の板を丁寧な削りによって成形。長方形の短辺の両端に突起有り。	滑らか		板目	－	Ⅴ
674	紡織具	糸巻枠木	SR3001	南区（04－2）		21.1	1.3	1.7	横木のホゾ穴２ヶ所有り。１ヶ所に横木の端部が残存。両端を細く尖らせ、ホゾ穴部分は台形状に成形。	滑らか	Ａ型式	辺材	－	Ⅴ
675	服飾具	下駄	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ J－18	16.6	6.7	2.2	鼻緒孔が３ヶ所。前側の穿孔は下駄の横断面中央部に位置する。左右不明。前の穿孔に鼻緒残存。	滑らか	ＣⅢｂ型式	柾目	－	Ⅴ
676	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－18	(17.7)	(3.6)	0.7	樺皮結合紐用孔１ヶ所が残存。復元径＝17.8cm。	やや滑らか	樺皮結合曲物Ｅ型式	板目	－	Ⅴ
677	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ J－18	(16.4)	(5.9)	0.4	側板による円周状の圧痕が残存。樺皮結合紐１ヶ所残存。復元径＝17.1cm。	滑らか	樺皮結合曲物Ｅ型式	板目	－	Ⅴ
678	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ M－17	(12.6)	(3.1)	0.5	側板による円周状の圧痕が残存。樺皮結合紐１ヶ所残存。復元径＝17.0cm。	やや滑らか	樺皮結合曲物Ｅ型式	柾目	－	Ⅴ
679	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ Q－15	(10.3)	(4.9)	(0.6)	欠損のため結合方法不明。復元径＝13.5cm。	滑らか	結合方法不明曲物	板目	－	Ⅴ
680	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ J－18	17.2	(8.1)	0.6	樺皮結合紐用孔１ヶ所残存。樺皮結合紐も残存。側板による円周状の圧痕と、それに沿った刃物傷有り。裏面に刃物傷多数。「貝」という文字が彫られている。復元径＝17.4cm。	粗い	樺皮結合曲物Ｅ型式	柾目	－	Ⅴ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点（大グリッド）（中グリッド）（小グリッド）	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
681	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ R－16	14.7	14.7	0.7	側面に木釘孔１ヶ所残存。表面刃物痕有り。	滑らか	釘結合曲物F 型式	板目	－	V
682	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－18	(11.8)	(5.7)	0.6	側面に木釘孔１ヶ所残存。周囲の摩滅が激しい。復元径＝12.0cm。	やや滑らか	釘結合曲物F 型式	柾目	－	V
683	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ J－18	(9.5)	(3.2)	0.7	摩滅のため稜線不鮮明。復元径＝11.6cm。	粗い摩滅気味	結合方法不明曲物	板目	－	V
684	食事具	匙	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ R－16	(6.0)	1.2	0.3	扁平な板の一端を削り、柄を成形。	やや粗い	不明	柾目	－	V
685	文房具	木札	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－19	(5.1)	2.2	0.3	木釘で686と重なっていたと考えられるが、明確な接点は不明。	やや滑らか		柾目	－	V
686	文房具	木札	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－19	(4.4)	2.3	0.2	薄い板に木釘が刺さっている。木釘の先端摩滅。	やや滑らか		柾目	－	V
687	祭祀具	刀子形	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－18	15.5	1.2	0.5	上端部斜めに切り落とす。下端部は削りによって細く成形。	やや滑らか	C 型式	柾目	－	V
688	祭祀具	紡織具形	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－18	13.8	1.0	0.4	上下両端に細かな切り欠きが施されている。	やや粗い		板目	－	V
689	祭祀具	鳥形	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－19	1.9	(17.3)	0.5	表面摩滅。上下からの削りにより細く成形し、鳥の頸部を表現。	粗い	A 型式	柾目	－	V
690	祭祀具	鳥形	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ L－17	1.9	(15.1)	0.6	厚手の板の一端を斜めに削って尖らせ、鳥の頭部を表現したものか。	やや滑らか	A 型式	板目	－	V
691	祭祀具	鳥形	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ I－18	6.7	2.2	0.5	中央部をやや細く成形。両面に墨痕有り。鳥の羽を表現したものか。	滑らか	A 型式	柾目	－	V
692	祭祀具	鳥形	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－18	1.7	(10.6)	0.4	両面に墨痕有り。	やや滑らか	A 型式	板目	－	V
693	祭祀具	人形	SR3001	南区（04－2）		19.7	2.4	2.2	目・鼻・口・頬（目・口・顎・首か）を浅く削って表現。頭は摩耗により加工痕不明。下端部は杭状に尖らせる。樹皮が全体に残る。	やや粗い	円筒状人形	芯持ち材	－	V
694	祭祀具	人形	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－19	16.7	3.3	0.4	上端は鈍角の圭頭状を呈し、肩・手・足を成形。墨で髪の毛・眉毛・目・鼻・口・手（袖）が描かれている。女性をかたどったものか。	やや粗い	正面全身人形	板目	－	V
695	祭祀具	人形	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ Q－15	(25.2) (23.2)	4.3	0.5	上端は鈍角の圭頭状を呈し、肩・足を成形。	やや粗い	正面全身人形	板目	－	V
696	祭祀具	馬形か	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ K－18	(2.5)	(5.6)	0.3	中央部に抉りを入れて、馬（鳥）を表現したものか。	滑らか	不明	柾目	－	V
697	祭祀具	舟形	SR3001	南区（04－2）		(13.7)	3.3	3.3	船体上部の刳り込みが小さく、屋形部の削り出しが浅い。屋形船形。丸底。	やや粗い	A２類	芯持ち材	－	V
698	祭祀具	舟形	SR3001	南区（04－2）		(17.2)	2.9	2.7	船体上部の刳り込みが小さく、全体的に摩滅している。屋形船形。平底。	粗い	A２類	芯持ち材	－	V
699	祭祀具	舟形	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－18	(11.7)	4.1	3.4	船体上部の刳り込みは簡易だが、船首部は側面からの成形が見られる。屋形船形。丸底。	やや粗い	A２類	芯持ち材	－	V
700	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ K－18	6.9	1.2	0.1	上下両端を斜めに切り落とし、平行四辺形状を呈する。	滑らか	AⅠ型式	柾目	－	V
701	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－18	(10.6)	1.2	0.1	上端を斜めに切り落とす。切り込み：左側に上から４回。	滑らか	AⅢ型式	板目	－	V
702	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ I－18	(7.4)	0.9	0.3	上下両端を左右からの削りにより尖らせて成形。	滑らか	BⅠ型式	板目	－	V
703	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ M－17	(15.3)	1.2	0.2	上端は圭頭状を呈する。	やや滑らか	BⅠ型式	板目	－	V
704	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－18	(19.0)	1.3	0.6	下端は表面のみ削りによる成形。	やや滑らか	C 型式	板目	－	V
705	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－2）		(13.4)	1.7	0.3	下端は左右からの削りにより尖らせる。	粗い	C 型式	板目	－	V
706	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ L－17	(10.9)	2.0	0.3	下端は左右からの削りにより尖らせる。	滑らか	C 型式	板目	－	V
707	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－19	(10.2)	1.9	0.2	下端は左右からの削りにより尖らせる。	滑らか	C 型式	板目	ヒノキ	V
708	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ I－19	(11.5)	2.0	0.3	上端は圭頭状を呈する。	粗い	C 型式	柾目	－	V
709	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－18	16.8	2.3	0.7	上端は鈍角の圭頭状を呈する。下端は左右からの削りにより尖らせる。	滑らか	CⅠ型式	板目	－	V
710	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ K－17	(8.6)	1.2	0.3	上端は圭頭状を呈する。	やや粗い	CⅠ型式	板目	－	V
711	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－2）		(5.9)	1.1	0.3	上端は圭頭状を呈する。	滑らか	CⅠ型式	板目	－	V

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点（大グリッド）（中グリッド）（小グリッド）	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
712	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－18	(7.7)	1.8	0.3	切り込み：左側上部に上から10回、右側上部に上から６回。下部欠損。	滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	V
713	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－18	(9.4)	1.7	0.3	切り込み：左側上部に上から２回、下から５回。右側上部に上から１回、下部に上から１回。	やや滑らか	C Ⅴ型式	板目	－	V
714	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－19	(8.8)	1.6	0.2	切り込み：左側上部に上から５回、下から２回。右側上部に上から３回、下から６回。	やや滑らか	C Ⅴ型式	板目	－	V
715	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ Q－15	(16.6)	2.0	0.2	切り込み：左側上部に上から１回。下から１回。右側は欠損により不明。	やや滑らか	C Ⅴ型式	柾目	－	V
716	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ I－18	24.6	1.5	0.5	切り込み：左側上部に上から１回、下から５回。右側上部に上から１回、下から３回。欠損部分が多い。	やや滑らか	C Ⅴ型式	板目	－	V
717	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－18	(28.8)	1.9	0.2	切り込み：左側上部に上から６回、中央部上部に下から５回、中央下部に上から６回、下部に下から３回。右側上部に上から10回、中央上部に下から６回、中央下部に上から７回、下部に下から３回。	粗い	C Ⅴ型式	柾目	－	V
718	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－18	(9.6)	2.4	0.1	切り込み：左右両側上部に上から各１回。	やや粗い	C Ⅲ型式	柾目	－	V
719	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ I－18	(6.2)	1.4	0.3	切り込み：左右両側に上から各１回。	やや粗い	C Ⅲ型式	板目	－	V
720	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－2）		(3.5)	1.6	0.2	切り込み：左側上部に上から１回。右側上部に上から２回。以下欠損のため不明。	やや滑らか	C Ⅲ型式	柾目	－	V
721	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ K－18	(13.0)	1.8	0.3	切り込み：左右両側上部に上から各７回、下から各５回。	やや滑らか	C Ⅴ型式	板目	－	V
722	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－18	(21.1)	1.2	0.4	切り込み：左側上部に下から６回、上から４回。右側上部に下から５回、上から６回。	やや粗い	C Ⅴ型式	板目	－	V
723	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ I－18	(19.3)	1.9	0.2	切り込み：左側上部に上から５回、下から２回。右側上部に上から４回、下から３回。	滑らか	C Ⅴ型式	板目	－	V
724	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ K－18	(22.2)	2.0	0.3	下端は左右からの削りにより尖らせる。上部欠損。	やや滑らか	C 型式	板目	－	V
725	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－19	(22.5)	1.4	1.3	下端を左右から鋭く削る。一部焦げている。	やや粗い	C 型式	板目	－	V
726	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－18	(25.1)	2.5	0.2	下端は左右からの削りにより、緩やかに尖らせる。	滑らか	C 型式	板目	－	V
727	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－19	(12.5)	0.8	0.5	上端は圭頭状を呈する。	やや粗い	D 型式	板目	－	V
728	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－18	(22.9)	1.1	0.8	側面を面取りし、断面多角形に成形。上端は斜めに切り落とす。下部は僅かに細く成形される。	やや滑らか	D Ⅰ型式	板目	－	V
729	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ I－18	(17.0)	2.1	0.4	切り込み：左側上部に上から11回。右側上部に下から１回、上から11回。	やや粗い	D Ⅴ型式	板目	－	V
730	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－18	(6.3)	2.2	0.1	大部分が欠損。上部は圭頭状。	やや滑らか	不明	柾目	－	V
731	雑具	自在	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ K－18	(7.7)	3.1	1.3	上部中央に穿孔１ヶ所有り。下部にホゾ穴（長方形）らしきもの１ヶ所有り。下部欠損。	粗い		辺材	－	V
732	雑具	火付棒	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ Q－16	11.4	2.5	0.6	木札からの転用か。穿孔１ヶ所。貫通しない孔１ヶ所。右側面に抉り１ヶ所有り。一部炭化。	やや滑らか		板目	－	V
733	部材	不明	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ L－17	10.7	6.0	1.5	上端部に加工痕有り。	やや滑らか		板目	－	V
734	建築部材	部材	SR3001	南区（04－2）	－	(6.4)	(11.5)	(4.4)	上面に凹状の溝を成形。	やや粗い		辺材	－	V
735	杭	杭	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ M－18	(41.3)	2.9	2.8	全体を削りで成形。下端を斜めに尖らせる。	滑らか		芯持ち材	－	V
742	祭祀具	人形	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ J－18	(13.4)	1.7	1.5	芯持ち材に目・口・顎を彫り込んで顔を表現。上下両端欠損。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅵ
743	祭祀具	舟形	SR3001	南区（04－2）		(17.8)	4.2	4.0	船体上部の刳り込みが小さく浅い。船尾は欠損。屋形船形。丸底。	やや滑らか	A２類	芯持ち材	コナラ属アカガシ亜属	Ⅵ
744	部材	部材	SR3001	南区（04－2）	Loc.F－1 δ－Ⅲ M－17	14.9	5.2	0.8	隅丸長方形の短辺の中央に、各１ヶ所の抉り有り。	粗い		板目	－	Ⅵ
748	服飾具	下駄	SR3001	南区（05－1）	－	右17.3 左17.2	右7.3 左7.3	右2.1 左2.4 （歯込 3.0）	差歯下駄。 左側：鼻緒孔３ヶ所。差歯の一部残存。使用圧痕有り。 右側：鼻緒孔３ヶ所。焼印有り。使用圧痕有り。左右とも前側の孔は横断面の中央部に位置する。	滑らか	不明C（小判形）	板目	－	I

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
749	容器	挽物	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－10	口径 12.4	底径 5.6	器高 6.2	表面は黒い漆、内側は朱い漆が塗られている。	粗い(漆塗布)		横木取り	－	Ⅰ
750	工具	楔	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	11.4	4.3	3.1	摩滅が激しいため、加工痕の確認ができない。	やや粗い		辺材	－	Ⅲ
751	工具	座金形	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(4.8)	12.6	0.9	六花形に成形。穿孔3ヶ所有り。木釘孔1ヶ所有り。	やや滑らか		板目	－	Ⅲ
752	工具	不明	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	(13.9)	1.3	1.1	一端を1方向からの削りによって薄く成形。	粗い		辺材	ヒノキ	Ⅲ
753	農具	馬鍬	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－11	(14.5)	(1.7)	1.3	鍬先のみ残存。下部は尖らせる。	滑らか		柾目	－	Ⅲ
754	農具	馬鍬	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－11	(13.3)	1.2	1.1	側面を面取りし、断面不整円形に成形。下端にかけて尖らせる。上部に穿孔1/3残存。	滑らか		辺材	－	Ⅲ
755	農具	横槌	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	32.4	6.2	5.7	頭部上端は一部に原木を生かして成形。柄部は削り出しによるが、柄の下端は有頭状を呈する。摩滅損耗が激しい。	粗い		芯持ち材	－	Ⅲ
756	紡織具	糸巻横木	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－9	(21.1)	4.8	1.5	相欠き仕口。軸穴有り。	やや粗い	A型式	板目	ツガ属	Ⅲ
757	服飾具	檜扇	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	30.5	1.5	0.4	下部に要用の孔有り。薄い板を細長く削り成形。1片のみ残存。	滑らか	AⅠ型式	柾目	－	Ⅲ
758	服飾具	檜扇	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	(4.9) (11.4)	1.3	0.3	下部に要用の孔有り。薄い板を細長く削り成形。1片のみ残存。	滑らか	AⅠ型式	板目	－	Ⅲ
759	服飾具	檜扇	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－10	(10.1)	(1.6)	0.3	下部に要用の孔有り。薄い板を細長く削り成形。上部へ細くなる。1片のみ残存。要残存。	やや滑らか	AⅠ型式	板目	－	Ⅲ
760	服飾具	檜扇	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(9.5)	1.7	0.3	下部に要用の孔有り。薄い板を細長く削り成形。上部へ細くなる。1片のみ残存。	滑らか	AⅠ型式	柾目	－	Ⅲ
761	服飾具	檜扇	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(5.1)	1.5	0.2	下部に要用の孔有り。末端部のみ残存。1片のみ残存。	滑らか	AⅠ型式	柾目	－	Ⅲ
762	服飾具	下駄	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	20.4	10.0	4.7	全体的に摩滅している。鼻緒孔3ヶ所。前側の孔は横断面の左よりに位置するため、右足用か。	やや粗い	CⅢa型式	板目	－	Ⅲ
763	容器	円形曲物底板側板	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(17.9)	18.3	器高 5.9	底板・側板・側板支え板からなる。底板と支え板のみを樺皮結合。側板は支え板の内側にはめ込まれている。支え板と側板に欠損部分有り。樺皮結合紐残存。底板厚さ＝0.5cm。支え板高＝1.6cm。	滑らか	樺皮結合曲物E型式	板目	－	Ⅲ
764	容器	円形曲物底板側板	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(17.2)	(7.6)	器高 5.0	側板を樺皮結合紐でとじる。側板に樺皮結合紐が残存。樺皮結合用孔8ヶ所。側板2枚が重なる部分に罫引線有り。側板の一部が山形に盛り上がる。復元径＝17.4cm。器高＝5.0cmだが、樺皮結合部が山状に高くなり5.8cm。	滑らか	結合方法不明曲物E型式	板目	－	Ⅲ
765	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	18.0	17.6	0.5	側板による円周状の圧痕有り。樺皮結合用小孔4ヶ所（うち樺皮結合紐3ヶ所残存。）。裏面に焼印有り。	やや滑らか	樺皮結合曲物E型式	板目	－	Ⅲ
766	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	17.5	(10.5)	0.8	樺皮結合用小孔1ヶ所、樺皮結合紐1ヶ所残存。両面に使用痕有り。復元径＝17.7cm。	やや滑らか	樺皮結合曲物E型式	板目	ヒノキ	Ⅲ
767	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(18.9)	(8.1)	0.6	樺皮結合用小孔2ヶ所残存。うち1ヶ所に樺皮結合紐が残存。側板による円周状の圧痕有り。正円。復元径＝18.9cm。	やや粗い	樺皮結合曲物E型式	柾目	－	Ⅲ
768	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	17.1	(6.8)	0.5	樺皮結合紐1ヶ所残存。内外とも刃物傷多数。円周状の罫引線有り。復元径＝18.2cm。	やや滑らか	樺皮結合曲物E型式	板目	－	Ⅲ
769	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(12.8)	(3.0)	0.5	樺皮結合紐1ヶ所残存。裏面に刃物傷多数有り。復元径＝16.2cm。	やや滑らか	樺皮結合曲物E型式	板目	－	Ⅲ
770	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(14.7)	(4.4)	0.6	木釘孔2ヶ所残存。表面に漆塗布。復元径＝17.0cm。	やや滑らか(漆塗布)	釘結合曲物F型式	板目	－	Ⅲ
771	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	(28.1)	(6.7)	0.9	木釘孔2ヶ所に2つずつ残存するも摩滅。復元径＝36.0cm。	粗い	釘結合曲物F型式	板目	－	Ⅲ
772	容器	円形曲物蓋板	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	(11.4)	(4.8)	0.9	穿孔3ヶ所残存。一つは中央部に位置する。	やや粗い	結合方法不明曲物E型式	板目	－	Ⅲ
773	容器	曲物側板	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－11	4.8	(34.7)	0.3	垂直方向と右上から左下方向への多数の罫引線有り。器高＝4.8cm。	やや滑らか	結合方法不明曲物	柾目	－	Ⅲ
774	食事具	杓子	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	26.3	6.4	0.8	扁平な板状で、柄部をやや細く成形。全体的に滑らかに削って成形。	滑らか	B型式	板目	－	Ⅲ
775	食事具	杓子	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－12	(19.4)	(5.7)	0.4	扁平な板状で、柄部を細く成形。	やや滑らか	B型式	板目	－	Ⅲ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点（大グリッド）（中グリッド）（小グリッド）	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
776	食事具	杓子	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－9	(16.0)	3.6	0.9	扁平な板状で、柄部を細く成形。	やや滑らか	A型式	板目	－	Ⅲ
777	食事具	箸	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－12	23.8	0.5	0.5	両端を尖るように成形。断面多角形。	やや滑らか		辺材	－	Ⅲ
778	食事具	箸	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(17.8)	0.6	0.5	全面削りで成形。箸として使用した後、火付け棒に転用か。刃物傷らしきもの有り。	やや滑らか		辺材	－	Ⅲ
779	食事具	刺串か	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	12.9	1.2	0.4	板を丁寧に削り、平らな部分と棒状の部分を成形。下端は斜めに切って尖らせる。	滑らか		柾目	－	Ⅲ
780	紡織具	織機	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(12.5)	2.5	1.5	左右両側上部の各1ヶ所に三角形の切り欠き有り。	やや粗い	付札形	板目	－	Ⅲ
781	祭祀具	刀子形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－11	(18.)	1.2	0.4	上部は刀の刃の部分を表現し、下部は細く削り柄を表現する。カミソリのような薄い刃で削り、文様をつけたものか。	滑らか	C型式	板目	－	Ⅲ
782	祭祀具	剣形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	(23.1)	2.0	0.7	扁平な板の両側に刃をつけ、切先を尖らせる。刃と柄を表す。	やや滑らか		板目	－	Ⅲ
783	祭祀具	剣形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(21.7)	(2.2)	(0.4)	上部欠損。下部は細く削り、柄を表現する。	やや滑らか		柾目	－	Ⅲ
784	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(26.3)	5.2	0.7	人形の胴部と脚部か。	やや粗い	正面全身人形	板目	ヒノキ	Ⅲ
785	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	38.8	2.4	0.4	切り込み：右側上部に上から12回、下から3回。上部は圭頭状を呈する。下端は剣先状に尖らせ、斎串のＣＶ型式に似る。墨で眉・目・鼻・口を表現する。	滑らか	正面全身人形	板目	－	Ⅲ
786	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(8.4)	(1.9)	0.3	墨で目・鼻・口・着物を表現。	やや粗い	正面全身人形	板目	－	Ⅲ
787	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	75.8	8.0	0.5	板を削って頭部・体部・脚部を成形。顔は墨で頭（冠）・眉・目・鼻・口・髭を描く。腹部には「人」と墨書される。	滑らか	正面全身人形	板目	－	Ⅲ
788	祭祀具	鳥形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	3.9	(30.9)	0.6	厚めの板を削り鳥をかたどり、墨で羽毛を表現。頭部欠損。	やや粗い	A型式	板目	－	Ⅲ
789	祭祀具	鳥形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	1.5	8.8	0.4	やや厚めの板を細く削って成形。馬の可能性も有り。	滑らか	A型式	板目	－	Ⅲ
790	祭祀具	鳥形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－11	0.9	6.5	0.4	一端を左右から削って尖らせ、もう一端は斜めに切り落とす。鳥形か。	やや滑らか	A型式	板目	－	Ⅲ
791	祭祀具	鳥形か	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ AB－10	L1(9.8) L2(14.8) L3(15.9) L4(28.9)	W13.7 W23.8 W33.8 W46.3	0.7	板に何らかの記号を墨書したもの。上部を欠損しているが、縦に同じような記号が墨書されている。絵画的な鳥が漢字に変化していく様を描いたものともとれる。	やや粗い	不明	板目	－	Ⅲ
792	祭祀具	棒状祭祀具	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－11	27.5	1.4	1.4	全体に細かい削りにより断面多角形に成形。	滑らか		辺材	－	Ⅲ
793	祭祀具	棒状祭祀具	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－11	17.2	0.7	0.9	側面を丁寧に削って箸状にしたもの。上端を斜めに切り落とす。下部は少し屈曲している。	やや滑らか		辺材	－	Ⅲ
794	祭祀具	棒状祭祀具	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	16.9	0.9	0.8	側面を丁寧に削って成形。上端部は多方向より削る。下端は細く尖らせる。	滑らか		辺材	－	Ⅲ
795	祭祀具	棒状祭祀具	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(18.1)	0.7	0.2	下端を左右両側面から削って尖らせる。	やや滑らか		板目	－	Ⅲ
796	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－11	31.4	3.3	0.9	表面は全体的に剥離。台形状を呈することから、曲物の転用材か。	粗い	AⅠ型式	板目	－	Ⅲ
797	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(8.8)	2.0	0.3	表面に墨で線を引いたもの。下部は欠損しているが、台形状または平行四辺形状の斎串。	滑らか	AⅠ型式	板目	－	Ⅲ
798	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(43.5)	2.3	1.1	厚みのある板の下端を、緩やかに細く成形。	やや滑らか	CⅠ型式	板目	－	Ⅲ
799	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	(12.5)	2.5	0.4	板の両端を山形に削って尖らせる。墨痕らしきものがあるが、判読できない。	やや粗い	BⅠ型式	板目	－	Ⅲ
800	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	10.7	1.7	0.3	下端を左右両側面から鋭く削り、尖らせている。	滑らか	B型式	板目	－	Ⅲ
801	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(32.1)	1.1	0.6	下端を両端より削って尖らせる。	滑らか	CⅠ型式	柾目	－	Ⅲ
802	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	17.8	1.8	0.3	切り込み：上端木口から左右に各2回。	滑らか	CⅡ型式	板目	－	Ⅲ
803	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－11	(8.5)	0.9	0.2	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	滑らか	CⅡ型式	板目	－	Ⅲ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量L	法量W	法量H	特徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
804	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－10	(29.8)	2.5	0.3	切り込み：左側上部に上から９回、下部に下から４回。右側上部に上から11回、下部に下から12回。裏面は刃傷多数。	やや滑らか	ＣⅤ型式	板目	－	Ⅲ
805	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(18.6)	2.0	0.2	切り込み：左側上部に上から３回、下部に下から９回。右側上部に上から12回、下部に下から５回。	滑らか	ＣⅤ型式	柾目	－	Ⅲ
806	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－10	(16.9)	2.0	0.4	切り込み：左側上部に下から６回。右側上部に下から３回。	滑らか	ＣⅤ型式	板目	－	Ⅲ
807	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－10	(6.1)(11.2)	1.6	0.2	切り込み：左右両側上部に下から各１回。欠損のため切り込みの開始位置は不明。	滑らか	ＣⅤ型式	板目	－	Ⅲ
808	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	(13.6)	1.2	0.7	下端は左右両側面から削って緩やかに尖らせる。左側に３角形状の小さな切り込み１ヶ所。	滑らか	ＣⅥ型式	柾目	－	Ⅲ
809	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－９	(15.1)	1.6	0.9	下端は左右両側面から削って緩やかに尖らせる。	やや粗い	Ｃ型式	板目	－	Ⅲ
810	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	(22.1)	2.7	0.6	下端は左右両側面から削って緩やかに尖らせる。上端部は斜めに削られる。	滑らか	Ｃ型式	板目	－	Ⅲ
811	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	(14.8)	1.5	0.5	下端は左右両側面から削って緩やかに尖らせる。	やや滑らか	Ｃ型式	板目	－	Ⅲ
812	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－11	(13.3)	2.4	0.3	下端は左右両側面から削って緩やかに尖らせる。	やや滑らか	Ｃ型式	板目	－	Ⅲ
813	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	(12.9)	1.9	0.2	細い板の下端を、左右両側面から削って鋭利に尖らせる。	滑らか	Ｃ型式	板目	－	Ⅲ
814	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(11.0)	0.8	0.3	下端は左右両側面から削って緩やかに尖らせる。	滑らか	Ｃ型式	板目	－	Ⅲ
815	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	32.1	1.3	0.7	側面は丁寧に面取りされる。上端は複数の削りにより薄く、下端はやや細く成形。	滑らか	ＤⅠ型式	柾目	－	Ⅲ
816	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10他	29.6	0.8	0.6	上端は１方向から削り、下端は両側から削って尖らせる。断面平行四辺形。刺串か。	粗い	ＤⅠ型式	辺材	－	Ⅲ
817	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(6.2)	1.5	0.4	上端部の左右に抉り有り。	やや粗い	ＤⅥ型式	板目	－	Ⅲ
818	雑具	腰掛	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	7.8	(12.3)	2.4	板材の一側面が内側に湾曲するように、弧状の刳形を入れる。	やや滑らか		板目	ヒノキ	Ⅲ
819	部材	台座	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－10	(13.8)	(3.7)	1.0	板材の一側面に弧状の刳形を入れる。	やや滑らか		板目	－	Ⅲ
820	部材	棒状木製品	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(18.0)	1.0	0.6	側面を丁寧に削って断面楕円形に成形。下端はやや細く削られる。箸か。	滑らか		板目	－	Ⅲ
821	部材	棒状木製品	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	44.5	1.1	0.5	上下両端部を若干削って成形。	滑らか		板目	－	Ⅲ
822	部材	部材	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－10	(14.7)	3.0	2.5	厚手の板の上部を、３面から細く削りだして断面円形に成形。	やや粗い		辺材	－	Ⅲ
823	部材	部材	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	8.5	2.5	1.3	全体を滑らかに削って成形。上下両端を削って尖らせ、表面と左右両面の中央は溝状に細く削る。裏面は、やや上部に半円形の溝を付ける。	滑らか		辺材	－	Ⅲ
824	部材	部材	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－10	5.2	(2.9)	1.1	上端は鈍角の圭頭状を呈する。左側上部に切り欠き有り。	滑らか		板目	－	Ⅲ
825	部材	不明	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	(10.0)	2.7	0.8	全体的に摩滅していて、削りなどは不明。	やや粗い		板目	－	Ⅲ
826	部材	不明	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(5.5)	2.0	0.9	片側を削って細くするが、端部のみ幅広に成形される。	滑らか		板目	－	Ⅲ
827	部材	樺巻棒	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	(13.1)	0.9	0.8	棒状木製品に、木を薄く紐状に削ったものが巻きつけられている。	やや粗い		板目	－	Ⅲ
828	用途不明	不明	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(6.2)	(1.1)	0.7	下部に木釘孔有り。檜扇基部に似るが厚い。	やや滑らか		板目	－	Ⅲ
829	用途不明	不明	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	3.8	2.8	2.8	上下両端部に丁寧な面取りを施して成形。断面正方形。	滑らか		芯持ち材	－	Ⅲ
874	工具	篦	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	16.8	1.2	0.5	上下両端を丸く成形。下端は、やや薄く成形される。	滑らか		柾目	－	Ⅳ
875	農具	木鍾	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－11	14.5	5.0	3.9	中央部を削って細く成形。くびれ部分は丁寧に削られる。	やや滑らか		芯持ち材	－	Ⅳ
876	服飾具	檜扇	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	(24.0)	2.3	0.2	下部に要孔有り。薄い板を細長く削り成形。	滑らか	ＡⅠ型式	板目	－	Ⅳ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点（大グリッド）（中グリッド）（小グリッド）	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
877	服飾具	櫛	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	3.9	(7.5)	0.9	刻歯式横櫛。歯＝65本残存。	滑らか	AⅡ型式	板目	－	Ⅳ
878	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(16.7)	(5.9)	0.5	側板を乗せるために、刃物のような物で印をつけた円周状の痕跡有り。樺皮結合用小孔1ヶ所。樺皮結合紐残存。復元径＝18.2cm。	滑らか	樺皮結合曲物E型式	板目	－	Ⅳ
879	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－9	17.3	(16.6)	0.6	側板による円周状の圧痕が二重に残存。樺皮結合用小孔3ヶ所、樺皮結合紐残存。復元径＝17.3cm。	やや粗い	樺皮結合曲物E型式	板目	－	Ⅳ
880	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	(7.7)	(2.4)	0.5	復元径＝8.3cm。	やや滑らか	結合方法不明曲物	板目	スギ	Ⅳ
881	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(15.4)	(4.1)	0.7	側板による円周状の圧痕有り。樺皮結合紐1ヶ所残存。復元径＝18.5cm。	滑らか	樺皮結合曲物E型式	板目	－	Ⅳ
882	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(16.8)	(5.6)	0.4	側板による円周状の圧痕有り。樺皮結合紐1ヶ所残存。裏面刃物傷少数有り。復元径＝20.1cm。	滑らか	樺皮結合曲物E型式	柾目	－	Ⅳ
883	容器	挽物	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	口径 18.0	底径 15.6	器高 0.9	内面刃物傷有り。外面轆轤の爪跡5ヶ所。内外面に削り工具痕多数有り。	やや滑らか		縦木取り	－	Ⅳ
884	容器	曲物側板	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－11	9.3	(37.2)	0.9	やや厚めの板に垂直方向と右上から左下、左上から右下方向の罫引線多数有り。	滑らか	結合方法不明曲物	板目	－	Ⅳ
885	食事具	箸	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	25.4	0.7	0.7	側面を面取りし断面円形に成形。下端やや尖る。	やや粗い		辺材	－	Ⅳ
886	食事具	俎	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－11	(15.4)	(5.2)	(2.7)	無数の切り傷有り。	やや滑らか		芯持ち材	ユズリハ属	Ⅳ
887	文房具	木札	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(12.8)	1.9	0.4	上部の左右両側面に切り込み有り。樺皮を結んだ痕跡有り。	やや粗い	付札形	板目	－	Ⅳ
888	文房具	木札	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(8.2)	1.9	0.2		滑らか		板目	－	Ⅳ
889	祭祀具	刀子形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	15.1	1.2	0.5	刀身をやや薄く成形。下部を細く削って柄を成形する。	やや滑らか	C型式	板目	－	Ⅳ
890	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	23.0	2.1	0.2	下端は斎串と類似した形状。上部に顔を墨書している。手足の表現は無い。	やや粗い	正面全身人形	柾目	－	Ⅳ
891	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(21.9)	(2.7)	0.4	人形が中央から縦に割れたもの。	やや粗い	正面全身人形	板目	－	Ⅳ
892	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(18.3)	4.8	0.5	左側面に三角形の抉りにより首を表現。頭部は烏帽子を表現した物か。	やや滑らか	側面全身人形	板目	－	Ⅳ
893	祭祀具	棒状祭祀具	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(11.8) (10.5)	1.0	0.7	側面を面取りし断面多角形に成形。両端は、やや尖り気味に削る。	やや粗い		柾目	－	Ⅳ
894	祭祀具	鳥形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－12	2.0	11.1	0.3	側面を削って首と背を表現。尾は尖らせる。表面に墨痕有り。	滑らか	A型式	板目	－	Ⅳ
895	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	(16.6)	2.2	0.4	上端斜め切り落とす。下部欠損。	やや滑らか	AⅠ型式	板目	－	Ⅳ
896	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－10・11	14.1	0.7	0.5	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	粗い	CⅡ型式	板目	－	Ⅳ
897	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－9	(18.6)	1.6	0.2	切り込み：左側上部に上から2回。右側上部に上から1回。	やや滑らか	CⅢ型式	板目	－	Ⅳ
898	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	21.1	1.3	0.3	切り込み：左右両側上部に上から各3回。	粗い	CⅣ型式	板目	－	Ⅳ
899	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(17.1)	2.0	0.3	切り込み：左側上部に上から15回、下から8回。右側上部に上から10回、下から7回。	やや粗い	CⅤ型式	板目	－	Ⅳ
900	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－9	(11.5)	1.7	0.2	切り込み：左側上部に上から5回、下から3回。右側上部に上から4回、下から3回。右側下部に下から2回。	粗い	CⅤ型式	柾目	－	Ⅳ
901	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	(5.5)	1.4	0.5	上端の左右の角を切り落とし、両側面に切り欠きが3ヶ所残存。下部欠損。	やや粗い	CⅥ型式	板目	－	Ⅳ
902	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(30.6)	2.2	0.3	切り込み：右側上部に下から3回。下端は両側から削って緩やかに尖らせる。	粗い	C型式	板目	－	Ⅳ
903	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－11	(21.6)	1.8	0.3	下端は両側から削って緩やかに尖らせる。上部欠損しているが、やや細く成形。	滑らか	C型式	板目	－	Ⅳ
904	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	(7.7)	2.2	0.6	下端は丸く削って成形。	やや粗い	D型式	板目	－	Ⅳ
905	雑具	火付棒	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－10	(12.9) (28.4)	1.2	0.9	側面を面取りし、断面楕円形を呈する。上端は斜めに削り、下端部は炭化している。	やや粗い		辺材	－	Ⅳ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点（大グリッド）（中グリッド）（小グリッド）	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
912	工具	斧柄	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－12	a (11.4) b (7.6)	14.7	a 2.2 b 2.1	枝分かれ材を使用。斧台は長方形で両端がやや細い。斧台は細かい削りによって成形される。中央に節が有る。	やや滑らか	横斧	芯持ち材	－	V
913	工具	箆	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	22.7	1.7	0.9	柄の部分は四角に削って成形。身の部分は平らで、先端に行く程に薄く成形。先端は丸い。	滑らか		板目	－	V
914	工具	柄	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－9	(19.8)	2.4	2.2	全体に削りによって丸く成形。	やや滑らか		辺材	－	V
915	工具	楔	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	14.7	5.6	4.3	幅広の形態で先端が薄く成形される。角材の先を山形に尖らせる。	粗い		芯持ち材	－	V
916	工具	柄	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－9	57.5	5.7	3.4	工具を止めた圧痕と木釘孔有り。摩滅のため、明確な加工痕不明。	やや滑らか		辺材	コナラ属アカガシ亜属	V
917	農具	馬鍬	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(13.1)	1.4	1.2	上部に穿孔1/2残存。面取りをし断面円形に成形。先端は平坦。	やや滑らか		辺材	－	V
918	農具	木錘	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	13.2	4.9	最大 5.5 最小 2.2	両端部は削って扁平。中央くびれ部分は細かく削って細く成形。一部炭化。	やや滑らか		芯持ち材	－	V
919	農具	木錘	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－11	18.1	5.8	4.6	くびれ部分をやや丁寧な削りによって成形。	やや滑らか		芯持ち材	－	V
920	農具	木錘	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－10	19.0	6.7	5.6	芯持ち材の中央を左右から削り、くびれ部分を成形。両端も削って丸みを持たせている。	滑らか		芯持ち材	－	V
921	服飾具	櫛	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	4.2	(9.2)	0.8	刻歯式横櫛。歯＝75本残存。	滑らか	AⅠ型式	板目	－	V
922	服飾具	櫛	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－11	4.4	(8.6)	0.8	刻歯式横櫛。歯＝68本残存。	滑らか	AⅡ型式	板目	－	V
923	服飾具	櫛	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－10	4.1	(2.4)	0.5	刻歯式横櫛。歯＝18本残存。	滑らか	AⅠ型式	板目	－	V
924	服飾具	檜扇	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－12	31.7	4.0	0.4	幅広の板の下端に小さな要孔有り。墨書が有る桧扇に近い形状。	滑らか	AⅠ型式	柾目	－	V
925	紡織具	糸巻枠木	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	22.8	1.4	1.6	横木のホゾ穴２ヶ所有り。１ヶ所に横木の端部が残存。側面から木釘が貫通する。ホゾ穴間隔13.0cm。	粗い	A型式	辺材	－	V
926	紡織具	経巻具	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	2.6	(27.2)	2.4	芯持ち材の一部を削って凹みを付け、糸固定部分を成形。	滑らか		芯持ち材	－	V
927	紡織具	紡輪	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	4.8	4.8	0.5	円盤状の板の中央に穿孔有り。	滑らか		柾目	－	V
928	紡織具	糸巻横木	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－9	(4.6)	1.1	0.3	両端を細く成形し、中央に軸孔有り。	やや滑らか	A型式	板目	－	V
929	容器	楕円形曲物底板	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(64.9)	(8.0)	0.5	樺皮結合用の小孔３ヶ所。各孔に樺皮結合紐が残存。隅丸長方形の曲物。	やや滑らか	樺皮結合曲物E型式	板目	－	V
930	容器	柄杓	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－11	曲部 13.5 柄長 14.5	曲部 13.3 柄幅 1.1	曲部 0.3 柄厚 1.1	柄を通すための大小の孔２ヶ所有り。垂直方向と右上から左下方向の罫引線多数有り。側板と箍を留めるための樺皮２ヶ所残存。	滑らか	結合方法不明曲物	板目	－	V
931	容器	挽物	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－9	(10.6)	－	(1.1)	浅い皿。内面に漆付着。底部外面に轆轤の爪痕４ヶ所残存。	やや滑らか（漆塗布）		横木取り	－	V
932	容器	円形曲物底板側板箍	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－11	(18.6)	(11.2)	器高 3.4	側板を結合するための樺皮結合紐が残存。裏面に刃物傷多数有り。箍が残存。	やや粗い	樺皮結合曲物E型式	柾目	－	V
933	容器	円形曲物底板側板	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－9	13.2	13.1	器高 6.8	底板の側面に木釘孔５ヶ所。内１ヶ所に木釘残存。側板に樺皮結合紐が残存。復元径＝13.2cm。底板厚＝0.7cm。	やや粗い	釘結合曲物F型式	板目	－	V
934	容器	円形曲物底板側板	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－12	(12.2)	(10.7)	器高 2.0	曲物の蓋か。側面に木釘孔３ヶ所。内２ヶ所で木釘残存。復元径＝12.2cm。底板厚＝0.5cm。	滑らか	釘結合曲物F型式	板目	－	V
935	容器	円形曲物蓋板側板	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	16.1	15.9	器高 2.0	蓋板。側面に木釘孔５ヶ所。内４ヶ所に木釘残存。表に「山」の焼印有り。裏に刃物傷有り。側板・穿孔４ヶ所残存。蓋板厚＝0.6cm。	滑らか	釘結合曲物F型式	柾目	－	V
936	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	(18.7)	(7.5)	0.8	樺皮結合紐１ヶ所残存。側板による円周状の圧痕有り。片面に刃物傷多数有り。貫通した穴３ヶ所残存。底板をつなぐためか。復元径＝19.6cm。	やや滑らか	樺皮結合曲物E型式	柾目	－	V
937	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－9	18.2	(9.8)	0.8	側板による円周状の圧痕有り。樺皮結合紐２ヶ所残存。復元径＝18.2cm。	やや滑らか	樺皮結合曲物E型式	板目	－	V

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点（大グリッド）（中グリッド）（小グリッド）	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
938	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(18.8)	(8.2)	0.6	樺皮結合紐３ヶ所残存。内１ヶ所は中央に。側板による円周状の圧痕有り。中央寄りに残る樺皮結合紐は底板と底板を結合するための紐か。蓋の把手の可能性もある。復元径＝19.3cm。	滑らか	樺皮結合曲物Ｅ型式	板目	－	V
939	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(15.7)	(3.7)	0.9	樺皮結合用の小孔と樺皮結合紐１ヶ所残存。側板による円周状の圧痕有り。刃物で印をつけたものか。裏面に刃物傷多数。復元径＝18.7cm。	滑らか	樺皮結合曲物Ｅ型式	板目	－	V
940	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	(17.0)	(7.0)	0.7	樺皮結合用の小孔と樺皮結合紐１ヶ所残存。側板による円周状の圧痕有り。裏面刃物傷多数。復元径＝18.0cm。	滑らか	樺皮結合曲物Ｅ型式	板目	－	V
941	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(9.3)	(2.3)	0.5	復元径＝14.4cm。	粗い	樺皮結合曲物Ｅ型式	板目	－	V
942	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－10	(8.1)	(2.2)	(0.6)	樺皮結合用の小孔と樺皮結合紐１ヶ所残存。復元径＝11.1cm。	滑らか	樺皮結合曲物Ｅ型式	柾目	－	V
943	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－11	29.5	(9.7)	1.1	側面に木釘孔２ヶ所残存。側板による円周状の圧痕有り。表裏ともに刃物傷多数。焼印の様な痕跡有り。復元径＝30.4cm。	やや滑らか	釘結合曲物Ｆ型式	柾目	－	V
944	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－12	17.5	(8.3)	0.8	側板に木釘孔１ヶ所残存。復元径＝17.5cm。	やや粗い	釘結合曲物Ｆ型式	板目	－	V
945	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－10	(10.8)	(4.5)	0.4	側面に木釘孔２ヶ所。内１ヶ所に木釘残存。復元径＝11.6cm。	滑らか	釘結合曲物Ｆ型式	柾目	－	V
946	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－11	(15.8)	(3.5)	0.7	木釘孔１ヶ所残存。外面は黒褐色。復元径＝22.1cm。	やや滑らか	釘結合曲物Ｆ型式	板目	－	V
947	容器	円形曲物側板	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－10	(6.0)	(39.8)	0.2	側板中央部の２ヶ所を樺皮で結合。木釘孔３ヶ所残存。	やや粗い	釘結合曲物Ｆ型式	柾目	－	V
948	容器	円形曲物側板箍	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－11	13.8	13.9	器高 4.0	曲物の側板と箍、ほぼ完形。木釘孔３ヶ所。内１ヶ所に木釘残存。樺皮残存。支え板高＝1.5cm。側板内面全体に罫引線有り。	滑らか	釘結合曲物Ｆ型式	板目	－	V
949	容器	円形曲物側板	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(17.4)	(17.2)	器高 5.0	側板を結合する樺皮結合紐孔が３ヶ所。木釘孔が２ヶ所。内面に罫引線有り。	滑らか	釘結合曲物Ｆ型式	板目	－	V
950	食事具	杓子	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(14.7)	3.1	0.4	扁平な板状。細く削って柄部を成形。	滑らか	不明	板目	－	V
951	食事具	箸	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(13.8)	0.7	0.6	側面を面取りし、断面を六角形に成形。上端部は四方向から削り、短く尖らせる。	滑らか		辺材	－	V
952	文房具	木札	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	10.0	1.1	0.3	上端は平らに削る。上部に三角の抉り有り。下端は緩やかに斜めに削る。斎串の可能性有り。	滑らか	付札形	柾目	－	V
953	文房具	木札	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(6.4)	1.7	0.4	上端の左右両側に三角形の抉り有り。	やや粗い	付札形	板目	－	V
954	遊戯具	琴柱	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	2.8	3.5	0.5	上部中央に琴糸を渡した溝有り。上部から下部へやや厚く成形。	やや粗い	Ａ型式	柾目	－	V
955	祭祀具	刀形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－10	(16.5)	3.2	0.7	刀身と柄を表現。上下両端欠損。	粗い摩滅	Ｂ型式	板目	－	V
956	祭祀具	刀形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－11	(14.3)	2.9	1.3	摩滅により刀身の調整は不明。	やや滑らか	不明	柾目	－	V
957	祭祀具	紡織具形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－11	18.5	0.9	0.8	上下両端の左右側面に細かい抉り有り。断面正方形。	滑らか		板目	－	V
958	祭祀具	紡織具形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－11	18.0	1.1	1.0	上下両端の左右側面に細かい抉り有り。断面正方形。	やや粗い		辺材	－	V
959	祭祀具	紡織具形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－9	12.3	0.6	0.4	上下両端の左右側面に細かい抉り有り。断面正方形。	やや滑らか		辺材	－	V
960	祭祀具	紡織具形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－11	(11.8)	0.7	0.4	上下両端の左右側面に細かい抉り有り。断面正方形。	やや粗い		板目	－	V
961	祭祀具	紡織具形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－9	(12.9)	1.3	1.1	上端の左右側面に細かい抉り有り。下部欠損。断面正方形。	滑らか		板目	－	V
962	祭祀具	紡織具形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(8.5)	0.6	0.5	上端の左右側面に細かい抉り有り。下部欠損。断面正方形。	滑らか		辺材	－	V
963	祭祀具	鳥形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	2.9	(27.0)	0.6	薄い板の一端を削って鳥の頭部を表現したものか。	滑らか	Ｂ型式	板目	－	V
964	祭祀具	舟形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－11	14.9	4.9	2.5	船体の上部中央を削って成形。丸木舟形。平底。	やや滑らか	Ａ２類	芯持ち材	－	V
965	祭祀具	舟形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－9	(15.5)	3.4	3.1	船体上部に浅い刳り込みを２ヶ所入れて屋形部を表現。屋形船形。丸底。	やや粗い	Ａ２類	芯持ち材	ツブラジイ	V

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点（大グリッド）（中グリッド）（小グリッド）	法量 L	法量 W	法量 H	特徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
966	祭祀具	舟形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－10	(12.0)	2.1	1.7	船体上部に浅い刳り込みを２ヶ所入れて屋形部を表現。船首欠損。屋形船形。丸底。樹皮残存。	やや滑らか	Ａ２類	芯持ち材	－	Ⅴ
967	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－9	34.3	1.7	1.6	目・鼻・口（目・口・顎）を浅い彫り込みによって表現。頭部はやや斜めに成形。下端は尖らせる。部分的に樹皮残存。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅴ
968	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－10	32.3	1.5	1.2	目・鼻・口を小さな彫り込みによって成形。芯持ち材の上部をうすく削って顔面を成形。下端は杭状に尖らせる。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅴ
969	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－9	(33.5)	2.0	2.2	目・口・顎を浅く成形する。右目は欠損のため一部のみ残存。下端は杭状に尖らせる。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅴ
970	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－9	15.2	2.3	0.3	頭部は圭頭状を呈する。削りにより首・肩・足を表現。墨書により顔を表現。	やや滑らか	正面全身人形	板目	－	Ⅴ
971	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	17.0	2.5	0.4	削りによって頭・首・腕・脚を成形。足は成形途中で欠損したと思われる。墨書により顔を表現。	滑らか	正面全身人形	板目	－	Ⅴ
972	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－11	19.0	(2.6)	0.3	削りによって頭・首・足を成形。	やや滑らか	正面全身人形	板目	－	Ⅴ
973	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－10	(18.8)	1.7	0.4	上端部圭頭状を呈する。上部両側面に抉り有り。裏側下半を削り薄く成形。斎串の可能性有り。	滑らか	正面全身人形	板目	－	Ⅴ
974	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	(23.8)	2.3	0.4	頭部は圭頭状を呈する。削りにより首・肩・腰を表現。墨書により眉と目のみ表現。	滑らか	正面全身人形	板目	－	Ⅴ
975	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－11	50.3	5.6	0.5	頭部の先端は中央部に凸部をもつ。削りにより首・肩・手・足を表現。墨書により顔を表現。	やや粗い	正面全身人形	板目	－	Ⅴ
976	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(11.5)	2.4	0.2	削りにより全身を成形。墨書により顔を表現。手から足にかけて下方向からの切り込みが左側２回、右側６回残存する。	滑らか	正面全身人形	板目	－	Ⅴ
977	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－12	(12.3)	2.1	0.3	頭部は圭頭状を呈する。削りにより首・足を表現。欠損部が多い。	やや粗い	正面全身人形	板目	－	Ⅴ
978	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(13.6)	2.1	0.3	頭部は圭頭状を呈する。削りにより首・肩・足を表現。手は下からの切り込みによる。	滑らか	正面全身人形	板目	－	Ⅴ
979	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－10	(14.0)	2.5	0.3	削りにより全身を成形。墨書により顔を表現。長い髭をもつ。手から足にかけて下方向からの切り込みが両側各３回。	滑らか	正面全身人形	板目	－	Ⅴ
980	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－8	(6.1)	(1.1)	0.2	上端を丸く削り、右側を台形状に抉って首を表現か。大分部が欠損している。	滑らか	正面全身人形	板目	－	Ⅴ
981	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(12.3)	(2.8)	(0.4)	上下両端と右半分は欠損。左側面を三角形に切り込んで首を表現。墨書により顔を表現。髭が多く描かれる。	滑らか	正面全身人形	板目	－	Ⅴ
982	祭祀具	棒状祭祀具	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－9	(32.8)	1.1	0.7	全体に断面長方形。上下両端ともに、一方からの削りで尖らせる。下端は薄く成形。	やや滑らか		辺材	－	Ⅴ
983	祭祀具	棒状祭祀具	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－10	17.2	0.5	0.5	下端を削り鋭く尖らせる。上端は丸く成形。	滑らか		辺材	－	Ⅴ
984	祭祀具	棒状祭祀具	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－11	(13.3)	0.9	1.0	断面五角形に成形。頭部は圭頭状。下部欠損。	滑らか		辺材	－	Ⅴ
985	祭祀具	棒状祭祀具	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－11	15.3	0.8	0.7	断面多角形。下端を細かい削りで尖らせる。上部欠損。	やや粗い		辺材	－	Ⅴ
986	祭祀具	棒状祭祀具	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－10	8.8	0.9	0.8	断面多角形。両端をやや尖り気味に成形。	やや滑らか		辺材	－	Ⅴ
987	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－11	12.5	1.4	0.2	台形状を呈する。表裏に墨で複数の横線を描く。	やや滑らか	ＡⅠ型式	板目	－	Ⅴ
988	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－12	1.4	12.7	0.2	台形状を呈する。表裏に墨で複数の横線を描く。987と類似。	滑らか	ＡⅠ型式	板目	－	Ⅴ
989	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－11	15.2	2.4	0.5	台形状を呈する。表裏に墨で複数の横線を描く。	やや滑らか	ＡⅠ型式	柾目	－	Ⅴ
990	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－12	(14.6)	2.1	0.5	台形状を呈する。表裏に墨で複数の横線を描く。	滑らか	ＡⅠ型式	柾目	－	Ⅴ
991	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(4.9)	1.0	0.4	台形状を呈する。	やや滑らか	ＡⅡ型式	板目	－	Ⅴ
992	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－12	17.3	1.7	0.2	平行四辺形状の斎串。切り込み：右側上部に上から１回。	滑らか	ＡⅢ型式	板目	－	Ⅴ
993	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－10	(16.2)	1.6	0.4	台形状を呈する。	粗い	ＡⅠ型式	板目	－	Ⅴ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点（大グリッド）（中グリッド）（小グリッド）	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
994	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(20.1)	2.2	0.3	台形状を呈する。長辺が若干内湾する。	滑らか	AⅠ型式	柾目	－	V
995	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－9	(17.1)	1.9	0.5	平行四辺形状であるが、上端の角度が緩やかで、下端は鋭く成形される。	滑らか	AⅠ型式	柾目	－	V
996	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－9	(7.6)	1.7	0.4	平行四辺形状を呈する。上端はやや薄く成形。	滑らか	AⅠ型式	板目	－	V
997	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－11	(7.7)	1.4	0.5	上端は斜めに切り落とす。下部欠損。長辺が若干内湾する。	やや滑らか	AⅠ型式	板目	－	V
998	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－12	(9.8)	1.0	0.7	厚板の上端を圭頭状に成形。	滑らか	BⅠ型式	柾目	－	V
999	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－9	20.4	0.7	0.3	上下両端を圭頭状に成形。	やや粗い	BⅠ型式	板目	－	V
1000	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(19.5)	1.1	0.3	上端を圭頭状に成形。	やや粗い	BⅠ型式	板目	－	V
1001	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	(18.6)	1.0	0.4	上端を圭頭状に成形。	滑らか	BⅠ型式	板目	－	V
1002	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	(24.1)	1.4	0.6	厚板の上端を圭頭状に成形。	やや粗い	BⅠ型式	柾目	－	V
1003	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(41.7)	0.9	0.8	上下両端を鋭く尖らせる。	滑らか	DⅠ型式	板目	－	V
1004	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	36.0	1.0	1.1	上端は圭頭状、下端は尖らせる。	滑らか	DⅠ型式	板目	－	V
1005	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－11	33.3	0.7	0.9	上端は圭頭状、下端は尖らせる。	滑らか	DⅠ型式	辺材	－	V
1006	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－9	(34.5)	1.0	0.7	上端は圭頭状、下端は尖らせる。	滑らか	DⅠ型式	柾目	－	V
1007	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－10	(32.7)	0.8	0.7	下端は尖らせる。上部欠損。	やや滑らか	DⅠ型式	辺材	－	V
1008	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－10	(25.2)	1.0	0.5	上端は平坦。下端を表裏両面から削って尖らせる。	滑らか	DⅠ型式	板目	－	V
1009	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	20.5	1.3	0.9	上端は圭頭状、下部欠損。	やや滑らか	DⅠ型式	板目	－	V
1010	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－11	(10.4)	1.2	0.6	上端は左右非対称の圭頭状。下端は表裏両面を削り薄く成形。	やや滑らか	DⅠ型式	辺材	－	V
1011	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－10	15.1	0.8	0.4	上端は角を落として台形状に、下端は鋭く尖らせる。	やや粗い	DⅠ型式	柾目	－	V
1012	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－11	(10.9)	2.6	0.6	上端は細かく削って多角形状を呈する。下部欠損。	やや滑らか	DⅠ型式	板目	－	V
1013	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－9	(14.2)	0.9	0.5	上下両端を鋭く尖らせる。	滑らか	DⅠ型式	辺材	－	V
1014	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－11	(30.2)	(2.7)	0.4	上端は圭頭状で左右両側面に三角形の切り欠き有り。	粗い	DⅥ型式	板目	－	V
1015	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－10	(16.9)	1.7	1.4	上端は圭頭状で左右両側面に三角形の切り欠き有り。下端は片側から削って尖らせる。	やや滑らか	D型式	板目	－	V
1016	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(16.2)	1.7	0.4	上端部は四方向から四角錐状に成形。切り込み：右上から1回。	滑らか	DⅥ型式	板目	－	V
1017	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－12	9.1	1.0	0.2	上端は圭頭状で両側面に三角形の切り欠き有り。下端は片側から削って尖らせる。	やや滑らか	DⅥ型式	板目	－	V
1018	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－11	68.1	1.6	0.6	断面平行四辺形を呈する。上下両端部を若干削って尖らせる。	粗い	CⅠ型式	板目	－	V
1019	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－10	31.3	1.1	0.3	上端は圭頭状。下端は左右両側面からゆるやかに削って尖らせる。	滑らか	CⅠ型式	板目	－	V
1020	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－10	(20.3)	1.2	0.6	厚みのある板の上端を圭頭状、下部を細く成形。	滑らか	CⅠ型式	柾目	－	V
1021	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－9	23.1	1.6	0.3	切り込み：左右両側に上から各1回。	やや滑らか	CⅢ型式	板目	－	V
1022	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－9	20.3	2.1	0.3	切り込み：左右両側に上から各1回。	滑らか	CⅢ型式	柾目	－	V

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
1023	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	17.8	1.4	0.3	切り込み：左右両側に上から各１回。	滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	V
1024	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－10	(17.6)	1.8	0.3	切り込み：左右両側に上から各２回。	滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	V
1025	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－11	(14.6)(4.3)	2.1	0.1	切り込み：左右両側に上から各１回。	滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	V
1026	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(14.9)	2.1	0.3	切り込み：左右両側に上から各１回。	粗い	C Ⅲ型式	板目	－	V
1027	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(13.4)	1.6	0.4	切り込み：左側上部に上から２回、右側上部に上から１回。	やや滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	V
1028	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－9	(12.6)	1.7	0.3	切り込み：左右両側に上から各１回。	やや粗い	C Ⅲ型式	板目	－	V
1029	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－9	(12.6)	1.9	0.3	切り込み：左側に上から３回、右側に上から１回。	滑らか	C Ⅱ型式	板目	－	V
1030	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－11	(7.8)	1.1	0.3	切り込み：左右両側に上から各１回。	滑らか	C Ⅱ型式	板目	－	V
1031	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－10	(7.3)	2.0	0.4	切り込み：左側に上から７回、右側に上から８回。	やや滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	V
1032	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－9	(10.5)	1.4	0.2	切り込み：左側上部に上から４回、右側上部に上から２回。	粗い	C Ⅲ型式	板目	－	V
1033	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－10	10.9	1.5	0.3	切り込み：左右両側に上から各１回。切り込み位置非対称。	滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	V
1034	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－9	(10.6)	2.1	0.3	切り込み：左側上部に上から７回。右側上部に上から８回。	やや粗い	C Ⅲ型式	柾目	－	V
1035	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－11	(7.0)	1.5	0.4	切り込み：左右両側上部に上から各４回。	やや滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	V
1036	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－9	(7.8)	1.3	0.5	切り込み：左右両側上部に上から各１回。	滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	V
1037	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－11	24.3	2.1	0.2	切り込み：左側上半部に上から８回、右側上半部に上から９回。	やや滑らか	C Ⅳ型式	板目	－	V
1038	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	(25.9)	2.8	0.2	切り込み：左側上部に上から６回、下部に下から７回、右側上部に上から５回、下部に下から４回。	滑らか	C Ⅴ型式	板目	－	V
1039	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(13.3)	1.7	0.2	切り込み：左側上部に上から14回、右側上部に上から８回。	やや滑らか	C Ⅳ型式	板目	－	V
1040	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	31.8	1.4	0.4	切り込み：左側上部に上から８回、下部に下から４回。右側上部に上から７回、下部に下から４回。	やや粗い	C Ⅴ型式	板目	－	V
1041	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－10	31.2	1.8	0.3	切り込み：左側上部に上から４回、下部に下から６回。右側上部に上から５回、下部に下から４回。	滑らか	C Ⅴ型式	板目	－	V
1042	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－9	23.7	1.5	0.4	切り込み：左側上部に上から10回。右側上部に上から７回、下部に下から４回。	粗い	C Ⅴ型式	柾目	－	V
1043	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－11	(27.0)	1.4	0.3	切り込み：左側上部に上から７回、下部に下から５回。右側上部に上から６回、下部に下から４回。	やや滑らか	C Ⅴ型式	板目	－	V
1044	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－12	(10.1)(18.3)	2.2	0.3	切り込み：左側上部に上から５回、下部に下から２回。右側上部に上から３回。	粗い	C Ⅴ型式	柾目	－	V
1045	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(28.3)	2.1	0.3	切り込み：左側上部に上から７回、下部に下から５回。右側上部に上から６回、下部に下から８回。	滑らか	C Ⅴ型式	板目	－	V
1046	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－10	(25.9)	2.7	0.4	切り込み：左側上部に上から７回、下部に下から８回。右側上部に上から７回、下部に下から８回。	やや粗い	C Ⅴ型式	柾目	－	V
1047	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(25.3)	2.3	0.3	切り込み：左側上部に上から８回、中央部上段に上から５回、下段に下から５回。右側上部に上から５回、中央部上段に上から６回、下段に下から５回。	やや粗い	C Ⅴ型式	板目	－	V
1048	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	(22.4)	3.7	0.3	切り込み：左側上部に上から８回、下部に下から９回。右側上部に上から７回、下部に下から７回。	やや粗い	C Ⅴ型式	板目	－	V
1049	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－11	(21.5)	2.3	0.2	切り込み：左側上部に上から10回、下部に下から４回。右側上部に上から９回、下部に下から11回。	滑らか	C Ⅴ型式	板目	－	V
1050	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－12	(8.4)(10.7)	2.1	0.2	切り込み：左側上部に上から７回、下部に下から５回。右側上部に上から５回、下部に下から10回。	やや粗い	C Ⅴ型式	板目	－	V
1051	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－11	17.6	2.4	0.2	切り込み：左側上部に上から７回、下部に下から６回。右側上部に上から５回。下部に下から８回。	やや粗い	C Ⅴ型式	柾目	－	V

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量 L	法量 W	法量 H	特徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
1052	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－11	(11.0)	2.4	0.5	切り込み：左側上部に上から７回、下部に下から１回。右側上部に上から11回、下部に下から３回。	滑らか	ＣⅤ型式	板目	－	Ⅴ
1053	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－12	(17.7)	2.2	0.3	切り込み：左側上部に上から７回、下部に下から５回。右側上部に下から２回。	やや粗い	ＣⅤ型式	板目	－	Ⅴ
1054	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－11	(13.5)	2.4	0.5	切り込み：左側上部に上から４回、下部に下から７回。さらに下部に上から１回。右側上部に上から６回、下部に下から６回。	やや粗い	ＣⅤ型式	柾目	－	Ⅴ
1055	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－9	(9.3) (4.8)	2.1	0.2	切り込み：左側上部に上から５回、下部に下から１回。右側上部に上から６回、下部欠損。	やや粗い	ＣⅤ型式	板目	－	Ⅴ
1056	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－11	(15.0)	2.5	0.3	中央部くびれ有り。切り込み：左側上部に上から２回、下部に下から３回。右側上部に上から３回、下部に下から３回。	やや滑らか	ＣⅤ型式	柾目	－	Ⅴ
1057	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－9	(6.3)	2.8	0.5	人形の可能性有り。上端は圭頭状。左側に三角形の抉り有り。右側は欠損。	滑らか	ＣⅥ型式	板目	－	Ⅴ
1058	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－11	(15.0)	2.3	0.2	下端は両側からの削りで尖らせる。上部欠損。	滑らか	Ｃ型式	柾目	－	Ⅴ
1059	部材	支脚	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	(9.7)	4.9	4.2	下端部は４側面より削り面取りを施す。	やや滑らか		辺材	－	Ⅴ
1060	部材	支脚	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	(25.4)	2.7	1.4	板状の木製品の上部先端を、ホゾ状の凸に成形。	やや粗い		辺材	ヒノキ	Ⅴ
1061	部材	部材	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	16.1	1.0	0.9	断面半円形に削り成形。両端に穿孔各１ヶ所有り。	滑らか		辺材	－	Ⅴ
1062	部材	部材	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－11	(8.6)	2.9	1.4	断面半円形に成形。穿孔２ヶ所有り。	粗い		板目	－	Ⅴ
1063	用途不明	不明	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	8.9	2.1	0.4	裏面は剥離している。墨刺しか。	やや滑らか		板目	－	Ⅴ
1064	部材	部材	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	4.0	17.9	0.4	薄板の一端の角を丸く削って成形。他端に釘孔と思われる穿孔２ヶ所残存。	滑らか		板目	－	Ⅴ
1065	用途不明	不明	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	14.2	3.7	3.5	下端部は粗く削って尖らせる。木錘の未成品か。	粗い		芯持ち材	－	Ⅴ
1066	用途不明	不明	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	8.8	2.3	1.3	厚手の板の両側を面取りし、断面多角形に成形。上下両端は丸く削る。	やや滑らか		板目	－	Ⅴ
1067	用途不明	不明	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－16	5.0	5.9	2.3	辺材を丸く削り、断面半円形を呈する。	滑らか		辺材	－	Ⅴ
1068	用途不明	不明	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－9	4.3	4.5	2.0	平面形は八角形を呈する。木釘の頭部か。	やや粗い		板目	－	Ⅴ
1069	用途不明	不明	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－11	(3.5)	0.9	0.2	薄い板の片側に抉りを入れ、歯状の凸凹を成形。	滑らか		柾目	－	Ⅴ
1086	農具	竪杵	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－9	51.5	4.6	4.0	辺材の両端と中央部分を細く削る。全体に摩滅が激しい。	滑らか		辺材	－	Ⅵ
1087	農具	木錘	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－11	12.7	3.2	2.8	円柱状の材の中央部を上下両側から削り、中央部を細く成形。樹皮が残存。	滑らか		芯持ち材	－	Ⅵ
1088	農具	木錘	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－11	(7.7)	5.1	4.2	全体に摩滅しており、削り痕は不鮮明。	やや滑らか		芯持ち材	シキミ	Ⅵ
1089	農具	木錘	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	14.2	4.8	4.3	円柱状の材の中央部を上下両側から削り、中央部を細く成形。樹皮が残存。	粗い		芯持ち材	－	Ⅵ
1090	農具	木錘	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	18.3	6.2	5.8	円柱状の材の中央部を上下両側から削り、中央部を細く成形。	滑らか		芯持ち材	－	Ⅵ
1091	紡織具	紡輪	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－12	(5.8)	(2.7)	0.5	軸孔１ヶ所有り。	やや滑らか		板目	－	Ⅵ
1092	紡織具	糸巻横木	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	5.6	1.2	0.3	相欠き仕口無し。中心より、少しずれて軸孔有り。上端より下端をやや広く削り成形。通常の横木より小さい。	滑らか	Ａ型式	柾目	－	Ⅵ
1093	服飾具	留針	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－12	13.9	1.2	1.2	棒状の材の下端が細くなるように多方向から削り成形。	滑らか		辺材	－	Ⅵ
1094	服飾具	留針	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－12	(14.1)	1.0	0.8	棒状の材の下端が細くなるように多方向から削り成形。	やや滑らか		辺材	－	Ⅵ
1095	服飾具	櫛	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	5.2	(4.0)	1.1	把手と歯ともに丁寧な作り。刻歯式横櫛。歯＝26本残存。	滑らか	ＡⅠ型式	板目	－	Ⅵ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点（大グリッド）（中グリッド）（小グリッド）	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
1096	服飾具	櫛	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－12	4.9	(2.3)	1.0	刻歯式横櫛。歯＝11本残存。	やや滑らか	不明	板目	－	Ⅵ
1097	容器	円形曲物底板側板	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－8	14.6	14.4	器高 4.1	樺皮結合用の小孔と樺皮結合紐６ヶ所残存。内壁の高さが3.3cm程の浅い容器。	滑らか	樺皮結合曲物Ｅ型式	板目	－	Ⅵ
1098	容器	円形曲物底板側板	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－12	(55.7)	(44.2)	器高 3.6	樺皮結合用の小孔と樺皮結合紐２ヶ所残存。側板は籠の可能性有り。傷みが激しい。復元径＝57.6cm。	粗い	樺皮結合曲物Ｅ型式	板目	－	Ⅵ
1099	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－11	19.0	(12.1)	0.5	樺皮結合紐４ヶ所残存。結合紐の内２ヶ所は底板同士を結合させている。外面に刃物傷多数。復元径＝19.0cm。	滑らか	樺皮結合曲物Ｅ型式	板目	－	Ⅵ
1100	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－9	(15.7)	(12.7)	0.7	刃物傷多数。釘孔１ヶ所残存。復元径＝18.5cm。	滑らか	釘結合曲物Ｆ型式	柾目	－	Ⅵ
1101	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－11	12.6	13.1	0.8	木釘孔５ヶ所残存。	やや粗い	釘結合曲物Ｆ型式	板目	－	Ⅵ
1102	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	(10.4)	(5.0)	0.7	外面に刃物傷多数。内面に側板による圧痕有り。復元径＝10.5cm。	やや滑らか	結合方法不明曲物Ｅ型式	板目	ヒノキ	Ⅵ
1103	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－11	(9.8)	(6.7)	0.5	内面の２ヶ所に焼印有り。木釘１ヶ所残存。復元径＝16.9cm。	滑らか	釘結合曲物Ｆ型式	柾目	－	Ⅵ
1104	容器	円形曲物側板	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－11	16.4	16.5	器高 (2.2)	樺皮結合紐が１ヶ所、結合用小孔のみ１ヶ所残存。側板の二重部分は罫引線が斜めに直交する。	滑らか	樺皮結合曲物	柾目	－	Ⅵ
1105	容器	円形曲物底板側板	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	14.4	13.9	器高 3.9	木釘５ヶ所と樺皮による側板同士の結束部分残存。底板厚0.6cm。	滑らか	釘結合曲物Ｆ型式	柾目	－	Ⅵ
1106	容器	円形曲物底板側板	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	14.5	14.1	器高 3.8	側板同士を結合する樺皮結合紐と、側板と底板を結合する木釘４ヶ所残存。側板内面全体に罫引線。底板厚＝0.9cm。	滑らか	釘結合曲物Ｆ型式	底・側板とも柾目	－	Ⅵ
1107	容器	蓋板	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	11.0	11.0	2.6	口径11cmの甕の蓋か。厚みのある板を円形に成形。	粗い		板目	－	Ⅵ
1108	容器	槽	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(4.2)	4.8	3.7	角材の内側を刳りぬいて成形。作りは粗く内面は工具痕が残っている。角の部分は削って面取りを施す。	やや粗い		辺材	－	Ⅵ
1109	遊戯具	琴	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	28.0	3.9	0.7	上部に４孔の集弦孔有り。	やや粗い		柾目	－	Ⅵ
1110	祭祀具	剣形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－8	(41.5)	2.8	1.0	辺材の一端を細く削り、握りを成形。上端は欠損。	滑らか		辺材	－	Ⅵ
1111	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	(42.5)	2.7	2.4	目・口を彫り込みによって表現。右は眉と目を、左は目を２段に成形。上端部は前後２方向より削り、下端部は四方より削って尖らせる。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅵ
1112	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－11	(15.3)	2.8	2.5	目・口・顎を深い彫り込みによって表現。頭は平らに削る。	やや滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅵ
1113	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	44.1	3.0	2.9	目・口を浅い彫り込みによって表現。上端は周囲からの削りによってやや丸い。樹皮残存。	やや粗い	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅵ
1114	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－11	(53.6)	2.8	2.8	目・口・顎を僅かに彫り込んで表現。上端を斜めに切り落とす。全体に樹皮が残存。	粗い	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅵ
1115	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(37.3)	2.4	2.1	上端は３面から斜めに削り、下端は、一面から斜めに切り落として杭状に成形。左目は欠損。鼻は節を利用か。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅵ
1116	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(30.4)	2.3	2.7	芯持ち材に目・口・顎・耳を彫り込みによって表現。上端は四方から浅く削って尖らせる。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅵ
1117	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－11	(16.9)	1.9	1.7	目・口・首を浅く削って表現。上端は斜めに削って尖らせる。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅵ
1118	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(28.9)	3.1	3.4	芯持ち材に目・鼻・口を彫り込んで表現。上端は平坦。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅵ
1119	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－11	(50.0)	3.2	3.1	目と口は欠損により不明。鼻の一部と両側に頬を浅く削って表現。上下両端とも四方からの削りで尖らせる。	やや粗い	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅵ
1120	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－11	(8.9)	2.6	2.5	目・口を彫り込んで表現。頸部に削り有り。目が両側面に位置し正面から見えない。頭部は前面からの削りで斜めに成形。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅵ
1121	祭祀具	舟形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－11	(8.5)	2.4	1.9	船首側からの削り出しによって屋形部を成形。船尾欠損。屋形船形。丸底。	滑らか	Ａ２類	芯持ち材	－	Ⅵ
1122	祭祀具	舟形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	17.5	3.5	3.8	芯持ち材の２ヶ所に浅い刳り込みを入れて屋形部を成形。屋形船形。丸底。	やや滑らか	Ａ２類	芯持ち材	－	Ⅵ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点（大グリッド）（中グリッド）（小グリッド）	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
1123	祭祀具	舟形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(19.7)	3.2	2.8	芯持ち材から船首・船尾と屋形部を削り出す。屋形船形。丸底。樹皮が残存。	やや滑らか	A２類	芯持ち材	－	Ⅵ
1124	祭祀具	舟形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	17.5	3.5	3.1	船首・船尾は下面からの削りで成形。屋形部は製作直後に欠けたと思われる。屋形船形。丸底。	やや滑らか	A２類	芯持ち材	ツブラジイ	Ⅵ
1125	祭祀具	舟形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(16.3)	3.3	2.7	屋形船形。平底。木の芯が抜けて中空になる。	滑らか	A２類	芯持ち材	－	Ⅵ
1126	祭祀具	舟形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－12	(19.1)	3.9	3.1	船首・船尾両側からの浅い削りだしによって屋形部を成形。屋形船形。平底。	やや滑らか	A２類	芯持ち材	－	Ⅵ
1127	祭祀具	舟形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－11	(12.8)	5.7	(3.7)	やや厚手の芯持ち材を削り、船尾を成形か。屋形船形。	滑らか	A２類	芯持ち材	－	Ⅵ
1128	祭祀具	舟形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	17.1	2.5	3.4	２ヶ所に刳り込みを入れ、屋形部を成形。船底部は弧状を呈する。屋形船形。丸底。	粗い	A２類	芯持ち材	－	Ⅵ
1129	祭祀具	舟形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	16.8	2.5	2.2	２ヶ所に浅い刳り込みを入れ、屋形部を成形。屋形船形。平底。樹皮一部残存。	粗い	A２類	芯持ち材	－	Ⅵ
1130	祭祀具	舟形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(10.3)	3.6	3.0	船首部分欠損。屋形船形。丸底。	やや粗い	A２類	芯持ち材	－	Ⅵ
1131	祭祀具	舟形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(9.6)	2.8	2.2	屋形船形。平底。	滑らか	A２類	芯持ち材	ヒサカキ属	Ⅵ
1132	祭祀具	舟形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	25.2	3.8	3.2	芯持ち材を丁寧に削り、船首・船尾と屋形部を削り出す。屋形部は船体より細く削られる。屋形船形。平底。	やや粗い	A２類	芯持ち材	－	Ⅵ
1133	祭祀具	舟形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	26.1	3.8	3.8	芯持ち材を丁寧に削り、船首・船尾と屋形部を削り出す。屋形部は船体より細く削られ、正方形を呈する。屋形船形。平底。	滑らか	A２類	芯持ち材	－	Ⅵ
1134	祭祀具	舟形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－10	(12.5)	2.7	3.1	側面と船底部を粗く削って成形。平底。	滑らか	A２類	芯持ち材	－	Ⅵ
1135	祭祀具	舟形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－12	15.0	3.7	2.8	芯持ち材を丁寧に削り、船首・船尾と屋形部を削り出す。屋形船形。平底。	やや滑らか	A２類	芯持ち材	－	Ⅵ
1136	祭祀具	舟形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－8	(10.9)	3.8	3.3	屋形船形。丸底。	滑らか	A２類	芯持ち材	ヤナギ属	Ⅵ
1137	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	(10.7)	1.4	0.6	上下両端共に斜めに切り落とし、台形状を呈する。	滑らか	AⅠ型式	柾目	－	Ⅵ
1138	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(8.3)	1.6	0.1	上下両端共に斜めに切り落とし、台形状を呈する。	粗い	AⅠ型式	板目	－	Ⅵ
1139	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	(8.6)	1.9	0.4	上下両端共に斜めに切り落とし、平行四辺形状を呈する。	やや滑らか	AⅠ型式	柾目	－	Ⅵ
1140	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	1.5	11.0	0.2	上下両端共に斜めに切り落とし、平行四辺形状を呈する。	やや粗い	AⅠ型式	板目	－	Ⅵ
1141	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	13.3	2.2	0.4	上下両端共に斜めに切り落とし、台形状を呈する。	やや滑らか	AⅠ型式	板目	－	Ⅵ
1142	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－11	14.7	2.0	0.5	上下両端を斜めに切り落し、台形状に成形。両面に墨痕有り。	滑らか	AⅠ型式	柾目	－	Ⅵ
1143	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	18.8	1.8	0.3	上下両端共に斜めに切り落とし、平行四辺形状を呈する。	やや粗い	AⅠ型式	板目	－	Ⅵ
1144	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	20.5	3.0	0.4	上下両端共に斜めに切り落とし、台形状を呈する。	滑らか	AⅠ型式	板目	－	Ⅵ
1145	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－10	48.9	2.8	0.4	切り込み：左側上部に上から１回。右側上部に上から２回。	粗い	AⅢ型式	板目	－	Ⅵ
1146	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(13.2)	1.1	0.4	上端部を圭頭状に成形。	やや粗い	BⅠ型式	板目	－	Ⅵ
1147	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－11	(13.4)	1.8	0.6	厚めの板の上端部を圭頭状に成形。	やや滑らか	BⅠ型式	辺材	－	Ⅵ
1148	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－10	(15.4)	1.0	0.6	切り込み：左側上部に下から９回。右側上部に下から６回。	滑らか	BⅢ型式	板目	－	Ⅵ
1149	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(23.6)	2.2	0.5	切り込み：左右両側上部に下から各１回。	やや滑らか	BⅢ型式	板目	－	Ⅵ
1150	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(19.1)	1.9	0.4	切り込み：左側上部に上から15回、下から６回。右側上部に上から12回、下から５回。	やや粗い	BⅤ型式	板目	－	Ⅵ
1151	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－10	(12.1)	2.0	0.4	上端は斜めに切り落とす。下部欠損。	やや粗い	AⅠ型式	板目	－	Ⅵ
1152	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－9	(10.5)	2.3	0.2	上端は斜めに切り落とす。下部欠損。	滑らか	AⅠ型式	板目	－	Ⅵ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
1153	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(13.0)	1.5	0.2	下端は斜めに切り落とす。上部欠損。	滑らか	AⅠ型式	板目	－	Ⅵ
1154	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(15.7)	(1.7)	0.8	厚めの板の上端部を圭頭状に成形。	やや滑らか	DⅠ型式	辺材	－	Ⅵ
1155	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	15.3	1.4	0.2	上端は圭頭状を呈し、上部の左右に浅い切り欠き有り。下部1方向より斜めに切り落とす。	やや滑らか	DⅥ型式	板目	－	Ⅵ
1156	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(27.1)	2.5	0.3	切り込み：左側上部に上から15回、下から6回。右側上部に上から13回、下から6回。	やや滑らか	CⅤ型式	板目	－	Ⅵ
1157	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－10	(25.6)	(2.4)	0.5	切り込み：左側上部に上から8回。右側上部に上から10回。	滑らか	CⅢ型式	板目	－	Ⅵ
1158	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(22.6)	2.3	0.2	切り込み：左側上部に上から1回。右側上部に上から2回。	やや粗い	CⅢ型式	板目	－	Ⅵ
1159	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－11	(21.2)	2.1	0.5	切り込み：左側上部に上から2回。右側上部に上から1回。裏面は剥離。	やや粗い	CⅢ型式	板目	－	Ⅵ
1160	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－9	(18.2)	1.7	0.2	切り込み：右側上部に上から1回。左側欠損。	滑らか	CⅢ型式	柾目	－	Ⅵ
1161	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－10	(14.4)	2.1	0.5	切り込み：左側上部に上から1回。右側上部に上から2回。	やや粗い	CⅢ型式	板目	－	Ⅵ
1162	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(15.8)	1.7	0.2	切り込み：左側上部に上から3回。右側上部に上から1回。	やや滑らか	CⅢ型式	柾目	－	Ⅵ
1163	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－11	(8.3)	1.6	0.3	切り込み：左側上部に上から1回。	やや滑らか	CⅢ型式	板目	－	Ⅵ
1164	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(39.0)(8.1)	(3.5)	0.5	切り込み：左側上部に下から5回。右側上部に下から2回。上端は斜めに切り落とす。	粗い	DⅢ型式	板目	－	Ⅵ
1165	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(10.2)(3.1)	2.2	0.2	上端部は圭頭状。上部の左右に浅い切り欠き有り。下端は斜めに切り落とす。	やや滑らか	DⅥ型式	板目	－	Ⅵ
1166	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	15.4	1.6	0.3	上端部は圭頭状。上部の左右に浅い切り欠き有り。下端は斜めに切り落とす。	やや粗い	DⅥ型式	柾目	－	Ⅵ
1167	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－10	(12.0)	2.2	0.3	切り込み：左側上部に下から8回。右側上部に下から13回。	滑らか	CⅤ型式	板目	－	Ⅵ
1168	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－12	(11.7)	1.8	0.2	切り込み：左側上部に上から4回。右側上部に上から3回。	滑らか	CⅢ型式	板目	－	Ⅵ
1169	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(9.0)	2.0	0.3	切り込み：左側上部に上から1回。右側上部に上から3回。	やや粗い	CⅢ型式	板目	－	Ⅵ
1170	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－9	(7.6)	2.3	0.3	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	やや粗い	CⅢ型式	板目	－	Ⅵ
1171	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－9	(5.9)	1.8	0.3	切り込み：右側上部に上から2回。	滑らか	CⅢ型式	板目	－	Ⅵ
1172	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(9.1)	1.8	0.2	下端部のみ残存。	やや粗い	C型式	板目	ヒノキ	Ⅵ
1173	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－11	(11.0)	1.5	0.2	下端部のみ残存。	やや滑らか	C型式	板目	ヒノキ	Ⅵ
1174	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－12	11.4	0.8	0.7	上半を断面六角形に、下半を薄い篦状に削って成形。	やや滑らか		辺材	－	Ⅵ
1175	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－11	(5.7)	1.7	0.1	上端を斜めに切り落とす。	やや粗い	AⅠ型式	柾目	－	Ⅵ
1176	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－11	(15.7)	2.2	0.3	上端を斜めに切り落とす。	粗い	AⅠ型式	柾目	－	Ⅵ
1177	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－10	(15.8)	1.2	0.5	切り込み：左右両側上部に上から各1回。断面三角形。上端は前後左右から圭頭状に削る。	やや粗い	CⅢ型式	板目	－	Ⅵ
1178	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－11	(31.5)	2.6	0.1	切り込み：左右両側に上から1回以上。欠損のため数は不明。	やや粗い	CⅢ型式	板目	－	Ⅵ
1179	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－10	(35.3)	1.3	0.6	上半は平らに成形しているが、下端は断面七角形を呈する。材にねじれがあり、上部は板目で下部は柾目。	滑らか	C型式	辺材	－	Ⅵ
1180	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－11	(10.9)	1.2	0.9	棒状祭祀具か。断面が正方形状を呈し、上部は角を削って断面八角形に成形。上端部は4方向から削り尖らせる。	滑らか	D型式	辺材	－	Ⅵ
1181	部材	部材	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	(10.3)	3.5	2.4	右側面を斜めに削り、上端を細く成形。支脚の一部か。	やや滑らか		辺材	－	Ⅵ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点（大グリッド）（中グリッド）（小グリッド）	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
1182	部材	部材	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	15.7	1.1	0.9	断面楕円形に細かく成形。両端に各１ヶ所の小さな穿孔有り。	滑らか		辺材	－	Ⅵ
1183	用途不明	不明	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	3.7	5.0	4.3	角材の底部を斜めに削る。上部は削りによって凹形に窪ませる。	滑らか		辺材	－	Ⅵ
1184	用途不明	不明	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	9.4	2.4	0.5	下端部は削って細く成形。	やや粗い		板目	－	Ⅵ
1185	用途不明	不明	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－11	(8.2)	(1.4)	0.4	なだらかな半円状を呈する。人形など祭祀具の一部か。	滑らか		板目	－	Ⅵ
1186	用途不明	不明	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－12	13.1	3.2	0.6	上端部を薄く、下端部を方形状に削り成形。墨剥しまたは篦か。	滑らか		板目	－	Ⅵ
1187	用途不明	不明	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－11	(5.0)	0.9	0.9	細い棒状の材の上端を尖らせる。下部は上部より細く削っていたと思われる。	滑らか		辺材	－	Ⅵ
1188	用途不明	不明	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－10	(11.2)	1.3	0.7	上部は平らに削り、下部を細く成形する。祭祀具か。	滑らか		板目	－	Ⅵ
1189	用途不明	不明	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－10	3.3	7.6	3.8	中央部を削って凹状の窪み作り出す。	粗い		辺材	－	Ⅵ
1204	農具	馬鍬	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	3.0	(19.7)	1.8	両端が折れているが、２ヶ所に穿孔が残存する。全体的に摩滅が激しい。	やや粗い		辺材	ヒノキ	Ⅷ
1205	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－10	(9.1)	1.5	0.4	切り込み：左右両側上部に上から各１回。	やや滑らか	C Ⅱ型式	板目	－	Ⅷ
1206	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－10	(14.4)	1.8	0.1	切り込み：左右両側上部に上から各１回。	やや粗い	C Ⅲ型式	柾目	－	Ⅷ
1207	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－10	(16.9)	1.7	0.2	切り込み：左側上部に上から１回。右側欠損。	やや滑らか	C Ⅲ型式	柾目	－	Ⅷ
1208	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－10	(6.2) (26.1)	2.6	0.5	切り込み：左側上部に上から５ヶ所。右側上部に上から３ヶ所。各切り込みは単独で離れた位置に有る。	滑らか	C Ⅳ型式	板目	－	Ⅷ
1209	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－10	(74.4)	2.6	2.4	目・口・顎・首を浅い彫り込みによって表現。上端部は前後から、下端部は杭状に尖らせる。	やや滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅷ
1210	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	42.7	2.6	2.4	目・鼻・口を浅い彫り込みによって表現。顔部分は故意に樹皮を除去。上端部は四方から削り、下端部は斜めに削って尖らせる。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅷ
1211	祭祀具	舟形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－9	15.3	3.6	3.1	２ヶ所に浅い刳り込みを入れ、屋形部を成形。屋形船形。丸底。	やや滑らか	A２類	芯持ち材	－	Ⅷ
1212	祭祀具	舟形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－11	14.4	2.7	3.3	２ヶ所に刳り込みを入れ、屋形部を成形。船底部は弧状を呈する。屋形船形。丸底。	粗い	A２類	芯持ち材	－	Ⅷ
1213	祭祀具	舟形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	16.8	3.2	3.3	やや厚みのある芯持ち材の２ヶ所に刳り込みを入れ、屋形部を成形。船首と船尾は側面からの削りで尖らせる。屋形船形。丸底。	滑らか	A２類	芯持ち材	－	Ⅷ
1214	部材	板材	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－11	(11.5)	5.2	0.8	穿孔１ヶ所残存。	滑らか		柾目	－	Ⅷ
1215	部材	部材	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(13.9)	2.7	0.6	下端に四角いホゾ穴有り。表面右側の1/3程より削り、なだらかに傾斜させる。	滑らか		柾目	－	Ⅷ
1216	部材	部材	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－9	44.8	4.6	0.7	長辺片側に穿孔３ヶ所。刃物傷多数有り。	やや滑らか		板目	－	Ⅷ
1220	服飾具	下駄	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－8	20.7	9.0	5.6	左足用。使用による親指の圧痕有り。鼻緒孔３ヶ所残存。穿孔４ヶ所（うち釘３ヶ所）残存。裏面中央部が山形になる日和下駄か。差歯下駄（中世以降）。	滑らか	差歯下駄	芯持ち材	－	
1221	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	21.1	(10.3)	0.9	釘孔２ヶ所残存。外側より中心の方が板が薄くなっている。復元径＝21.1cm。表面全体に漆残存。	滑らか	釘結合曲物F 型式	板目	－	
1222	容器	槽	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－10	31.5	(11.4)	4.1	やや厚手の板状部材の内側を、凹状に削る。上面に多数の使用痕が有り、窪んでいる。	やや粗い		板目	－	
1223	食事具	杓子	SR3001	南区（05－1）	－	24.4	(5.7)	0.7	柄部を細く成形。身部先端部に漆塗布か。	滑らか	A 型式	柾目	－	
1224	文房具	木札	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－8	(10.7)	2.6	0.5	長楕円の板の上部に穿孔１ヶ所残存。	やや滑らか		板目	－	
1225	祭祀具	紡織具形	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－11	15.0	0.8	0.7	上下両端ともに小さな切り欠きが施される。	滑らか		辺材	－	
1226	祭祀具	棒状祭祀具	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	19.6	1.1	1.0	上下両端を薄く成形。上端部炭化。棒状祭祀具を火付け棒に転用したものか。	滑らか		辺材	－	
1227	祭祀具	不明	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	(9.6) (27.1)	(5.6)	(0.5)	下部の両側を削って緩やかにくびれをつけ、その中央部を穿孔。祭祀具の一部か。	滑らか		柾目	－	

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点（大グリッド）（中グリッド）（小グリッド）	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
1228	部材	部材	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－12	(19.4)	1.8	1.1	下部の両側を削って細く成形。細い部分の中央部に穿孔有り。	滑らか		柾目	－	
1229	用途不明	不明	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	(7.2)	0.8	0.7	上端部の周囲を細かく削り、釘の様な形状に成形。	やや粗い		辺材	－	
1230	用途不明	不明	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－10	(13.9)	2.8	2.2	断面三角形の棒状木製品。	やや滑らか		辺材	－	
1231	建築部材	柱	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	(107.5)	16.0	14.0	かなり大きな材を約1/4に割り、面取りをして成形。上端部は丸く削る。上部に長方形のホゾ穴有り。	滑らか		辺材	コウヤマキ	
1232	杭	杭	SR3001	南区（05－1）	－	(118.6)	20.5	15.3	大きな辺材の下端部を杭状に成形。中心部は刳り出してホゾ穴を成形。	やや粗い		辺材	－	
1233	杭	杭	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	(90.3)	19.2	16.8	下端は削りしろを長く取って尖らせる。側面は平坦に削られる。樹皮残存。	粗い		芯持ち材	ケヤキ	
1234	その他	花器	SR3001	南区（05－1）	－	7.7	16.4	H1=4.7 H2=2.3	厚い板の中央を小判形にくり抜き、陶器の水盤をはめ込む。H1全高＝4.7cm、H2木製台高＝2.3cm。	滑らか		板目	－	
1238	服飾具	下駄	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－7	21.8	8.7	1.2	右足用。使用により浅い圧痕。鼻緒孔3ヶ所。連歯下駄。	滑らか	C型式	板目	－	Ⅰ
1239	容器	合子	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－6	口経 6.8		器高 2.0	内面と底面は轆轤削り後、黒の施漆。外面・口縁から体部にかけては轆轤削り後、黒い施漆と朱施漆。底部外面は轆轤削り後黒の施漆。	滑らか（漆塗布）		縦木取り	－	Ⅰ
1240	服飾具	下駄	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－7	19.1	7.8	2.5	左足用。前歯より前の部分が後に比べて薄い。後歯は本体の溝に差し込まれる。断面形状は逆三角形を呈する。後歯の一部残存。前歯を固定した釘残存。親指の圧痕有り。全体に摩滅している。	やや滑らか	AⅡa差歯下駄	辺材	－	Ⅱ
1241	服飾具	下駄	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－6	22.5	9.1	2.3	左足用。差し歯用溝2ヶ所。鼻緒孔3ヶ所有り。後側の穿孔は2ヶ所とも欠損有り。	やや粗い	CⅡa差歯下駄	心材	－	Ⅱ
1246	工具	楔	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	9.4	3.2	2.0	角材の下端を四角錐のように削って尖らせる。	滑らか		辺材	－	Ⅲ
1247	農具	馬鍬	SR3001	南区（05－2）	－	27.9	2.0	1.1	馬鍬の歯の部分。下部四方から斜めに削り尖らせる。上部ホゾ穴1ヶ所残存。円形で上部開く。	やや滑らか		板目	－	Ⅲ
1248	農具	馬鍬	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－9	19.6	2.0	1.2	下端部は一方より削って尖らせる。表面圧痕多数。	粗い		辺材	－	Ⅲ
1249	農具	馬鍬	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	(14.9)	1.1	1.3	上端部の穿孔に木釘が残存。	やや粗い		辺材	－	Ⅲ
1250	農具	馬鍬	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	(13.2)	1.7	1.1	下端を削って尖らせる。	滑らか		辺材	ヒノキ	Ⅲ
1251	農具	馬鍬	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	(13.7)	1.5	1.1	上端部の穿孔に木釘が残存。	滑らか		辺材	－	Ⅲ
1252	農具	木錘か	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	(4.3)	1.2	0.7	底部と両側面は平坦に削る。上下両端は細かな削りによって斜めに成形。中央部に長軸と直交する浅い切り込み有り。文房具の算木の可能性有り。	滑らか		柾目	－	Ⅲ
1253	農具	横槌	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	19.7	3.3	3.1	柄の部分を有頭状に削り出す。	やや粗い		芯持ち材	－	Ⅲ
1254	農具	編棒	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	24.7	0.8	0.8	細かい削りによって一端を細く尖らせる。	やや粗い		辺材	－	Ⅲ
1255	農具	編棒	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	21.2	0.9	0.8	細かい削りによって、下端に向かい細くなるように成形。断面多角形。	やや滑らか		辺材	－	Ⅲ
1256	農具	木錘	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	18.2	5.8	4.0	芯持ち材の中央部分を削り、くびれを成形。遺存状態が非常に悪い。	粗い		芯持ち材	－	Ⅲ
1257	農具	木錘	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－9	(7.5)	3.7	2.8	厚い板目材を面取りして成形。上端部を平らに削る。下部は欠損。	やや滑らか		辺材	－	Ⅲ
1258	紡織具	紡輪	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	5.7	5.8	0.6	中央部に軸穴有り（径＝0.6mm）。	やや滑らか		板目	－	Ⅲ
1259	紡織具	中筒	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	(16.3)	2.3	1.0	上端部両側に切り欠き有り。	粗い		板目	－	Ⅲ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量 L	法量 W	法量 H	特徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
1260	紡織具	糸巻横木	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	9.4	2.5	0.8	相欠き仕口の中心に軸孔有り。両端のホゾ部分は断面円形に成形。	滑らか	A型式	柾目	－	Ⅲ
1261	紡織具	糸巻横木	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－8	11.0	(2.3)	0.6	1260と同形。	滑らか	A型式	柾目	－	Ⅲ
1262	紡織具	糸巻枠木	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	(22.9)	1.6	1.5	両端に貫通しない円形のホゾ穴有り。ホゾ穴部分以外は細く削る。	やや滑らか	A型式	辺材	－	Ⅲ
1263	紡織具	糸巻枠木	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－9	(17.9)	(1.5)	1.8	方形のホゾ穴有り。ホゾを組んだ状態で固定するための木釘孔が側面から貫通する。	やや滑らか	A型式	辺材	－	Ⅲ
1264	紡織具	糸巻枠木	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	(15.3)	1.2	1.3	ホゾを組んだ状態で固定するための木釘が残存する。	滑らか	A型式	辺材	ヒノキ	Ⅲ
1265	紡織具	糸巻枠木	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－9	(10.6)	1.3	1.1	ホゾを組んだ状態で固定するための木釘孔が側面から貫通する。	やや滑らか	A型式	辺材	－	Ⅲ
1266	紡織具	織機	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	28.8	2.3	1.4	上下両端に頭部を削り出す。	粗い		柾目	－	Ⅲ
1267	紡織具	織機	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	27.2	2.8	0.7	上下両端の両側面に切り欠きが有り、糸(紐)を巻きつけた圧痕が残る。上端の圧痕は帯状を呈す。	滑らか		板目	－	Ⅲ
1268	紡織具	織機	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	28.1	2.4	1.2	上下両端の両側面に切り欠き有り。端部を丸く成形。	やや滑らか		柾目	－	Ⅲ
1269	紡織具	織機	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－6	26.2	(3.1)	1.4	上下両端の両側面に切り欠き有り。	やや粗い		柾目	－	Ⅲ
1270	武器	鏃	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	(4.8)	(1.5)	1.1	栓状鏃か。	やや滑らか		辺材	－	Ⅲ
1271	武器	鳴鏑	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	6.2	3.3	(1.8)	半裁。中央より上部は三面、下部は四面に削る。中央部に穿孔が3ヶ所。半裁されているため、元は六～八角形で穿孔は7～8ヶ所か。下部中央に柄を差し込む孔有り。	滑らか	七目鏑	芯持ち材	－	Ⅲ
1272	服飾具	檜扇	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	30.2	1.4	0.2	完形。下端に要孔有り。	滑らか	AⅠ型式	柾目	－	Ⅲ
1273	服飾具	檜扇	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	27.4	1.2	0.4	下端に要孔有り。4枚重なって出土した。	やや粗い	AⅠ型式	柾目2枚 板目1枚	－	Ⅲ
1274	服飾具	檜扇	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	35.2	1.7	2.1	要により3枚が重なって出土。1枚目は柾目、残りは板目。	粗い	AⅠ型式	柾目 板目	－	Ⅲ
1275	服飾具	檜扇	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	34.4	1.6	0.4	完形。下端に要孔有り。	やや滑らか	AⅠ型式	板目	－	Ⅲ
1276	服飾具	檜扇	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	26.6	1.7	0.3	9枚がまとまって出土。下端部は鈍角の圭頭状に成形。	やや粗い	AⅠ型式	柾目	－	Ⅲ
1277	服飾具	檜扇	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	18.8	1.0	2.6	11枚の骨が要に留まった状態で出土。骨の幅が狭く薄い。骨の厚さは均一でない。	やや粗い	AⅠ型式	板目	－	Ⅲ
1278	服飾具	檜扇	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－9	18.6	1.3	0.4	下端に要孔有り。	滑らか	AⅠ型式	板目	－	Ⅲ
1279	服飾具	檜扇	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	35.0	1.7	0.3	要に留まった状態で4本残存。	やや滑らか	AⅠ型式	柾目	－	Ⅲ
1280	服飾具	檜扇	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	(6.3)	1.2	0.7	下端部は圭頭状。Cのみ柾目。2本は要に留まった状態。	やや粗い	AⅠ型式	板目	－	Ⅲ
1281	服飾具	檜扇	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－7	(9.7)	1.4	0.4	下端部は圭頭状に成形。	やや滑らか	AⅠ型式	板目	－	Ⅲ
1282	服飾具	檜扇	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	(9.8)	(1.6)	0.2	下端部は丸く成形。	やや滑らか	AⅠ型式	板目	－	Ⅲ
1283	服飾具	檜扇	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－6	(15.7)	1.7	0.3 要部分 1.6	やや厚めの材。要が残存する。	滑らか	AⅠ型式	柾目	－	Ⅲ
1284	服飾具	檜扇	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	(13.7)	1.3	0.2	下端部は丸く成形。	粗い	AⅠ型式	板目	－	Ⅲ
1285	服飾具	檜扇	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	(13.9)	(1.7)	0.6	厚い材の両側を台形状に削る。	やや滑らか	AⅠ型式	板目	ヒノキ	Ⅲ
1286	服飾具	檜扇	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	(9.6)	1.5	(1.5)	2本の骨が要で留まっている。下端部は丸く成形。	やや滑らか	AⅠ型式	板目	－	Ⅲ
1287	服飾具	檜扇	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－9	(6.9)	1.4	0.2	下端部は鈍角の圭頭状に成形。	滑らか	AⅠ型式	板目	－	Ⅲ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点（大グリッド）（中グリッド）（小グリッド）	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
1288	服飾具	檜扇	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	(9.5)	1.1	0.2	下端部は平坦に成形。	滑らか	ＡⅠ型式	板目	－	Ⅲ
1289	服飾具	檜扇	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	(10.2)	1.8	0.3	下端部は圭頭状に成形。	やや滑らか	ＡⅠ型式	板目	－	Ⅲ
1290	服飾具	檜扇	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－7	(7.1)	1.0	0.3	下端部を丸く成形。	やや滑らか	ＡⅠ型式	板目	－	Ⅲ
1291	服飾具	櫛	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－9	3.6	(5.7)	0.9	刻歯式横櫛。歯＝56本残存。７本折れた痕有り。	滑らか	ＡⅠ型式	板目	－	Ⅲ
1292	服飾具	櫛	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－7	3.9	(4.7)	1.1	刻歯式横櫛。肩部から歯＝42本残存。	滑らか	ＡⅠ型式	板目	－	Ⅲ
1293	服飾具	櫛	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	3.1	(4.6)	0.9	刻歯式横櫛。歯＝45本残存。	滑らか	ＡⅠ型式	板目	－	Ⅲ
1294	服飾具	櫛	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	3.8	(4.6)	1.0	把手と歯共に丁寧な作り。刻歯式横櫛。歯＝44本残存。	滑らか	ＡⅠ型式	板目	－	Ⅲ
1295	服飾具	櫛	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	3.8	(2.8)	0.9	把手・歯とも丁寧な作り。刻歯式横櫛。歯＝33本残存。うち10本は完形。	やや滑らか	不明	板目	－	Ⅲ
1296	服飾具	留針	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－9	11.8	0.6	0.6	下端部を削り尖らせる。	滑らか		辺材	－	Ⅲ
1297	服飾具	留針	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－7	(15.0)	1.0	0.6	上端は浅い切り欠きを施す。下端部は尖らせる。	粗い		柾目	－	Ⅲ
1298	服飾具	下駄	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	(15.8)	(4.2)	(1.5)	欠損、摩滅部分が多い。右足用。親指の圧痕残存。前壺の半分及び、後壺（右側）残存。	やや粗い	C型式	板目	タブノキ	Ⅲ
1299	容器	円形曲物底板側板箍	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	14.9	14.6	器高 5.8	内面全体に細い罫引線有り。釘孔４ヶ所のうち、木釘２ヶ所残存。	やや粗い	釘結合曲物F 型式	板目	－	Ⅲ
1300	容器	円形曲物底板側板箍	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－7	13.8	13.7	器高 5.7	木釘３ヶ所残存。側板箍の内面に罫引線多数。底板表面に焦げ跡？残存。復元径＝13.8cm。箍高2.0cm。底板厚0.9cm。	やや滑らか	釘結合曲物F 型式	板目	－	Ⅲ
1301	容器	円形曲物底板側板箍	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－5	(13.8)	(14.2)	器高 3.1	内面全体に漆を塗布。側板と箍の連結部に木釘１ヶ所残存。底板に木釘３ヶ所残存。太く平たい釘を使用。箍高1.9cm。底板厚0.8cm。	粗い	釘結合曲物F 型式	板目	－	Ⅲ
1302	容器	柄杓	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	曲部 15.6 柄長 61.2	曲部 15.5 柄幅 2.4	器高 10.5 柄厚 1.7	同一個体の身と柄。身の側板の結合は１ヶ所４段。結合部残存。側板上部に木釘孔３ヶ有り。身の下縁に箍をつける。箍との結合は１ヶ所、横に六段。外面で両者をつなぐ。底板との結合は側板の外面から３ヶ所木釘を打ち込む。箍と側板だけを木釘で止めている部分が１ヶ所。柄を差し込んでいたと思われる孔１ヶ所残存。その反対側の側板が一部欠損しているため、柄が貫通していたと思われる孔は残存しない。柄に３ヶ所連続して穿孔有り。１ヶ所は木釘で身を止めていた。側板の内面全てに平行な罫引線有り、重なり部分の一部に斜めの罫引線有り。底板厚＝0.7cm。箍幅＝1.5cm。	滑らか	釘結合曲物	板目	－	Ⅲ
1303	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	13.7	13.9	0.5	樺皮結合用小孔３ヶ所残存。内面に罫引線残存。	やや滑らか	樺皮結合曲物Ｅ型式	柾目	－	Ⅲ
1304	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－6	18.1	17.0	0.4	樺皮結合紐３ヶ所残存。うち１ヶ所は側板と底板を結合。側板による円周状の圧痕有り。復元径＝18.2cm。	滑らか	樺皮結合曲物Ｅ型式	柾目	－	Ⅲ
1305	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	18.2	18.4	0.5	樺皮結合用小孔４ヶ所有り。樺皮結合紐２ヶ所残存。復元径＝18.4cm。	滑らか	樺皮結合曲物Ｅ型式	板目	－	Ⅲ
1306	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	24.1	(16.5) (4.1)	0.6	樺皮結合用小孔５ヶ所。うち１ヶ所は中央に有り。１ヶ所に樺皮結合紐残存。側板による円周状の圧痕と罫引線有り。内面に刃物傷多数。復元径＝24.0cm。	やや粗い	樺皮結合曲物Ｅ型式	板目	－	Ⅲ
1307	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－6	(20.4)	(9.7)	0.7	側板による円周状の圧痕有り。樺皮結合紐１ヶ所残存。刃物傷多数有り。復元径＝22.0cm。	やや粗い	樺皮結合曲物Ｅ型式	板目	－	Ⅲ
1308	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	17.2	(9.9)	0.5	側板による円周状の圧痕有り。裏面刃物傷多数。底板の円周を４等分して樺皮結合用小孔を配置、そのうち３ヶ所残存。中央部に樺皮結合紐残存の補修孔２ヶ所。復元径＝17.3cm。	やや滑らか	樺皮結合曲物Ｅ型式	板目	－	Ⅲ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量L	法量W	法量H	特徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
1309	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	(17.0)	(7.4)	0.4	樺皮結合用小孔2ヶ所残存。うち1ヶ所に樺皮結合紐残存。復元径＝17.3cm。側板の位置に刃物による傷跡有り。	滑らか	樺皮結合曲物E型式	柾目	－	Ⅲ
1310	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	(16.6)	(7.4)	0.5	側板による圧痕有り。側板を留める樺皮結合用小孔1ヶ所（樺皮結合紐残存）。中央部に補修孔2ヶ所。うち1ヶ所に樺皮結合紐残存。復元径＝16.9cm。	やや滑らか	樺皮結合曲物E型式	板目	－	Ⅲ
1311	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	12.2	(6.1)	0.2	円周状の細い線状痕有り（一部2重に巡る）。復元径＝12.2cm。樺皮結合紐1ヶ所残存。	滑らか	樺皮結合曲物E型式	柾目	－	Ⅲ
1312	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	18.0	(6.1)	0.4	樺皮結合用小孔4ヶ所。うち3ヶ所は補修孔か。側板を留める樺皮結合紐1ヶ所残存。裏面に刃物傷多数。底板が薄いため蓋の可能性有り。復元径＝18.0cm。	滑らか	樺皮結合曲物E型式	柾目	－	Ⅲ
1313	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	(13.7)	(7.3)	0.5	側板による円周状の圧痕有り。樺皮結合紐1ヶ所残存。復元径＝17.0cm。	滑らか	樺皮結合曲物E型式	柾目	－	Ⅲ
1314	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	(15.9)	(6.1)	0.6	側板による円周状の圧痕有り。復元径＝17.9cm。	滑らか	樺皮結合曲物E型式	板目	－	Ⅲ
1315	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	(13.5)	(3.4)	0.6	樺皮結合紐1ヶ所残存。側板の一部が残存。復元径＝16.0cm。	やや粗い	樺皮結合曲物E型式	板目	－	Ⅲ
1316	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	12.2	11.9	0.6	側板による円周状の圧痕有り。釘孔4ヶ所有り。うち1ヶ所に木釘残存。内面漆塗布。	滑らか（漆塗布）	釘結合曲物F型式	板目	－	Ⅲ
1317	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－6	13.8	12.8	0.7	釘孔8ヶ所。補強のため斜めに打っているもの有り。うち2ヶ所に木釘残存。	滑らか	釘結合曲物F型式	板目	－	Ⅲ
1318	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	13.0	12.6	0.8	やや不整円形。裏面に一部焦げ有り。釘孔4ヶ所有り。うち1ヶ所に木釘残存。	やや滑らか	釘結合曲物F型式	板目	－	Ⅲ
1319	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	13.8	13.0	0.7	釘孔4ヶ所有り。うち1ヶ所に木釘が残存。内面に漆が残存。	やや粗い	釘結合曲物F型式	板目	－	Ⅲ
1320	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	15.4	15.4	0.7	釘孔3ヶ所有り。一部が炭化。復元径＝14.5cm。	やや粗い	釘結合曲物F型式	板目	－	Ⅲ
1321	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	13.1	(8.9)	0.8	釘孔3ヶ所有り。うち2ヶ所に木釘が残存。端部に削り有り。復元径＝13.1cm。	やや粗い	釘結合曲物F型式	板目	－	Ⅲ
1322	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－9	(13.8)	(5.8)	0.6	釘孔2ヶ所有り。うち1ヶ所に木釘が残存。斜めに打ったため木釘が表面に出ている。側板の圧痕有り。復元径＝13.9cm。	滑らか	釘結合曲物F型式	板目	－	Ⅲ
1323	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	20.5	(13.0)	0.8	釘孔大4ヶ所、小4ヶ所有り。内面全体に漆と思われる塗料が残存。復元径＝20.6cm。	滑らか	釘結合曲物F型式	板目	－	Ⅲ
1324	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	(29.0)	(11.0)	(1.1)	釘孔2ヶ所有り。刃物傷有り。一部が炭化。復元径＝29.4cm。	やや滑らか	釘結合曲物F型式	板目	－	Ⅲ
1325	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－7	20.6	9.0	0.7	釘孔3ヶ所有り。うち1ヶ所に木釘が残存。裏面全体に圧痕有り。表面に漆塗布。復元径＝21.8cm。	粗い	釘結合曲物F型式	板目	－	Ⅲ
1326	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	(5.7)	(3.7)	0.4	全体が摩滅。円形曲物蓋の可能性有り。復元径＝5.9cm。	やや粗い	結合方法不明曲物	板目	－	Ⅲ
1327	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	(15.4)	(7.3)	0.5	釘孔4ヶ所有り。刃物による円周状の傷跡有り。復元径＝16.0cm。	やや滑らか	釘結合曲物F型式	板目	－	Ⅲ
1328	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－9	(13.9)	(5.9)	0.8	釘孔4ヶ所有り。復元径＝14.4cm。	やや滑らか	釘結合曲物F型式	板目	－	Ⅲ
1329	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	14.1	(8.8)	0.7	側板による円周状の圧痕有り。側板痕より内側に漆残存。左半分の漆は剥がれている部分多い。復元径＝14.0cm。	やや滑らか 漆塗布	結合方法不明曲物E型式	柾目	－	Ⅲ
1330	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	13.7	(9.6)	0.6	不整円形。裏面に刃物傷多数。復元径＝13.7cm。	滑らか	結合方法不明曲物	板目	－	Ⅲ
1331	容器	円形曲物蓋板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	13.7	(9.8)	0.8	釘孔3ヶ所有り。中央に径0.6cmの穴有り。復元径＝13.7cm。	やや滑らか	釘結合曲物F型式	板目	－	Ⅲ
1332	容器	円形曲物蓋板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	13.8	(6.5)	0.6	周囲が中央部より薄い。中央に径1.2cmの孔有り。復元径＝14.0cm。	やや粗い	結合方法不明曲物	柾目	－	Ⅲ
1333	容器	円形曲物蓋板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－9	(12.7)	(3.6)	0.6	焼印有り。	粗い	結合方法不明曲物	板目	－	Ⅲ
1334	容器	円形曲物側板箍	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－7	16.3	16.4	器高4.0	釘孔4ヶ所有り。	滑らか	釘結合曲物F型式	板目	－	Ⅲ
1335	容器	曲物側板箍	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	(6.3)	(50.0)	0.4	樺皮結合紐1ヶ所残存。箍を止める釘孔2ヶ所有り。うち1ヶ所に木釘が残存。内外面に漆塗布。	粗い	結合方法不明曲物	柾目	－	Ⅲ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
1336	容器	曲物側板箍	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－7	4.8	(31.0)	0.3	穿孔3ヶ所有り。釘孔か。箍に樺皮結合紐1ヶ所残存。	滑らか	結合方法不明曲物	板目	－	Ⅲ
1337	容器	円形曲物側板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	4.1	(14.8)	0.2	樺皮結合紐1ヶ所残存。内面に罫引線有り。	やや滑らか	結合方法不明曲物	柾目	－	Ⅲ
1338	容器	曲物箍	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	(12.3)	1.3	0.4	板を2枚重ね、樺皮結合紐で結合。	滑らか	結合方法不明曲物	板目	－	Ⅲ
1339	容器	楕円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－7	(49.3)	(9.6)	0.5	樺皮結合紐3ヶ所残存。内面に刃物傷多数有り。	粗い	樺皮結合曲物E型式	板目	－	Ⅲ
1340	容器	楕円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	(11.0)	(45.0)	0.8	欠損が多く状態が悪い。樺皮結合紐2ヶ所残存。側板による圧痕有り。	やや粗い	樺皮結合曲物E型式	板目	－	Ⅲ
1341	容器	刳物蓋	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	口経 14.0	－	器高 1.9	大小の穿孔2ヶ所有り。外面中央部は平坦。外周方向への削り。側面は横方向の削り。内面は刃物傷多数有り。	粗い		横木取り	－	Ⅲ
1342	容器	槽	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	(4.3)	(7.2)	3.4	上面に穿孔3ヶ所、底部に十字の切り込み有り。内面を焼いたものか。	滑らか		横木取り	－	Ⅲ
1343	容器	槽	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	(8.3)	(3.9)	(3.1)	内外面とも削りにより、滑らかに成形。内面に炭化した部分有り。	滑らか		辺材	－	Ⅲ
1344	容器	蓋	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	(10.4)	(5.7)	器高 2.8	釘孔2ヶ所有り。木釘が1ヶ所に残存。上部外面は平坦に削る。内面横方向に削り。工具幅2.1cm以上。	やや滑らか		横木取り	－	Ⅲ
1345	容器	蓋	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－7	12.1	(8.2)	1.5	復元径＝12.0cm。	粗い		板目	－	Ⅲ
1346	容器	挽物	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	口径 17.7	(10.3)	器高 1.1	底部外面に轆轤の爪跡4ヶ所残存。側面は内外ともに削り。工具線多数。内外面に刃物傷多数。	やや滑らか		横木取り	－	Ⅲ
1347	容器	挽物	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	(17.4)		器高 1.0	両面に刃物傷多数。復元径＝17.4cm。	やや滑らか		横木取り	ヒノキ	Ⅲ
1348	容器	栓	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	(11.6)	4.0	3.5	芯持ち材の上部の縁辺を面取り。軸の部分は細い円柱状に成形。上部に樹皮残存。	やや滑らか		芯持ち材	－	Ⅲ
1349	容器	栓か	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	(10.9)	2.1	1.7	上端部は四方から削って尖らせる。下端部は細かな削りによる。	滑らか		芯持ち材	－	Ⅲ
1350	容器	栓	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	4.1	3.4	2.8	全体的に摩滅し、丸みを帯びる。下端を僅かに削って尖らせる。	やや粗い		芯持ち材	－	Ⅲ
1351	食事具	杓子	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－7	14.9	4.7	0.4	先端は欠損。残存部から半円形状の可能性が高い。柄の端部は鈍角な圭頭状。	滑らか	B型式	板目	－	Ⅲ
1352	食事具	杓子	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	(17.0)	6.6	0.6	先端は半円形。柄の端部は欠損。表裏共漆が部分的に残存。	やや滑らか	B型式	板目	－	Ⅲ
1353	食事具	杓子	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	(13.6)	6.7	0.7	先端は半円形。柄部欠損。	滑らか	B型式	板目	－	Ⅲ
1354	食事具	杓子	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	(14.4)	(3.8)	0.5	半裁されているが、先端は半円形。	滑らか	B型式	板目	－	Ⅲ
1355	食事具	杓子	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	(10.3)	(4.9)	0.5	柄の端部のみ残存。	やや滑らか	不明	板目	ヒノキ	Ⅲ
1356	食事具	杓子	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	(15.6)	2.4	0.3	先端は直線状。柄部を細く成形。	やや粗い	A型式	板目	－	Ⅲ
1357	食事具	杓子	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	(19.3)	(4.2)	0.4	身は楕円形状で、中央を浅く削り若干くぼみを作る。匙か。	滑らか	B型式	板目	－	Ⅲ
1358	食事具	杓子	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－9	(18.5) (14.0)	(1.7) (3.5)	0.4 0.5	先端は半円形。大部分が欠損。復元幅＝8cm程度。	粗い	B型式	板目	－	Ⅲ
1359	食事具	杓子	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	(22.0)	2.0	0.5	先端部欠損。柄部は細く長い。	やや滑らか	不明	板目	－	Ⅲ
1360	食事具	箸	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	24.1	0.6	0.5	全体に面取りし、断面多角形に成形。上下はやや細めに削る。	やや滑らか		辺材	－	Ⅲ
1361	食事具	箸	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	23.1	0.6	0.5	下端がやや尖る。	やや滑らか		芯持ち材	－	Ⅲ
1362	食事具	箸	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	(18.8)	0.8	0.7	全体に面取りをし、下端がやや尖る。	やや滑らか		辺材	－	Ⅲ
1363	食事具	箸	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	14.0	0.5	0.4	断面多角形。下端部を尖らせる。箸にしては短いか。	やや滑らか		辺材	－	Ⅲ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点 (大グリッド) (中グリッド) (小グリッド)	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
1364	食事具	箸	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	(15.1)	0.4	0.4	下端をやや細く削る。断面は七角形。	滑らか		辺材	ヒノキ	Ⅲ
1365	食事具	匙	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－9	14.8	3.2	0.7	先縁は半円形を呈する。身は平坦。柄は削ってやや細く成形。	滑らか	B型式	板目	－	Ⅲ
1366	食事具	匙	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	(7.5)	1.2	0.2	先端は半円形。身はほぼ平端で、僅かに両側を薄く削る。柄は細く削る。	やや滑らか	B型式	辺材	－	Ⅲ
1367	食事具	匙	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	(9.1)	1.6	0.4	厚手の板の端を薄く削り、身の部分を成形。全体に丁寧な作り。先端は直線状。身と柄の付け根の上面が、削りによって僅かに屈曲。	滑らか	C型式	板目	ヒノキ	Ⅲ
1368	食事具	匙	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	(8.7)	2.6	0.5	身の左端を削って薄く成形。右端は欠損。両端部欠損。	滑らか	不明	板目	－	Ⅲ
1369	食事具	匙	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	(7.0)	1.6	0.6	身は削りによって扁平に成形。両端部欠損。	やや滑らか	不明	板目	－	Ⅲ
1370	食事具	匙	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－9	(7.4)	2.8	0.9	身は削りによって曲面に成形。先端欠損。	滑らか	不明	柾目	－	Ⅲ
1371	食事具	刺串	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－7	21.1	0.9	0.5	下端の角を削り落として尖らせる。	滑らか		板目	－	Ⅲ
1372	文房具	木札	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	(16.6)	4.0	0.6	上端部両側の２ヶ所に浅い切り欠き有り。	滑らか	付札形	板目	－	Ⅲ
1373	文房具	木札	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	(15.6)	2.0	0.2	上端部両側に深い切り欠き有り。	やや粗い	付札形	板目	－	Ⅲ
1374	文房具	木札	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－9	(8.3)	3.9	0.5	上端近くの両側に浅い切り欠き有り。上下両端は欠損。	滑らか	付札形	板目	－	Ⅲ
1375	文房具	木札	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	(6.9)	2.4	0.8	上端部両側に浅い切り欠き有り。	やや粗い	付札形	柾目	－	Ⅲ
1376	文房具	木札	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	6.0	2.4	0.6	上端部両側に深い切り欠き有り。	やや滑らか	付札形	柾目	－	Ⅲ
1377	祭祀具	刀形	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	(17.6)	2.7	0.3	刀身は片側を薄く削って刃を付ける。下部欠損。	やや粗い	A型式	板目	－	Ⅲ
1378	祭祀具	刀形	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	(14.3)	1.8	0.7	全体に摩滅している。刀身部分は欠損するが柄は残存。刀子形の可能性有り。	やや粗い	A型式	板目	－	Ⅲ
1379	祭祀具	剣形	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	(19.9)	2.7	0.7	全体に細かい削りによって成形。両側に歯を付け、切先を山形に尖らせる。柄部欠損。鏃形か。	滑らか	B型式	板目	－	Ⅲ
1380	祭祀具	刀形	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	(19.1)	2.6	1.0	柄を細く削り出して表現。	やや滑らか	B型式	板目	－	Ⅲ
1381	祭祀具	刀形	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－6	(14.3)	1.6	1.0	刃部、柄部ともにやや厚手。摩滅激しい。	やや粗い	B型式	板目	モミ属	Ⅲ
1382	祭祀具	刀形	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	(15.0)	1.9	0.6	やや厚手の板状で断面は楕円形。刃部は細く成形。	滑らか	不明	板目	－	Ⅲ
1383	祭祀具	鋸歯付刀形	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	(31.9)	3.6	0.9	刀形木製品の一側縁に鋸歯状の刻みを入れる。	滑らか		板目	－	Ⅲ
1384	祭祀具	鏃形	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	25.7	1.4	0.7	やや厚めの板を削って身と柄を表現。切先は山形に鋭く尖らせる。	やや滑らか		板目	－	Ⅲ
1385	祭祀具	鏃形	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	19.1	2.1	0.5	先端を山形に尖らせる、柄は細く削って表現。	やや滑らか		板目	－	Ⅲ
1386	祭祀具	鏃形	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	(16.6)	1.8	0.4	先端を山形に尖らせる、柄は細く削って表現。	やや滑らか		板目	－	Ⅲ
1387	祭祀具	矛形	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－9	(38.2)	2.9	1.5	厚めの材の下端部を削り出し、柄を成形。刃部は徐々に細くなるように削る。	粗い		板目	－	Ⅲ
1388	祭祀具	鏃形	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－9	(32.5)	2.0	0.6	刃部はヘラ状に薄く削り、先端は丸く成形。柄は細長く削り出す。	滑らか		板目	－	Ⅲ
1389	祭祀具	剣形	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－9	(27.0)	2.0	0.9	厚めの材を削り、鎬を鋭く成形。柄は短い。	滑らか		板目	－	Ⅲ
1390	祭祀具	剣形	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－9	(24.3) (7.5)	2.6	0.5	全体に細かい削りによって成形。両側に歯を付け、切先を山形に尖らせる。鎬に沿って斜めに文様有り。	滑らか		板目	－	Ⅲ
1391	祭祀具	鏃形	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－8	(29.7)	1.9	0.4	先端を山形に尖らせる、柄は細く削って表現。	滑らか		板目	－	Ⅲ
1392	祭祀具	剣形	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	23.0	2.0	0.5	先端は丸く成形。ヘラ状の木製品か。	滑らか		板目	－	Ⅲ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点（大グリッド）（中グリッド）（小グリッド）	法量 L	法量 W	法量 H	特徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
1393	祭祀具	剣形か	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	14.1	4.0	0.3	木葉形に模ったものか。中央部の孔は裏面からの穿孔。	滑らか		板目	－	Ⅲ
1394	祭祀具	剣形か	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	(8.8)	4.0	0.8	木葉形に模ったものか。	やや滑らか		板目	コウヤマキ	Ⅲ
1395	祭祀具	剣形か	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	7.9	2.0	0.7	上部の左右両側に突起有り。	滑らか		板目	－	Ⅲ
1396	祭祀具	紡織具形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－7	14.0	0.5	0.6	上下両端の両側面に細かい抉り有り。	やや滑らか		辺材	－	Ⅲ
1397	祭祀具	紡織具形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－7	10.8	0.5	0.5	上下両端の両側面に細かい抉り有り。	やや滑らか		板目	－	Ⅲ
1398	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	(10.2)	(1.5)	1.8	眉・目・口を浅く彫り込んで表現。左側面に切り込み有り。腕か。頭部は平坦。	やや滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅲ
1399	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	(18.9)	1.8	0.5	板に切り込みを入れて頭・腰・足を成形。	やや滑らか	正面全身人形	板目	－	Ⅲ
1400	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	(19.5)	(2.8)	0.2	下端部に切り込みを入れて足を成形。上半身に墨痕有り。	粗い	正面全身人形	板目	－	Ⅲ
1401	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	(22.2)	6.4	0.5	下端部に切り込みを入れて足を成形。	やや滑らか	正面全身人形	板目	－	Ⅲ
1402	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－6	(14.5) (36.3) (40.6)	(6.2)	0.7	頭・胴・足が分離しているが、同一個体と判断。	やや滑らか	正面全身人形	板目	－	Ⅲ
1403	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	(9.6)	6.4	0.5	墨で髪・眉・目・口・鼻を表現。頭部のみ残存。墨痕は薄い。	滑らか	正面全身人形	板目	－	Ⅲ
1404	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	(11.8)	2.8	0.4	首の上側に墨線有り。右側に切り込みを入れ、横顔を表現したものか。	滑らか	側面全身人形	板目	－	Ⅲ
1405	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－9	(8.8)	(3.3)	0.3	頭部の一部か。杓子の可能性有り。	やや粗い	正面全身人形	板目	－	Ⅲ
1406	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	(8.8)	6.2	0.6	上端は左右から削り、鈍角の圭頭状に成形。斎串の可能性有り。	滑らか	正面全身人形	板目	－	Ⅲ
1407	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	(6.3)	1.9	0.2	上端部は丸く削る。上部の左右両側に小さな切り込みにより、首を表現したものか。	やや粗い	正面全身人形	板目	－	Ⅲ
1408	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－8	(7.7)	(1.0)	(0.2)	中央から裁断したもの。三角形の切り込みにより首と腰を表現。足は内湾。	やや滑らか	正面全身人形	柾目	－	Ⅲ
1409	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－6	7.7	1.3	0.8	棒状の厚手の板を丁寧に削り、頭と胴体を成形。下端は尖らせる。裏面は平坦で加工無し。	滑らか	立体人形	板目	－	Ⅲ
1410	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	6.7	2.8	1.6	厚手の板を削り、頭と胴体を成形。裏面は平坦で加工無し。	粗い	立体人形	板目	－	Ⅲ
1411	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	7.0	1.7	1.5	表と側面は丁寧な削りにより成形。上端部を3面から削って尖らせる。裏面は平坦で加工無し。	やや粗い	立体人形	辺材	－	Ⅲ
1412	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	8.6	1.5	0.8	頭と胴体を丁寧に成形。上下両端は圭頭状。裏面は平坦で加工無し。	滑らか	立体人形	柾目	－	Ⅲ
1413	祭祀具	陽物形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	6.2	2.0	1.6	表と側面は丁寧な削りにより成形。上端を亀頭状に成形。裏面は平坦。1411に類似。	やや滑らか		板目	－	Ⅲ
1414	祭祀具	陽物形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	(23.1)	1.8	1.9	上端部は丁寧な削りで尖らせ、両側面と表面に浅い溝をつけ、亀頭部を表現。	滑らか		柾目	ヒノキ	Ⅲ
1415	祭祀具	棒状祭祀具	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	26.3	0.8	0.7	全体的に細かな削りにより断面多角形。下端を鋭く尖らせる。	滑らか		辺材	－	Ⅲ
1416	祭祀具	棒状祭祀具	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	22.7	0.7	0.4	下端を鋭く尖らせる。	やや粗い		辺材	－	Ⅲ
1417	祭祀具	棒状祭祀具	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－9	(23.0)	1.3	0.9	断面多角形の棒状。上端四方より削って尖らせる。	滑らか		板目	－	Ⅲ
1418	祭祀具	棒状祭祀具	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	(10.8)	1.6	1.5	上方四方から削って尖らせる。下部欠損。	粗い		辺材	－	Ⅲ
1419	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－7	(33.6)	2.7	0.3	上下両端斜めに切り落とし、台形状を呈する。	やや粗い	ＡⅠ型式	板目	－	Ⅲ
1420	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	13.2	1.8	0.3	上下両端斜めに切り落とし、台形状を呈する。両面に線状の墨痕有り。	滑らか	ＡⅠ型式	板目	－	Ⅲ
1421	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	(10.0)	1.3	0.3	上端は圭頭状で、先端を切る。下部欠損。	やや滑らか	ＢⅠ型式	板目	－	Ⅲ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点（大グリッド）（中グリッド）（小グリッド）	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
1422	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	(25.4)	2.1	0.5	一端は圭頭状。他端は欠損。	やや粗い	B型式	板目	－	Ⅲ
1423	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	(7.9)	1.4	0.3	1421と同様の形態か。下部欠損。	やや滑らか	CⅠ型式	板目	－	Ⅲ
1424	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－7	19.2	1.9	0.4	切り込み：左右両側上部に上から各1回。下端は尖るよう成形。	やや滑らか	CⅢ型式	板目	－	Ⅲ
1425	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	18.3	2.4	0.3	切り込み：左側上部に上から2回。右側上部に上から4回。	粗い	CⅢ型式	板目	－	Ⅲ
1426	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	10.2	1.3	0.2	切り込み：左側上部に上から4回。右側下部に下から1回。全体の形状はC型式に近いが、切り込みが左に偏っている。	粗い	CⅢ型式	板目	－	Ⅲ
1427	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	(12.6) (10.0)	1.7	0.2	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	滑らか	CⅢ型式	板目	－	Ⅲ
1428	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－6	(23.8)	2.2	0.6	切り込み：左側上部に上から3回。右側上部に上から4回。	粗い	CⅢ型式	柾目	－	Ⅲ
1429	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	(20.6)	1.8	0.3	切り込み：左側上部に上から2回。右側上部に上から5回。	やや粗い	CⅢ型式	板目	－	Ⅲ
1430	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	(19.4)	1.3	0.2	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	やや粗い	CⅢ型式	柾目	－	Ⅲ
1431	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－8	(16.0)	1.9	0.5	切り込み：左側上部に上から3回。右側上部に上から4回。	やや粗い	CⅢ型式	板目	－	Ⅲ
1432	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	(7.8) (7.8)	2.4	0.3	切り込み：左右両側上部に上から各2回。	滑らか	CⅢ型式	板目	－	Ⅲ
1433	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	(11.1)	1.5	0.2	切り込み：左右両側上部に上から各3回。	やや粗い	CⅢ型式	板目	－	Ⅲ
1434	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	(8.6)	2.0	0.2	切り込み：左側上部に上から4回。右側上部に上から3回。	やや滑らか	CⅢ型式	板目	－	Ⅲ
1435	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－9	(11.9)	1.3	0.4	切り込み：左側上部に上から2回、右側上部に上から3回。	やや粗い	CⅢ型式	板目	－	Ⅲ
1436	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	10.8	2.0	0.3	切り込み：左側上部に上から4回。右側上部に上から3回。	やや滑らか	CⅢ型式	板目	－	Ⅲ
1437	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	(9.3)	2.1	0.4	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	滑らか	CⅢ型式	板目	－	Ⅲ
1438	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－7	(5.5)	1.8	0.2	切り込み：左側上部に上から3回。その他欠損のため不明。	やや滑らか	CⅢ型式	板目	－	Ⅲ
1439	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－10	36.7	2.1	0.3	切り込み：左側上部に上から3回。右側上部に上から3回、中央部に下から6回。	やや粗い	CⅤ型式	板目	－	Ⅲ
1440	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	(25.8)	2.1	0.2	切り込み：左側上部に上から3回、下から5回。右側上部に上から4回、下から6回。	やや粗い	CⅤ型式	板目	－	Ⅲ
1441	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	(18.7)	1.9	0.2	切り込み：左側上部に上から5回、下から4回。右側上部に上から6回、下から6回。	やや滑らか	CⅤ型式	板目	－	Ⅲ
1442	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	(13.0)	2.1	0.6	欠損部分が多く状態は悪い。切り込み：左側上部に上から3回、下から4回。右側上部に上から3回、下から2回。	滑らか	CⅤ型式	柾目	－	Ⅲ
1443	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－6	(11.9)	2.5	0.4	切り込み：左側上部に上から8回、下から4回。右側上部に上から6回、下から6回。	やや粗い	CⅤ型式	板目	－	Ⅲ
1444	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－8	(12.1)	2.1	0.3	切り込み：左側上部に上から6回、下から2回。右側上部に上から8回、下から2回。	滑らか	CⅤ型式	板目	－	Ⅲ
1445	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－7	(9.9)	2.4	0.5	切り込み：左右両側上部に上から各3回、下から各2回。	やや粗い	CⅤ型式	板目	－	Ⅲ
1446	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－9	19.3	1.2	0.1	左側4ヶ所、右側5ヶ所に切り欠き有り。上端部は圭頭状。	滑らか	CⅥ型式	板目	－	Ⅲ
1447	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	(14.2)	1.5	0.1	左右に各5ヶ所、三角形の小さな切り欠き有り。	やや粗い	CⅥ型式	板目	－	Ⅲ
1448	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	(13.2)	1.7	0.2	残存部の左側4ヶ所、右側3ヶ所に三角形の切り欠き有り。切り込み：左側下部に下から3回。右側下部に下から4回。	やや粗い	CⅦ型式	板目	－	Ⅲ
1449	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	(33.4)	2.6	0.6	上部をやや細く削り、下端部を鋭角に尖らせる。上部欠損。	やや粗い	C型式	板目	－	Ⅲ
1450	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	(27.5)	2.6	0.5	上部欠損。	粗い	C型式	板目	－	Ⅲ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点（大グリッド）（中グリッド）（小グリッド）	法量 L	法量 W	法量 H	特徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
1451	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－7	(16.2)	1.8	0.3	上部をやや細く削り、下端部を鋭角に尖らせる。上部欠損。	やや滑らか	C型式	板目	ヒノキ	Ⅲ
1452	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	(11.0)	1.5	0.4	上部欠損。	やや滑らか	C型式	柾目	－	Ⅲ
1453	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	14.8	1.1	0.3	全体を削り、下部を鋭角に尖らせる。	滑らか	D Ⅰ型式	板目	－	Ⅲ
1454	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－8	21.3	3.7	0.6	上端は鈍角の圭頭状。幅広で短く、下端は丸く成形。	やや粗い	D Ⅰ型式	板目	－	Ⅲ
1455	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	(22.0)	1.4	0.3	両面とも細かな削りによって成形し、上端を尖らせる。下端は欠損。	やや滑らか	D Ⅰ型式	板目	－	Ⅲ
1456	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	(18.7)	1.0	0.2	両面とも細かな削りによって成形し、上端を尖らせる。下端は欠損。	やや滑らか	D Ⅰ型式	板目	－	Ⅲ
1457	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	(4.2)	2.0	0.3	上部に方形の穴有り。右上に抉りのような切り込み1ヶ所有り。	粗い	D型式	板目	－	Ⅲ
1458	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	(4.0)	1.3	0.2	両面に線状の墨痕有り。上下両端欠損。	滑らか	不明	板目	－	Ⅲ
1459	雑具	把手	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	1.1	14.4	1.3	表面を丁寧に削り、両端部を削って窪ませる。	やや滑らか		辺材	スギ	Ⅲ
1460	雑具	把手	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	2.5	18.0	0.7	板の両端中央部に穿孔有り。	滑らか		板目	ヒノキ	Ⅲ
1461	雑具	吊り棚	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	18.9	2.3	1.7	上端は削り残して頭部をつくる。下端は前後から削り出す。紐による圧痕有り。把手か。	やや粗い		芯持ち材	－	Ⅲ
1462	部材	部材	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	(21.7)	2.2	1.4	上端部削りしろを長く取って尖らせる。上部に細かく削ったホゾ孔有り。	やや滑らか		柾目	－	Ⅲ
1463	雑具	籌木	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－7	(43.4)	1.2	0.7	全面削りにより断面多角形。	滑らか		板目	－	Ⅲ
1464	雑具	籌木	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	(7.8)	0.8	0.4	全面削りにより断面多角形。	滑らか		柾目	ヒノキ	Ⅲ
1465	部材	部材	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	24.5	2.4	1.2	上部は平坦に削り落とす（圧痕有り）。下部は角を削って丸みを帯びる。断面半円形。	滑らか		板目	－	Ⅲ
1466	部材	台座	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	3.3	(6.8)	1.1	長方形の板に、長辺から弧状に刳形を入れる。	やや滑らか		板目	ヒノキ	Ⅲ
1467	部材	部材	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	(12.3)	3.5	1.5	正方形のホゾ穴残存。ホゾ（L＝3.3cm　W＝1.3cm　H＝1.3cm）が残存。	やや粗い		板目	－	Ⅲ
1468	部材	部材	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－7	(2.5)	3.0	(1.7)	角材の角を削り球状に成形。下部より貫通しない穿孔有り（径＝1.0cm）。	滑らか		辺材	－	Ⅲ
1469	部材	部材	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	(48.5)	1.4	1.0	上端部を削り込んで紐掛け部分を成形。上端は若干尖らせる。	滑らか		辺材	－	Ⅲ
1470	部材	部材	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－7	29.6	2.1	0.7	上端に穿孔1ヶ所。右側下部に台形状の抉り有り。下端の方がやや幅が狭い。	滑らか		板目	－	Ⅲ
1471	部材	部材	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	3.2	(30.7)	1.4	厚みのある板の一端を尖らせる。	やや滑らか		辺材	－	Ⅲ
1472	部材	部材	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	(5.5)	6.0	5.2	上部中央に組み合わせのための溝有り。	やや粗い		芯持ち材	－	Ⅲ
1473	部材	部材	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－6	4.0	3.8	3.9	一面を丸く成形。	滑らか		辺材	ヒノキ	Ⅲ
1474	部材	板材	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	11.4	2.6	0.4	両端に各4ヶ所の穿孔有り。上部より下部が若干細い。	滑らか		板目	－	Ⅲ
1475	部材	板材	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	(31.2)	(10.3)	1.0	板の中央部に貫通しない穿孔4ヶ所有り。平行した2つの穴を何かでとめた痕跡が残る。	やや滑らか		柾目	－	Ⅲ
1476	部材	樺巻棒	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－9	(13.5)	1.4	1.2	1本の棒状木製品を縦に3分割し、樺皮紐で束ねて1本にしたもの。巻きはじめは木に切り込みを入れ、樺皮紐を挟み込み留める。	滑らか		辺材	－	Ⅲ
1477	部材	樺巻棒	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	(6.7) (17.3)	2.6	1.5	斎串状の板と4本の棒状木製品を樺皮紐でまとめている。上下は欠損。	滑らか	不明	板部分・板目他・辺材	－	Ⅲ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量L	法量W	法量H	特徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
1478	容器	栓	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－7	(10.3)	2.6	2.8	円柱形の身と棒状の柄からなる。身の部分は一部に面取りを行い滑らかに成形。部分的に樹皮残存。柄の部分は面取りを行い成形。下端部削りにより尖らせる。	滑らか		芯持ち材	－	Ⅲ
1479	杭	杭	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	(11.5)	1.7	1.3	辺材を粗く削り下端を尖らせる。上端部は四方から削る。右側面は窪む。棒状祭祀具か。	粗い		辺材	－	Ⅲ
1480	雑具	籌木か	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	13.7	1.7	0.8	上端部は僅かに凹形に窪む。	やや粗い		板目	－	Ⅲ
1481	容器	栓	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－9	(4.5)	3.4	3.6	全体に摩滅が激しい。	やや粗い		辺材	－	Ⅲ
1482	用途不明	不明	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	(5.6)	2.5	2.1	四角柱を２段階削って上部を細く成形。右側面に鉄片？２ヶ所残存。	やや滑らか		辺材	－	Ⅲ
1483	用途不明	不明	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	(6.6)	1.8	0.5	両端は尖らせ、中央部両側から抉りを入れる。双葉のような形状。	滑らか		板目	－	Ⅲ
1484	用途不明	不明	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－7	5.0	3.0	0.6	中央に穿孔１ヶ所有り。	やや滑らか		板目	－	Ⅲ
1529	服飾具	檜扇	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－7	(20.2)	1.8	0.2	薄い板の下端部を鈍角の圭頭状に削る。要孔残存。	やや滑らか	ＡⅠ型式	柾目	－	Ⅳ
1530	運搬具	天秤棒	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－6	(9.6)	2.3	1.5	端部の片側に深い切り込みを入れ、紐を掛ける部分を成形。丁寧な作り。断面楕円形。樹皮僅かに残存。	滑らか	切り込み型	芯持ち材	アワブキ属	Ⅳ
1531	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	16.4	(4.7)	0.9	裏面に刃物傷多数。「述」の文字が彫られている。復元径＝16.4cm。	やや粗い	結合方法不明曲物	板目	－	Ⅳ
1532	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－7	(25.0)	(7.1)	0.7	樺皮が切れており紐の結び方は不明。復元径＝29.4cm。	滑らか	樺皮結合曲物Ｅ型式	板目	－	Ⅳ
1533	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－7	18.1	(10.0)	0.8	側面に釘孔３ヶ所有り。うち２ヶ所に木釘残存。復元径＝18.1cm。	滑らか	釘結合曲物Ｆ型式	柾目	－	Ⅳ
1534	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－5	(16.6)	(8.4)	0.7	釘孔２ヶ所有り。表面全体に漆が残存。復元径＝19.2cm。	やや滑らか	釘結合曲物Ｆ型式	柾目	－	Ⅳ
1535	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－8	(6.3)	(15.7)	0.7	釘孔３ヶ所有り。復元径＝15.8cm。	やや滑らか	釘結合曲物Ｆ型式	柾目	－	Ⅳ
1536	容器	方形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－6	42.3	10.7	1.1	穿孔３ヶ所有り。うち２ヶ所は木釘が残存。内外面とも刃物傷多数有り。全体に叩いたような圧痕が有る。	やや粗い	樺皮結合曲物Ｅ型式	板目	－	Ⅳ
1537	容器	方形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	(43.9)	12.0	0.5	隅丸方形。	粗い	結合方法不明曲物	柾目	－	Ⅳ
1538	食事具	箸	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	21.6	0.5	0.4	全体に細かい削り。両端部がやや細く成形。	滑らか		辺材	－	Ⅳ
1539	文房具	木札	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	18.5	3.1	0.5	上部の両側に切り欠き有り。下端は丸く成形。	滑らか	付札形	板目	－	Ⅳ
1540	文房具	木札	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－7	12.0	2.6	0.3	上端の両側に切り欠き有り。右辺一部欠損。	やや粗い	付札形	板目	－	Ⅳ
1541	祭祀具	刀形	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－9	(17.0)	2.4	0.5	板の片側を両面から削って刀の刃部を成形。束の部分は粗く削る。	滑らか	Ａ型式	柾目	－	Ⅳ
1542	祭祀具	刀形	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	(15.3)	1.9	0.4	上部を丸く、下部は少し細く成形。	滑らか	Ｂ型式	板目	－	Ⅳ
1543	祭祀具	紡織具形	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	14.0	0.7	0.4	上下両端の左右側面に細かい抉り有り。	やや滑らか		板目	－	Ⅳ
1544	祭祀具	紡織具形	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	19.7	1.0	0.9	上下両端の左右側面に細かい抉り有り。	滑らか		辺材	－	Ⅳ
1545	祭祀具	人形	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－7	(27.7)	1.3	1.3	目・口・顎・頬を浅い彫り込みにより表現。上端部は斜めに削り、下端部は裏面から斜めに削って尖らせる。		円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅳ
1546	祭祀具	人形	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	(27.2)	1.4	1.2	節のある細い自然木に目・鼻・口を彫り込む。欠損のため片側の目のみ残存。	粗い	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅳ
1547	祭祀具	人形	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－6	(36.2)	(5.8)	0.4	肩・腰・膝に三角形の切り込みを入れる。顔の表現は墨書による。髭有り。	滑らか	正面全身人形	板目	－	Ⅳ
1548	祭祀具	馬形	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－6	1.7	6.1	0.5	板に切り込みを入れて首・背を表現。鳥形の可能性有り。	やや粗い	ＡⅠ型式	柾目	－	Ⅳ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量L	法量W	法量H	特徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
1549	祭祀具	馬形	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	1.4	10.5	(1.5)(0.4)	板に切り込みを入れて胴・頭・尾を成形。鳥形か。	滑らか	AⅠ型式	板目	－	Ⅳ
1550	祭祀具	棒状祭祀具	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	(9.3)	0.4	0.4	中央部使用頻度が多かったためか摩耗している。上端部は左右二方向より尖らせる。下端は左右から尖らせるが、薄く成形し耳かきに類似。	滑らか		板目	－	Ⅳ
1551	祭祀具	棒状祭祀具	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	(39.9)	0.7	0.6	断面正方形。下端部は杭状に細かく尖らせる。	滑らか		辺材	－	Ⅳ
1552	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	9.6	2.0	0.2	上下両端を斜めに切り落として台形状を呈する。	粗い	AⅠ型式	板目	－	Ⅳ
1553	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－8	9.4	1.5	0.2	上下両端を斜めに切り落として台形状を呈する。下端はやや細めに成形。	粗い	AⅠ型式	板目	－	Ⅳ
1554	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－7	9.8	1.5	0.4	上下両端を斜めに切り落として台形状を呈する。全面に削りが認められる。	滑らか	AⅠ型式	板目	－	Ⅳ
1555	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	(9.4)	1.8	0.3	上下両端を斜めに切り落として台形状を呈する。	やや粗い	AⅠ型式	板目	－	Ⅳ
1556	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－7	(22.0)	1.3	0.6	やや厚みのある板で、上端は圭頭状を呈する。	やや滑らか	BⅠ型式	板目	－	Ⅳ
1557	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	(16.3)	(1.8)	0.2	切り込み：左右両側上部に上から各2回。	滑らか	CⅢ型式	板目	－	Ⅳ
1558	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	(9.6)	(3.8)	(0.6)	上端はやや丸味を帯びる。切り込み：左側に上から1回。残りは欠損で不明。	滑らか	CⅢ型式	板目	－	Ⅳ
1559	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	(8.5)	1.9	0.2	切り込み：左側上部に上から7回。右側上部に上から5回。	粗い	CⅢ型式	柾目	－	Ⅳ
1560	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－6	(30.5)	(2.1)	0.4	切り込み：左側上部に下から3回、下部に上から4回。右側上部に下から2回、下部に上から6回。	粗い	CⅤ型式	板目	－	Ⅳ
1561	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－8	(7.3)	2.0	0.3	切り込み：左側上部に下から6回。右側上部に下から8回。CⅢの位置に逆方向からの切り込み。下部欠損。	やや粗い	CⅤ型式	板目	－	Ⅳ
1562	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	(12.2)	2.0	0.2	切り込み：左側上部に上から8回、下から4回。右側上部に上から7回、下から6回。	滑らか	CⅤ型式	板目	－	Ⅳ
1563	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	(25.0)	1.3	0.3	薄い板の上端部を圭頭状に、下端を細く成形。	滑らか	DⅠ型式	板目	－	Ⅳ
1564	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	(19.3)	0.7	0.5	下端は両側面からの削りによって尖らせる。	やや粗い	DⅠ型式	柾目	ヒノキ	Ⅳ
1565	雑具	把手	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	1.2	14.0	1.1	板の両端に穿孔有り。	滑らか		辺材	－	Ⅳ
1566	部材	部材	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	19.6	1.5	0.8	両端の角を落として凸部を削り出す。上面両側縁の角を削って、断面がD字形を呈する。	滑らか		板目	－	Ⅳ
1567	部材	部材	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－8	4.0	2.1	1.9	下端の角は細かい削りで落とされる。中央に自然孔有り。栓か。	滑らか		芯持ち材	ウツギ属	Ⅳ
1568	部材	部材	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	(13.2)	(1.5)	1.1	穿孔部で欠損。端部に突起状の段を削り出す。紡織具の一部か。	滑らか		板目	－	Ⅳ
1585	工具	鑿柄	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－5	13.7	3.9	(1.9)	太めの芯持ち材を切断し、鑿の柄としたもの。上面の木口には、断面が方形の茎を焼き込んで挿入した痕跡有り。側面は削り成形しているが、摩滅により滑らか。	滑らか		芯持ち材	コナラ属アカガシ亜属	Ⅴ
1586	工具	木釘	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－6	(4.3)	0.9	0.7	上端のみ削り残し、下端にかけて細く成形。	滑らか		辺材	－	Ⅴ
1587	工具	篦	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	22.0	2.1	0.8	全体的に著しく摩滅している。自然木の可能性も有り。	やや粗い		板目	－	Ⅴ
1588	農具	田下駄	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－7	(22.8)	5.9	1.9	中央部に方形状のホゾ穴が1ヶ所残存。	やや粗い		柾目	－	Ⅴ
1589	農具	柄	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－6	(45.2)	2.0	1.5	全面削りで、断面多角形を呈する。	粗い		辺材	－	Ⅴ
1590	農具	横槌	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－6	40.4	5.3	4.8	柄の部分は大きな削りで断面七角形を呈する。	滑らか		芯持ち材	－	Ⅴ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量L	法量W	法量H	特徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
1591	農具	編棒	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	(31.4)	1.3	1.1	下端をやや細く成形。上端は丸く削る。	やや滑らか		辺材	ヒノキ	V
1592	農具	木錘	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	22.6	5.4	4.7	芯持ち材の中央部を細く削って成形。一部、樹皮残存。	滑らか		芯持ち材	－	V
1593	農具	木錘	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	16.8	6.2	5.5	芯持ち材の両端に丸木面を残し、中央に向かって両端から円錐形状に削り込む。くびれ部分一部摩滅気味。	滑らか		芯持ち材	－	V
1594	農具	木錘	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	17.1	5.3	5.0	中央部は削りで細く成形。上端は平坦に、下端は中心に向かって削り落とし丸みを帯びる。	やや粗い		芯持ち材	－	V
1595	農具	木錘	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－6	14.9	(7.3)	6.5	全体的に摩滅している。中央部の削りが大きい。	粗い		芯持ち材	－	V
1596	農具	木錘	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－6	(9.1)	5.1	5.0	下部欠損。	粗い		芯持ち材	－	V
1597	農具	木錘	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	(10.4)	6.5	(2.8)	辺材を用いる。	粗い		芯持ち材	－	V
1598	農具	鎌柄	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－7	35.2	3.5	3.2	全体に粗く削り成形。握りは直線状で柄尻に山形の突起をつくる。穿孔3ヶ所有り。柄元に装着孔有り。	やや滑らか		芯持ち材	－	V
1599	紡織具	糸巻横木	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	(5.8)	1.7	0.4	先端部に焼けこげ有り。火付棒に転用か。全体に傷みが激しい。ホゾ孔残存。	粗い	A型式	柾目	－	V
1600	紡織具	糸巻枠木	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	22.8	1.1	1.6	円形の貫通しないホゾ孔2ヶ所有り。ホゾ孔より外側を削って細くしている。	滑らか	A型式	板目	－	V
1601	紡織具	糸巻横木	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－9	(10.4)	1.5	0.8	厚手の板の両端を棒状に削り成形。相欠き仕口部分は厚さが半分くらいに削る。	やや粗い	A型式	板目	－	V
1602	紡織具	糸巻横木	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	9.7	2.0	0.7	相欠き仕口の中心に軸孔有り。両端を細く成形。	やや滑らか	A型式	板目	－	V
1603	紡織具	糸巻横木	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	(9.7)	1.9	0.7	相欠き仕口の中心に、軸孔有り。	やや滑らか	A型式	柾目	－	V
1604	紡織具	糸巻横木	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	(7.8)	1.1	0.3	中心に軸孔有り。相欠き仕口無し。	やや滑らか	A型式	板目	－	V
1605	用途不明	不明	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	(44.4)	2.9	2.7	芯持ち材の上端部の上面のみを削り、抉りを成形。下部欠損。	やや粗い		芯持ち材	－	V
1606	武器	丸木弓	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－6	(58.1)	1.2	1.1	上下端部を削り込んで弓耳を作り出す。上端部から15cm程は細かな削りで断面多角形。それ以外は部分的に樹皮残存。	滑らか		芯持ち材	ムクロジ	V
1607	服飾具	櫛	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－7	4.7	(8.0)	0.7	把手と歯ともに丁寧な作り。刻歯式横櫛。歯＝70本残存。	滑らか	AⅠ型式	板目	－	V
1608	服飾具	櫛	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－5	2.9	(5.7)	0.5	刻歯式横櫛。歯＝42本残存。	粗い	AⅡ型式	板目	－	V
1609	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	(20.4)	(8.3)	1.0	底板に対して垂直方向の釘孔3ヶ所有り。うち2ヶ所に木釘残存。底板側面の釘孔3ヶ所有り。うち1ヶ所に木釘残存。段を入れる時に付いた刃物傷7条。復元径＝21.1cm。	やや粗い	釘結合曲物D型式	板目	－	V
1610	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	(20.0)	(8.9)	0.5	側板による円周状の圧痕有り。樺皮結合紐2ヶ所残存。裏面に刃物傷有り。復元径＝20.2cm。	やや滑らか	樺皮結合曲物E型式	板目	－	V
1611	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－9	(41.7)	(9.7)	0.6	樺皮結合紐3ヶ所残存。復元径＝54.8cm。	滑らか	樺皮結合曲物E型式	板目	－	V
1612	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	17.2	8.0	0.6	樺皮結合紐1ヶ所残存。側板による円周状の圧痕有り。外面に刃物傷多数。復元径＝17.4cm。	やや滑らか	樺皮結合曲物E型式	板目	－	V
1613	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－9	(19.0)	(7.6)	0.6	樺皮結合紐2ヶ所残存。側板用の目印（刃物痕）有り。表面に明確な刃物痕と、裏面に無数の刃物傷有り。復元径＝20.2cm。	滑らか	樺皮結合曲物E型式	板目	－	V
1614	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	17.6	17.9	9.5	刃物傷2ヶ所有り。一部炭化。	滑らか	樺皮結合曲物E型式	柾目	－	V
1615	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－5	(16.7)	(6.1)	0.4	樺皮結合用小孔と樺皮結合紐1ヶ所有り。側板用の目印（刃物傷）有り。	やや滑らか	樺皮結合曲物E型式	板目	－	V
1616	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	(13.9)	3.3	0.7	樺皮結合用小孔2ヶ所残存。復元径＝19.4cm。	やや粗い	樺皮結合曲物E型式	板目	－	V
1617	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－8	(19.1)	(4.7)	(0.9)	樺皮結合用小孔と樺皮結合紐1ヶ所有り。復元径＝20.9cm。	やや粗い	樺皮結合曲物E型式	板目	－	V

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量 L	法量 W	法量 H	特徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
1618	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	(15.0)	(3.3)	0.6	樺皮結合用小孔と紐1ヶ所。突き刺した未貫通の孔2ヶ所有り。側板による円周状の圧痕有り。復元径＝18.6cm。	滑らか	樺皮結合曲物E型式	板目	－	V
1619	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	(16.6)	(6.1)	0.6	樺皮結合用小孔2ヶ所有り。側板の目印（刃物傷）有り。裏面刃物傷多数有り。復元径＝17.6cm。	やや滑らか	樺皮結合曲物E型式	板目	－	V
1620	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－9	21.0	(14.9)	0.8	釘孔2ヶ所有り。復元径＝20.3cm。	やや粗い	釘結合曲物F型式	板目	－	V
1621	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－8	17.8	(7.5)(8.2)	1.0	樺皮結合用小孔4ヶ所有り。側板による円周状の圧痕一部分残存。復元径＝17.8cm。	やや滑らか	釘結合曲物F型式	柾目	－	V
1622	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－7	16.9	17.0	1.0	不整円形。釘孔4ヶ所有り、うち3ヶ所に木釘が残存。	滑らか	釘結合曲物F型式	板目	－	V
1623	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	11.8	12.2	0.7	木釘3ヶ所残存。裏面に付着物有り。漆か。	滑らか	釘結合曲物F型式	板目	－	V
1624	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－6	17.3	17.1	0.8	釘孔12ヶ所有り。うち6ヶ所に木釘が残存。表裏両面に刃物傷有り。	やや滑らか	釘結合曲物F型式	柾目	－	V
1625	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	16.1	(11.8)	0.8	木釘が4ヶ所に残存。表面は全体的に圧痕が、裏面は刃物傷多数有り。復元径＝16.0cm。	粗い	釘結合曲物F型式	板目	－	V
1626	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	(13.8)	(6.4)	0.6	釘孔2ヶ所有り。復元径＝13.8cm。	やや滑らか	釘結合曲物F型式	板目	－	V
1627	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	17.7	(8.5)	0.7	木釘1ヶ所残存。復元径＝17.6cm。	滑らか	釘結合曲物F型式	柾目	－	V
1628	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－6	17.0	(8.8)	0.6	表面に焼印有り。刃物傷多数。木釘が1ヶ所残存。複元径＝16.8cm。	やや粗い	釘結合曲物F型式	柾目	－	V
1629	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	(12.9)	(6.6)	(0.5)	釘孔2ヶ所有り。円の外周にそって指先程の圧痕が一周している。復元径＝13.0cm。	粗い	釘結合曲物F型式	柾目	－	V
1630	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－8	18.5	(5.1)	0.3	側板による円周状の圧痕有り。穿孔2箇所残存。復元径＝18.6cm。	やや粗い	結合方法不明曲物E型式	柾目	－	V
1631	容器	円形曲物蓋板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	16.0	(8.5)	0.7	釘孔2ヶ所有り。うち1ヶ所に木釘が残存。中央に穿孔1ヶ所有り。全体的に圧痕が有り、円周状の圧痕が見えない箇所がある。復元径＝8.0cm。	やや粗い	釘結合曲物F型式	柾目	－	V
1632	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	11.5	(7.9)	0.6	復元径＝11.3cm。	やや粗い	結合方法不明曲物	板目	－	V
1633	容器	円形曲物蓋板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－5	16.6	(9.1)	0.9	中心に把手用の穿孔有り。釘孔3ヶ所有り。うち木釘が2ヶ所に残存。復元径＝16.6cm。	滑らか	釘結合曲物F型式	板目	－	V
1634	容器	方形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－5	47.2	(13.4)	1.0	側板による圧痕が部分的に残存。樺皮結合用小孔7ヶ所有り。うち5ヶ所に樺皮結合紐残存。焼けこげ2ヶ所有り。	やや粗い	樺皮結合曲物E型式	板目	－	V
1635	容器	楕円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	(31.8)	(15.4)	1.3	転用の可能性有り。樺皮結合紐1ヶ所残存。	やや粗い	樺皮結合曲物C型式	板目	－	V
1636	容器	楕円形曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－9	(49.8)	(6.1)	0.7	樺皮結合用小孔2ヶ所有り。うち1ヶ所は樺皮結合紐残存。裏面刃物傷多数。	粗い	樺皮結合曲物E型式	板目	－	V
1637	容器	曲物箍	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－6	1.4	(6.7)	0.4	2ヶ所に木釘が残存。	やや滑らか	結合方法不明曲物	柾目	－	V
1638	容器	方形曲物側板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－6	6.0	(26.2)	0.6	側板の中央部に樺皮結合紐が残存。貫通していない孔4ヶ所有り。	滑らか	結合方法不明曲物	板目	－	V
1639	容器	方形曲物側板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－9	8.3	(18.3)	(0.3)	樺皮結合紐3ヶ所に残存。2枚の側板を樺皮結合紐で結合。器高＝8.3cm。	滑らか	樺皮結合曲物E型式	柾目	－	V
1640	容器	曲物底板	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－8	65.0	(5.1)	1.2	形状不明。	やや滑らか	結合方法不明曲物	板目	－	V
1641	容器	柄杓	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	13.4	13.6	0.3	側板内面に罫引有り。柄は面取りを施し、丁寧に成形。全体に漆が施されている。	滑らか	結合方法不明曲物	板目	－	V
1642	容器	栓状木器	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	(2.0)	2.7	2.5	4方向から削って屋根状に成形。下部は正方形の凸部を削り出す。付け根に深さ5mm位の穿孔有り。	滑らか		辺材	－	V
1643	容器	栓	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－5	(6.2)	3.1	2.5	下部を細く削り、円錐状に成形。独楽の可能性有り。	粗い		芯持ち材	－	V
1644	容器	刳物容器	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	－	底径 8.0	器高 10.2	芯持ち材の内部を刳り抜いて成形。摩滅が激しく轆轤の痕跡は不明瞭。	摩滅激しい		縦木取	－	V

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点（大グリッド）（中グリッド）（小グリッド）	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
1645	容器	把手	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	0.8	12.6	1.1	両端に穿孔有り。	滑らか		板目	－	V
1646	容器	挽物	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－7	底径（12.8）	－	器高（1.2）		やや滑らか		縦木取り	－	V
1647	食事具	箸	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－9	24.9	0.5	0.3	細かい削りによって下端はやや細く成形。	やや滑らか		辺材	－	V
1648	食事具	杓子	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	15.8	6.3	2.8	厚い板を削り、持ち手と底部・側板を成形。先端と持ち手側に、別の板を釘で打ち付けて箱を作る。木釘残存。	滑らか	不明	板目	－	V
1649	食事具	匙	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－7	（10.3）	1.9	0.4	柄は片側から削り断面円形に、身は平坦に成形。	滑らか	A型式	板目	－	V
1650	文房具	木札	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	11.7	3.0	0.6	全体が摩滅。上端部両側に切り欠き有り。	粗い	付札形	板目	－	V
1651	文房具	木札	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－9	（14.7）	2.9	0.3	上端に穿孔有り。	粗い		板目	－	V
1652	遊戯具	栓か	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－7	4.4	5.2	5.1	上部円柱状。中央部より下部を削って円錐形を呈する。	やや滑らか		辺材	－	V
1653	遊戯具	琴	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	37.7	7.1	1.2	頭部に3ヵ所の集弦孔と、尾部に3つの突起で撥形を成形。	やや滑らか		柾目	－	V
1654	祭祀具	紡織具形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－5	20.8	1.0	0.8	全面削りで成形。上下両端に浅い切り欠き有り。	滑らか		板目	－	V
1655	祭祀具	紡織具形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－5	（10.5）	0.8	0.8	上端に浅い切り欠き有り。下部欠損。	やや滑らか		板目	－	V
1656	祭祀具	紡織具形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	12.4	0.6	0.4	上下両端に切り欠き有り。	滑らか		辺材	－	V
1657	祭祀具	紡織具形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－9	（10.9）	0.4	0.3	上端に浅い切り欠き有り。	やや滑らか		板目	スギ	V
1658	祭祀具	紡織具形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F・G－5	（8.4）	0.6	0.4	上端に浅い切り欠き有り。	滑らか		辺材	－	V
1659	祭祀具	鋸歯付剣形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－5	（7.9）	（2.9）	0.8	両側面を鋸歯状に刻む。上下両端欠損のため、形状は不明。	やや滑らか		板目	－	V
1660	祭祀具	剣形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	14.6	1.4	0.4	薄い板状で身・鍔・柄部分を成形。刀身は斜めに鋭く削って成形。鍔は別の板を組み合わせる。	滑らか		板目	－	V
1661	祭祀具	刀子形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	（14.9）	1.8	0.3	薄い板を全面削って成形。片側に刃部有り。	滑らか	A型式	柾目	－	V
1662	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－6	44.0	2.0	1.8	上下両端を削って尖らせる。上端は前後から山形に切り落とす。目・鼻・口・顎を浅く彫り込んで表現。	やや滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V
1663	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－6	（45.2）	3.6	2.7	目・鼻・口・顎を浅く彫り込んで表現。樹皮残存。	粗い	円筒状人形	芯持ち材	－	V
1664	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－8	（58.2）	3.8	2.9	上端を五方向から切り落として尖らせる。目・口・顎を彫り込みによって表現。右頬と手の位置に削り有り。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V
1665	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	（42.7）	3.1	2.4	芯持ち材に目・鼻を深い彫り込みで、口は浅い彫り込みで表現。下端部斜めに切り落とす。	やや滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V
1666	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－7	42.8	1.7	2.1	目・鼻・口を浅い彫り込みによって表現。後頭部は斜めに切り落とす。下端斜めに削って杭状に成形。樹皮残存。	やや滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V
1667	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	（40.7）	2.7	2.5	目・口・顎を彫り込んで表現。上端部は削りによって緩やかに成形。下端部は杭状に尖らせる。樹皮残存。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V
1668	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－5	30.1	2.7	2.1	目・鼻・口を浅い彫り込みによって表現。下端を鋭く尖らせる。樹皮残存。	やや粗い	円筒状人形	芯持ち材	－	V
1669	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	（27.4）	2.0	1.5	目・鼻・口を浅い彫り込みによって表現。頭部は細かな削りで丸く成形。下端は斜めに切り落とす。	やや滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V
1670	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－6	（25.0）	2.5	2.5	眉・目・鼻・口を浅い彫り込みによって表現。上端削りによって山形に成形。	やや滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V
1671	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	（34.8）	2.7	2.6	樹皮のついた芯持ち材に直接、目、鼻、口を浅い彫り込みによって表現。下端は杭状に削る。	粗い	円筒状人形	芯持ち材	－	V
1672	祭祀具	人形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	（32.9）	1.6	1.5	目・口・顎・頬を浅く彫り込んで表現。下端部は前面から斜めに成形。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量L	法量W	法量H	特徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
1673	祭祀具	人形	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	(9.8)	1.8	1.6	目・口・顎を浅い彫り込みで表現。頭は細かく削って丸く整形。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	ツブラジイ	V
1674	祭祀具	人形	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－9	(9.5)	2.0	0.2	首や腰を切り込んで表現。墨痕は残っていないが、顔が描かれていた痕跡有り。	滑らか	正面全身人形	板目	－	V
1675	祭祀具	人形	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－6	(24.4)	1.8	0.6	上下両端を細く成形。左上に墨で顔の右半分を描く。斎串の切り込みと同様のものが左縁に6ヶ所有り。人形を斎串に転用か。	やや粗い	側面全身人形	板目	－	V
1676	祭祀具	人形	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－6	(47.4)	4.4	0.4	斎串同様の切り込みが、左右10回有り。人形を斎串に転用か。	やや滑らか	正面全身人形	板目	－	V
1677	祭祀具	人形	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	79.0	(6.4)	(0.6)	頭部は鋭角の圭頭状。切り欠きにより首を表現する。下端部に両足残存。頭部に穴が有るが、人為的では無い。	やや滑らか	正面全身人形	板目	－	V
1678	祭祀具	人形	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	(53.1)	(5.3)	0.5	墨痕不鮮明。板を人形に成形。女性の髪・眉・目・鼻・口を墨書で表現。	粗い	正面全身人形	板目	－	V
1679	祭祀具	陽物形	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	(8.1)	3.2	2.0	上端部は細かな削りにより、やや尖らせる。両側面に浅い彫り込みを入れて亀頭形に加工。	粗い		芯持ち材	－	V
1680	祭祀具	馬形	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	2.8	(19.2)	0.4	一端を斜めに切り落とし、下辺を削ってM字状を呈する。鳥形の可能性有り。	粗い	A型式	板目	－	V
1681	祭祀具	馬形	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－5	2.1	8.7	0.3	薄い板に深い切り欠きを入れて成形。鳥形の可能性有り。	やや粗い	A型式	板目	－	V
1682	祭祀具	馬形	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－7	2.0	(16.3)	0.1	浅い削りによって背を成形。鳥形の可能性有り。	やや滑らか	A型式	柾目	ヒノキ	V
1683	祭祀具	馬形	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－7	2.6	(17.3)	0.6	鳥形の可能性も有り。	滑らか		板目	－	V
1684	祭祀具	馬形	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－5	2.8	(20.6)	1.0	表裏両面とも多数の刃物傷有り。把手・台座・脚座の可能性有り。	やや滑らか	B型式	板目	－	V
1685	祭祀具	鳥形	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	1.9	(18.4)	0.4	尾を細長く成形。	滑らか	A型式	板目	－	V
1686	祭祀具	鳥形	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	1.5	13.2	0.4	片面のみに削り有り。背部分を削る。	滑らか	A型式	板目	－	V
1687	祭祀具	舟形	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－7	(11.6)	2.2	2.5	2ヶ所に刳り込みを入れ屋形部を成形。屋形船形。平底。	やや粗い	A2類	芯持ち材	－	V
1688	祭祀具	舟形	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－8	(9.4)	3.4	3.2	船首側から浅く削って屋形部を成形。船尾欠損。屋形船形。丸底。	粗い	A2類	芯持ち材	－	V
1689	祭祀具	舟形	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－6	(23.3)	5.5	4.6	2ヶ所に刳り込みを入れ屋形部を成形。屋形船形。丸底。	やや滑らか	A2類	芯持ち材	－	V
1690	祭祀具	舟形	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	20.3	3.0	3.1	芯持ち材の2ヶ所に浅い刳り込みを入れて屋形部を成形。屋形船形。平底。樹皮が部分的に残存。	やや粗い	A2類	芯持ち材	－	V
1691	祭祀具	舟形	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	17.8	2.4	2.9	2ヶ所に浅い刳り込みを入れて屋形部を成形。屋形船形。丸底。	粗い	A2類	芯持ち材	－	V
1692	祭祀具	舟形	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－9	(22.6)	3.6	4.4	船首・船尾両側から削って屋形部を成形。屋形船形。丸底。	やや滑らか	A2類	芯持ち材	サクラ属	V
1693	祭祀具	舟形	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	21.1	4.0	4.1	船首・船尾両側から削って屋形部を成形。屋形船形。丸底。一部、樹皮残存。	やや粗い	A2類	芯持ち材	－	V
1694	祭祀具	舟形	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	19.1	3.2	2.5	全体的に摩滅。船首・船尾は両側からの削りによって尖らせる。屋形船形。丸底。	粗い	A2類	芯持ち材	－	V
1695	祭祀具	舟形	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－7	(17.1)	4.0	4.1	全体的に摩滅。屋形船形。丸底。	やや粗い	A2類	芯持ち材	－	V
1696	祭祀具	舟形	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－7	(19.4)	3.8	3.4	2ヶ所に浅い刳り込みを入れて屋形部を成形。船首・船尾の側面下部に削り有り。屋形船形。平底。	滑らか	A2類	芯持ち材	－	V
1697	祭祀具	舟形	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	(19.3)	3.7	3.3	粗い削りにより屋形部を成形。屋形船形。丸底。	粗い	A2類	芯持ち材	－	V
1698	祭祀具	舟形	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－9	(14.0)	3.8	2.7	船首・船尾は削って尖らせる。屋形船形。平底。	粗い	A2類	芯持ち材	－	V
1699	祭祀具	舟形	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－7	13.3	3.0	2.7	船体の上部中央を削って成形。丸木舟形。平底。	やや粗い	A2類	芯持ち材	－	V
1700	祭祀具	舟形	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	13.6	3.7	3.3	船首・船尾両側から削って屋形部を成形。屋形船形。平底。	やや滑らか	A2類	芯持ち材	－	V

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点（大グリッド）（中グリッド）（小グリッド）	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
1701	祭祀具	舟形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	17.7	4.1	4.4	2ヶ所に浅い刳り込みを入れて屋形部を成形。船首・船尾の両側面に削り有り。屋形船形。丸底。	滑らか	A2類	芯持ち材	－	V
1702	祭祀具	舟形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	(16.3)	3.1	2.7	浅い刳り込みによって屋形部を成形。屋形船形。丸底。樹皮が残存する。	粗い	A2類	芯持ち材	－	V
1703	祭祀具	舟形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－7	(14.4)	4.1	4.0	芯持ち材の両端を細かく削って船首・船尾を成形。屋形船形。丸底。	やや粗い	A2類	芯持ち材	－	V
1704	祭祀具	舟形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	(14.0)	3.6	2.8	2ヶ所に浅い刳り込みを入れて屋形部を成形。屋形船形。平底。摩滅による欠損多数有り。	粗い	A2類	芯持ち材	－	V
1705	祭祀具	舟形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	(18.1)	3.7	2.9	船体中央部を薄く削って成形。丸木舟形。平底か。	やや滑らか	A2類	芯持ち材	－	V
1706	祭祀具	舟形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	18.3	3.3	2.3	2ヶ所に深い刳り込みを入れて屋形部を成形。屋形船形。平底。	粗い	A2類	芯持ち材	－	V
1707	祭祀具	舟形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－6	22.3	4.3	4.5	丸木の2ヶ所に刳り込みを入れて屋形部を成形。屋形船形。丸底。	滑らか	A2類	芯持ち材	－	V
1708	祭祀具	舟形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－6	(13.6)	2.6	2.5	浅い刳り込みにより屋形部を成形。屋形船形。丸底。船尾欠損。	粗い	A2類	芯持ち材	コナラ属アカガシ亜属	V
1709	祭祀具	舟形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	(15.6)	2.7	2.7	船首・船尾両側からの削りによって屋形部を成形。屋形船形。丸底。	滑らか	A2類	芯持ち材	－	V
1710	祭祀具	舟形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	14.8	4.0	3.2	丸木に2ヶ所の小さな刳り込みを入れることによって屋形部を表現。船首・船尾ともに上面からの削り有り。屋形船形。丸底。一部樹皮残存。	やや粗い	A2類	芯持ち材	－	V
1711	祭祀具	舟形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－9	14.3	4.3	3.7	丸木の一面を細かく削って屋形部を成形。屋形船形。丸底。	滑らか	A2類	芯持ち材	－	V
1712	祭祀具	舟形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	(15.5)	3.1	2.8	船首からの浅い削りにより屋形部を成形。屋形船形。丸底。	やや滑らか	A2類	芯持ち材	コナラ属アカガシ亜属	V
1713	祭祀具	舟形	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	23.8	5.2	3.9	芯持ち材の両端を多方面から削り、尖らせている。樹皮が残存。舟形の未製品か。	やや粗い	不明	芯持ち材	－	V
1714	祭祀具	棒状祭祀具	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	(20.9)	0.9	0.6	断面五角形。上端部は2方向より削って尖らせる。	滑らか		板目	－	V
1715	祭祀具	棒状祭祀具	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	37.2	0.6	0.5	断面正方形。上下両端を鋭く尖らせる。	滑らか		辺材	－	V
1716	祭祀具	棒状祭祀具	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	(24.6)	0.7	0.5	断面は台形。両端をやや尖り気味に成形。	やや滑らか		辺材	－	V
1717	祭祀具	棒状祭祀具	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－7	27.6	1.0	0.6	上端部は前後からの削りで平坦。下端部は尖らせる。	やや滑らか		辺材	－	V
1718	祭祀具	棒状祭祀具	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－6	21.8	0.8	0.7	上下両端を斜めに削る。	やや滑らか		辺材	ヒノキ	V
1719	祭祀具	棒状祭祀具	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	20.0	0.9	0.4	上下両端に削り有り。	やや粗い		板目	－	V
1720	祭祀具	棒状祭祀具	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－7	(15.5)	0.8	0.8	下端をやや尖らせる。	滑らか		辺材	－	V
1721	祭祀具	棒状祭祀具	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－8	(15.7)	1.2	0.7	上端部は圭頭状を呈する。両側面に削り有り。	滑らか		柾目	－	V
1722	祭祀具	棒状祭祀具	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	(16.2)	0.6	0.4	上端部は圭頭状。	滑らか		板目	－	V
1723	祭祀具	棒状祭祀具	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	(15.6)	0.7	0.5	上端部は圭頭状。	やや滑らか		柾目	－	V
1724	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－7	(26.9)	1.9	0.3	上端は片側から斜めに削る。	やや粗い	AⅠ型式	板目	－	V
1725	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	(23.3)	1.8	0.2	台形状を呈するが、下端はやや鋭角に成形。	やや粗い	AⅠ型式	板目	－	V
1726	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	23.0	1.2	0.4	上下両端ともに同じ側面から削り、台形状を呈する。	粗い	AⅠ型式	板目	－	V
1727	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	17.1	2.1	0.3	台形状を呈する。	やや滑らか	AⅠ型式	柾目	－	V
1728	祭祀具	斎串	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	12.4	2.0	0.4	台形状を呈する。	やや滑らか	AⅠ型式	柾目	－	V

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量 L	法量 W	法量 H	特徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
1729	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	(12.5)	1.5	0.2	平行四辺形状を呈する。	やや粗い	AⅠ型式	板目	－	V
1730	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	(12.2)	1.9	0.2	台形状を呈する。	滑らか	AⅠ型式	板目	－	V
1731	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	10.7	1.9	0.2	台形状を呈する。	滑らか	AⅠ型式	板目	－	V
1732	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	(10.7)	1.9	0.4	台形状を呈する。上部中央に釘有り。	やや粗い	AⅠ型式	板目	－	V
1733	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－6	(8.4)	1.3	0.3	台形状を呈する。	やや粗い	AⅠ型式	柾目	－	V
1734	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－7	(6.0)	1.3	0.2	台形状を呈する。	やや粗い	AⅠ型式	板目	－	V
1735	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－7	7.9	1.2	0.5	平行四辺形状を呈する。	やや滑らか	AⅠ型式	柾目	－	V
1736	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－7	(14.1)	1.5	0.2	台形状を呈する。	滑らか	AⅠ型式	柾目	－	V
1737	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	(10.1)	1.5	0.4	やや厚めの板を粗く削って平行四辺形状に成形。	滑らか	AⅠ型式	柾目	－	V
1738	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－9	(10.5)	2.0	0.2	平行四辺形状を呈する。	粗い	AⅠ型式	板目	－	V
1739	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－7	(11.5)	1.7	0.3	平行四辺形状を呈する。	粗い	AⅠ型式	柾目	－	V
1740	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	(12.7)	1.3	0.1	上端は片側から尖らせる。両面に線状の墨痕有り。剥離面にも墨痕。	滑らか	AⅠ型式	板目	－	V
1741	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	(9.0)	1.7	0.2	上端は片側から尖らせる。片側に線状の墨痕有り。裏面の墨痕は肉眼では見えない。	やや粗い	AⅠ型式	柾目	－	V
1742	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－6	7.1	2.0	0.2	両面に線状の墨痕有り。平行四辺形状を呈する。	滑らか	AⅠ型式	板目	－	V
1743	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－7	(12.6)	1.8	0.3	台形状を呈する。	やや滑らか	AⅠ型式	板目	－	V
1744	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－7	(11.2)	2.1	0.3	上端は片側から尖らせる。下部欠損。	やや粗い	AⅠ型式	板目	－	V
1745	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	(14.5)	2.2	0.3	切り込み：左側上部に上から2回。右側上部上段に上から1回、下段に上から5回。	滑らか	AⅢ型式	板目	－	V
1746	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－9	(6.0)	1.5	0.2	切り込み：右側上部に上から1回。	滑らか	AⅢ型式	板目	－	V
1747	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－9	(29.2)	1.6	0.3	切り込み：右側上部に上から11回、下部に下から11回。	やや滑らか	AⅤ型式	板目	－	V
1748	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	28.9	1.4	0.6	上下両端は左右から抉り、先端を鋭く成形。表裏両面は割りのまま。	粗い	BⅠ型式	板目	－	V
1749	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－7	(25.4)	1.4	0.5	上端圭頭状を呈する。	やや滑らか	BⅠ型式	板目	－	V
1750	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－7	(23.7)	1.3	0.6	上端圭頭状を呈する。	やや滑らか	BⅠ型式	板目	－	V
1751	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－6	(22.0)	1.4	0.3	上端は鈍角の圭頭状を呈する。	滑らか	BⅠ型式	板目	－	V
1752	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	22.8	2.5	0.2	上下両端ともに圭頭状。	滑らか	BⅠ型式	板目	－	V
1753	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－7	18.3	0.8	0.5	断面長方形。上端は圭頭状。下端は両側から削り鋭く尖らせる。	滑らか	BⅠ型式	辺材	－	V
1754	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	(14.8)	1.8	0.3	下端部は両側から削って尖らせる。	滑らか	BⅠ型式	板目	－	V
1755	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－6	(11.6)	0.8	0.3	上端圭頭状を呈する。	粗い	BⅠ型式	板目	－	V
1756	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	(8.8)	2.9	0.6	上端圭頭状を呈する。	やや粗い	BⅠ型式	柾目	－	V
1757	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	7.3	1.3	1.6	両端ともに圭頭状。中央に木釘が刺さっている。別の種類の木製品か。	やや粗い	BⅠ型式	板目	－	V
1758	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	25.8	2.1	0.4	切り込み：左右両側上部に上から各1回。切り込み部分の摩滅が激しい。	やや滑らか	BⅢ型式	板目	－	V
1759	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－6	(8.8)	1.4	0.2	切り込み：左側上部に上から1回。右側上部に上から2回。	やや粗い	BⅢ型式	板目	－	V

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量 L	法量 W	法量 H	特徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
1760	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	(17.4)	2.4	0.3	下端部は両側から削って尖らせる。	やや滑らか	B型式	板目	－	V
1761	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－5	(23.9)	1.5	0.3	切り込み：左側上部に上から7回、下部に下から5回。右側上部に上から11回、下部に下から6回。	やや粗い	BⅤ型式	板目	－	V
1762	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	35.5	1.4	0.5	上端圭頭状、下端は鋭く尖らせる。	滑らか	CⅠ型式	板目	－	V
1763	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－6	(31.7)	1.1	0.4	厚みのある板を成形。上端圭頭状を呈する。下端は欠損。	滑らか	CⅠ型式	柾目	－	V
1764	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－8	(23.4)	1.3	0.5	上端圭頭状、下端は鋭く尖らせる。	滑らか	CⅠ型式	板目	－	V
1765	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－8	(16.2)	2.5	0.3	上端圭頭状、下端は欠損。	やや粗い	CⅠ型式	板目	－	V
1766	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－6	(18.5)	1.9	0.2	上部欠損。下端は鋭く尖らせる。	やや粗い	CⅠ型式	板目	－	V
1767	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	10.5	1.9	0.3	上端圭頭状、下端は欠損。	やや滑らか	CⅠ型式	板目	－	V
1768	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－5	(10.3)	1.3	0.1	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	やや滑らか	CⅡ型式	板目	－	V
1769	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－7	(9.1)	1.8	0.2	切り込み：左右両側上部に上から各4回。	滑らか	CⅢ型式	柾目	－	V
1770	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－9	8.1	1.1	0.2	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	やや滑らか	CⅢ型式	板目	－	V
1771	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	(11.5)	2.0	0.4	切り込み：左側上部に上から1回。右側上部に上から3回。	粗い	CⅢ型式	板目	－	V
1772	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	12.7	1.2	0.3	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	滑らか	CⅢ型式	板目	－	V
1773	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	(3.9) (8.5)	1.6	0.2	切り込み：左側上段に下から2回、下段に下から2回。	やや粗い	CⅢ型式	柾目	－	V
1774	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	(11.1)	1.4	0.3	切り込み：左右両側上部に上から各2回。	やや粗い	CⅢ型式	柾目	－	V
1775	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	(27.1)	2.3	0.4	切り込み：左側全体に上から14回。右側全体に上から11回。	粗い	CⅢ型式	板目	－	V
1776	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	25.6	1.7	0.2	切り込み：左側上部に上から1回。	粗い	CⅢ型式	板目	－	V
1777	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－9	(21.2)	2.4	0.3	切り込み：左側上部に上から8回。右側上部に上から6回。	粗い	CⅢ型式	板目	－	V
1778	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	21.3	2.4	0.3	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	やや粗い	CⅢ型式	板目	－	V
1779	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	(19.4)	1.2	0.3	切り込み：右側上部に上から1回。	やや滑らか	CⅢ型式	柾目	－	V
1780	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	21.5	1.8	0.3	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	粗い	CⅢ型式	板目	－	V
1781	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	(33.9)	1.9	0.2	切り込み：残存部の左側上部に下から8回。右側上部に下から9回。	やや粗い	CⅢ型式	板目	－	V
1782	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	(25.9)	1.5	0.2	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	やや粗い	CⅢ型式	柾目	－	V
1783	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	(27.2)	1.5	0.2	切り込み：左側上部に下から5回。右側上部に下から2回。	滑らか	CⅢ型式	板目	－	V
1784	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－5	(4.7)	2.5	0.2	切り込み：左側上部に上から2回。	滑らか	CⅢ型式	柾目	－	V
1785	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	(9.0)	1.5	0.4	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	やや滑らか	CⅢ型式	板目	－	V
1786	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	(8.8)	1.4	0.4	切り込み：左側上部に上から1回。右側上部に上から2回。	やや粗い	CⅢ型式	柾目	－	V
1787	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	(7.2)	1.8	0.4	切り込み：左側上部に上から4回。右側上部に上から2回。	やや粗い	CⅢ型式	板目	－	V
1788	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	(40.4)	2.3	0.4	切り込み：左側上部に上から3回。右側上部に上から4回。	粗い	CⅢ型式	板目	－	V
1789	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	(21.1)	1.6	0.3	切り込み：左側上部上段に上から6回、中段に上から5回、下段に上から4回。右側上部上段に上から6回、中段に上から5回、下段に上から3回。	やや粗い	CⅢ型式	板目	－	V

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点 (大グリッド) (中グリッド) (小グリッド)	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
1790	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	(18.0)	2.3	0.2	切り込み：左側上部に上から5回。右側上部に上から1回。	やや粗い	C Ⅲ型式	柾目	－	V
1791	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－8	(16.6)	1.9	0.2	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	やや粗い	C Ⅲ型式	柾目	－	V
1792	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	(16.9)	1.8	0.3	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	V
1793	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－8	16.3	1.6	0.3	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	V
1794	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	(5.7) (8.9)	1.8	0.2	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	やや粗い	C Ⅲ型式	板目	－	V
1795	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	(14.1)	1.9	0.3	切り込み：左側上部に下から9回。右側上部に下から6回。	やや滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	V
1796	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－9	(15.2)	2.5	0.2	左右両側に各5回の切り欠き有り。	滑らか	C Ⅵ型式	板目	－	V
1797	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	(9.5)	2.0	0.3	切り込み：左側上部に上から8回。右側上部に上から6回。	やや滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	V
1798	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	(10.7)	1.3	0.5	やや厚みのある板の上端を圭頭状に成形。切り込み：右側上部に上から2回。	粗い	C Ⅲ型式	柾目	－	V
1799	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－7	(10.2)	2.1	0.3	切り込み：左側上部に上から8回、下部に下から2回。右側上部に上から6回、下部に下から1回。	粗い	C Ⅴ型式	板目	－	V
1800	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－5	(17.3)	2.2	0.3	切り込み：左側上部に下から9回、中央に上から8回。右側上部に下から14回、中央に上から4回。	やや粗い	C Ⅴ型式	板目	－	V
1801	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－9	(14.1)	2.6	0.3	切り込み：左側上部に上から8回、下部に下から6回。右側上部に上から9回、下部に下から4回。	滑らか	C Ⅴ型式	板目	－	V
1802	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－6	(25.4)	1.8	0.3	切り込み：左側上部に下から4回、中央に上から2回、下部に上から6回。右側上部に下から5回、下部に上から3回。	粗い	C Ⅴ型式	柾目	－	V
1803	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	(22.1)	2.0	0.2	切り込み：左側上部に上から8回。右側上部に上から10回、下部に下から5回。	滑らか	C Ⅴ型式	板目	－	V
1804	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－8	(24.2)	2.0	0.4	切り込み：左側上部に上から8回、下部に下から6回。右側上部に上から9回、下部に下から7回。	やや粗い	C Ⅴ型式	板目	－	V
1805	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	36.7	1.7	0.8	切り込み：左側上部に上から16回、下部に下から4回。右側上部に上から19回、下部に下から5回。表面全面削り。	やや粗い	C Ⅴ型式	板目	－	V
1806	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	33.7	2.3	0.2	切り込み：左側上部に下から11回、下部に上から9回。右側上部に下から10回、下部に上から9回。	粗い	C Ⅴ型式	板目	－	V
1807	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	(31.5)	2.7	0.2	切り込み：左側上部に上から8回、下部に下から5回。右側上部に上から4回、下部に下から4回。	粗い	C Ⅴ型式	板目	－	V
1808	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	33.0	2.1	0.3	切り込み：左側上部に下から11回、中央に上から9回。右側上部に下から12回、中央に上から9回。	滑らか	C Ⅴ型式	板目	－	V
1809	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－7	(33.2)	(2.4)	0.2	切り込み：左側上部に下から7回、中央に上から7回。右側欠損。	やや粗い	C Ⅴ型式	柾目	－	V
1810	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	(3.2) (29.3)	2.2	0.3	切り込み：左側上部に下から4回、中央に下から4回、下部に上から7回。右側中央に下から4回、下部に上から9回。	粗い	C Ⅴ型式	板目	－	V
1811	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	(30.0)	2.0	0.3	切り込み：左側上部に上から4回、下から7回。右側上部に上から7回、下から8回。	やや粗い	C Ⅴ型式	板目	－	V
1812	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	(26.2)	1.8	0.3	切り込み：左側上部に下から5回。右側上部に下から3回、下部に下から1回。	やや粗い	C Ⅴ型式	柾目	－	V
1813	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－7	(24.8)	2.0	0.3	上部欠損。下端は鋭く尖らせる。	やや粗い	C 型式	柾目	－	V
1814	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－8	(21.0)	1.7	0.4	上部欠損。下端は鋭く尖らせる。	やや粗い	C 型式	板目	－	V
1815	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	(19.0)	2.5	0.2	上端は片側から斜めに削り、下部は左右両側から削って尖らせる。	やや粗い	D Ⅰ型式	柾目	－	V
1816	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	19.9	1.3	0.4	上端は片側から斜めに大きく削って尖らせる。切り込み：右側下部に下から1回。	やや粗い	D Ⅰ型式	板目	－	V
1817	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	(17.9)	1.7	0.3	上端は片側から斜めに削る。下部欠損。	滑らか	D Ⅰ型式	板目	－	V

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
1818	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	20.0	1.6	0.4	上端は片側から斜めに削り、下部は左右両側から削って尖らせる。切り込み：右側上部に上から1回。	やや滑らか	D Ⅲ型式	板目	－	V
1819	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－8	18.8	1.5	0.3	上部は左右から抉って細く成形。中央右側のみ、同様の抉り有り。下部は両面を削って薄く成形。装飾具の可能性有り。	滑らか	D 型式	柾目	－	V
1820	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	(40.9)	1.3	0.6	上部欠損。下部は鋭く尖らせる。	滑らか	D Ⅰ型式	板目	－	V
1821	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	56.3	1.1	0.9	上下両端は鋭く尖らせる。切り込み：左側上部に上から1回。	やや粗い	D Ⅱ型式	板目	－	V
1822	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－6	(6.7)	1.8	0.2	上端は片側から削って尖らせる。左右に切り欠き有り。	やや粗い	D Ⅵ型式	板目	－	V
1823	祭祀具	塔形木製品	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	(11.1)	2.2	2.2	上端部は非常に細かく削り球面に成形。屋根には墨で瓦を表現する。4重の塔のミニチュアか。仏具。	やや滑らか		辺材	－	V
1824	雑具	自在	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	(18.3)	5.6	2.1	両端に各1ヶ所の穿孔有り。	滑らか		芯持ち材	－	V
1825	部材	棒状木製品	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	(32.6)	1.2	1.1	上部は細かな削りで多角形に成形。下端部はやや尖らせる。	滑らか		芯持ち材	－	V
1826	部材	棒状木製品	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－6	24.1	0.6	0.6	中央部を削って薄く成形。下端は斜めに削って尖らせる。	やや粗い		辺材	－	V
1827	部材	棒状木製品	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－8	24.6	1.1	0.6	断面長方形。上端部1方向より斜めに削って尖らせる。	やや滑らか		柾目	－	V
1828	部材	棒状木製品	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－9	(17.6)	0.4	0.4	上端部1方向より斜めに削って尖らせる。	やや滑らか		辺材	－	V
1829	部材	棒状木製品	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	(9.5)	1.0	0.5	上面中央から深い切り込みを入れる。全体にやや丁寧な面取り。	やや滑らか		板目	－	V
1830	部材	部材	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	(49.9)	1.1	1.0	一端を欠損。端部に抉り有り。	滑らか		柾目	－	V
1831	部材	部材	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－7	(30.0)	2.4	0.7	細長い板の両端に穿孔有り。下端の穿孔にはハーフパイプ状の溝有り。穿孔部分黒く変色する。	滑らか		板目	－	V
1832	部材	部材	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－9	(21.2)	(7.9)	3.8	下部を細く削り、把手または「ホゾ」を成形。	粗い		辺材	－	V
1833	部材	部材	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－5	19.6	4.4	1.6	下側面には対角線上に楔を打ち込んだ後、さらに縦に楔を打ち込んだ痕跡有り。	粗い		板目	－	V
1834	部材	部材	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	(6.8)	1.5	0.7	表面の角を削って面取りし、断面D形を呈する。上端の両側に浅い切り欠き有り。	滑らか		板目	－	V
1835	部材	部材	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－5	7.0	(6.1)	1.2	表面左側にホゾ穴有り。右端にはホゾ穴に対応する凹部有り。	粗い		板目	－	V
1836	部材	部材	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	9.1	4.4	3.8	中央下部に穿孔有り。	やや粗い		芯持ち材	－	V
1837	部材	部材	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－7	4.6	5.9	1.8	上端に楔の痕跡が3ヶ所有り。ホゾ穴に組み合わせるための部材。	やや粗い		板目	－	V
1838	部材	部材	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－9	(8.4)	1.6	0.6	下部に木釘残存。	やや粗い		板目	－	V
1839	部材	部材	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	24.6	3.7	2.1	上部の切り込み部分に異なる材質の木が組み込まれる。下部ゆるやかに斜めに削る。	滑らか		板目	－	V
1840	部材	部材	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	17.2	2.3	1.3	表面と側面に各2ヶ所の穿孔有り。上部の左側に切り欠き有り。下端は片側から斜めに削って尖らせる。	滑らか		柾目	－	V
1841	部材	部材	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	7.4	5.6	2.6	上部を凹形に成形。凹部の先端2箇所を前後に削って尖らせ、先端に溝を成形。	やや滑らか		芯持ち材	－	V
1842	部材	角材	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	5.6	6.4	5.5	断面8角形。上下端は異なる工具で切断。下面にノコギリ等で切断した跡が2ヶ所に残る。	滑らか		辺材	－	V
1843	用途不明	不明	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	3.0	(37.9)	0.6	3点を同一個体として取り上げ。b、cは、ホゾ穴2ヶ所残存。	滑らか		柾目	－	V

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量L	法量W	法量H	特徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
1844	用途不明	不明	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	13.2	3.2	2.4	断面六角形。上面中央を削り、少し丸みを帯びた凹部を成形。全体的に丁寧な削り。	滑らか		辺材	－	V
1845	用途不明	不明	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－7	11.5	4.2	1.6	上部を薄く削って凸部を成形し、2ヶ所に穿孔。壁などに掛けたものか。	やや粗い		柾目	－	V
1846	用途不明	不明	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－9	4.0	9.0	1.0	上部を削って凸形に成形。裏面には上部から溝を付ける。	やや滑らか		板目	－	V
1847	用途不明	不明	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	14.4	3.0	2.5	断面正方形の角柱の上部を薄く削り、裏面に2ヶ所の溝を平行に入れる。	やや粗い		辺材	－	V
1848	用途不明	不明	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	(5.8)	1.6	0.4	周囲を面取りし、下端は内湾するように削る。一部が炭化している。	滑らか		辺材	－	V
1849	建築部材	部材	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	(52.3)	10.6	3.2	両端に長方形のホゾ穴有り。全体的に摩滅が激しい。	粗い		辺材	ツブラジイ	V
1862	服飾具	下駄	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－7	20.8	(6.4)	1.8	左足用。鼻緒孔2ヶ所。	粗い	ＢⅠa型式	柾目	－	
1863	食事具	箸	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－6	(7.9)	0.9	0.6	下端部をやや尖り気味に成形。	やや滑らか		辺材	－	
1864	祭祀具	刀形	SR3001	南区(05－2)		(17.4)	1.9	0.9	下部は削りにより丸みを持たせて柄を成形。刃部は細く削って表現。上部欠損。	滑らか	A型式	辺材	－	
1865	祭祀具	人形	SR3001	南区(05－2)		(8.0)	3.0	2.3	摩滅部分が多い。目・鼻・口は浅く彫り込んで表現。頭部は山形に成形。下部の大部分は欠損。	粗い	円筒状人形	芯持ち材	－	
1866	祭祀具	人形	SR3001	南区(05－2)		(5.0)	1.9	2.0	目・口・顎を小さく彫り込んで表現。	やや粗い	円筒状人形	芯持ち材	－	
1867	祭祀具	斎串	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	(8.0)	1.1	0.4	圭頭状を呈する。	やや粗い	ＣⅠ型式	柾目	－	
1868	祭祀具	馬形	SR3001	南区(05－2)		(1.6)	(16.8)	(0.3)	切り込みによって頭部を表現。鳥形もしくは斎串の可能性有り。	やや粗い		板目	－	
1869	部材	部材	SR3001	南区(05－2)		4.0	1.3	1.2	上下から穿孔するが貫通はしていない。下端に細かい削りを入れて面取り。	やや滑らか		芯持ち材	－	
1872	工具	柄	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	(35.6)	2.5	2.0	角を削って面取り。上部欠損。	やや滑らか		辺材	－	Ⅱ
1873	工具	柄	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	(23.0)	2.1	1.3	下端をやや細く削る。上部欠損。	やや粗い		板目	－	Ⅱ
1874	工具	楔	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	12.0	3.0	2.1	上端部を鋭利に尖らせる。	やや滑らか		辺材	－	Ⅱ
1875	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	14.4	(8.0)	0.8	正円。復元径＝14.4cm。	粗い	結合方法不明曲物	柾目	－	Ⅱ
1876	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	(11.6)	(4.9)	0.8	復元径＝14.0cm。	粗い	結合方法不明曲物	板目	－	Ⅱ
1877	容器	方形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－7、B－8	26.3	19.3	0.5	外面に刃物傷有り。	滑らか	結合方法不明曲物	柾目	－	Ⅱ
1878	容器	楕円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	(47.8)	(5.2)	0.7	楕円形曲物の底板。樺皮結合用小孔3ヶ所残存。2片結合。	やや滑らか	樺皮結合曲物E型式	板目	－	Ⅱ
1879	文房具	木札	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	(4.7)	7.8	0.6	薄い板の上端に穿孔有り。	滑らか		板目	－	Ⅱ
1880	用途不明	不明	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	17.1	5.5	1.7	側面に上端から1/3程まで切り込み有り。工具を差し込んだ様な痕跡有り。	やや滑らか		柾目	－	Ⅱ
1881	用途不明	不明	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	9.8	5.1	0.7	涙滴型の板。大きな穿孔3ヶ所の周囲に小さな穿孔が12ヶ所に並ぶ。表面に貫通しない穴大小37ヶ所。装飾用か。	やや滑らか		板目	－	Ⅱ
1882	祭祀具	人形	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	(26.6)	1.7	2.1	芯持ち材に目・口を小さく彫り込んで表現。下端は斜めに削り杭状。樹皮が部分的に残存。	やや粗い	円筒状人形	芯持ち材	コナラ属アカガシ亜属	Ⅱ
1883	祭祀具	人形	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	13.6	2.7	0.2	傷みが激しく変形している。樹皮を切り込んで成形。	やや粗い	正面全身人形	樹皮	－	Ⅱ
1884	祭祀具	人形	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	13.0	2.4	0.2	漆か墨により黒く塗られた部分有り。樹皮を切り込んで成形。	滑らか	正面全身人形	樹皮	－	Ⅱ
1885	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	(34.9)	(1.5)	0.8	圭頭状を呈する。下端は欠損。	滑らか	ＢⅠ型式	板目	－	Ⅱ
1886	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	27.7	1.3	0.6	圭頭状を呈する。下端は緩やかに尖らせる。	滑らか	ＢⅠ型式	板目	－	Ⅱ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点（大グリッド）（中グリッド）（小グリッド）	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
1887	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－2	(36.4)	3.8	0.8	切り込み：左側上部に上から1回、下から3回。右側上部に上から1回、下から1回。墨付有り。	やや粗い	C Ⅴ型式	板目	－	Ⅱ
1888	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	(29.8)	3.1	0.5	全体に摩滅。上部欠損。下部は緩やかに尖らせる。	粗い	C 型式	柾目	－	Ⅱ
1889	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－2	(8.3)	(1.4)	0.3	圭頭状を呈する。	やや滑らか	C 型式	柾目	－	Ⅱ
1890	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－2	(15.6)	1.5	0.3	下端を鋭く尖らせる。上部欠損。	滑らか	C 型式	板目	－	Ⅱ
1891	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ C－20	(14.9)	1.6	0.2	下端を鋭く尖らせる。上部欠損。	滑らか	C 型式	板目	－	Ⅱ
1892	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－1	(13.6)	1.5	0.3	下端を鋭く尖らせる。上部欠損。	粗い	C 型式	柾目	－	Ⅱ
1893	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－1	(8.2)	1.7	0.2	下端を鋭く尖らせる。上部欠損。	滑らか	C 型式	板目	－	Ⅱ
1894	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	(21.2)	(1.3)	0.8	断面長方形。下端を鋭利に尖らせる。	滑らか	D 型式	板目	－	Ⅱ
1903	工具	木釘	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－3	18.3	3.6	3.1	頭部は断面多角形。軸部は円形に成形。摩滅している。	やや滑らか		辺材	－	Ⅲ
1904	工具	有頭棒	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ D－20	(9.3)	2.6	1.8	上端部は周囲からの削りによって、楕円形の頭部を成形。下部欠損。木錘、横槌などの可能性有り。	やや粗い		芯持ち材	コナラ属アカガシ亜属	Ⅲ
1905	農具	馬鍬	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－4	25.2	2.3	1.4	上部・下部に穿孔有り。上部に圧痕有り。	やや滑らか		辺材	－	Ⅲ
1906	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－5	(11.2)	(6.0)	0.7	表面円周を1.5～5mmの幅で斜めに削る。側面は木釘痕2ヶ所残存。復元径＝11.5cm。	滑らか	釘結合曲物F 型式	板目	－	Ⅲ
1907	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－3	7.7	3.3	0.5	復元径＝7.8cm。	やや粗い	結合方法不明曲物	板目	－	Ⅲ
1908	容器	円形曲物蓋板	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－4	6.0	3.8	0.4	中央に把手孔有り。復元径＝6.1cm。	やや滑らか	結合方法不明曲物	柾目	－	Ⅲ
1909	容器	高杯か	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－1	口径 (5.0)	脚柱径 4.8	残存高 (3.9)	ドーナツ状に芯を抜く。外面には上部に1段、下部に3段の文様を削り出す。	滑らか		芯持ち材	エゴノキ属	Ⅲ
1910	容器	方形曲物底板	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	(26.9)	(15.5)	0.7	表面上部に削り有り。表面に刃物傷多数。	やや粗い	結合方法不明曲物	板目	－	Ⅲ
1911	容器	挽物	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－3	口径 (13.5)		器高 0.9	多数の刃物傷有り。復元径＝13.5cm。	やや滑らか		横木取り	－	Ⅲ
1912	食事具	杓子	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	(13.9)	(3.2)	0.5	欠損部分が多い。	やや滑らか	不明	板目	－	Ⅲ
1913	食事具	箸	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－2	(16.6)	0.5	0.4	残存部の上部断面は扁平な楕円形。下端部は丁寧に削って細く成形。	滑らか		辺材	－	Ⅲ
1914	文房具	題籤軸	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	(7.9)	2.8	0.7	下部を細く削って軸部を成形。	やや滑らか		柾目	－	Ⅲ
1915	文房具	題籤軸	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ E－20	(4.6)	2.3	0.9	圭頭状を呈する。右側面と下部欠損。	滑らか		板目	－	Ⅲ
1916	祭祀具	刀形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－3	(7.4) (7.6) (15.1)	2.2	0.4	下部を左右から削って束部を成形。先端は緩やかに丸みを帯びる。	滑らか	A 型式	板目	－	Ⅲ
1917	祭祀具	人形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	(17.6)	2.2	0.4	頭部欠損。墨により口・髭・着物が表現されている。	滑らか	正面全身人形	板目	－	Ⅲ
1918	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	(9.8)	1.4	0.2	圭頭状を呈する。	滑らか	B Ⅰ型式	板目	－	Ⅲ
1919	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	(11.5)	1.4	0.2	切り込み：左側上部に上から3回。右側上部に上から1回。摩滅が著しい。	滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	Ⅲ
1920	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ D－20	(16.2)	2.5	0.4	切り込み：左側上部に上から2回。右側上部に上から5回。	やや滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	Ⅲ
1921	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ D－20	(8.9)	1.9	0.3	切り込み：左側上部に上から2回。右側上部に上から1回。	粗い	C Ⅲ型式	板目	－	Ⅲ
1922	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－2	(8.9)	(2.0)	(0.2)	切り込み：左側上部に上から3回。右側上部に下から1回。	滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	Ⅲ
1923	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－2	(15.6)	1.8	0.2	切り込み：左側上部に上から1回、下から1回。右側上部に下から1回。	滑らか	C Ⅴ型式	板目	－	Ⅲ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量 L	法量 W	法量 H	特徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
1924	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－4	(18.5)	2.2	0.5	圭頭状を呈する。左右両側に各2ヶ所の切り欠き有り。	滑らか	C Ⅵ型式	柾目	－	Ⅲ
1925	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	(14.1)	2.0	0.1	破損が激しい。	やや滑らか	C 型式	板目	－	Ⅲ
1926	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ D－20	(18.8)	1.5	0.4	下端は緩やかに尖らせる。	やや滑らか	C 型式	柾目	－	Ⅲ
1927	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	(9.7)	1.4	0.3	圭頭状を呈する。	滑らか	B Ⅰ型式	板目	－	Ⅲ
1928	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－2	(36.6)	0.8	0.3	上部欠損。下端を鋭く尖らせる。	やや粗い	D Ⅰ型式	板目	－	Ⅲ
1929	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ D－20	(15.3)	1.5	0.3	上部欠損。下端を鋭く尖らせる。	粗い	D 型式	柾目	－	Ⅲ
1930	部材	棒状木製品	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	(19.6)	1.1	0.7	圭頭状を呈する。	滑らか		辺材	－	Ⅲ
1931	部材	部材	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	(17.0)	2.1	0.8	上部は頭部を丁寧に削り出す。下部は粗く削って細く成形。	やや滑らか		辺材	－	Ⅲ
1932	部材	不明	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－1	9.0	3.5	0.4	上部側面に木釘が残存する。曲物底板の一部か。	滑らか		柾目	－	Ⅲ
1933	部材	部材	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	19.6	(17.4)	4.5	厚手の板を粗く削り、2ヶ所に穿孔。裏面は両孔の間に溝を削る。	やや粗い		板目	ヒノキ	Ⅲ
1945	工具	柄	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－3	50.9	2.2	1.6	上部は4面から削って薄く成形。木釘が上面に4ヶ所、側面1ヶ所残存。	滑らか		板目	－	Ⅳ
1946	工具	柄	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－4	24.6	2.3	(1.2)	上部は細かな削りで丸く成形。下端は角を削る。裏面は欠損している。	滑らか		辺材	－	Ⅳ
1947	工具	楔	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－3	12.9	3.3	3.5	断面台形。	滑らか		芯持ち材	－	Ⅳ
1948	農具	編台	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－2	(17.7)	3.3	7.5	側面に三角形の切り込みを9ヶ所削り出す。	やや粗い		板目	ツガ属	Ⅳ
1949	農具	編棒	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	(12.7)(11.6)	0.9	0.9	丁寧な面取りによって断面多角形に成形。上端はやや尖らせる。	やや滑らか		辺材	－	Ⅳ
1950	農具	編棒	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－3	(13.1)	0.9	0.8	断面を円形に成形。	やや粗い		辺材	－	Ⅳ
1951	農具	柄	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－2	(11.0)	2.8	3.2	ホゾ穴一部炭化。	滑らか		芯持ち材	－	Ⅳ
1952	紡織具	中筒	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－4	(29.7)	4.4	1.0	両端を削り、凸部を成形。一端は欠損。	粗い		板目	－	Ⅳ
1953	紡織具	糸巻横木	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ C－20	7.4	0.9	0.5	相欠き仕口の中心に軸孔有り。	滑らか	A 型式	板目	－	Ⅳ
1954	紡織具	糸巻枠木	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－4	(8.5)	1.6	1.2	枠木の上部のみ。断面正方形。上端部は面取りし、やや丸みを帯びる。	滑らか	A 型式	辺材	－	Ⅳ
1955	服飾具	檜扇	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ D－20	(7.4)	1.2	0.3	要孔有り。上部は細く成形か。	粗い	A 型式	板目	－	Ⅳ
1956	服飾具	檜扇	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－2	(32.0)	(2.5)	0.2	上部はやや幅広。下端に裏側から打ち込んだ要が残存。裏側2枚が残った状態。2枚ともに一部欠損。	滑らか	A Ⅰ型式	板目	－	Ⅳ
1957	服飾具	檜扇	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－5	(27.1)	1.8	0.6	下部に要孔有り。上部はやや幅広に成形。	滑らか	A Ⅰ型式	板目	－	Ⅳ
1958	服飾具	檜扇	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－2	(10.2)	(1.7)	0.2	下端は左右から削り、山形に成形。要孔有り。	滑らか	A Ⅰ型式	柾目	－	Ⅳ
1959	服飾具	檜扇	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－4	(10.4)	(1.2)	(0.2)	下端部のみ。骨6枚が重なった状態。	滑らか	A Ⅰ型式	板目	－	Ⅳ
1960	服飾具	櫛	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－1	4.0	11.8	1.0	把手と歯共に丁寧な作り。刻歯式横櫛。歯＝108本残存。	滑らか	A Ⅰ型式	板目	－	Ⅳ
1961	服飾具	櫛	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－3	3.4	(5.8)	0.9	刻歯式横櫛。歯＝52本残存。	滑らか	A Ⅰ型式	板目	イスノキ	Ⅳ
1962	服飾具	下駄	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－5	3.6	7.2	4.2	縦断面は逆台形状。	やや滑らか	Ⅱ型式	辺材	－	Ⅳ
1963	服飾具	下駄	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－1	(18.8)	(10.0)	7.0	鼻緒孔2ヶ所残存。縦断面は台形状。	やや滑らか	C Ⅲb型式	辺材	－	Ⅳ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量L	法量W	法量H	特徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
1964	容器	円形曲物底板側板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ E－20	18.6	18.0	器高5.9	側板に樺皮結合紐2ヶ所残存。木釘孔1ヶ所残存。重ねて樺皮紐で結合する部分に罫引線多数。底板に樺皮結合紐4ヶ所残存。裏面刃物傷多数。底板厚＝0.6cm。	滑らか	樺皮結合曲物E型式	側板板目底板板目	－	Ⅳ
1965	容器	円形曲物底板側板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－5	15.0	15.4	器高4.3	釘孔結合部分3ヶ所残存。樺皮結合紐2ヶ所残存。内面に罫引線有り。底板厚＝0.7cm。	滑らか	釘結合曲物F型式	柾目	－	Ⅳ
1966	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－4	18.3	18.2	0.5	側板による円周状の圧痕有り。樺皮結合用孔4ヶ所。うち1ヶ所欠損。3ヶ所で樺皮結合紐が残存。復元径＝18.3cm。	滑らか	樺皮結合曲物E型式	板目	－	Ⅳ
1967	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－3	18.3	(10.2)	0.8	樺皮結合紐2ヶ所残存。復元径＝18.2cm。	やや滑らか	樺皮結合曲物E型式	板目	－	Ⅳ
1968	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－4	(17.7)	(9.4)	0.7	樺皮結合紐1ヶ所残存。樺皮結合紐用孔2ヶ所残存。外面に刃物傷多数有り。側板による円周状の圧痕有り。復元径＝17.7cm。	滑らか	樺皮結合曲物E型式	板目	－	Ⅳ
1969	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	(17.5)	(15.6)	0.5	摩滅や変形が著しい。側板による円周状の圧痕有り。復元径＝18.0cm。	粗い	樺皮結合曲物E型式	板目	－	Ⅳ
1970	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－2	17.6	(10.7)	0.5	欠損、摩滅多数。側板による円周状の圧痕有り。復元径＝17.6cm。	粗い	樺皮結合曲物E型式	板目	－	Ⅳ
1971	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－3	(17.7)	(7.0)	0.7	樺皮結合紐1ヶ所残存。復元径＝17.7cm。	滑らか	樺皮結合曲物E型式	柾目	－	Ⅳ
1972	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	－	(17.6)	(8.4)	0.6	側板による円周状の圧痕有り。樺皮結合紐用孔3ヶ所残存。外面に刃物傷有り。復元径＝17.7cm。	滑らか	樺皮結合曲物E型式	板目	－	Ⅳ
1973	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－4	(18.8)	(8.3)	0.8	側板による円周状の圧痕有り。樺皮結合紐1ヶ所残存。炭化部分有り。復元径＝18.8cm。	やや滑らか	樺皮結合曲物E型式	板目	－	Ⅳ
1974	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－3	(18.6)	(8.7)	0.5	樺皮結合紐2ヶ所残存。表面は一部炭化。復元径＝18.0cm。	滑らか	樺皮結合曲物E型式	柾目	－	Ⅳ
1975	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－3	(13.0)	(6.3)	0.7	樺皮結合紐用小孔2ヶ所残存。復元径＝13.2cm。	滑らか	樺皮結合曲物E型式	板目	－	Ⅳ
1976	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－5	(13.4)	(3.5)	0.3	樺皮結合紐1ヶ所残存。復元径＝17.0cm。	粗い	樺皮結合曲物E型式	板目	－	Ⅳ
1977	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－2	(5.9)	(2.3)	0.3	樺皮結合用孔1ヶ所残存。復元径＝8.0cm。	滑らか	樺皮結合曲物E型式	板目	－	Ⅳ
1978	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－1	(18.0)	(8.6)	(0.6)	側面に釘孔2ヶ所残存。炭化部分が大1ヶ所、小5ヶ所有り。火鑽板に転用か。復元径＝18.2cm。	やや滑らか	釘結合曲物F型式	板目	－	Ⅳ
1979	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－5	(17.7)	(7.2)	1.0	側面に深さ1.2cmの釘孔2ヶ所有り。表面に火鑽痕4ヶ所有り。復元径＝18.0cm。	やや滑らか	釘結合曲物F型式	板目	－	Ⅳ
1980	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－4	(13.3)	(10.8)	0.6	内面に漆を塗布。復元径＝13.5cm。	粗い	釘結合曲物F型式	板目	－	Ⅳ
1981	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－2	14.0	10.3	0.7	釘孔2ヶ所残存。内面に刃物傷多数。復元径＝14.0cm。	滑らか	釘結合曲物F型式	板目	－	Ⅳ
1982	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－1	(17.4)	(6.2)	0.6	釘孔2ヶ所残存。復元径＝18.5cm。	滑らか	釘結合曲物F型式	板目	－	Ⅳ
1983	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－6	(18.3)	(7.4)	0.7	釘孔1ヶ所残存。摩滅。復元径＝19.1cm。	粗い	釘結合曲物F型式	板目	－	Ⅳ
1984	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－1	(13.7)	(5.8)	0.5	釘孔2ヶ所残存。復元径＝13.9cm。	やや滑らか	釘結合曲物F型式	柾目	－	Ⅳ
1985	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－4	(12.7)	(5.2)	0.7	釘孔2ヶ所残存。楕円形。復元径＝13.0cm。	滑らか	釘結合曲物F型式	板目	－	Ⅳ
1986	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－3	(12.2)	(4.9)	0.8	釘孔1ヶ所残存。復元径＝12.4cm。	滑らか	釘結合曲物F型式	板目	－	Ⅳ
1987	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－3	12.4	7.0	0.8	復元径＝12.3cm。	滑らか	結合方法不明曲物	板目	－	Ⅳ
1988	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－3	13.6	12.5	0.8	全体に摩滅。やや楕円形。	粗い	結合方法不明曲物	板目	－	Ⅳ
1989	容器	円形曲物底板か	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－5	12.1	5.9	1.3		やや滑らか	結合方法不明曲物	板目	－	Ⅳ
1990	容器	円形曲物側板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－5	16.1		器高5.2	樺皮結合紐1ヶ所残存。釘孔4ヶ所残存。器高＝5.2cm。	やや粗い	釘結合曲物F型式	板目	－	Ⅳ
1991	容器	円形曲物蓋板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－6	(12.9)	(14.2)	器高1.1	釘孔3ヶ所残存。楕円形。上板厚＝0.7cm。	やや滑らか	釘結合曲物F型式	側板柾目上板板目	－	Ⅳ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点（大グリッド）（中グリッド）（小グリッド）	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
1992	容器	円形曲物蓋板	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－3	(14.7)	(8.7)	0.6	側板による円周状の圧痕有り。釘孔３ヶ所残存。復元径＝14.6cm。	やや滑らか	釘結合曲物F 型式	柾目	－	Ⅳ
1993	容器	円形曲物側板	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－5	(3.5)	(17.9)	0.7	下端部に穿孔１ヶ所残存。片面に罫引線多数。	滑らか	結合方法不明曲物	板目	ヒノキ	Ⅳ
1994	容器	楕円形曲物側板	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－4	(9.7)	(18.3)	器高 7.2	側板の周囲に箍が巡る。木釘２ヶ所、谷釘孔２ヶ所残存。樺皮結合紐残存。	粗い	釘結合曲物F 型式	柾目	－	Ⅳ
1995	容器	挽物	SR3001	南区（04－1）	－	口径 10.0		器高 2.4	内面全体に朱色の漆。底部外面は黒色の漆を塗布。底内面に焼印有り。	滑らか（漆塗布）		縦木取り	－	Ⅳ
1996	容器	挽物	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－4	口径 (17.3)		器高 0.9	裏面凹部に轆轤の爪痕有り。内外面に削りの際の工具跡と刃物傷多数有り。	滑らか		横木取り	－	Ⅳ
1997	食事具	杓子	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－4	26.6	3.7	1.2	柄部を削ってやや細く成形。身部は長方形。	やや粗い	A 型式	板目	－	Ⅳ
1998	食事具	杓子	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D-4(C-6)	(32.0)	7.9	0.6	身部は隅丸長方形。	やや粗い	A 型式	板目	－	Ⅳ
1999	食事具	杓子	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－1	24.8	5.2	0.4	柄部を細長く削り出す。身の先端は丸く成形。	やや粗い	B 型式	板目	ヒノキ	Ⅳ
2000	食事具	杓子	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－3	21.6	6.0	0.5	身部の先端は細かな削りで丸く成形。柄部は細く削り出す。	滑らか	B 型式	柾目	－	Ⅳ
2001	食事具	杓子	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－2	(13.1)	(2.0)	0.6	柄部は細く、身部を少しふくらませる。身部の先端は裏面から削って尖らせる。	やや滑らか	B 型式	板目	－	Ⅳ
2002	食事具	杓子	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－2	(14.0)	1.6	0.5	全体に細く成形。	やや粗い	不明	板目	－	Ⅳ
2003	食事具	杓子	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－4	(13.3)	2.2	0.5	全体に細く成形。	やや粗い	不明	板目	－	Ⅳ
2004	食事具	匙	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－4	10.3	1.6	0.4	柄部は細く下端を尖らせる。身部は細い削りで成形。	やや滑らか	B 型式	板目	－	Ⅳ
2005	食事具	箸	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	(26.6)	0.6	0.5	下部は細く成形。上端部は斜めに削る。	やや滑らか		辺材	－	Ⅳ
2006	食事具	箸	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－2	(24.3)	0.6	0.3	断面楕円形。上下両端ともにやや細く成形。	滑らか		板目	－	Ⅳ
2007	食事具	箸	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－3	24.2	0.7	0.6	上部欠損。下部は少し細く成形。	滑らか		辺材	－	Ⅳ
2008	食事具	箸	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－3	(17.3)	0.4	0.4	上部欠損。下部は少し細く成形。断面七角形。	やや滑らか		辺材	－	Ⅳ
2009	食事具	箸	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－3	(14.2)	0.6	0.5	上部欠損。下部は少し細く成形。丁寧な面取り。	滑らか		辺材	－	Ⅳ
2010	食事具	箸	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－4	(24.1)	0.7	0.7	細かい面取りを施して断面を不整円形。下部をやや細く成形。	やや滑らか		辺材	－	Ⅳ
2011	文房具	題籤軸か	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ E－20	6.7	3.4	0.9	上端の中央部に幅７mm、長さ３mm の凸部有り。軸部は付け根から折れている。	滑らか		板目	－	Ⅳ
2012	文房具	木札	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－3	(14.6)	2.5	0.6	上部の左右両側に浅い切り欠き有り。下端は両側から削って尖らせる。	やや粗い	付札形	板目	－	Ⅳ
2013	遊戯具	毬芯か	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－4	(3.1)	3.5	2.8	削りによって球体に成形。	滑らか		芯持ち材	－	Ⅳ
2014	祭祀具	剣形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－2	(27.3)	2.6	0.5	下部の両側を少し削って束部を成形。刃部、束ともに薄い。	やや滑らか	B 型式	板目	－	Ⅳ
2015	祭祀具	刀子形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－5	(11.9)	1.1	0.6	下部を削って細長い束部を成形。	滑らか	B 型式	板目	－	Ⅳ
2016	祭祀具	戈形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－5	27.2	4.2	1.6	厚い板の下部の両側に切り欠きを入れて束部を成形。	やや粗い		芯持ち材	ウツギ属	Ⅳ
2017	祭祀具	根挟	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－4	5.0	1.5	1.5	下部は断面円形に削り、内部を空洞に成形。上端は円錐状に削り、先端にスリットを入れて別の木を挟む。	滑らか		芯持ち材	－	Ⅳ
2018	祭祀具	矛形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－5	(21.3)	2.6	0.5	刃部は扁平で非常に薄く成形。	やや滑らか		板目	－	Ⅳ
2019	祭祀具	剣形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－2	(13.0)	1.3	0.3	刃部を薄く成形。下部の両側を僅かに削って束部を成形。	滑らか		板目	－	Ⅳ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点（大グリッド）（中グリッド）（小グリッド）	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
2020	祭祀具	剣形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－2	(31.8)	2.5	0.5	屈曲した状態で出土。束部は細く削り、下端に鍔状の凸部を成形。	滑らか		板目	－	Ⅳ
2021	祭祀具	鎌形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	25.9	15.1	2.2	柄部に使用痕もしくは指跡有り。刃部に欠損が多く、農具として使用された可能性有り。	やや滑らか		板目	－	Ⅳ
2022	祭祀具	刀子形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－2	(16.6)	1.6	0.5	削りにより束部を細長く成形。上部欠損。	滑らか	C型式	板目	－	Ⅳ
2023	祭祀具	紡織具形	SR3001	南区（04－1）	－	(10.0)	(1.4)	0.5	上端部に細かな切り欠き有り。	やや滑らか		柾目	－	Ⅳ
2024	祭祀具	人形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－4	(17.9)	1.1	1.2	目・鼻・口を小さく彫り込んで表現。上端も僅かに成形。	やや滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅳ
2025	祭祀具	人形	SR3001	南区（04－1）	－	(7.5)	1.5	1.4	目・口らしき小さな彫り込み有り。上端部は斜めに切り落とす。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅳ
2026	祭祀具	人形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－3	(36.2)	(6.2)	0.6	頭部と肩部を成形するが、顔は確認できない。	滑らか	正面全身人形	板目	－	Ⅳ
2027	祭祀具	人形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－5	(17.3)	3.6	0.6	頭・胴・脚を切り込みによって表現。頭部はやや小さく圭頭状を呈する。	やや粗い	正面全身人形	板目	－	Ⅳ
2028	祭祀具	人形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－2	14.8	3.1	4.0	圭頭状を呈する。肩部と左右の手が切り込みによって表現される。	やや滑らか	正面全身人形	板目	ヒノキ	Ⅳ
2029	祭祀具	人形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－3	20.5	4.6	0.8	頭部と下部欠損。肩の切り込みが見られる。	滑らか	正面全身人形	板目	－	Ⅳ
2030	祭祀具	人形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－1	(6.1)	(1.5)	0.4	人形の足もしくは斎串の欠損品か。	やや滑らか	正面全身人形	板目	－	Ⅳ
2031	祭祀具	人形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－4	70.9	7.2	0.7	切り込みによって頭部・肩・腰・足を成形。墨書で顔を表現。髪形から女性と判断する。服の表現も有り。	滑らか	正面全身人形	板目	－	Ⅳ
2032	祭祀具	人形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－5	(37.2)	6.2	0.5	圭頭状。墨書で頭・眉・目を表現。	やや粗い	正面全身人形	板目	－	Ⅳ
2033	祭祀具	人形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－4	(7.3) (14.5) (11.9)	(3.0)	0.2	圭頭状。頭・胴・脚の明確な接点無し。全体に破損部分多い。頭部に眉・目の表現有り。	粗い	正面全身人形	板目	－	Ⅳ
2034	祭祀具	人形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－3	13.4	0.8	0.3	圭頭状。僅かに肩の切り込みがある。足はV字形に切り込む。墨で眉・目・鼻・口・髭を表現。	やや滑らか	正面全身人形	板目	－	Ⅳ
2035	祭祀具	人形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－5	(5.9)	1.9	0.3	墨書で顔を表現したものか。部位不明。	滑らか	正面全身人形	板目	－	Ⅳ
2036	祭祀具	馬形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－4	2.9	19.9	0.7	目と背中部分に、それぞれ穿孔有り。首と尾を削りで表現。	やや滑らか	AⅠ型式	板目	－	Ⅳ
2037	祭祀具	鳥形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	(1.5)	(7.0)	0.3	両面に線状の墨痕有り。	やや粗め	A型式	板目	－	Ⅳ
2038	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－2	20.0	1.4	0.3	上下両端とも圭頭状。	滑らか	BⅠ型式	板目	－	Ⅳ
2039	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	7.1	1.1	0.4	上下両端とも圭頭状。	滑らか	BⅠ型式	板目	－	Ⅳ
2040	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	(22.8)	1.3	0.5	上端はやや丸味を帯びる。下部欠損。	やや滑らか	BⅠ型式	柾目	－	Ⅳ
2041	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	(21.0)	(1.6)	0.7	圭頭状。下部欠損。	滑らか	BⅠ型式	板目	－	Ⅳ
2042	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－3	(13.7)	1.2	0.4	圭頭状。下部欠損。	やや滑らか	BⅠ型式	板目	－	Ⅳ
2043	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－3	(9.1)	1.1	0.3	圭頭状。下部欠損。	滑らか	BⅠ型式	板目	－	Ⅳ
2044	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	－	(7.0)	1.0	0.3	圭頭状。下部欠損。	やや滑らか	BⅠ型式	板目	－	Ⅳ
2045	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	(18.2)	2.7	0.5	上端は片側からの削りで尖らせる。	やや粗い	AⅠ型式	板目	－	Ⅳ
2046	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－5	(4.1)	(0.9)	0.3	両面に墨痕有り。平行四辺形状。	やや粗い	AⅠ型式	板目	－	Ⅳ
2047	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－5	(11.5) (12.4)	2.3	0.2	中央で欠損。上下両端ともに片側からの削りで平行四辺形状。	粗い	AⅠ型式	板目	－	Ⅳ
2048	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	(14.5)	1.4	0.2	切り込み：右側中央に上から1回。上下両端は斜めに削り平行四辺形状。	粗い	AⅢ型式	板目	－	Ⅳ
2049	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－3	(12.6) (19.6)	2.6	0.4	全体に欠損や摩滅による変形が多い。傷みが激しい。	やや粗い	C型式	板目	－	Ⅳ
2050	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－2	(10.2)	1.7	0.4	圭頭状。下部欠損。	やや滑らか	C型式	柾目	－	Ⅳ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点 (大グリッド) (中グリッド) (小グリッド)	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
2051	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	(4.5)	1.7	0.2	圭頭状。下部欠損。	滑らか	C型式	柾目	－	Ⅳ
2052	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ D－20	(21.7)	1.8	0.3	上部欠損。下端部は鋭利に尖らせる。	やや滑らか	C型式	板目	－	Ⅳ
2053	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－2	(19.6)	3.0	0.7	上部欠損。下端部は鋭利に尖らせる。	粗い	C型式	板目	－	Ⅳ
2054	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－2	(20.5)	1.9	0.3	上部欠損。下端部は鋭利に尖らせる。	やや粗い	C型式	柾目	－	Ⅳ
2055	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－3	(16.5)	1.6	0.3	上部欠損。下端部は鋭利に尖らせる。	滑らか	C型式	板目	－	Ⅳ
2056	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	(17.6)	1.0	0.3	上部欠損。下端部は鋭利に尖らせる。	滑らか	C型式	板目	－	Ⅳ
2057	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－3	(16.8)	(1.4)	0.5	上部欠損。下端部は鋭利に尖らせる。	やや滑らか	C型式	板目	－	Ⅳ
2058	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－1	(15.0)	1.2	0.4	上部欠損。下端部は鋭利に尖らせる。	やや滑らか	C型式	板目	－	Ⅳ
2059	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－2	(14.1)	1.0	0.5	上部欠損。下端部は鋭利に尖らせる。	滑らか	C型式	板目	－	Ⅳ
2060	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－4	(13.0)	1.6	0.2	上部欠損。下端部は鋭利に尖らせる。	滑らか	C型式	板目	－	Ⅳ
2061	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－4	(12.2)	(1.2)	0.3	上部欠損。下端部は鋭利に尖らせる。	やや滑らか	C型式	板目	－	Ⅳ
2062	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ C－20	(11.1) (8.4)	1.7	0.3	上部欠損。下端部は鋭利に尖らせる。	やや粗い	C型式	板目	－	Ⅳ
2063	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ C－20	(10.8) (6.3)	1.6	0.2	上部欠損。下端部は鋭利に尖らせる。	滑らか	C型式	板目	－	Ⅳ
2064	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	(67.1)	1.6	0.7	両面を浅い削りによって立体的に成形。	やや粗い	CⅠ型式	板目	－	Ⅳ
2065	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－4	28.8	1.6	0.4	圭頭状。下部は削りによって篦状に成形。	滑らか	CⅠ型式	板目	－	Ⅳ
2066	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	(14.5)	1.4	0.6	圭頭状。下部欠損。	やや粗い	CⅠ型式	板目	－	Ⅳ
2067	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－4	(13.8)	1.5	0.3	上端を鋭く尖らせる。下端は細く削る。刀子形か。	やや粗い	CⅠ型式	板目	－	Ⅳ
2068	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－3	(7.8)	(1.5)	0.2	圭頭状。下部欠損。	やや粗い	CⅠ型式	板目	－	Ⅳ
2069	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－2 C－3	18.3	1.1	0.3	切り込み：左右両側上部に上から各2回。下端部に細かい切り込み有り。	やや滑らか	CⅢ型式	柾目	－	Ⅳ
2070	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－3	(19.0)	1.8	0.3	切り込み：左側に上から12回。右側に下から12回。	滑らか	CⅢ型式	板目	－	Ⅳ
2071	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－3	(14.7)	2.0	0.4	切り込み：左側上部に上から6回。右側は欠損のために不明。	やや滑らか	CⅢ型式	柾目	－	Ⅳ
2072	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	－	(14.6)	1.1	0.2	切り込み：左側上部に上から4回。右側上部に上から5回。	やや粗い	CⅢ型式	柾目	－	Ⅳ
2073	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－2	(9.0)	1.6	0.3	切り込み：左側上部に上から3回。右側上部に上から2回。	滑らか	CⅢ型式	板目	－	Ⅳ
2074	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－4	(7.1)	1.4	0.2	切り込み：左側上部に上から1回。上端部に削り有り。	やや滑らか	CⅢ型式	板目	－	Ⅳ
2075	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ D－20	5.7	(1.1)	0.4	切り込み：右側上部に上から1回。	やや滑らか	CⅢ型式	板目	－	Ⅳ
2076	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－3	(13.6)	1.9	0.4	切り込み：左側上部に上から3回。右側上部に下から1回。下端部は丁寧に尖らせている。	滑らか	CⅢ型式	板目	－	Ⅳ
2077	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－6	42.5	12.5	0.6	上部欠損。下端部は鋭利に尖らせる。	やや滑らか	C型式	柾目	－	Ⅳ
2078	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	(27.8)	1.2	0.5	上部欠損。下端部は鋭利に尖らせる。丁寧な削り。	滑らか	CⅠ型式	柾目	－	Ⅳ
2079	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－5	(20.2)	(1.7)	0.3	上部欠損。下端部はやや丸く削る。	やや滑らか	CⅠ型式	板目	－	Ⅳ
2080	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ C－20	(20.6)	1.6	0.3	切り込み：右側上部に下から2回。	やや粗い	CⅢ型式	板目	－	Ⅳ
2081	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	－	(18.8)	1.3	0.3	切り込み：左側上部に上から4回。右側上部に上から1回。	やや滑らか	CⅢ型式	柾目	－	Ⅳ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点 (大グリッド) (中グリッド) (小グリッド)	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
2082	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ C－20	34.4	1.9	0.3	切り込み：左側上部に上から1回が3ヶ所、2回が2ヶ所、下から1回が5ヶ所、2回が2ヶ所。右側上部に上から1回が3ヶ所、2回が3ヶ所、下から1回が3ヶ所、2回が1ヶ所。	やや滑らか	CⅤ型式	板目	－	Ⅳ
2083	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	26.9	2.6	0.4	切り込み：左側上部に上から2回、下から3回。右側上部に上から3回、下から4回。	滑らか	CⅤ型式	板目	－	Ⅳ
2084	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	29.9	1.2	0.3	切り込み：左側上部に上から4回、中央に下から3回。右側上部に上から5回、中央に下から2回。	滑らか	CⅤ型式	板目	－	Ⅳ
2085	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－3	24.2	3.1	0.9	切り込み：左右両側上部に上から各3回、下部に下から各3回。	粗い	CⅤ型式	板目	－	Ⅳ
2086	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－3	(41.0)	6.0	0.7	上部欠損。下部の一面を細かく削って尖らせる。	滑らか	D型式	板目	－	Ⅳ
2087	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ C－20	(16.8)	1.6	0.2	切り込み：左側上部に上から7回、下から9回。右側上部に上から8回、下から10回。	やや粗い	CⅤ型式	板目	－	Ⅳ
2088	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ C－20	(14.4)	1.5	0.2	切り込み：左側上部に上から5回、下から6回。右側上部に上から5回、下から5回。	やや粗い	CⅤ型式	柾目	－	Ⅳ
2089	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－1	(11.0)	2.3	0.3	切り込み：左側上部に上から3回、下から2回。右側上部に上から3回、下から1回。	粗い	CⅤ型式	板目	－	Ⅳ
2090	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－5	(20.8)	(2.2)	0.3	切り込み：左側中央に上から3回、下から4回。右側中央に上から3回。	粗い	CⅤ型式	板目	－	Ⅳ
2091	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－4	(17.2)	2.0	0.3	上下両端欠損。左右両側にほぼ等間隔に各6回の小さな切り欠き有り。	滑らか	CⅥ型式	板目	－	Ⅳ
2092	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－5	(18.8)	1.5	0.3	圭頭状。上部に穿孔1ヶ所。檜扇の可能性有り。	滑らか	D型式	板目	－	Ⅳ
2093	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－3	(21.8) (7.9)	1.3	0.4	湾曲している。下部は斜めに削って尖らせる。	滑らか	D型式	板目	－	Ⅳ
2094	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－4	(30.3)	1.6	1.0	厚手の板の下端を削って尖らせる。	滑らか	D型式	板目	－	Ⅳ
2095	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	(71.6)	1.5	0.7	全体的に削りによって細く成形。下端は緩やかに削って尖らせる。	やや滑らか	D型式	板目	－	Ⅳ
2096	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－4	56.6	1.3	1.3	上端の右側をやや斜めに削る。下端は削って鋭く尖らせる。	粗い	DⅠ型式	辺材	－	Ⅳ
2097	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－3	45.5	0.9	0.6	上端をやや斜めに削る。下端は削って鋭く尖らせる。	やや粗い	DⅠ型式	板目	－	Ⅳ
2098	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－2	44.7	1.2	0.8	上端をやや斜めに削る。下端は四方から削って尖らせる。	やや滑らか	DⅠ型式	板目	－	Ⅳ
2099	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－2	(41.6)	0.9	0.7	上端をやや斜めに削る。下端は片側から削って鋭く尖らせる。	滑らか	DⅠ型式	柾目	－	Ⅳ
2100	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－3	43.8	0.9	0.8	上端をやや斜めに削る。下端は片側から削って鋭く尖らせる。	やや滑らか	DⅠ型式	板目	－	Ⅳ
2101	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－3	39.0	0.8	0.7	上端は前後から削ってⅤ字形に成形。下端は丁寧に削って尖らせる。	滑らか	DⅠ型式	板目	－	Ⅳ
2102	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－3	42.3	1.0	0.9	上端をやや斜めに削る。下端は片側から削って鋭く尖らせる。	滑らか	DⅠ型式	辺材	－	Ⅳ
2103	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	30.8	1.0	0.6	上端をやや斜めに削る。下端は四方から削って尖らせる。	やや粗い	DⅠ型式	柾目	－	Ⅳ
2104	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－3	27.5	1.2	0.7	上端は前面より斜めに削って成形。下部は緩やかに削って細く成形。	滑らか	DⅠ型式	柾目	－	Ⅳ
2105	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－1	18.0	1.0	0.1	上端は前後から削って山形に成形。下部は左右から削る。	滑らか	DⅠ型式	板目	－	Ⅳ
2106	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－5	12.8	2.4	0.4	上端は片側から斜めに削り、下端は平坦。	滑らか	DⅠ型式	板目	－	Ⅳ
2107	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－2	(29.9)	1.2	0.5	上端は鋭角の圭頭状。下部は細く削る。	滑らか	DⅠ型式	板目	－	Ⅳ
2108	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ E－20	(23.0)	0.9	0.5	上端は圭頭状。下部欠損。	滑らか	DⅠ型式	板目	－	Ⅳ
2109	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	－	(15.0)	1.4	0.3	上端は方頭状。下部欠損。	やや粗い	DⅠ型式	板目	－	Ⅳ
2110	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	(49.8)	1.5	0.7	上部欠損。下端は左右から削って鋭く尖らせる。	滑らか	DⅠ型式	柾目	－	Ⅳ
2111	祭祀具	斎串	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－2	(36.0)	0.6	0.6	全体を粗く削って先端を尖らせる。	やや滑らか	DⅠ型式	辺材	－	Ⅳ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量 L	法量 W	法量 H	特徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
2112	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－2	(35.6)	(1.2)	0.8	上部欠損。下端は鋭く尖らせる。	滑らか	D Ⅰ型式	板目	－	Ⅳ
2113	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－3	(30.0)	1.2	0.3	上部欠損。下端は削りによって尖らせる。	やや粗い	D Ⅰ型式	板目	－	Ⅳ
2114	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ C－20	(28.0)	1.2	0.7	上部欠損。下端は細かな削りにより尖らせる。	やや滑らか	D Ⅰ型式	板目	－	Ⅳ
2115	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－2	(22.5)	0.8	0.9	上部欠損。下端は尖らせる。	やや粗い	D Ⅰ型式	辺材	－	Ⅳ
2116	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－2	24.6	1.0	0.9	切り込み：左側上部に上から1回。下端を斜めに削って尖らせる。	やや粗い	D Ⅲ型式	辺材	－	Ⅳ
2117	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－3	41.8	0.9	0.9	切り込み：左側上部に上から2回。正面、左側面、右側面に細かな削り面が有る。	やや滑らか	D Ⅶ型式	辺材	－	Ⅳ
2118	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－1	16.3	0.9	0.5	断面菱形。上下両端を尖らせる。	滑らか		板目	－	Ⅳ
2119	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－3	(17.4)	1.1	0.7	上部は薄く、下部は多角形の棒状に成形。下端は斜めに削り、鋭く尖らせる。	滑らか		板目	－	Ⅳ
2120	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	22.3	0.8	0.7	上部は丁寧に削り五角形に成形。下端は左右から削って尖らせる。	やや滑らか		辺材	－	Ⅳ
2121	雑具	籌木	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－2	(9.6)	0.4	0.2	上部欠損。下端は片側から斜めに削る。	やや滑らか		柾目	－	Ⅳ
2122	雑具	火付棒	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ C－20	27.8	1.1	1.0	上部欠損。下端は削りによって尖らせる。一端炭化。	粗い		辺材	ヒノキ	Ⅳ
2123	部材	部材	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－4	45.4	1.7	1.1	下部を削ってやや細く成形。	やや滑らか		板目	－	Ⅳ
2124	部材	部材	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－1	(20.0)	2.6	2.8	上端にホゾを削り出し、上面中央部に抜け止めの楔が残存。	やや滑らか		辺材	－	Ⅳ
2125	部材	部材	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ C－20	8.9	2.8	1.9	頭部を断面多角形に削り出し、下部は長方形に成形。木釘か。	やや滑らか		辺材	－	Ⅳ
2126	部材	部材	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－3	(4.9)	6.8	1.5	F字を横にした形状。表面は横方向に溝有り。裏面に漆を塗布。	やや粗い		板目	－	Ⅳ
2127	部材	部材	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－3	4.5	2.0	1.7	上下に穿孔有り。貫通している。中央部を削り、くびれ部分を成形。	やや滑らか		芯持ち材	－	Ⅳ
2128	部材	部材	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－2	5.0	2.4	1.4	両側面の中央を削り、凹部を成形。	やや滑らか		辺材	－	Ⅳ
2129	部材	部材	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－4	(34.6)	1.3	0.9	上端は削って角を落とす。下部欠損。	やや滑らか		辺材	－	Ⅳ
2130	部材	板材	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	7.0	6.2	1.2	四辺を丁寧に削る。	滑らか		板目	－	Ⅳ
2131	杭	杭	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－5	(42.0)	(1.4)	(1.0)	上部欠損。下部を緩やかに削って下端を尖らせる。斎串か。	やや粗い		辺材	－	Ⅳ
2132	杭	杭	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－5	(34.5)	3.3	2.5	全体を滑らかに削る。上部欠損。下端は丸く削り、部材の可能性有り。	滑らか		辺材	－	Ⅳ
2133	杭	杭	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－2	(28.1)	1.5	0.9	上部欠損。下端を削って尖らせる。	粗い		板目	－	Ⅳ
2134	杭	杭	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	(25.7)	(1.5)	0.9	下端は削って鋭利に尖らせる。斎串か。	滑らか		辺材	－	Ⅳ
2135	杭	杭	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－2	(10.6)	3.0	2.4	上部欠損。下端部をやや丁寧に削って尖らせる。	滑らか		芯持ち材	マツ属複維管束亜属	Ⅳ
2136	用途不明	不明	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	1.5	(15.8)	0.4	上端の穿孔に木釘が残存。檜扇の可能性有り。	やや滑らか		柾目	－	Ⅳ
2137	用途不明	不明	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－5	(21.3)	1.8	0.7		滑らか		板目	－	Ⅳ
2167	工具	横槌か	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－3	17.4	4.6	(2.1)	全体に摩滅している。上端は削りによって頭部を成形。	やや粗い		辺材	－	Ⅴ
2168	工具	柄	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－2	25.6	2.5	2.7	指跡らしき痕跡有り。	滑らか		辺材	－	Ⅴ
2169	工具	柄	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－3	19.8	2.4	1.6	端部に穿孔有り。	滑らか		辺材	－	Ⅴ
2170	工具	篦	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－4・5	(14.8)	1.7	0.8	身部は細かな削りで平坦に削り、軸部は細く削る。	滑らか		板目	－	Ⅴ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量L	法量W	法量H	特徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
2171	工具	不明	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－4	12.3	2.0	1.35	多角形の棒状木製品の一面を、ゆるやかな弧状に削る。上端を細く成形。	やや滑らか		辺材	－	V
2172	農具	編台か	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－2	(10.5)	2.3	0.8	側面に5ヶ所の切り欠き有り。摩滅している部分有り。	やや粗い		柾目	－	V
2173	農具	木錘	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－5	(14.2)	7.1	5.2	一端を欠損。端部は丸く削って成形。	滑らか		芯持ち材	－	V
2174	農具	木錘	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ D－20	(14.3)	4.2	3.4	中央部を削ってくびれ部分を成形。	滑らか		芯持ち材	コナラ属アカガシ亜属	V
2175	紡織具	糸巻横木	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－3	10.2	1.2	0.6	軸孔有り。	やや滑らか	A型式	板目	－	V
2176	紡織具	織機	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－5	25.6	4.2	1.1	やや厚手の板を笹の葉形に成形。上部右辺に凹部を削り出す。下端部は丁寧に削ってやや細く成形。上端に僅かに焼けこげ跡有り。	滑らか		板目	－	V
2177	服飾具	檜扇	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－2	(11.1)	(1.6)	0.3	下端に要孔有り。	滑らか	AⅠ型式	板目	ヒノキ	V
2178	服飾具	櫛	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	3.5	(2.3)	0.6	刻歯式横櫛。歯＝20本残存。	滑らか	AⅡ型式	板目	－	V
2179	容器	円形曲物底板側板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－5	20.0	19.4	器高4.2	側板結合部の上端は、他の部分より5mm高く削り残される。木釘による樺皮結合用小孔9ヶ所残存。樺皮による側板同士の結束部分2ヶ所残存。内面の罫引線は斜めと垂直の2種類有り。復元径＝20.0cm。	滑らか	釘結合曲物F型式	板目	－	V
2180	容器	円形曲物底板側板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－6	14.9	15.4	器高3.2	側板の上辺部欠損有り。釘孔5ヶ所残存。側板同士の結束部分が残存。復元径＝15.4cm。	滑らか	釘結合曲物F型式	板目（底板）	－	V
2181	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ E－20	(17.6)	(6.0)	0.5	側板による円周状の圧痕有り。樺皮結合紐1ヶ所残存。復元径＝19.8cm。	滑らか	樺皮結合曲物E型式	板目	－	V
2182	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－1	33.4	(10.0)	0.7	側板による円周状の圧痕一部残存。樺皮結合紐1ヶ所残存。復元径＝39.0cm。	やや粗い	樺皮結合曲物E型式	板目	－	V
2183	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－3	(20.2)	(5.1)	(0.9)	樺皮結合紐2ヶ所残存。復元径＝28.0cm。	やや滑らか	樺皮結合曲物E型式	板目	－	V
2184	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－5	(12.5)	(3.4)	0.4	側板による円周状の圧痕有り。樺皮結合紐1ヶ所残存。復元径＝19.0cm。	やや滑らか	樺皮結合曲物E型式	柾目	－	V
2185	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－5	18.7	18.7	0.7	側板による円周状の圧痕有り。樺皮結合用小孔4ヶ所、うち3ヶ所に樺皮結合紐が残存。内面・外面共に、刃物傷多数。若干変形している。復元径＝18.7cm。	滑らか	樺皮結合曲物E型式	柾目	－	V
2186	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－5	26.6	27.5	0.9	側板による円周状の圧痕有り。樺皮結合用小孔5ヶ所残存。うち3ヶ所に樺皮結合紐が残存。復元径＝27.5cm。	やや滑らか	樺皮結合曲物E型式	板目	－	V
2187	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1 D－1	40.4	(15.5)	0.9	樺皮結合紐2ヶ所残存。外面に刃物傷多数。復元径＝42.8cm。	滑らか	樺皮結合曲物E型式	板目	－	V
2188	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－5	20.1	(9.9)	0.5	側板による円周状の圧痕有り。樺皮結合紐1ヶ所残存。側板止めの箍が一部残存。裏面は刃物傷多数。復元径＝20.1cm。	滑らか	樺皮結合曲物E型式	板目	－	V
2189	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－5	17.5	17.3	0.8	釘孔10ヶ所残存。うち8ヶ所に木釘が残存。	滑らか	釘結合曲物F型式	板目	－	V
2190	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－3	10.7	11.2	0.9	側面に釘孔3ヶ所。外径＝11.2cm。	やや滑らか	釘結合曲物F型式	板目	－	V
2191	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－4	9.3	(5.7)	0.5	釘孔3ヶ所有り。裏面に刃物傷多数。復元径＝9.3cm。	やや滑らか	釘結合曲物F型式	柾目	－	V
2192	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－3	18.9	(11.0)	0.8	釘孔2ヶ所残存。復元径＝18.8cm。	滑らか	釘結合曲物F型式	板目	－	V
2193	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ C－20	(13.1)	(6.6)	0.6	釘孔3ヶ所残存。復元径＝13.3cm。	粗い	釘結合曲物F型式	柾目	－	V
2194	容器	円形曲物蓋板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－2	17.5	18.2	1.1	中央に両面からの穿孔有り。部分的に炭化している。釘孔7ヶ所。外面に無数の刃物傷有り。外径＝18.2cm。	やや滑らか	釘結合曲物F型式	板目	－	V
2195	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－2	(14.8)	(6.3)	0.9	釘孔2ヶ所残存。外面に細かい刃物傷多数。復元径＝15.2cm。	やや滑らか	釘結合曲物F型式	板目	－	V
2196	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－5	15.8	(7.6)	0.7	釘孔3ヶ所。うち木釘が2ヶ所残存。復元径＝15.7cm。	やや滑らか	釘結合曲物F型式	柾目	－	V
2197	容器	円形曲物側板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－5	16.1	16.4	器高4.6	樺皮結合用孔1ヶ所。釘孔2ヶ所残存。外径＝16.4cm。	滑らか	釘結合曲物F型式	柾目	－	V

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点（大グリッド）（中グリッド）（小グリッド）	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
2198	容器	円形曲物側板	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－5	17.7	17.7	器高 3.0	樺皮結合紐1ヶ所残存。釘孔3ヶ所残存。外径＝17.7cm。	やや粗い	釘結合曲物F型式	板目	－	V
2199	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－5	19.0	(4.9)	0.7	表面全面に漆を塗布。復元径＝19.0cm。	滑らか（漆塗布）	結合方法不明E型式	板目	－	V
2200	容器	円形曲物側板	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－4	18.2	18.0	器高 5.8	樺皮結合紐1ヶ所残存。穿孔2ヶ所残存。内面に罫引線多数。	やや粗い	結合方法不明曲物	板目	－	V
2201	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－3	(21.9)	(9.4)	0.8	表面が摩耗。復元径＝22.4cm。	やや粗い	結合方法不明曲物	柾目	－	V
2202	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－5	17.6	(9.2)	0.6	摩滅が著しい。復元径＝17.8cm。	滑らか	結合方法不明曲物	柾目	－	V
2203	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－3	12.0	(3.6)	0.6	復元径＝12.0cm。	やや粗い	結合方法不明曲物	板目	－	V
2204	容器	方形曲物底板	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－5	51.3	10.2	1.0	釘孔5ヶ所残存。中央の孔に木釘残存。	やや粗い	結合方法不明曲物	板目	－	V
2205	容器	挽物	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	－	底径 9.6	器高 (2.1)	内外面に漆有り。	滑らか（漆塗布）		縦木取り	－	V
2206	文房具	題籤軸	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－6	15.0	1.9	0.9	軸部は断面円多角形の丁寧な成形。下部は欠損。	滑らか		板目	－	V
2207	文房具	題籤軸か	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－3	13.7	1.9	0.5	上端を斜めに削り、題籤部は三角形。下端も斜め削って尖らせているため、刺串の一種か。	やや滑らか		板目	－	V
2208	文房具	木札	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	(19.7)	2.2	0.3	上部の左右両側に浅い切り欠き有り。下端は両側から削って尖らせる。	粗い	付札形	柾目	－	V
2209	遊戯具	琴柱	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－3	1.6	2.9	0.4	上辺中央に琴糸を渡した溝有り。上部が下部より厚く成形。	やや滑らか	A型式	板目	ヒノキ	V
2210	祭祀具	刀子形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－5	9.0	1.9	0.8	上部は丁寧に削って成形。下部はやや細く削る。	滑らか	不明	辺材	－	V
2211	祭祀具	刀形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－3	(16.9)	2.8	1.5	表面は摩滅。	やや粗い	不明	板目	－	V
2212	祭祀具	紡織具形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	19.5	1.2	1.2	上下両端に左右両側からの小さな切り欠き有り。	滑らか		板目	－	V
2213	祭祀具	紡織具形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ E－20	23.9	1.9	0.9	上下両端に左右両側からの小さな切り欠き有り。	滑らか		板目	－	V
2214	祭祀具	人形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	112.0	10.2	6.2	頭部は4面から削って尖らせる。額と頸を大きく彫り込む。目・鼻・口は小さく彫り込んで表現。下端は少し削って成形。	やや滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V
2215	祭祀具	人形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－5	(31.0)	4.0	4.5	上端は斜めに削って頭部を成形。額に大きな彫り込み有り。目・鼻・口を彫り込んで表現。両側に浅い削りで頸を表現か。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	V
2216	祭祀具	人形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－2	99.5	(6.8)	0.7	圭頭状。頭・腕・脚を切り込んで表現。	やや粗い	正面全身人形	板目	－	V
2217	祭祀具	人形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ E－20	(13.4)	2.8	0.5	頭部と肩のみ成形。下部欠損。墨書により顔を表現。長い顎髭有り。	やや粗い	正面全身人形	板目	－	V
2218	祭祀具	人形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－5	(16.5)	2.2	0.1	圭頭状。左右両側に各3ヶ所の切り欠きで胴体を表現。欠損多い。	やや滑らか	正面全身人形	板目	－	V
2219	祭祀具	人形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ E－20	(13.8)	(1.4)	0.3	片足部分のみ残存。墨付着。	滑らか	正面全身人形	板目	－	V
2220	祭祀具	鳥形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－5	6.8	23.0	1.8	表面は滑らかに成形。頸部の背側に切り込みが見られるため、馬形の可能性有り。	滑らか	A型式	板目	－	V
2221	祭祀具	馬形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－1	(2.1)	(12.7)	0.3	薄い板の上辺を削って胴体を表現。背は平坦。	滑らか	AⅠ型式	柾目	－	V
2222	祭祀具	棒状祭祀具	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－3	14.0	0.5	0.4	上端は3方向から、下端は2方向から削って尖らせる。	滑らか		辺材	－	V
2223	祭祀具	舟形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－3	18.0	4.2	3.8	船首・船尾ともに細かく削る。2ヶ所に浅い刳り込みを入れて屋形部を成形。屋形船形。平底。	やや粗い	A2類	芯持ち材	－	V
2224	祭祀具	舟形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	13.6	3.1	2.3	船体の上部中央を削って成形。船首・船尾部の下部のみ削る。丸木舟形。丸底。	やや滑らか	A1類	芯持ち材	－	V
2225	祭祀具	舟形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－3	14.5	4.2	3.5	船首・船尾ともに細かく削る。2ヶ所に浅い刳り込みを入れて屋形部を成形。屋形船形。平底。	滑らか	A2類	芯持ち材	－	V
2226	祭祀具	舟形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－5	(20.5)	3.7	3.8	船首・船尾両側からの削りによって屋形部を成形。屋形船形。丸底。	やや粗い	A2類	芯持ち材	－	V
2227	祭祀具	舟形	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－5	22.7	3.7	3.8	船首は細かく削って尖らせる。2ヶ所に刳り込みを入れて屋形部を成形。屋形船形。丸底。	滑らか	A2類	芯持ち材	－	V

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
2228	祭祀具	舟形	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ D－20	18.4	3.1	2.3	船底は船首から船尾まで平坦に削る。全体に摩滅。２ヶ所に刳り込みを入れて屋形部を成形。屋形船形。平底。	やや粗い	A２類	芯持ち材	－	V
2229	祭祀具	舟形	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－5	(18.0)	3.0	5.0	左側面に多数の刻み有り。船首部分が反る。２ヶ所に小さな刳り込みを入れて屋形部を成形。屋形船形。丸底。	やや粗い	A２類	芯持ち材	－	V
2230	祭祀具	舟形	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－5	(16.3)	4.1	3.6	船首・船尾は船底から斜めに削って成形。２ヶ所に大きな刳り込みを入れて屋形部を成形。屋形船形。平底。部分的に樹皮残存。	滑らか	A２類	芯持ち材	－	V
2231	祭祀具	舟形	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－2	17.5	2.9	2.8	船首・船尾両側からの削りによって屋形部を成形。屋形船形。丸底。部分的に樹皮残存。	やや粗い	A２類	芯持ち材	－	V
2232	祭祀具	舟形	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－2	14.8	3.6	2.7	２ヶ所に小さな刳り込みを入れて屋形部を成形。船首・船尾の削りも僅か。屋形船形。平底。樹皮が一部残存。	やや滑らか	A２類	芯持ち材	－	V
2233	祭祀具	舟形	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－5	15.5	3.8	2.1	全面を丁寧に削って笹の葉形に成形。船体はやや湾曲させる。丸木舟形。平底。	滑らか	A２類	芯持ち材	－	V
2234	祭祀具	舟形	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－5	(14.9)	3.3	(1.6)	２ヶ所に刳り込みを入れて屋形部を成形。屋形部は欠損している。屋形船形。平底。	やや滑らか	A２類	芯持ち材	サカキ	V
2235	祭祀具	舟形	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－5	(11.8)	4.8	(3.1)	船尾部分のみ残存。本来は２ヶ所に刳り込みを入れて屋形部を成形したもの。屋形船形。平底。	やや粗い	A２類	芯持ち材	－	V
2236	祭祀具	舟形	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ E－20	15.0	2.8	2.4	２ヶ所に浅い刳り込みを入れて屋形部を成形。屋形船形。丸底。部分的に樹皮残存。	やや滑らか	A２類	芯持ち材	－	V
2237	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－3	(6.8)	1.9	0.3	上端は斜めに削って尖らせる。下部欠損。両面に赤外線写真のみで確認できる線状の墨痕有り。	やや粗い	AⅠ型式	柾目	－	V
2238	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－4	20.5	2.2	0.6	平行四辺形状を呈する。下端はやや鋭角に成形。	やや粗い	AⅠ型式	柾目	－	V
2239	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－4	16.4	1.7	0.4	平行四辺形状を呈する。下端はやや鋭角に成形。	やや粗い	AⅠ型式	柾目	－	V
2240	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－5	14.5	2.0	0.3	平行四辺形状を呈する。中央部に穿孔有り。	滑らか	AⅠ型式	板目	－	V
2241	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	12.0	1.6	0.2	台形状を呈する。上端はやや鋭角。	やや粗い	AⅠ型式	板目	－	V
2242	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－6	(17.7)	(1.3)	0.4	上部欠損。下端は斜めに削って尖らせる。	やや滑らか	A型式	柾目	－	V
2243	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－5	21.6	2.2	0.4	上下両端とも圭頭状。	滑らか	BⅠ型式	板目	－	V
2244	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－5	(14.6)	1.3	0.4	圭頭状。下部欠損。	やや滑らか	BⅠ型式	柾目	－	V
2245	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－2	18.1	2.3	1.3	厚みのある板を削り、弓形に反るように成形。上端の両角を削る。部材か。	滑らか	DⅠ型式	柾目	－	V
2246	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－3	11.4	1.3	0.4	上下両端欠損。台形状を呈する。	滑らか	AⅠ型式	柾目	－	V
2247	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－4	15.3	(2.2)	0.2	平行四辺形状を呈する。下端はやや鋭角に成形。	やや滑らか	AⅠ型式	板目	－	V
2248	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－4	(18.4)	2.7	0.4	平行四辺形状を呈する。削りは粗い。	やや粗い	AⅠ型式	柾目	－	V
2249	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－4	(18.7)	1.8	0.4	平行四辺形状を呈する。下端は鋭角に成形。	やや滑らか	AⅠ型式	柾目	－	V
2250	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－5	23.9	2.1	0.1	台形状を呈する。	やや滑らか	AⅠ型式	柾目	－	V
2251	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－5	19.9	1.7	0.2	台形状を呈する。上端は片側のみ。下端は左右両側から削る。長辺の上部に丸い削り込み有り。	滑らか	AⅢ型式	板目	－	V
2252	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－5	(11.3)	1.6	0.3	切り込み：左側に下から11回。右側に上から８回。	滑らか	AⅢ型式	板目	－	V
2253	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	31.0	0.6	0.7	上端部は方頭。下端は削りによって尖らせる。刺串か。	滑らか	DⅠ型式	板目	－	V
2254	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－2	11.0	1.9	0.4	上下両端とも圭頭状。左右の斜辺の長さは異なる。	滑らか	DⅠ型式	板目	－	V
2255	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	36.8	2.5	0.3	切り込み：右側中央に上から２回、下から２回。	やや粗い	CⅤ型式	板目	－	V
2256	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－5	20.2	1.9	0.3	切り込み：左側上部に上から２回。右側上部に上から５回、下部に下から２回。	滑らか	CⅤ型式	板目	－	V

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
2257	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－2	(16.8)	2.5	0.3	切り込み：左側上部に上から10回、下から5回。右側上部に上から4回、下から6回。	やや滑らか	ＣⅤ型式	板目	－	Ⅴ
2258	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－3	(18.7)	1.9	0.5	切り込み：左側上部に上から3回、下から6回。右側上部に上から5回、下から5回。	滑らか	ＣⅤ型式	板目	－	Ⅴ
2259	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－4	(14.6)	2.1	0.3	切り込み：左側上部に上から6回、下から4回。右側上部に上から7回、下から6回。上部に穿孔有り。	粗い	ＣⅤ型式	柾目	－	Ⅴ
2260	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ E－20	(16.1)	2.2	0.2	切り込み：左側上部に上から13回、下から7回。右側上部に上から10回、下から9回。	粗い	ＣⅤ型式	柾目	－	Ⅴ
2261	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ E－20	(15.0)	(1.8)	0.5	切り込み：左側上部に上から9回、下から7回。右側上部に上から9回、下から8回。	やや粗い	ＣⅤ型式	板目	－	Ⅴ
2262	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－5	(5.2) (6.3) (14.1)	2.0	0.2	切り込み：左側上部に上から2回が2ヶ所、下部に下から6回。右側上部に上から1回、下から4回。	やや粗い	ＣⅤ型式	板目	－	Ⅴ
2263	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	(6.1) (12.3)	(2.2)	0.3	切り込み：左側上部に上から1回、下から1回。下部に上から7回、下から5回。右側上部に下から2回。下部に上から7回、下から4回。	粗い	ＣⅤ型式	板目	－	Ⅴ
2264	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－4	(26.9)	2.4	0.4	切り込み：左側上部に下から10回。右側上部に下から19回。上部欠損。	やや滑らか	ＣⅤ型式	板目	－	Ⅴ
2265	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－5	(26.2)	2.3	0.3	切り込み：左側上部に下から2回、上から9回。右側上部に下から1回、上から7回。	やや滑らか	ＣⅤ型式	板目	－	Ⅴ
2266	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ C－20	(30.6)	1.1	0.8	上部欠損。下端は左右両側から削り尖らせる。	滑らか	ＤⅠ型式	辺材	－	Ⅴ
2267	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－2	(50.9)	4.2	1.1	上部欠損。下端は左右両側から緩やかに削って尖らせる。全体に粗く削る。	粗い	ＤⅠ型式	板目	－	Ⅴ
2268	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	(34.3)	1.4	0.5	圭頭状。下端は鋭角に尖らせる。	滑らか	ＣⅠ型式	板目	－	Ⅴ
2269	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ E－20	(30.2)	1.0	0.3	圭頭状。下部欠損。	滑らか	ＣⅠ型式	板目	－	Ⅴ
2270	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	－	(11.7) (16.0)	2.3	0.9	厚手の板の上部を圭頭状に尖らせる。両側面は面取りを施す。	やや滑らか	ＣⅠ型式	板目	－	Ⅴ
2271	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－4	(21.2)	1.9	0.4	上端は鋭角の圭頭状。下端も両側から削って尖らせる。	やや粗い	ＣⅠ型式	板目	－	Ⅴ
2272	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－4	(22.0)	1.5	0.4	上下両端とも片側から削って尖らせる。	滑らか	ＣⅠ型式	板目	－	Ⅴ
2273	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ C－20	(9.3)	1.3	0.4	圭頭状。下部欠損。	滑らか	ＣⅠ型式	板目	－	Ⅴ
2274	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－3	(3.7)	0.5	0.1	圭頭状。下部欠損。	滑らか	ＣⅠ型式	板目	－	Ⅴ
2275	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－4	(9.5) (17.9)	2.5	0.4	切り込み：左側上部に上から3回。右側上部に上から1回。	やや滑らか	ＣⅢ型式	板目	－	Ⅴ
2276	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	(24.0)	1.7	0.2	切り込み：左側上部に上から12回。右側上部に上から14回。	滑らか	ＣⅢ型式	板目	－	Ⅴ
2277	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－3	25.5	2.0	0.3	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	滑らか	ＣⅢ型式	板目	－	Ⅴ
2278	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－5	21.5	2.2	0.3	切り込み：左側上部に上から3回。右側上部に上から2回。	滑らか	ＣⅢ型式	柾目	－	Ⅴ
2279	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－2	(9.6)	2.2	0.2	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	滑らか	ＣⅡ型式	板目	－	Ⅴ
2280	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－3	14.3	1.3	0.2	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	滑らか	ＣⅡ型式	板目	－	Ⅴ
2281	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－5	15.1	1.3	0.2	切り込み：左側上部欠損。右側上部に上から2回。下端は鋭く削る。	滑らか	ＣⅣ型式	柾目	－	Ⅴ
2282	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－4	23.2	2.3	0.2	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	滑らか	ＣⅡ型式	柾目	－	Ⅴ
2283	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－2	22.4	1.8	0.3	切り込み：左側上部に上から1回。右側上部に上から2回。	やや滑らか	ＣⅡ型式	板目	－	Ⅴ
2284	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－5	21.1	2.2	0.3	切り込み：左側上部に上から3回。右側欠損。	やや滑らか	ＣⅢ型式	板目	－	Ⅴ
2285	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－2	19.3	2.0	0.6	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	滑らか	ＣⅢ型式	板目	－	Ⅴ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点（大グリッド）（中グリッド）（小グリッド）	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
2286	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－5	(18.6)	1.7	0.4	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	やや滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	V
2287	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	(16.6)	1.7	0.3	切り込み：左側上部に上から2回。右側欠損。	やや滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	V
2288	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	15.8	1.2	0.3	切り込み：左右両側上部に上から各2回。	滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	V
2289	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	15.0	1.6	0.4	切り込み：左側上部に上から1回。右側上部に上から2回。	滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	V
2290	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	(13.5)	1.1	0.2	切り込み：左右両側上部に上から各2回。下部欠損。	滑らか	C Ⅲ型式	柾目	－	V
2291	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	16.2	1.9	0.1	切り込み：左側上部に上から2回。右側上部に上から4回。	やや滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	V
2292	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－5	(13.6)	1.8	0.2	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	やや滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	V
2293	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	13.5	1.5	0.5	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	V
2294	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－2	(14.6)	2.6	0.2	切り込み：左側上部に上から8回。右側上部に上から13回。	滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	V
2295	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－3	(12.6)	2.1	0.4	切り込み：左側上部に上から1回。右側上部に上から2回。一部炭化。	滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	V
2296	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	(12.3)	1.6	0.3	切り込み：左側上部に上から4回。右側上部に上から2回。	やや粗い	C Ⅲ型式	板目	－	V
2297	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－5	(11.8)	2.0	0.3	上下両端欠損。	粗い	C 型式	板目	ヒノキ	V
2298	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－2	(15.0)	2.2	0.4	上部欠損。下端は両側から削って尖らせる。	やや滑らか	C 型式	柾目	－	V
2299	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	(18.2)	1.5	0.3	上部欠損。下端を鋭く尖らせる。	粗い	C 型式	板目	－	V
2300	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－6	(19.6)	1.3	0.3	上部欠損。下端を鋭く尖らせる。	やや粗い	C 型式	板目	－	V
2301	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	(11.1)	1.4	0.2	切り込み：左側上部に上から1回。右側上部に上から2回。	やや粗い	C Ⅲ型式	板目	－	V
2302	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－4	(9.9)	1.7	0.5	切り込み：左側上部に上から2回。右側上部に上から3回。	粗い	C Ⅲ型式	板目	－	V
2303	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ C－20	(6.9)	1.1	0.3	切り込み：左側上部に上から2回。右側上部に上から3回。	滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	V
2304	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－4	6.6	2.3	0.1	切り込み：左側上部に上から6回。右側上部に上から7回。	やや滑らか	C Ⅲ型式	柾目	－	V
2305	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－3	(5.3)	1.4	0.4	切り込み：左側上部に上から5回。右側上部に上から7回。	滑らか	C Ⅲ型式	柾目	－	V
2306	祭祀具	斎串	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－4	(5.3)	1.3	0.2	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	V
2307	雑具	籌木	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－3	(35.4)	1.4	0.5	上下両端欠損。	やや粗い		柾目	ヒノキ	V
2308	部材	棒状木製品	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－5	19.9	0.8	0.4	圭頭状。角を削って面取りを施す。	やや滑らか		板目	－	V
2309	部材	棒状木製品	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ C－20	(26.4)	0.8	0.5	上部欠損。下端は緩やかに削って尖らせる。	やや滑らか		辺材	－	V
2310	部材	部材	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－5	(25.8)	2.0	0.8	上端に2ヶ所、中央に1ヶ所の穿孔有り。	滑らか		板目	－	V
2311	部材	部材	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	(25.2)	1.5	0.8	上部欠損。下端は片側から斜めに削り、細く成形。	やや粗い		板目	－	V
2312	部材	部材	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－4	13.5	2.4	1.4	厚手の板の上部の片側面に切り欠きを入れる。	滑らか		板目	－	V
2313	部材	部材	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－6	(7.0)	(2.1)	0.6	上端に三角形の切り込みを連続して2回入れる。下部欠損。	やや滑らか		板目	－	V
2314	部材	部材	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－3	(14.6)	1.0	1.1	断面六角形。穿孔有り。木釘が残存する。	滑らか		辺材	－	V
2315	部材	部材	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－6	(23.9)	3.8	0.4	上端に三角形の切り込みを連続して2回入れる。下部欠損。琴の可能性有り。	滑らか		板目	－	V
2316	杭	杭	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－4	41.0	1.6	1.6	芯持ち材の下端を斜めに削って尖らせる。	やや粗い		芯持ち材	－	V

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量L	法量W	法量H	特徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
2317	杭	杭	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ C－20	(34.2)	1.3	1.2	下端を周囲から丁寧に削って鋭く尖らせる。	やや粗い		辺材	－	V
2348	工具	木釘	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－3	12.5	1.6	1.3	全面を丁寧に削り、下端はやや尖らせる。	滑らか		辺材	－	Ⅵ
2349	農具	木鍾	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－3	(16.8)	6.4	6.1	中央に向かって丁寧に削り、くびれを成形。	やや滑らか		芯持ち材	－	Ⅵ
2350	農具	木鍾	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－3	(6.6)	3.5	(3.3)	四面から斜めに削りくびれを成形。下部欠損。	やや粗い		芯持ち材	－	Ⅵ
2351	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－1	(13.9)	(4.4)	0.4	樺皮結合用小孔1ヶ所残存。復元径＝16.5cm。	やや滑らか	樺皮結合曲物E型式	板目	－	Ⅵ
2352	容器	円形曲物底板か	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ D－20	(43.8)	(5.5)	1.1	樺皮結合用小孔1ヶ所。補修用孔2ヶ所残存。側板用段差有り。曲物底板の一部。	やや滑らか	樺皮結合曲物C型式	板目	－	Ⅵ
2353	文房具	木札	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－3	10.2	3.2	0.4	上端に切り欠き有り。下端の両側面を斜めに削って尖らせたものか。	滑らか	付札形	板目	－	Ⅵ
2354	文房具	木札	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－2	(14.6)	(2.3)	0.4	上部に穿孔有り。下部欠損。	滑らか		板目	－	Ⅵ
2355	祭祀具	人形	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－5	8.9	2.6	2.6	上端は四方から削って尖らせる。目・鼻・口を彫り込んで表現。首を細く削る。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅵ
2356	祭祀具	人形	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－5	(25.0)	2.8	3.5	芯持ち材に粗く目・鼻・口を浅く削る。全体に欠損・摩耗が多い。樹皮残存。	粗い	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅵ
2357	祭祀具	舟形	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－3	(14.9)	3.2	3.1	2ヶ所に刳り込みを入れて屋形部を成形。屋形船型。平底。	粗い	A2類	芯持ち材	－	Ⅵ
2358	祭祀具	舟形	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－2	(11.9)	3.3	3.0	船首側から削って屋形部を成形。側面を削って船首を細く成形。船尾欠損。屋形船形。平底。	やや滑らか	A2類	芯持ち材	－	Ⅵ
2359	祭祀具	舟形	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	(10.8)	3.1	2.3	刳り込みによって屋形部を成形。側面を削って船首を細く成形。大部分が欠損。屋形船形。平底。	やや粗い	A2類	辺材	ツブラジイ	Ⅵ
2360	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	18.7	2.1	0.4	台形状を呈する。	やや滑らか	AⅠ型式	柾目	－	Ⅵ
2361	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－2	(8.8)	1.9	0.4	上端は片側からの削りで尖らせる。下部欠損。	やや粗い	AⅠ型式	板目	－	Ⅵ
2362	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－2	(7.1)	1.5	0.2	上部欠損。下端は片側からの削りで尖らせる。	やや粗い	A型式	柾目	－	Ⅵ
2363	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－4	(6.0)	1.8	0.3	圭頭状。	やや粗い	CⅠ型式	柾目	－	Ⅵ
2364	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－3	13.3	2.0	0.3	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	やや滑らか	CⅡ型式	板目	－	Ⅵ
2365	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	38.1	2.7	0.5	切り込み：左側上部に上から2回。右側上部に上から1回。	滑らか	CⅢ型式	板目	－	Ⅵ
2366	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－1	16.5	1.4	0.5	切り込み：左側上部に上から1回。右側上部に上から2回。	やや粗い	CⅢ型式	柾目	－	Ⅵ
2367	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－1	16.4	1.3	0.3	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	滑らか	CⅢ型式	板目	－	Ⅵ
2368	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	15.6	1.2	0.3	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	やや滑らか	CⅢ型式	板目	－	Ⅵ
2369	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	14.3	1.7	0.3	切り込み：左側上部に上から1回。右側欠損。下端に僅かな反り。	やや滑らか	CⅢ型式	板目	－	Ⅵ
2370	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	(12.5)	1.3	0.3	切り込み：左側上部に上から2回。右側上部に上から1回。	やや粗い	CⅢ型式	柾目	－	Ⅵ
2371	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	(10.3)	1.6	0.4	切り込み：左側上部に上から1回。右側上部に上から2回。	やや粗い	CⅢ型式	板目	－	Ⅵ
2372	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	(7.0)	1.6	0.5	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	やや粗い	CⅢ型式	柾目	－	Ⅵ
2373	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－5	(18.2)	1.8	0.3	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	やや滑らか	CⅢ型式	板目	－	Ⅵ
2374	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	14.3	1.5	0.2	切り込み：左右両側上部に上から各1回。	やや粗い	CⅢ型式	板目	－	Ⅵ
2375	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－3	(15.2)	2.0	0.4	切り込み：左側上部に上から1回。右側欠損。	やや滑らか	CⅢ型式	板目	－	Ⅵ
2376	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	(12.3)	1.7	0.2	切り込み：左側上部に上から2回。右側上部に上から3回。	やや滑らか	CⅢ型式	板目	－	Ⅵ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
2377	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	(12.3)	1.7	0.2	切り込み：左右両側上部に上から各２回。	やや粗い	C Ⅲ型式	板目	－	Ⅵ
2378	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－4	(7.9)	1.3	0.4	切り込み：左側上部に上から１回。右側上部に上から２回。	やや粗い	C Ⅲ型式	柾目	－	Ⅵ
2379	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	(6.0)	1.4	0.3	切り込み：左右両側上部に上から各１回。	滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	Ⅵ
2380	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	(13.9)	1.8	0.5	切り込み：左側中央に下から１回。右側上部に下から１回。	滑らか	C Ⅲ型式	板目	－	Ⅵ
2381	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	(16.4)	2.2	0.3	切り込み：左側上部に上から２回。右側上部に上から３回、中央に下から１回。	やや粗い	C Ⅴ型式	板目	－	Ⅵ
2382	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	(9.5)	(1.4)	0.3	上部欠損。下端を鋭く尖らせる。	滑らか	C 型式	板目	－	Ⅵ
2383	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	(10.7)	1.6	0.2	上部欠損。下端を鋭く尖らせる。	やや粗い	C 型式	板目	－	Ⅵ
2384	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	(11.0)	1.5	0.3	上部欠損。下端を鋭く尖らせる。	やや滑らか	C 型式	板目	－	Ⅵ
2385	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	(11.2)	2.2	0.6	上部欠損。下端を鋭く尖らせる。	やや滑らか	C 型式	板目	－	Ⅵ
2386	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	(26.1)	2.4	0.3	上部欠損。下端を鋭く尖らせる。	やや粗い	C 型式	板目	－	Ⅵ
2387	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	(18.3)	1.2	0.4	上部欠損。下端を鋭く尖らせる。	滑らか	C 型式	柾目	－	Ⅵ
2388	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－1	(14.5)	1.6	0.5	上部欠損。下端を鋭く尖らせる。	やや粗い	C 型式	柾目	－	Ⅵ
2389	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－4	(13.7)	1.2	0.4	上部欠損。下端を鋭く尖らせる。	やや滑らか	C 型式	板目	－	Ⅵ
2390	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－5	(10.5)	1.8	0.4	上部欠損。下端を鋭く尖らせる。	滑らか	C 型式	板目	－	Ⅵ
2391	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－2	(40.4)	1.5	1.1	厚手の板の上端を４面から斜めに削る。下部欠損。	やや粗い	D Ⅰ型式	柾目	－	Ⅵ
2392	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－2	(9.6)	1.7	0.5	切り込み：左右両側上部に上から各１回。	滑らか	D Ⅲ型式	板目	－	Ⅵ
2393	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－5	(13.3)	1.9	0.2	切り込み：左側に上から12回。右側に上から14回。	やや粗い	D Ⅲ型式	板目	－	Ⅵ
2394	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－3	(10.8)	1.9	0.3	切り込み：左側上部に上から９回、下から６回。中央部に上から１回、下から１回。右側上部に上から９回、下から９回。下部欠損。	やや滑らか	D Ⅴ型式	柾目	－	Ⅵ
2395	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－1	(11.6)	1.4	0.8	上部欠損。下端を鋭く尖らせる。	やや粗い	D 型式	板目	－	Ⅵ
2396	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－5	(17.8)	2.3	0.3	上部欠損。下端は片側から削って尖らせる。下端に下から６回の切り込み有り。	滑らか	D 型式	板目	－	Ⅵ
2397	用途不明	不明	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－1	22.8	4.8	0.3	上部に釘孔有り。下端は三角形の切り込みが連続して３回。	滑らか		柾目	－	Ⅵ
2398	用途不明	不明	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－1	11.1	1.6	(0.8)	上端に穿孔有り。	滑らか		芯持ち材	－	Ⅵ
2406	農具	木錘	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－5	17.0	(6.6)	6.9	中央部を丁寧に削ってくびれを成形。	滑らか		芯持ち材	－	Ⅷ
2407	容器	楕円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－4	(50.5)	(21.3)	1.0	底板の周囲を削って段差をつける。樺皮結合紐３ヶ所残存。側板支え板残存。	やや粗い	樺皮結合曲物D型式	板目	－	Ⅷ
2408	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－5	13.8	(7.3)	0.8	側板による円周状の圧痕有り。側面に釘孔１ヶ所残存。復元径＝13.8cm。両面に使用痕有り。	やや滑らか	釘結合曲物F 型式	板目	－	Ⅷ
2409	祭祀具	斎串	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－3	(16.8)	1.8	0.2	上部欠損。下端を鋭く尖らせる。	やや粗い	C 型式	板目	－	Ⅷ
2410	祭祀具	舟形	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－3	17.6	3.1	2.8	船首・船尾両側からの削りによって屋形部を成形。側面にも削り有り。屋形船形。丸底。	やや粗い	A２類	辺材	－	Ⅷ
2411	杭	杭	SR3001	南区(04－1)	－	11.7	6.2	5.0	上端は前面から斜めに削って成形。下部は周囲より削って尖らせる。	やや滑らか		芯持ち材	－	Ⅷ
2412	杭	杭	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－3	(11.3)	2.0	2.0	上部欠損。下部は両側から削って尖らせる。	やや粗い		芯持ち材	－	Ⅷ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点（大グリッド）（中グリッド）（小グリッド）	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
2416	用途不明	不明	SR3001	南区（04－1）	－	5.7	1.0	0.7	上下両端は四方から削って尖らせる。前面に溝を付ける。木錘か。	滑らか		辺材	－	
2417	容器	円形曲物蓋板	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－2	14.5	(4.2)	0.9	中心に穿孔の痕跡有り。樺皮結合用小孔１ヶ所。復元径＝14.4cm。	滑らか	結合方法不明曲物	板目	－	
2418	容器	方形曲物底板	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－4	(30.3)	(12.0)	0.8	樺皮結合紐２ヶ所残存。内面に刃物傷多数。	やや粗い	樺皮結合曲物Ｅ型式	板目	－	
2424	工具	有頭棒	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	(13.3)	2.4	2.2	上端を削り残して頭部を成形。横槌か。	やや滑らか	－	芯持ち材	－	Ⅱ
2431	工具	篦	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	22.8	2.5	0.7	上端の左右両側に小さな切り欠きを入れる。下端は左右両側から削ってやや細く成形。	滑らか	033	柾目	－	Ⅲ
2432	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	28.8	5.8	1.2	釘孔大３ヶ所、小３ヶ所の計６ヶ所残存。復元径＝41.4cm。	やや粗い	釘結合曲物Ｆ型式	板目	－	Ⅲ
2433	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	13.2	13.2	0.6	釘孔４ヶ所。うち３ヶ所に木釘が残存。全面に漆を塗布。	やや粗い	釘結合曲物Ｆ型式	板目	－	Ⅲ
2434	食事具	杓子	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	27.4	7.0	0.6	身部は隅丸長方形。柄部はやや細く削る。	やや粗い	Ｂ型式	板目	－	Ⅲ
2435	文房具	木札	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	(11.0)	2.4	1.1	上端の左右両側に切り欠き有り。	やや滑らか	付札型	辺材	－	Ⅲ
2436	部材	部材	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	(6.7)	2.2	0.8	上端は緩やかに削り山形に成形。右側面はやや細く削る。	やや粗い	－	柾目	－	Ⅲ
2437	部材	部材	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	9.4	3.0	2.9	上端の左右両側に切り欠き有り。下部は厚みを残し、側面形はＬ字状を呈する。	やや粗い	－	辺材	－	Ⅲ
2438	祭祀具	刀形	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	(27.9)	2.2	0.7	上部欠損。下部は緩やかに削って束部を成形。刃部は面取りして断面楕円形。束部は断面長方形。	滑らか	Ａ型式	板目	－	Ⅲ
2439	祭祀具	剣形	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	(23.5)	1.7	0.7	両面を丁寧に削り、面取りして刃部を成形。中央部に刃物による傷有り。	やや粗い		板目	－	Ⅲ
2440	祭祀具	刀形	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12東	(7.2)	1.5	0.6	上端は斜めに削って切っ先を成形。下部欠損。	やや滑らか	－	柾目	－	Ⅲ
2441	祭祀具	斎串	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	(8.9)	1.9	0.2	上端は斜めに削って尖らせる。線状の墨痕有り。	やや滑らか	Ａ型式	板目	－	Ⅲ
2447	農具	鍬先	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－11	11.5	1.2	1.2	丁寧に削って下端を尖らせる。正面は摩滅。上端に木釘残存。	やや滑らか	－	辺材	－	Ⅳ
2448	服飾具	檜扇	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－11	(7.5)	1.1	0.3	下端部は丸く成形。要孔有り。	滑らか	ＡⅠ型式	柾目	－	Ⅳ
2449	服飾具	檜扇	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	31.9	1.6	0.4	上下の板のみ外面の角を削って面取りを施す。要孔残存。骨４枚完形。	滑らか	ＡⅠ型式	板目	－	Ⅳ
2450	服飾具	櫛	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	4.3	(5.6)	0.8	刻歯式横櫛。歯＝46本残存。	滑らか	ＡⅠ型式	板目	－	Ⅳ
2451	容器	方形曲物底板	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	19.0	8.1	0.6	側面に釘孔２ヶ所残存。	やや滑らか	釘結合曲物Ｆ型式	板目	－	Ⅳ
2452	祭祀具	人形	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－11	(15.2)	3.3	2.5	上下欠損。目を小さく彫り込んで表現。鼻の位置に節が配される。	やや粗い	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅳ
2453	祭祀具	人形	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－11	33.2	2.6	1.7	目・鼻・口を浅く彫り込んで表現。下端は斜めに削って尖らせる。	やや滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅳ
2454	祭祀具	人形	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	(32.9)	4.2	3.4	目を小さく彫り込んで表現。	やや滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅳ
2455	祭祀具	人形	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－11	(34.5)	4.8	0.5	頭部・肩・手・足を切り込んで成形。右手と両足は欠損。	滑らか	正面全身人形	板目	－	Ⅳ
2456	祭祀具	棒状祭祀具	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	(15.5)	0.8	0.5	断面多角形。上端は２方向から、下端は緩やかに削って尖らせる。	やや粗い	－	辺材	－	Ⅳ
2457	祭祀具	棒状祭祀具	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	(18.3)	0.7	0.5	上端は斜めに削る。下端欠損。全体的に丁寧に削って成形。	滑らか	－	辺材	－	Ⅳ
2458	祭祀具	棒状祭祀具	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－11	28.5	0.9	0.7	上端は斜めに削る。下端は多方向から削って尖らせる。	滑らか	－	辺材	－	Ⅳ
2459	祭祀具	斎串	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	30.2	1.0	0.4	上下両端とも斜めに削って鋭く尖らせる。	滑らか	－	板目	－	Ⅳ
2460	祭祀具	斎串	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	(60.3)	1.1	0.8	断面長方形。上端から縦に切り込みを入れる。下端は鋭く尖らせる。	やや粗い	－	辺材	－	Ⅳ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点（大グリッド）（中グリッド）（小グリッド）	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
2461	祭祀具	斎串	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	(9.3)	3.0	0.5	切り込み：左側上部に上から５回。右側上部に上から８回。	粗い	BⅢ型式？	板目	－	Ⅳ
2462	祭祀具	斎串	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	(21.8)	0.8	0.6	上端は前後から削って山形に成形。下部欠損。	滑らか	DⅠ型式	柾目	－	Ⅳ
2463	祭祀具	斎串	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	(30.2)	1.1	0.4	上部欠損。下端を鋭く尖らせる。	滑らか	C型式	板目	－	Ⅳ
2464	祭祀具	斎串	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	35.7	1.9	0.6	切り込み：左側上部に上から７回、中央に下から４回。右側上部に上から６回、中央に下から５回。	滑らか	CⅤ型式	板目	－	Ⅳ
2479	農具	木錘	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	(9.4)	5.0	3.9	上端は削りによって中心をやや尖らせる。中央は細く削ってくびれを成形するも、下部欠損。全体に摩滅。	やや粗い	－	芯持ち材	－	Ⅴ
2480	服飾具	檜扇	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	30.9	3.2	0.2	上部の左側に浅い切り欠き有り。右側にも痕跡有り。要孔残存。	滑らか	AⅠ型式	柾目	－	Ⅴ
2481	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	18.3	5.4	0.7	樺皮結合紐１ヶ所残存。復元径＝22.0cm。	滑らか	樺皮結合曲物E型式	柾目	－	Ⅴ
2482	容器	方形曲物底板	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12T－11	71.5	(11.5) (11.4)	1.0	樺皮結合紐１ヶ所残存。内外共に刃物傷多数有り。	やや粗い	樺皮結合曲物E型式	板目	－	Ⅴ
2483	文房具	木札	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	(18.3)	2.4	0.6	上部のくびれ部分に線状の圧痕有り。下部は削って幅を半分に成形。上部に穿孔２ヶ所残存。	滑らか	－	板目	－	Ⅴ
2484	祭祀具	剣形	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－11	17.2	1.4	0.4	上部は面取りによって刃部を成形。下部は細く削って断面多角形。	滑らか	－	柾目	－	Ⅴ
2485	祭祀具	人形	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	(16.8)	1.2	1.4	上端は四方から削って尖らせる。目・鼻・口を小さな彫り込みで表現。下部欠損。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅴ
2486	祭祀具	人形	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	43.4	2.3	2.2	目・鼻・頬・口を浅く削って表現。鼻・頬・顎は下から上へ削っている。樹皮残存。下端部は削って尖らせる。	やや滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅴ
2487	祭祀具	人形	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－11	(43.0)	3.1	2.9	上端は四方から斜めに削って尖らせる。目・口を浅く彫り込んで表現。下部欠損。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅴ
2488	祭祀具	舟形	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	(16.6)	4.3	4.8	２ヶ所に深い刳り込みを入れて屋形部を成形。船尾欠損。屋形船形。丸底。	滑らか	A２類	芯持ち材	－	Ⅴ
2489	祭祀具	斎串	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－11	5.3	1.9	0.3	切り込み：左右両側上部に上から各１回。	やや粗い	A or BⅢ型式	板目	－	Ⅴ
2490	祭祀具	斎串	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	11.2	2.4	0.2	台形状を呈する。	やや滑らか	A型式	柾目	－	Ⅴ
2491	祭祀具	斎串	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	24.4	0.7	0.6	上端は斜めに削る。下端は削って鋭く尖らせる。	やや粗い	DⅢ型式	辺材	－	Ⅴ
2492	祭祀具	斎串	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	(33.5)	1.1	0.9	上端は左右両側から削って尖らせる。下部は細く削って角を落し、断面円形に成形。	滑らか	DⅠ型式	板目	－	Ⅴ
2493	祭祀具	人形か	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	(32.0)	4.4	1.4	薄く割った丸木の上端を削り、左右両側に切り欠きを入れる。樹皮多く残存。	やや滑らか	立体人形	芯持ち材	－	Ⅴ
2494	部材	樺巻棒	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－11	4.9	1.1	1.4	１本の棒を縦に５分割し、樺皮紐で束ねる。巻きはじめ・巻き終わりは木に切れ込みを入れ、樺皮紐をはさんで留める。	やや粗い	－	辺材	－	Ⅴ
2495	杭	杭	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－11	24.6	1.7	1.5	上端は周囲より削って丸く成形。下端は四方から削って尖らせる。下部の２ヶ所に焦げ有り。	やや滑らか	－	辺材	－	Ⅴ
2496	雑具	籌木	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	14.1	0.8	0.4	上端は前後から削り山形に成形。下端は薄く削る。	滑らか	－	板目	－	Ⅴ
2506	祭祀具	斎串	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	31.7	1.9	0.3	切り込み：右側上部に上から１回。	やや粗い	CⅡ型式	板目	－	Ⅵ
2510	祭祀具	人形	SR3001	南区（07－1）		(28.7)	2.5	1.9	上端は細かな削りで僅かに尖らせる。目・口・顎を浅く彫り込んで表現。	やや粗い	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅷ
2511	祭祀具	斎串	SR3001	南区（07－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	(16.4)	1.9	0.2	切り込み：左右両側上部に上から各１回。	滑らか	CⅢ型式	板目	－	
2518	工具	柄	SR3001	南区（98－1）	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－12	13.9	(1.7)	2.3	茎孔部分は全て炭化。上部に刃部を固定した痕跡有り。上下端ともに摩滅している。	やや粗い		辺材	－	Ⅲ
2519	服飾具	櫛	SR3001	南区（98－1）	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	3.8	(9.5)	1.1	刻歯式横櫛。歯＝64本残存。残存部分に歯の欠損多数。	滑らか	AⅠ型式	板目	－	Ⅲ
2520	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（98－1）	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	10.6	(6.0)	0.8	復元径＝10.6cm。	粗い	結合方法不明曲物	柾目	－	Ⅲ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点（大グリッド）（中グリッド）（小グリッド）	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
2521	祭祀具	陽物形	SR3001	南区（98－1）	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－14	9.6	2.3	1.5	表面上端は亀頭形に成形。下端は削って角を落し、丸みを帯びる。	やや滑らか		芯持ち材	－	Ⅲ
2532	農具	馬鍬	SR3001	南区（98－1）	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	22.9	1.5	1.7	摩耗のため全体的に丸みを帯びる。	滑らか		板目	－	Ⅳ
2533	紡織具	織機	SR3001	南区（98－1）	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13	(31.6)	2.4	1.0	上下両端の左右両側に切り欠き有り。裏面は平坦、表面は摩滅。	粗い		板目	－	Ⅳ
2534	服飾具	櫛	SR3001	南区（98－1）	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13・14	4.1	(5.7)	1.0	刻歯式横櫛。歯＝48本残存。	滑らか	AⅡ型式	板目	－	Ⅳ
2535	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（98－1）	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	12.5	(8.0)	0.6	樺皮結合用孔１ヶ所残存。全体に痛んでいる。復元径＝12.4cm。	やや粗い	樺皮結合曲物Ｅ型式	板目	－	Ⅳ
2536	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（98－1）	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	(11.2)	(8.2)	0.7	側面に木釘１ヶ所残存。復元径＝11.2cm。	やや滑らか	釘結合曲物F 型式	柾目	－	Ⅳ
2537	祭祀具	鋸歯付剣形	SR3001	南区（98－1）	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	(6.1)	(2.7)	0.9	上下を欠損しているが、剣形の側面を鋸歯状に刻んだもの。	やや滑らか		板目	－	Ⅳ
2538	祭祀具	馬形	SR3001	南区（98－1）	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	0.7	5.6	0.6	板を切り込んで首を表現。	やや粗い	AⅠ型式	柾目	－	Ⅳ
2539	祭祀具	鳥形	SR3001	南区（98－1）	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13	2.2	8.8	1.5	全体に摩滅している。厚手の板を削り、頭部と体部を表現。	やや粗い	A 型式	板目	－	Ⅳ
2540	祭祀具	人形	SR3001	南区（98－1）	Loc.F－1 γ－Ⅳ S－13	(21.6)	2.6	3.9	枝を切り落とした芯持ち材に目・口を浅い彫り込みで表現。下部欠損。湾曲している。	粗い	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅳ
2541	祭祀具	人形	SR3001	南区（98－1）	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－？	14.2	1.1	1.1	目・鼻・口を浅く彫り込んで表現。上下端部は欠損。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅳ
2542	祭祀具	棒状祭祀具	SR3001	南区（98－1）	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13	(20.9)	0.6	0.6	上下端を斜めに削る。断面多角形。	滑らか		辺材	－	Ⅳ
2543	祭祀具	斎串	SR3001	南区（98－1）	Loc.F－1 γ－Ⅳ S－13	(30.4)	2.7	0.3	切り込み：左側上部に上から10回、中央に下から６回、下部に上から７回。右側上部に上から９回、中央に下から９回、下部に上から５回。	やや粗い	ＣⅤ型式	板目	－	Ⅳ
2544	雑具	火付棒	SR3001	南区（98－1）	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－14・15	16.6	2.4	1.7	上端部は削りによって尖らせる。中央に長軸に対して斜めに削ってホゾを成形。一部炭化。部材を火付け棒に転用したもの。	やや滑らか		板目	－	Ⅳ
2545	部材	部材	SR3001	南区（98－1）	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－17	(7.2)	1.8	0.8	一端を削って細く成形。中央に穿孔有り。	粗い		板目	－	Ⅳ
2546	部材	部材	SR3001	南区（98－1）	－	(5.9)	3.0	2.6	上部は削りによって面取りを施し、下部は粗い削りでホゾを成形。栓の可能性有り。	滑らか		辺材	－	Ⅳ
2547	用途不明	不明	SR3001	南区（98－1）	Loc.F－1 γ－Ⅳ S－13	(9.1)	2.7	0.6	上部を丸く成形し、中央に穿孔。木釘が残存する。下部は欠損するが、上部と同様の形状であったと思われる。自在に類似したものか。	粗い		板目	－	Ⅳ
2548	用途不明	不明	SR3001	南区（98－1）	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－14	3.9	1.0	0.7	前面を削って頭部を成形。	滑らか		辺材	－	Ⅳ
2549	紡織具	織機	SR3001	南区（98－1）	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	(15.9)	4.1	1.2	上部に切り欠き有り。下部欠損。穿孔４ヶ所有り。	粗い		板目	－	Ⅳ
2550	祭祀具	陽物形	SR3001	南区（98－1）	－	(11.5)	2.1	2.0	芯持ち材の一端を削り、頭部を成形。2521と類似したものか。	やや粗い		芯持ち材	－	Ⅳ
2551	服飾具	櫛	SR3001	南区（98－1）	Loc.F－1 γ－Ⅳ S－14	3.4	(2.5)	0.9	刻歯式横櫛。歯＝22本残存。	やや粗い	不明	板目	－	Ⅳ
2552	食事具	箸	SR3001	南区（98－1）	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	(14.3)	0.5	0.5	断面円形に削り、下端をやや細く成形。	やや粗い		辺材	－	Ⅳ
2553	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（98－1）	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	15.9	14.5	0.6	釘孔４ヶ所。うち１ヶ所に木釘残存。	粗い	釘結合曲物F 型式	柾目	－	Ⅳ
2554	容器	円形曲物底板	SR3001	南区（98－1）	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－17	15.4	(9.5)	0.8	釘孔３ヶ所。うち１ヶ所に木釘残存。内面に漆を塗布。復元径＝14.7cm。	やや粗い	釘結合曲物F 型式	柾目	－	Ⅳ
2555	容器	柄杓	SR3001	南区（98－1）	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	曲部 10.6 柄長 (6.0)	曲部 13.3 柄幅 0.9	器高 (8.3) 柄厚 0.7	柄の先端部の一部残存。柄が貫通していたと思われる痕跡有り。底板に釘孔５ヶ所残存。側板同士の結束部分残存。側板の内側には垂直方向と斜め方向の罫引線有り。	粗い	釘結合曲物F 型式	側板底板 柾目 柄　板目	－	Ⅳ
2556	祭祀具	剣形	SR3001	南区（98－1）	－	23.1	2.4	0.9	上部を削って、やや薄く刃部を成形。	滑らか		板目	－	Ⅳ
2557	祭祀具	剣形	SR3001	南区（98－1）	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	21.4	1.6	0.5	上部を削って刃部を成形。先端は剣先状に尖らせる。束部は細い。	滑らか		板目	－	Ⅳ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量L	法量W	法量H	特徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
2558	祭祀具	人形	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	38.7	2.4	2.6	上端は平坦。目・口を小さく彫り込んで表現。下端は斜めに削って杭状に成形。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅳ
2559	祭祀具	人形	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ S－14	(2.9)	1.4	1.3	顔の一部のみ残存、目・口を小さな彫り込みで表現。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅳ
2560	祭祀具	人形	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ S－14	(5.3)	1.0	1.1	顔の一部のみ残存。目・鼻・口を小さく彫り込んで表現。	やや粗い	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅳ
2561	祭祀具	舟形	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	(7.6)	1.5	1.1	内部を刳り込んで船体を薄く成形。丸木舟形。平底。	やや粗い	Ａ１類	柾目	－	Ⅳ
2562	祭祀具	斎串	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	(32.4)	2.0	0.6	片面に多数の削り痕有り。切り込み：左右両側上部に上から各２回。	滑らか	Ｃ Ⅱ型式	板目	－	Ⅳ
2563	祭祀具	斎串	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	29.1	2.8	0.4	切り込み：左側上部に上から10回、下から２回。右側上部に上から９回、下から４回。	やや滑らか	Ｃ Ⅴ型式	板目	－	Ⅳ
2564	祭祀具	斎串	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－14	(57.7)	1.8	0.8	上部欠損。下端は両側から削って尖らせる。表裏は割ったままで整形していない。左右は削り。	粗い	Ｃ型式	柾目	－	Ⅳ
2565	部材	部材	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－14	32.0	(1.2)	(1.2)	辺材を丁寧に削り、両端に太い部分を成形。	滑らか		辺材	－	Ⅳ
2566	紡織具	紡輪	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	7.6	7.1	1.6	中央に厚みをもたせるように、表裏両面の縁辺を削る。中心に穿孔有り。	滑らか		板目	－	Ⅳ
2567	祭祀具	斎串	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－17	10.9	2.0	0.2	上下両端斜めに切り落とし、平行四辺形状を呈する。両面に線状の墨痕有り。	やや粗い	Ａ Ⅰ型式	柾目	－	Ⅳ
2568	祭祀具	斎串	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－17	(10.6)	0.9	0.3	切り込み：左右両側上部に上から各１回。	やや粗い	Ｃ Ⅲ型式	板目	－	Ⅳ
2569	祭祀具	斎串	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	11.0	1.9	0.2	上下両端を斜めに切り落とし、台形状を呈する。右側上部に切り欠き有り。	粗い	Ａ Ⅵ型式	柾目	－	Ⅳ
2682	工具	有頭棒	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	5.4	1.4	1.6	辺材の一端を削り頭部を成形。断面は多角形。2521、2550と類似したものか。	やや滑らか		辺材	－	Ⅶ
2683	農具	泥除	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	11.7	34.3	1.3	表面に多数の削り痕有り。中央に穿孔有り。木釘が残存。	やや滑らか	Ⅱ式	板目	－	Ⅶ
2684	農具	鎌柄	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13	(16.6)	2.2	1.6	装着孔の上下の柄の周囲に刃物による傷有り。穴の大きさを計って印を付けた痕か。	滑らか		板目	－	Ⅶ
2685	容器	円形曲物側板底板	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－12	(19.1)	(19.6)	器高3.8	底板に樺皮結合紐１ヶ所残存。側板同士の結合痕残存するが状態は悪い。結合紐残存。底板復元径＝20.4cm。底板H＝0.8cm。側板径＝19.0cm。	粗い	樺皮結合曲物Ｅ型式	底板柾目側板板目	－	Ⅶ
2686	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13	(17.8)	(6.8)	0.6	側板による円周状の圧痕有り。樺皮結合紐２ヶ所残存。全体的に摩耗している。復元径＝18.0cm。	粗い	樺皮結合曲物Ｅ型式	板目	－	Ⅶ
2687	容器	円形曲物底板	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－17	16.6	(7.9)	0.9	釘孔４ヶ所残存。復元径＝16.6cm。	やや粗い	釘結合曲物Ｆ型式	板目	－	Ⅶ
2688	容器	円形曲物蓋板	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－12	9.0	(6.4)	0.8	やや厚みのある板を丸く削って成形。中央部に穿孔有り。復元径＝9.4cm。	やや滑らか		板目	－	Ⅶ
2689	遊戯具	琴	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－17	(21.6)	4.8	0.7	上部に４孔の集弦孔有り。下部欠損。	滑らか		柾目	－	Ⅶ
2690	祭祀具	人形	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－14	(44.7)	2.6	2.4	上端は平坦。眉・目・鼻（欠損）・口を彫り込んで表現。下端は斜めに削る。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅶ
2691	祭祀具	人形	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－14	(45.9)	1.8	1.5	上端は前後から削って尖らせる。下端は鋭く尖らせる。目・口・首を浅い彫り込みにより表現。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅶ
2692	祭祀具	人形	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	(41.1)	2.2	2.3	上端は四方から削って尖らせる。目・鼻・口は浅く何度も刃を当てて表現。下端はやや鋭く尖らせる。	滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅶ
2693	祭祀具	人形	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－17	(29.8)(3.7)	2.8	2.5	上部は削りにより整形。目は細く彫り込み、口・頬・首は浅く削って表現。	粗い	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅶ
2694	祭祀具	人形	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－14	33.0	1.8	1.7	目・鼻・口を小さな彫り込みで表現。下端はやや尖らせる。	粗い	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅶ
2695	祭祀具	人形	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13	(5.2)(13.3)(10.2)	1.6	1.9	全体に欠損し、摩滅が激しい。目のみ残存。	やや粗い	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅶ
2696	祭祀具	人形	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－17	(18.5)	2.1	1.6	上端は前面から後頭部にかけて鋭く削る。目・鼻・口・首を小さく彫り込んで整形。下部欠損。	やや滑らか	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅶ
2697	祭祀具	人形	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－14	(16.6)	1.4	1.2	上端は左右から削って尖らせる。目・口を小さく彫り込んで表現。樹皮残存。	やや粗い	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅶ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
2698	祭祀具	人形	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	(15.4)	2.1	1.9	上端を細かく削って尖らせる。目・口・首を浅く削って尖らせるが、特に口を大きく表現する。	粗い	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅶ
2699	祭祀具	人形	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	(7.3)	2.0	2.4	2698と類似する。下部の大部分を欠損。	やや粗い	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅶ
2700	祭祀具	人形	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	(7.2)	2.2	2.2	小さく彫り込んで目・口を表現。下部の大部分を欠損。	粗い	円筒状人形	芯持ち材	－	Ⅶ
2701	祭祀具	人形	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	(7.5)	2.3	0.3	上端を丸く削り、左右に切り欠きを入れて頭部を成形。下部欠損。	やや滑らか	正面全身人形	板目	－	Ⅶ
2702	祭祀具	陽物形	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－17	(10.0)	1.7	1.7	上部を亀頭状に成形。上部裏面に縦の溝を入れる。樹皮残存。	やや滑らか		芯持ち材	－	Ⅶ
2703	祭祀具	舟形	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	19.7	4.1	(2.3)	２ヶ所に刳り込みを入れて屋形部を成形。船底欠損。屋形船形。削り部分以外樹皮残存。	滑らか	Ａ２類	芯持ち材	－	Ⅶ
2704	祭祀具	舟形	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	(14.3)	1.8	1.7	船首・船尾は側面から削って尖らせる。上部の刳り込みが両端に有り、屋形部が長い。屋形船形。平底。	やや粗い	Ａ２類	芯持ち材	－	Ⅶ
2705	祭祀具	舟形	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	(13.7)	2.5	2.2	船首は鋭く尖らせる。２ヶ所の小さな刳り込みによって屋形部を成形。船底に横方向の刃物傷数条有り。屋形船形。平底。	やや粗い	Ａ２類	芯持ち材	－	Ⅶ
2706	祭祀具	舟形	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	(14.4)	(3.8)	(1.4)	屋形部は浅い削りによって成形。屋形船形。船底欠損。	やや滑らか	Ａ２類	芯持ち材	－	Ⅶ
2707	祭祀具	棒状祭祀具	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	(14.6)	0.6	0.5	上下両端を滑らかに削って尖らせる。	やや粗い		辺材	－	Ⅶ
2708	祭祀具	斎串	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	(6.1)	1.3	0.2	切り込み：左側上部に上から２回。右側上部に上から３回。	やや滑らか	Ｃ Ⅲ型式	柾目	－	Ⅶ
2709	祭祀具	斎串	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	(8.2)	(1.5)	(0.3)	切り込み：左右両側上部に上から各１回。	粗い	Ｃ Ⅲ型式	柾目	－	Ⅶ
2710	祭祀具	斎串	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	(5.3) (7.4)	1.5	0.3	切り込み：左側上部に上から１回。右側上部に上から２回。	やや粗い	Ｃ Ⅲ型式	柾目	－	Ⅶ
2711	祭祀具	斎串	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	18.7	0.7	0.6	切り込み：左側上部に上から１回。上端は片側から斜めに削って尖らせる。	やや滑らか	Ｄ Ⅲ型式	板目	－	Ⅶ
2712	祭祀具	斎串	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	29.2	2.3	0.3	上下両端を斜めに削って尖らせる。平行四辺形状。	やや粗い	Ａ Ⅰ型式	板目	－	Ⅶ
2713	祭祀具	斎串	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ	15.2	2.1	0.3	台形状。	粗い	Ａ Ⅰ型式	柾目	－	Ⅶ
2714	祭祀具	斎串	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－17	(8.0)	0.9	0.2	平行四辺形状。	やや粗い	Ａ Ⅰ型式	柾目	－	Ⅶ
2715	祭祀具	斎串	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	13.3	1.0	0.4	上下両端を僅かに尖らせる。下部を細く成形。	滑らか	Ｄ Ⅰ型式	板目	－	Ⅶ
2716	祭祀具	斎串	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	13.0	1.1	0.3	2715と類似。	やや滑らか	Ｄ Ⅰ型式	板目	－	Ⅶ
2717	祭祀具	斎串	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ	(12.4)	2.0	0.2	上部の両側に切り欠き有り。下部を細く成形。封緘木簡に類似か。	粗い	Ｄ Ⅵ型式	柾目	－	Ⅶ
2718	祭祀具	斎串	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	(7.5) (42.8)	2.2	0.3	切り込み：左側上部に下から２回、下から６回。中央に下から３回。右側上部に下から３回。中央に下から１回。	やや粗い	Ｃ Ⅲ型式	板目	－	Ⅶ
2719	祭祀具	斎串	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－？	44.6	1.9	0.2	上下両端圭頭状。切り込み：左側上部に下から15回、上から15回。下部に下から10回、上から14回。右側上部に下から11回、上から12回。下部に下から13回。上から19回。	粗い	Ｂ Ⅴ型式	板目	－	Ⅶ
2720	祭祀具	斎串	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	39.7	1.4	0.5	上部欠損。下端は両側から削って鋭く尖らせる。	やや粗い	Ｄ Ⅰ型式	板目	－	Ⅶ
2721	祭祀具	斎串	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	(33.0)	2.7	5.0	上部欠損。下端は両側から削って鋭く尖らせる。	やや滑らか	Ｃ Ⅰ型式	柾目	－	Ⅶ
2722	祭祀具	斎串	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13・14	(25.2)	2.5	0.5	上部と下端欠損。切り込み：左右両側とも上から１回のものが各２ヶ所。上部中央に穿孔有り。	やや滑らか	Ｃ Ⅳ型式	板目	－	Ⅶ
2723	部材	台座	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13	7.2	15.8	3.4	上部中央に半円形の窪みをつける。	やや滑らか		柾目	－	Ⅶ
2724	部材	部材	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13	7.9	4.5	1.6	上端は左右からの削りで圭頭状。下端は切断。下部側面に穿孔有り。	粗い		辺材	－	Ⅶ
2725	雑具	火鑽板	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	(19.6)	1.8	2.2	上部欠損。上部に火鑽孔有り。側面に炭化した部分有り。	粗い		芯持ち材	－	Ⅶ
2726	杭	杭	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	36.9	1.6	1.6	上下両端部は削りにより成形。樹皮残存。	やや滑らか		芯持ち材	－	Ⅶ
2727	建築部材	筋交い	SR3001	南区(98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－18	L1=53.1 L2=51.8	4.4	4.7	上端平坦。下端にホゾ有り。上端とホゾの根本は斜めに削られている。　Ｌ１＝実寸法。Ｌ２＝使用時。	やや粗い		辺材	－	Ⅶ

掲載番号	分類	名称	出土遺構	調査区	出土地点 (大グリッド) (中グリッド) (小グリッド)	法量 L	法量 W	法量 H	特　　徴	表面の状態	型式	木取	樹種	大別層位
2768	祭祀具	舟形	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	20.6	3.1	2.5	船首・船尾両側から斜めに削って屋形部を成形。屋形船形。平底。	粗い	A２類	芯持ち材	－	
2769	容器	円形曲物底板	SR3001	南区 (98－1)	－	18.0	(8.5)	0.6	側板による円周状の圧痕有り。樺皮結合紐１ヶ所残存。補修孔２ヶ所残存。復元径＝18.0cm。	やや滑らか	樺皮結合曲物E型式	柾目	－	
2770	部材	部材	SR3001	南区 (98－1)	－	6.7	3.6	1.8	下部を削りホゾ状の凸部を成形するが、下端を薄く成形。	やや粗い		柾目	－	

第4表　土器

掲載番号	分類器種	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量(口径)	法量(器高)	その他法量	調整技法　特徴	含有物	色調	大別層位
1	陶器 擂鉢	第1 包含層	北区 (99－1)		(35.2)	(5.1)	残存率 口縁部1/10	口縁部外面ナデ、体部外面上部ユビオサエのちナデ。 口縁部～体部内面上部回転ナデのち擂目。	石英・雲母	外面5PB5/1青灰 内面7.5YR4/1褐灰	
2	白磁椀	第1 包含層	北区 (99－1)	Loc.G－1 α－Ⅲ A－11	(18.9)	(4.1)	残存率 口縁部1/10	口縁部～体部外面上部ロクロナデのち施釉、体部ロクロナデ。 口縁部・体部内面ロクロナデのち施釉。	石英	外面8Y7.5/3Sグレイみの黄 内面8Y7.5/3Sグレイみの黄	
3	土製品 土錘	第1 包含層	北区 (01－1)	Loc.F－1 ε－Ⅳ S－4	長さ 6.8	幅2.9	厚さ2.8 残存率1/1	外面ナデ。49.7g。遺存良好。孔径6mm。	石英・雲母	10YR4/3にぶい黄褐	
4	土製品 土錘	第1 包含層	北区 (01－1)	Loc.F－1 ε－Ⅲ Q－19	長さ 5.8	幅1.5	厚さ1.4 残存率1/1	外面ナデ。13.0g。遺存最良。孔径4mm。	雲母・赤色斑粒・黒色斑粒	外面5YR7/6橙 内面10YR7/4にぶい黄橙	
6	緑釉 壺	第2 包含層	北区 (99－1)	Loc.G－1 α－Ⅲ A－10		(3.3)	高台径4.1 高台高2.2	高台部外面回転ナデのち施釉、 底部内面回転ナデ、高台部内面回転ナデのち施釉。	石英・雲母・赤色斑粒	素地外面内面5YR7/6橙 施釉外面内面10YG4.5/5Sオリーブグリーン	
7	土師器 杯	SD3001	北区 (99－1)		(12.6)	(2.9)	底径(7.8) 残存率 底部1/3	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 底部内面にスス付着。	石英・長石・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面10YR8/3浅黄橙 内面7.5YR7/4にぶい橙	
8	土師器 Ⅲ	SD3002	北区 (01－2)	Loc.F－1 ε－Ⅳ O－3	9.8	1.3	底径8.0 残存率9/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切リ。 内面回転ナデ。	石英・雲母	外面10YR6/3にぶい黄橙 内面10YR6/4にぶい黄橙	
9	土師器 Ⅲ	SI3006	北区 (99－1)		11.0	2.2	底径8.6 残存率 口縁部2/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母	外面5YR6/8橙 内面2.5YR6/8橙	
10	瓦 平瓦	SI3006	北区 (99－1)		残存長 (15.5)	残存幅 (14.3)	厚さ3.0	凹面布目圧痕。 凸面タタキ（縄蓆文）。 重量571.4g。瓦質。	石英・雲母・黒色斑粒	凹面2.5Y7/1灰白 凸面N7/0灰白	
11	土師器 杯	第3 包含層	北区 (01－2)	Loc.F－1 ε－Ⅲ L－11	12.4	3.4	底径8.7	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。内面の一部にスス付着。	石英・雲母・赤色斑粒	外面5YR7/6橙 内面2.5YR7/4淡赤橙	
12	土師器 Ⅲ	第3 包含層	北区 (01－1)	Loc.F－1 ε－Ⅳ R－4	9.5	1.8	底径6.8 残存率9/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	赤色斑粒	外面2.5YR6/8橙 内面2.5YR5/8明赤褐	
13	土師器 羽釜	第3 包含層	北区 (99－1)		(27.4)	(4.3)	残存率 口縁部1/5	口縁端部外面ナデ、口縁部鍔部ユビオサエのちナデ。 口縁端部内面ナデ、口縁部内面板ナデ。 羽釜。接合痕有り。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面10YR5/3にぶい黄褐 内面10YR7/4にぶい黄橙	
14	土製品 土錘	第3 包含層	北区 (99－1)	Loc.F－1 ε－Ⅲ T－15	長さ 5.4	幅2.6	厚さ2.4 残存率 1/1	外面ナデ。25.7g。孔径8mm。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面7.5YR7/8黄橙	
15	土製品 土錘	第3 包含層	北区 (99－1)	Loc.F－1 ε－Ⅲ T－18	長さ 4.9	幅1.1	残存率 1/1	外面ナデ。4.7g。孔径3mm。	石英・結晶片岩	外面10YR6/4にぶい黄橙	
16	土製品 土錘	第3 包含層	北区 (01－2)	Loc.F－1 ε－Ⅲ M－14	長さ 6.2	幅2.4	厚さ2.3 残存率1/1	外面ナデ。31.1g。孔径8mm。	石英・雲母	10YR7/4にぶい黄橙	
17	土製品 土錘	第3 包含層	北区 (01－1)	Loc.F－1 ε－Ⅲ P－10	長さ (4.1)	幅 (2.0)	厚さ(2.1) 残存率1/2	外面ナデ。10.7g。孔径6mm。上部に縄ずれ痕有り。	石英・結晶片岩・赤色斑粒	2.5Y8/2灰白	
18	土師器 Ⅲ	SD4001	北区 (99－1)			(3.4)	高台底径7.4 残存率 底部9/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ、高台部回転ナデ。 体部・底部内面回転ヘラケズリのちナデ。 高台高1.9cm。接合痕有。	長石・雲母・赤色斑粒	外面2.5YR6/8橙 内面2.5YR6/8橙	
19	土師器 杯	SD4002	北区 (99－1)		(16.0)	4.9	底径11.0 高台高0.6 残存率3/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ、高台部外面回転ナデ。 内面回転ナデ。 貼付高台。接合痕有。	石英・雲母	外面7.5YR4/2灰褐 内面7.5YR6/2灰褐	
20	土師器 杯	SD4003	北区 (99－1)		(13.4)	3.5	底径8.1 残存率7/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面7.5YR6/6橙 内面10YR7/4にぶい黄橙	
21	緑釉 杯	SD4005	北区 (99－2)			(1.4)	高台径 8.0 残存率 底部1/10以下	体部外面回転ナデのち施釉、底部外面回転糸切り。 体部・底部内面回転ナデのち施釉。 貼付高台（接合痕有り）。	石英・雲母・赤色斑粒	外面7.5Y5/3灰オリーブ 内面5Y5/3灰オリーブ	
22	土師器 杯	SD4006	北区 (01－2)	Loc.F－1 ε－Ⅳ K－4	15.6	5.3	底径8.7 残存率1/1	体部外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・赤色斑粒	外面5YR5/6明赤褐 内面5YR5/6明赤褐	
23	土師器 杯	SD4006	北区 (01－1)	Loc.F－1	(16.0)	3.4	底径(12.6) 残存率3/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。 高台付。内外面赤色塗彩。塗布時に使用したと思われる工具痕有り。		外面2.5YR5/8明赤褐 内面2.5YR5/8明赤褐	
24	土師器 杯	SD4006	北区 (01－2)	Loc.F－1 ε－Ⅳ K－4	12.7	3.5	底径7.4 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・赤色斑粒・黒色斑粒	外面5YR7/4にぶい橙 内面5YR7/4にぶい橙	
25	土師器 杯	SI4002	北区 (99－1)		(20.4)	4.5	底径 (15.6) 残存率 底部2/5	外面回転ナデ、底部外面ナデ。 内面回転ナデ。 高台高0.8cm。内外面赤色塗彩。	雲母・長石・赤色斑粒・黒色斑粒	外面5YR5/8明赤褐 内面5YR6/8橙	

掲載番号	分類 器種	出土遺構	調査区	出土地点 (大グリッド) (中グリッド) (小グリッド)	法量 (口径)	法量 (器高)	その他法量	調整技法　特徴	含有物	色調	大別 層位
26	土師器 杯	SI4002	北区 (99－1)	Loc.G－1 α－Ⅲ A－18	12.9	3.5	底径 7.8 残存率 口縁部4/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 内外面赤色塗彩。	石英・雲母・ 結晶片岩・赤 色斑粒	外面５YR6/8橙 内面５YR6/8橙	
27	土師器 杯	SI4002	北区 (99－1)		(9.0)	2.8	底径 (3.8) 残存率 1/2	外面回転ナデ、底部外面回転糸切り。 内面回転ナデ。	石英・結晶片 岩	外面10YR7/4にぶい黄橙 内面10YR7/6明黄褐	
28	土師器 皿	SI4002	北区 (99－1)		18.6	2.4	残存率 7/10	外面回転ナデ、底部外面ナデ。 内面回転ナデ。 内外面赤色塗彩。外面スス付着。	石英・雲母・ 結晶片岩	外面7.5YR7/4にぶい橙 内面10YR6/4にぶい黄橙	
29	土師器 皿 刻書	SI4002	北区 (99－1)				残存率 不明	底部外面回転ヘラ切りのちナデのち刻書。 底部内面ナデ。	石英・雲母・ 赤色斑粒	外面2.5YR7/6橙 内面2.5YR6/6橙	
30	土師器 杯	SI4003	北区 (99－1)		(15.0)	3.7	底径 (11.0) 残存率 1/5	外面回転ナデ、底部外面ナデ。 内面回転ナデ。 内外面赤色塗彩。	石英・雲母・ 結晶片岩・赤 色斑粒	外面10YR7/6明黄褐 内面7.5YR7/6橙	
31	瓦 平瓦	SI4003	北区 (99－1)				残存率 不明	凹面布目圧痕。 凸面タタキ（縄席紋）。	石英・長石・ 雲母・結晶片 岩・赤色斑 粒・黒色斑粒	凹面7.5YR7/6橙 凸面10YR7/4にぶい黄橙	
48	須恵器 杯	SR4001	北区 (01－1)	Loc.F－1	(13.6)	4.6	底径（10.0） 残存率1/3	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母	外面 N4/0灰白 内面10Y5/1灰	
49	須恵器 高杯	SR4001	北区 (01－2)	Loc.F－1 ε－Ⅳ J－1	(18.7)	7.3	底径11.1 残存率4/5	杯部外面回転ナデ、脚部外面回転ナデ。 内面回転ナデ。 内外面自然釉。杯部口縁に歪み有り。	石英・長石・ 雲母	外面 N5/0灰 内面 N4/0灰	Ⅶ
50	土師器 甕	SR4001	北区 (01－2)	Loc.F－1 ε－Ⅳ I・J－1		残存高 (14.4)	把手含む 最大径 (23.8) 残存率1/5	頸部外面ナデ、体部外面ナデのちハケ目（10条以上/18mm以上）・ミガキ（６mm以上）。 頸部内面ナデのちユビナデ・ユビオサエ。体部ナデのちユビオサエ・ケズリ（18mm以上）。 把手付甕。把手部欠損。内面にスス付着。	石英・結晶片 岩・赤色斑粒	外面５YR6/6橙 内面10YR6/3にぶい黄橙	Ⅶ
52	土師器 杯 墨書	第４ 包含層	北区 (99－1)	Loc.G－1 α－Ⅲ A－19 B－20	(19.2)	3.4	底径 (15.5) 残存率 口縁部1/10 以下	外面回転ナデ、底部外面ヘラケズリのちナデ。 内面回転ナデのち暗文。 底部外面に墨書「厨」。	石英・雲母・ 赤色斑粒	外面５YR7/6橙 内面５YR7/6橙	
53	土師器 杯	第４ 包含層	北区 (01－1)	Loc.F－1 ε－Ⅲ R－12	12.1	3.1	底径7.8 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・ 赤色斑粒	外面7.5YR6/6橙 内面7.5YR6/6橙	
54	土師器 杯	第４ 包含層	北区 (01－1)	Loc.F－1 ε－Ⅲ Q－13	(12.1)	3.2	底径8.5 残存率3/4	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・ 結晶片岩	外面7.5YR6/4にぶい橙 内面7.5YR6/4にぶい橙	
55	土師器 杯	第４ 包含層	北区 (01－1)	Loc.F－1 ε－Ⅲ Q－13	11.4	3.1	底径7.5 残存率2/3	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ、底部内面回転ナデのちナデ。 口縁部外面に黒斑有り。	石英・雲母・ 赤色斑粒	外面5YR6/6橙 内面10YR7/4にぶい黄橙	
56	土師器 皿	第４ 包含層	北区 (99－1)	Loc.F－1 ε－Ⅲ T－10	11.3	2.3	底径 8.7 残存率 7/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	長石・雲母・ 赤色斑粒	外面５YR6/6橙 内面５YR6/8橙	
57	土師器 皿	第４ 包含層	北区 (99－1)	Loc.F－1 ε－Ⅲ T－10	(11.1)	2.2	底径 (8.3) 残存率 4/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。	石英・雲母・ 赤色斑粒	外面2.5YR5/8明赤褐 内面2.5YR6/6橙	
58	土師器 高杯	第４ 包含層	北区 (01－2)	Loc.F－1 ε－Ⅳ N－2		残存高 (5.5)	脚部の一部 残存	杯部外面ハケ目のちナデ、脚部外面回転ナデ。 杯部内面回転ナデ、脚部内面ケズリのちナデ。 杯上面に×の刻印か。杯部と脚部の接合部付近にケズリ痕が見られるが摩滅が激しいため実測不可。脚部上端部と杯の一部のみ残存。	石英・赤色斑 粒	外面５YR6/8橙 内面５YR6/8橙	
59	土製品 土錘	第４ 包含層	北区 (01－2)	Loc.F－1 ε－Ⅲ L－20	長さ 6.2	幅3.1	厚さ3.1 残存率1/1	外面ナデ。52.2g遺存良好。孔径11mm。	石英・雲母・ 赤色斑粒	５YR5/6明赤褐	
61	土師器 杯	SK5001	北区 (99－2)	Loc.G－1 α－Ⅲ F－4		(1.7)	高台径 9.5 残存率 底部9/10	体部外面下部、底部外面、高台部回転ナデ。 体部・底部内面回転ナデ。 高台高0.8cm。底部内面からの穿孔有り。接合痕有。	石英・雲母・ 結晶片岩・赤 色斑粒	外面7.5YR6/6橙 内面５YR5/8明赤褐	
62	土師器 杯	SK5001	北区 (99－2)	Loc.G－1 α－Ⅲ F－4	12.6	3.5	底径8.2 残存率4/5	口縁部・体部外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・ 結晶片岩・赤 色斑粒	外面7.5YR7/4にぶい橙 内面7.5YR7/4にぶい橙	
63	土師器 杯	SP5004	北区 (99－2)		15.0	2.8	底径12.0 残存率4/5	外面回転ナデ、底部外面ヘラケズリ。 内面回転ナデ。 内外面赤色塗彩。	石英・雲母・ 赤色斑粒	外面2.5YR5/6明赤褐 内面7.5YR7/4にぶい橙	
77	須恵器 蓋	SR5001	北区 (01－2)	Loc.F－1 ε－Ⅲ K－16	14.4	3.7	残存率1/1	口縁部外面回転ナデ、体部外面回転ヘラケズリ、天井部外面ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 外面に自然釉有り。	石英・雲母・ 黒色斑粒	外面 N4/0灰 内面 N5/0灰	
78	須恵器 蓋	SR5001	北区 (01－2)	Loc.F－1 ε－Ⅲ M－11	13.0	3.9	残存率3/4	口縁部外面回転ナデ、天井部外面回転ヘラケズリ。 内面回転ナデ。	石英・雲母	外面 N4/0灰 内面 N4/0灰	

掲載番号	分類 器種	出土遺構	調査区	出土地点 (大グリッド) (中グリッド) (小グリッド)	法量 (口径)	法量 (器高)	その他法量	調整技法　特徴	含有物	色調	大別 層位
79	須恵器 杯	SR5001	北区 (01－2)	Loc.F－1	10.2	5.0	底径2.9 残存率3/4	口縁部外面回転ナデ、体部外面回転ヘラケズリ、底部外面回転ヘラケズリのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・長石・雲母	外面 N6/0灰 内面 N6/0灰	
80	須恵器 杯	SR5001	北区 (01－2)	Loc.F－1 ε－Ⅲ N・M－16	(12.3)	(3.9)	残存率2/5	口縁部・体部外面上部回転ナデ、体部外面下部回転ヘラケズリ。 内面回転ナデ。	石英・長石	外面 N5/0灰 内面 N5/0灰	
81	須恵器 杯 刻書	SR5001	北区 (01－2)	Loc.F－1 ε－Ⅲ K－15、16	12.7	3.6	残存率4/5	口縁部外面・体部外面上部回転ナデ・体部外面下部回転ヘラケズリ。 内面回転ナデ、底部内面回転ナデのちナデ。 底部外面ヘラ記号有り。	石英・長石・雲母	外面10YR5/1灰 内面7.5Y5/1灰	
82	須恵器 杯	SR5001	北区 (01－1)	Loc.F－1 ε－Ⅲ Q－13	12.8	4.3	底径6.5 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母	外面7.5Y5/1灰 内面7.5Y6/1灰	
83	須恵器 椀	SR5001	北区 (01－1)	Loc.F－1 ε－Ⅲ P－9	9.3	11.8	底径8.9 残存率3/4	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラケズリのちナデ。 内面回転ナデ。 自然釉。	石英・雲母	外面 N3/0暗灰 内面 N3/0暗灰	
84	須恵器 甕	SR5001	北区 (01－2)	Loc.F－1 ε－Ⅲ M－18	24.8	(49.0)	最大径 (49.2) 残存率3/5	口縁部・頸部外面回転ナデ、体部外面擬格子タタキ（4条/cm）のちカキ目（5条/cm）。 口縁部・頸部内面回転ナデ、体部内面青海波紋。	石英・結晶片岩	外面7.5Y5/1灰 内面7.5Y6/1灰	
85	土師器 杯	SR5001	北区 (01－1)		12.3	3.1	底径8.2 残存率 9/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 口縁部内外面にスス付着。灯明皿か。	長石・雲母・結晶片岩・赤色斑粒・黒色斑粒	外面7.5YR8/2灰白 内面7.5YR8/2灰白	
86	土師器 杯	SR5001	北区 (01－1)		12.3	3.7	底径9.4 残存率 1/1	外面回転ナデ。底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ。 内面回転ナデ（一部摩滅）。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒・他	外面5YR7/4にぶい橙 内面10YR7/6明黄褐	
87	土師器 杯	SR5001	北区 (01－1)	Loc.F－1 ε－Ⅲ P－9	11.5	3.1	底径8.3 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 ススが付着。灯明皿に転用した可能性有り。	石英・雲母・赤色斑粒	外面7.5YR6/4にぶい橙 内面7.5YR5/4にぶい褐	
88	土師器 杯	SR5001	北区 (01－1)		11.3	2.5	底径8.5 残存率1/4	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	雲母・赤色斑粒	外面10YR7/4にぶい黄橙 内面10YR7/4にぶい黄橙	
89	土師器 杯	SR5001	北区 (01－1)		11.3	2.3	底径8.6 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ。 内面回転ナデ。	長石・雲母・赤色斑粒	外面7.5YR7/4にぶい橙 内面5YR6/6橙	
90	土師器 鉢	SR5001	北区 (01－1)	Loc.F－1 ε－Ⅲ R－12	(20.0)	7.0	最大径 (20.6) 残存体部の1/4	外面回転ナデ。 内面回転ナデ。 内外面ともにススが付着。	石英・赤色斑粒	外面2.5YR7/1灰白 内面2.5YR8/1灰白	
91	土師器 杯	SR5001	北区 (01－2)	Loc.F－1 ε－Ⅲ N－12	15.5	7.3	底径11.0 残存率3/5	外面回転ナデ、底部外面ナデ。 内面回転ナデ。底部外面にスス付着。	石英・雲母	外面7.5YR5/2灰褐 内面2.5Y2/1黒	
92	土師器 甕	SR5001	北区 (01－2)	Loc.F－1	(13.5)	28.6	底径(6.0) 体部最大径 22.6 残存率1/3	口縁部外面回転ナデ、体部外面ハケ目（4条/cm）。 口縁部内面回転ナデ、体部内面ヘラケズリ。 外面黒斑有り。	石英・雲母	外面10YR7/6明黄褐 内面10YR7/4にぶい黄橙	
93	土製品 土錘	SR5001	北区 (01－1)	Loc.F－1	長さ 7.4	幅1.8	厚さ1.5 残存率1/1	外面ナデ。19.3g。穿孔2ヶ所、棒状土錘。 孔径5.5mm。裏面は平坦。	石英・雲母	7.5YR3/4暗褐	
94	須恵器 壺	ST5021	北区 (01－1)	Loc.F－1 ε－Ⅲ S－20		残存高 (15.8)	底径11.0 体部の最大径16.6 頸部径4.0 体部ほぼ残存	頸部・体部外面上部回転ナデ、体部外面下部回転ヘラケズリ、脚部外面回転ナデ。 内面回転ナデ。 台付壺。遺存良好。細くなった頸部より上欠損。一部自然釉有り。		外面 N7/0灰白 内面 N7/0灰白	
95	弥生土器 甕	ST5026	北区 (01－1)	Loc.G－1 α－Ⅲ A－17	15.1	残存高 (8.0)	残存率1/3	口縁部外面回転ナデ、頸部外面回転ナデのちユビオサエ、体部外面タテハケ目（8条/cm）。 口縁部・頸部内面ヨコハケ目（8条/cm）のちナデのちユビナデ、体部内面ヨコハケ目（8条/cm）のちナデ。 体部内面に縦方向のヘラ状工具によるナデが所々みられる。内外面に黒斑有り。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面5YR7/4にぶい橙 内面5YR7/4にぶい橙	
96	須恵器 蓋	ST5051	北区 (01－2)	Loc.F－1 ε－Ⅳ M－2	11.3	5.0	残存率3/4	口縁部外面回転ナデ、天井部外面回転ヘラケズリ。 内面回転ナデ。	長石・赤色斑粒	外面5B5/1青灰 内面 N5/0灰	
97	土師器 支脚	SX5001	北区 (99－2)			15.8	残存率1/1	外面ナデ、ユビオサエ。接合痕有り。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面5YR6/6橙 (10YR6/4にぶい黄橙)	
98	土師器 甕	SX5001	北区 (99－2)		(17.4)	(8.7)	頸部径 16.1 残存率 口縁部3/5	口縁部外面ナデ、体部外面ハケ目（12条/1.3cm）。 口縁部内面ナデ、体部内面ヘラケズリ。	石英・雲母・結晶片岩	外面10YR6/3にぶい黄橙 内面7.5YR5/4にぶい褐	
99	須恵器 蓋 刻書	SX5001	北区 (99－2)			(4.0)	残存率 体部1/3	天井部外面回転ヘラケズリ。口縁部・体部外面回転ナデ。 体部・天井部内面回転ナデ。 上部外面ヘラ記号有り。	石英・黒色斑粒	外面6/0灰 内面 N7/0灰白	
100	須恵器 杯	SX5002	北区 (99－2)			(4.9)	受部径 (16.9) 残存率 体部～ 底部1/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラケズリのちナデ。 内面回転ナデ、底部内面回転ヘラケズリのちナデ。 口縁部を打ち欠く。	石英・長石・雲母・黒色斑粒	外面2.5Y7/1灰白 内面 N6/0灰	

掲載番号	分類 器種	出土遺構	調査区	出土地点 (大グリッド) (中グリッド) (小グリッド)	法量 (口径)	法量 (器高)	その他法量	調整技法　特徴	含有物	色調	大別 層位
101	須恵器 杯	SX5002	北区 (99－2)	Loc.G－1 α－Ⅲ F－4	12.0	3.5	底径8.3 残存率 口縁部1/5 底部1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。	石英・黒色斑粒	外面2.5Y7/1灰白 内面2.5Y7/1灰白	
102	土師器 甕	SX5002	北区 (99－2)		(13.2)	(5.5)	頸部径 (12.6) 残存率 口縁部～ 体部1/5	外面回転ナデ。 口縁部内面回転ナデ、体部内面ヘラケズリ。	石英・雲母・ 結晶片岩	外面7.5YR5/4にぶい褐 内面7.5YR6/4にぶい橙	
103	須恵器 蓋	SX5003	北区 (99－2)		15.9	4.8	底径13.1 残存率 口縁部9/10	天井部外面回転ヘラケズリ。口縁部・体部外面回転ナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・ 黒色斑粒	外面10BG4/1暗青灰 内面 N8/0灰白	
104	須恵器 杯	SX5003	北区 (99－2)		14.3	4.8	底径13.5 残存率 3/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラケズリ。 内面回転ナデ。	石英・長石・ 雲母・黒色斑粒	外面 5 PB5/1青灰 内面 N6/0灰	
105	須恵器 杯	SX5003	北区 (99－2)		13.5	5.4	残存率 体部底部 1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラケズリ。 内面回転ナデ。	石英・黒色斑粒	外面2.5Y7/1灰白 内面2.5Y7/1灰白	
106	須恵器 杯	SX5003	北区 (99－2)		15.8	5.4	底径15.5 残存率 7/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	長石・雲母・ 黒色斑粒	外面10Y6/1灰 内面10Y7/1灰白	
107	須恵器 杯	SX5003	北区 (99－2)		14.6	5.9	底径12.7 残存率 口縁部9/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラケズリ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・ 赤色斑粒・黒色斑粒	外面 N7/0灰白 内面 N7/0灰白	
108	須恵器 杯 刻書	SX5003	北区 (99－2)		(13.0)	4.5	底径12.8 残存率3/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラケズリ・ヘラ記号。 内面回転ナデ。	石英・長石・ 雲母・黒色斑粒	外面 N7/0灰白 内面 N6/0灰	
109	須恵器 杯	SX5003	北区 (99－2)		13.3	4.5	残存率7/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。	長石・雲母・ 結晶片岩・赤色斑粒・黒色斑粒	外面 N7/0灰白 内面 N7/0灰白	
110	土師器 甕	SX5003	北区 (99－2)		(17.8)	(8.8)	頸部径 (15.2) 残存率 頸部1/1	口縁部外面回転ナデ、体部外面板ナデ。 口縁部内面回転ナデ、体部内面板ナデ。	石英・雲母・ 結晶片岩・赤色斑粒・黒色斑粒	外面 5 YR6/6橙 内面7.5YR7/6橙	
111	土師器 甕	SX5003	北区 (99－2)		16.7	(8.3)	残存率 口縁部1/1	口縁部外面回転ナデ、体部外面ユビオサエのちハケ目（11条/1.4cm）。 口縁部・体部内面板ナデ。 接合痕有。	長石・雲母・ 結晶片岩・赤色斑粒	外面 5 YR5/6明赤褐 内面 5 YR4/2灰褐	
112	土師器 甕	SX5003	北区 (99－2)		13.2	(8.3)	頸部径 12.6 残存率 口縁部～ 体部4/5	口縁部外面回転ナデ、体部外面ハケ目（8条/1.9cm）。 口縁部内面板ナデ、体部内面上部ユビオサエのち板ナデ、体部内面中部ヘラケズリ。 接合痕有。	石英・長石・ 雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面10YR7/6明黄褐 内面7.5YR6/4にぶい橙	
113	土師器 甕	SX5003	北区 (99－2)		(19.4)	(8.7)	頸部径 (16.1) 残存率 口縁部7/10	口縁部外面ナデ、体部外面ハケ目（13条/1.5cm）。 口縁部内面ナデ、体部内面ヘラケズリ。 口縁部内面に接合痕有り。	石英・雲母・ 角閃石・結晶片岩・赤色斑粒	外面7.5YR6/6橙 内面7.5YR6/6橙	
114	土師器 甕	SX5003	北区 (99－2)		(17.9)	(6.5)	頸部径 (14.9) 残存率 口縁部1/3	口縁端部外面ナデ、口縁部外面ユビオサエのち板ナデ。体部内面板ナデ。 口縁端部内面ナデ、口縁部～体部内面上部板ナデ、体部内面ヘラケズリのちナデ。 口縁部～体部外面焼成痕有り。接合痕有。	石英・雲母・ 結晶片岩・赤色斑粒・黒色斑粒	外面7.5YR5/3にぶい褐 内面 5 YR6/6橙	
115	土師器 甕	SX5003	北区 (99－2)		(14.1)	(15.2)	頸部径(6.7) 残存率 口縁部体部 2/5	口縁部外面ナデ、体部外面上部ハケ目（8条/cm）のち板ナデ、体部外面下部板ナデ。 口縁部内面ナデ、体部内面ヘラケズリのちナデ。 口縁部～体部外面に黒斑。体部内面下半に焼成痕。接合痕有。	石英・雲母・ 結晶片岩・赤色斑粒	外面 5 YR7/6橙 内面7.5YR7/4にぶい橙	
116	土師器 甕	SX5003	北区 (99－2)		(15.0)	(25.8)	頸部径 (13.8) 残存率 2/5	口縁部外面ナデ、体部外面タタキ（3条/cm）のち板ナデ。 口縁部・体部内面ナデ及びユビオサエのちタタキ工具による板ナデ。 接合痕有。	石英・雲母・ 赤色斑粒	外面7.5YR4/6褐 内面10YR5/4にぶい黄褐	
117	土師器 甑	SX5003	北区 (99－2)		(25.6)	31.9	底径(7.4) 残存率 口縁部体部 1/10以下	口縁部外面回転ナデ、体部外面上部回転ナデのちハケ目（7条/cm）、体部外面下部回転ナデのちハケ目（5条/cm）、把手ナデ・ユビオサエ。 内面回転ナデのちヘラケズリ。 接合痕有。	石英・雲母・ 結晶片岩・赤色斑粒	外面7.5YR6/4にぶい橙 内面10YR7/4にぶい黄橙	
118	須恵器 蓋	第5 包含層	北区 (01－2)	Loc.F－1 ε－Ⅳ P－4	11.9	4.8	残存率1/1	口縁部外面回転ナデ、体部外面回転ヘラケズリのちナデ、天井部外面回転ヘラケズリ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・ 赤色斑粒・黒色斑粒	外面7.5Y6/1灰 内面7.5Y7/1灰白	
119	須恵器 杯	第5 包含層	北区 (01－1)	Loc.G－1 α－Ⅲ A－16	(10.7)	4.4	残存率3/4	体部外面回転ナデ、底部外面回転ヘラケズリ。 内面回転ナデ。 杯身。	石英・長石・ 雲母	外面 N6/0灰 内面 N7/0灰白	
120	須恵器 甕	第5 包含層	北区 (99－2)			(7.2)	頸部径 (36.4) 残存率 頸部1/10以下	頸部外面回転ナデのち板ナデ、体部外面上部タタキ（格子目3条/cm）。 頸部内面ユビナデ、体部内面上部青海波紋。	石英・黒色斑粒	外面 N5/0灰 内面 N6/0灰	
121	須恵器 横瓶	第5 包含層	北区 (99－2)			(13.0)	残存率 1/10以下	体部外面タタキ（格子目）のちカキ目（10条/cm）。 体部内面青海波紋。 接合痕有。	石英・雲母・ 黒色斑粒	外面 5 BG6/1青灰 内面 N6/0灰白	
122	土師器 杯	第5 包含層	北区 (99－2)	Loc.G－1 α－Ⅲ B－2	13.9	2.9	底径11.1 残存率 3/5	外面回転ナデ、底部外面ヘラケズリのちナデ。 内面回転ナデのち暗紋。 内外面に赤色塗彩。	雲母・赤色斑粒	外面2.5YR5/6明赤褐 内面2.5YR4/6赤褐	

掲載番号	分類 器種	出土遺構	調査区	出土地点 (大グリッド) (中グリッド) (小グリッド)	法量 (口径)	法量 (器高)	その他法量	調整技法　特徴	含有物	色調	大別 層位
123	土師器 壺	第5 包含層	北区 (99－2)	Loc.G－1 α－Ⅲ D－20	(13.5)	13.0	頸部径 (13.2) 残存率 1/2	口縁部外面回転ナデ、体部外面ヘラミガキ、底部外面ナデ、高台部回転ナデ。 口縁部内面回転ナデ、体部・底部内面ナデ。 短頸壺。接合痕有。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面5YR5/8明赤褐 内面2.5YR6/6橙	
124	土師器 壺	第5 包含層	北区 (01－2)	Loc.F－1 ε－Ⅳ Q－3	17.6	残存高 (20.0)	口縁5/6 残存	口縁部・頸部外面回転ナデ、体部外面ハケ目（8条/1.6cm）。 口縁部・頸部内面回転ナデ、体部外面ケズリ（幅1.5cm）のちナデ。 二重口縁。	石英・結晶片岩・赤色斑粒	外面5YR5/6明赤褐 内面2.5YR5/6明赤褐	
125	土師質 平瓦	第5 包含層	北区 (99－2)	Loc.G－1 α－Ⅲ B－3	残存長 (8.1)	残存幅 (10.6)	厚さ1.9 残存率不明	凹面布目圧痕。側面ヘラケズリのちナデ。 凸面タタキ（縄席紋）上面ヘラケズリのちナデ。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	凹面7.5YR8/3浅黄橙色 凸面10YR8/3浅黄橙色	
126	土師器 甕	第5 包含層	北区 (99－2)			(20.8)	頸部 (22.0) 残存率1/3	口縁部下部～頸部外面回転ナデ、体部外面タタキのちハケ目（8条/1.3cm）。 口縁下部内面ハケ目、頸部内面回転ナデ、体部内面ハケ目（8条/1.3cm）のちユビオサエ。	石英・長石・雲母・結晶片岩・赤色斑粒・黒色斑粒	外面5YR5/8明赤褐 内面5YR6/6橙	
127	須恵器 杯		北区 (99－2)	Loc.G－1 α－Ⅲ E－F	(12.5)	(5.9)	残存率 体部2/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラケズリのちナデ。 内面回転ナデ、底部内面回転ヘラケズリのちナデ。 接合痕有。受部打ち欠いている。	石英・長石・雲母・黒色斑粒	外面N5/0灰色 内面N5/0灰色	
128	須恵器 高杯	SD2001	南区 (00－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ H－6		(8.9)	脚部4/5 残存	杯部底部内面静止ヘラケズリ、 脚部内外面回転ナデ。 須恵器よりも灰釉陶器に近い質感。	細砂粒	外面N7/0灰白 内面N8/0灰白	
129	土師器 蓋	SD2001	南区 (00－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ I－6	19.8	2.5	摘み径3.2 残存率1/2	外面静止ヘラケズリのち摘み周辺のみヘラミガキ。 内面回転ナデのち一方向のナデ。	砂粒をわずかに含む	外面2.5YR5/6明赤褐 内面2.5YR5/6明赤褐	
130	土師器 皿	SD2004	南区 (00－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－6	(21.5)	(1.4)	底径(17.6) 残存率1/2	外面回転ナデ、底部外面ナデ。 内面回転ナデ。 高台欠損。	石英・長石・雲母・赤色斑粒	外面5YR6/6橙 内面5YR6/6橙	
132	土師器 高杯	SD3001	南区 (00－2)	Loc.F－1		(10.8)		脚部外面回転ナデ。 内面回転ナデ。 外面に赤色塗彩。	石英・雲母・結晶片岩	外面7.5YR7/3にぶい橙 内面10YR7/2にぶい黄橙	
133	土師器 杯	SD3002	南区 (00－2)	Loc.F－1	(15.2)	3.1	底径(12.0) 残存率1/4	口縁部外面回転ナデ、体部外面回転ナデのちヘラミガキ（摩滅のため幅不明）、底部外面回転ヘラ切りのちヘラミガキ（摩滅のため幅不明）。 口縁部内面回転ナデ、体部内面回転ナデのちヘラミガキと思われるが摩滅のため不明。底部内外面に漆痕有り。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面2.5YR5/6明赤褐 内面2.5YR5/8明赤褐	
134	須恵器 蓋	ST5010	南区 (00－2)	Loc.F－1	10.6	2.8	残存率3/4	外面回転ナデ、天井部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ、天井部内面ユビオサエのちナデ。 天井部外面に自然釉有り。	石英・雲母	外面N7/0灰白 内面N7/0灰白	
135	須恵器 鉢	SD4005	南区 (04－3)	Loc.F－1 ε－Ⅲ・Ⅳ E－1 E－19	(17.6)	13.0	底径(12.8) 残存率1/3	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。底部内面ナデ。 底部内面に自然釉有り。	石英	外面N7/0灰白 内面N7/0灰白	
136	土師器 杯	ST4004	南区 (04－3)	Loc.F－1 ε－Ⅲ A－16	16.2	3.7	底径11.0 残存率3/4	外面回転ナデ、底部摩滅により不明。 内面摩滅により不明。 口縁部内面の一部にヘラミガキ（暗文）有り。	石英・雲母	外面5YR5/6明赤褐 内面5YR6/6橙	
137	瓦器椀	SD1006	南区 (00－3)	Loc.F－1 δ－Ⅳ P－8	(14.0)	(2.6)	残存率1/6	口縁部外面回転ナデ。体部外面ユビオサエのちナデ。 内面回転ナデのちヘラミガキ。	石英	外面N3/0暗灰 内面N3/0暗灰	
138	土師器 椀	SD1006	南区 (00－3)	Loc.F－1 δ－Ⅳ R－7	13.8	5.1	底径6.8 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデのちヘラミガキ。 高台付。	雲母・赤色斑粒	外面10YR8/3浅黄橙 内面10YR8/3浅黄橙	
139	土師器 甕	第5 包含層	南区 (00－3)	Loc.F－1 δ－Ⅳ S－4、5	(15.4)	(22.7)	最大径21.3 残存率1/2	口縁部外面ユビオサエのち回転ナデ、頸・体部外面ヨコハケ目（5条/cm）のちタテハケ目（5条/cm）。 口縁部内面ヨコハケ目（5条/cm）のち回転ナデ、体部ヘラケズリ（幅1.5cm）。 体部内面下部に指の痕と思われる窪み有り。 体部外面に黒斑有り。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面5YR7/6橙 内面5YR6/4にぶい橙	
140	ミニチュア 土器	第2 包含層	南区 (03－8)	Loc.F－1 δ－Ⅲ T－19		残存高 (5.2)	底径5.1 体部最大径 5.4 残存率 頸～底部1/1	外面ナデ。 内面ナデ。 内面に漆付着。	石英・結晶片岩・赤色斑粒	外面5YR6/6橙 内面5YR6/6橙	
149	土師器 杯	SR3001	南区 (03－8)	Loc.F－1 δ－Ⅲ R－18	12.5	3.5	底径8.4 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・長石・雲母・赤色斑粒	外面5YR6/4にぶい橙 内面5YR6/4にぶい橙	Ⅲ
150	土師器 杯	SR3001	南区 (03－8)	Loc.F－1	11.9	3.0	底径8.0 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・赤色斑粒	外面7.5YR6/4にぶい橙 内面10YR6/3にぶい黄橙	Ⅲ
151	土師器 杯	SR3001	南区 (03－8)	Loc.F－1 δ－Ⅲ R－18	11.8	3.1	底径8.0 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデのちナデ。 口縁部にスス付着。	石英・結晶片岩	外面5YR6/4にぶい橙 内面5YR6/4にぶい橙	Ⅲ
152	土師器 杯	SR3001	南区 (03－8)	Loc.F－1 δ－Ⅲ R－17	12.7	3.0	底径8.1 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・赤色斑粒	外面5YR6/4にぶい橙 内面5YR7/6橙	Ⅲ

掲載番号	分類 器種	出土遺構	調査区	出土地点 (大グリッド) (中グリッド) (小グリッド)	法量 (口径)	法量 (器高)	その他法量	調整技法　特徴	含有物	色調	大別 層位
153	土師器 杯	SR3001	南区 (03－8)	Loc.F－1 δ－Ⅲ Q－18	12.8	4.4	底径7.8 残存率3/4	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母	外面５Y6/2灰オリーブ 内面５Y6/1　灰	Ⅲ
154	土師器 杯	SR3001	南区 (03－8)	Loc.F－1 δ－Ⅲ Q－18	13.0	3.6	底径9.0 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ、底部内面回転ナデのちユビナデ。	石英・雲母・ 赤色斑粒	外面7.5YR7/3にぶい橙 内面５YR7/4にぶい橙	Ⅲ
155	土師器 杯	SR3001	南区 (03－8)	Loc.F－1 δ－Ⅲ Q－18	11.8	3.2	底径7.9 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・ 結晶片岩・赤色斑粒	外面10YR6/3にぶい黄橙 内面10YR6/3にぶい黄橙	Ⅲ
156	土師器 皿	SR3001	南区 (03－8)	Loc.F－1 δ－Ⅲ Q－19	12.5	1.4	底径7.6 残存率7/8	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・ 赤色斑粒	外面7.5YR7/3にぶい橙 内面7.5YR7/3にぶい橙	Ⅲ
157	黒色土器 椀	SR3001	南区 (03－8)	Loc.F－1	(16.5)	5.8	底径9.2 残存率3/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面ミガキ。 黒色土器Ａ類。貼付高台。接合痕有。	石英・雲母	外面 N1.5/0黒 内面10YR7/3にぶい黄橙	
189	土師器 杯	SR3001	南区 (03－8)	Loc.F－1 δ－Ⅲ R－18	12.3	3.5	底径7.1 残存率3/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	雲母	外面10YR7/3にぶい黄橙 内面10YR7/2にぶい黄橙	Ⅴ
190	土師器 杯	SR3001	南区 (03－8)	Loc.F－1	(12.4)	3.0	底径(9.0) 残存率1/2	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ、底部内面回転ナデのちナデ。 内面全体、口縁部～体部外面に顔料塗布。底部外面に板目圧痕有り。	石英・長石・ 雲母	外面10YR6/3にぶい黄橙 内面2.5YR5/6明赤褐	Ⅴ
191	土師器 杯	SR3001	南区 (03－8)	Loc.F－1	14.7	3.1	底径10.5 残存率1/2	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。 内外面全体に顔料塗布。	石英・雲母	外面7.5YR8/3浅黄橙 内面7.5YR8/3浅黄橙	Ⅴ
192	土師器 皿	SR3001	南区 (03－8)	Loc.F－1	12.1	1.9	底径9.4 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ、底部内面回転ナデのちナデ。	石英・雲母・ 結晶片岩・赤色斑粒	外面7.5YR6/4にぶい橙 内面10YR6/3にぶい黄橙	Ⅴ
193	黒色土器 椀	SR3001	南区 (03－8)	Loc.F－1 δ－Ⅲ Q－19	(15.7)	5.6	底径(7.3) 残存率1/3	外面回転ナデ、体部外面下部ヘラケズリ、高台部外面回転ナデ。 口縁部内面回転ナデ。体部・底部内面ミガキ（幅３mm）。 貼付高台。接合痕有。口縁部内面に２ヶ所スス跡があるため、灯明皿に転用したと思われる。口縁部外面の一部に黒斑有り。ヘラミガキ（暗文）有り。黒色土器Ａ類。	長石・雲母・ 赤色斑粒	外面10YR6/2灰黄褐 内面 N3/0暗灰	Ⅴ
194	土師器 杯 墨書	SR3001	南区 (03－8)	Loc.F－1 δ－Ⅲ R－19		残存高 (2.8)		外面回転ナデ。 内面回転ナデ。 内外面赤色塗彩。外面墨書。	石英・長石・ 雲母	外面５YR4/4にぶい赤褐 内面５YR5/4にぶい赤褐	Ⅴ
198	須恵器 蓋	SR3001	南区 (03－8)	Loc.F－1 δ－Ⅳ Q－1、2、3	13.5	4.4	底径8.9 残存率7/8	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 外面内面全体に赤色塗彩。	石英・雲母・ 結晶片岩	外面2.5Y4/1黄灰 内面2.5Y3/2黒褐	
208	土師器 杯	SX3001	南区 (03－8)	Loc.F－1 δ－Ⅲ R－18	12.7	3.2	底径8.1 残存率9/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 内外面とも全体的にスス付着。底部内面ヘラミガキ（暗文）有り。	石英・雲母・ 赤色斑粒	外面2.5YR8/1灰白 内面2.5YR7/1灰白	
209	土師器 杯	SX3001	南区 (03－8)	Loc.F－1	(14.4)	4.5	底径(8.1) 残存率1/3	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 内面にスス付着。底部外面に板目圧痕有り。	石英・長石・ 雲母・赤色斑粒	外面10YR7/3にぶい黄橙 内面10YR6/3にぶい黄橙	
210	土師器 杯	SX3001	南区 (03－8)	Loc.F－1	11.9	3.2	底径7.3 残存率4/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。 杯部外面の一部にスス付着。	雲母・結晶片岩	外面10YR5/3にぶい黄褐 内面10YR4/2灰黄褐	
211	土師器 杯 墨書	SX3001	南区 (03－8)	Loc.F－1	長さ (5.9)	残存高 (1.7)	残存幅 (3.7) 残存率 底部1/5	外面回転ナデ。底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。 底部から体部にかけて墨書有り。	石英・雲母	外面2.5Y7/2灰黄 内面7.5YR5/4にぶい褐	
220	土師器 蓋	SR3001	南区 (03-8-2)	Loc.F－1	18.4	(1.5)	残存率1/2	外面回転ナデ。 内面回転ナデ。	長石・雲母・ 赤色斑粒	外面7.5YR6/3にぶい褐 内面 N6/0灰	Ⅴ
221	土師器 杯	SR3001	南区 (03-8-2)	Loc.F－1	14.4	3.0	底径8.0 残存率8/9	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ、底部内面回転ナデのちユビナデ。	石英・雲母	外面7.5YR6/4にぶい橙 内面7.5YR6/3にぶい褐	Ⅴ
222	土師器 皿 墨書	SR3001	南区 (03-8-2)	Loc.F－1	13.5	1.7	底径8.5 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 底部外面に墨書「抱」。	石英・雲母・ 結晶片岩・赤色斑粒	外面7.5YR7/4にぶい橙 内面7.5YR7/4にぶい橙	Ⅴ
223	土師器 不明 墨書	SR3001	南区 (03-8-2)	Loc.F－1	長さ (5.0)	厚さ 1.2	幅(2.2)	外面ヘラ切りのちナデ。 内面ナデ。 底部外面に墨書有り。	石英・雲母・ 赤色斑粒	外面5Y6/1灰 内面5Y6/1灰	Ⅴ
224	土師器 不明 墨書	SR3001	南区 (03-8-2)	Loc.F－1	長さ (4.5)	厚さ 0.7	幅(2.4)	外面ナデ。 内面ナデ。 底部内面に白色顔料による墨書有り。	石英・雲母	外面7.5YR6/4にぶい橙 内面7.5YR5/3にぶい褐	Ⅴ
225	土師器 不明 墨書	SR3001	南区 (03-8-2)	Loc.F－1	長さ (3.8)	厚さ 0.5	幅(2.3)	外面ナデ。 内面ナデ。 内面に墨書の一部残存。	雲母	外面10YR6/2灰黄褐 内面2.5YR4/3にぶい赤褐	Ⅴ

掲載番号	分類 器種	出土遺構	調査区	出土地点 (大グリッド) (中グリッド) (小グリッド)	法量 (口径)	法量 (器高)	その他法量	調整技法　特徴	含有物	色調	大別 層位
226	土師器 杯	SR3001	南区 (02－7)	Loc.F－1 δ－Ⅳ H－10	7.4	2.6	底径6.1 残存率1/1	口縁部外面回転ナデ、体部外面回転ナデのちユビオサエ、底部外面回転ヘラ切りのちユビオサエのちナデ。 内面回転ナデ、底部内面回転ナデのちナデ。 内面黒斑有り。	石英・長石・雲母・赤色斑粒	外面2.5Y6/2灰黄 内面2.5Y5/2暗灰黄	Ⅲ
234	須恵器 壺	SR3001	南区 (02－7)	Loc.F－1 δ－Ⅳ P－9		(19.7)	底径7.8 体部最大径 15.6 残存率5/6	頸部外面回転ナデ、体部外面上部回転ナデ、下部回転ナデ。底部外面ナデ。 頸部内面ヘラケズリのち回転ナデ、長頸のため内部の調整確認できず。 全体に自然柚。高台接合痕。長頸壺。	石英・雲母	外面7.5Y7/1灰白 内面7.5Y7/1灰白	Ⅵ
257	土師器 杯	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	13.3	4.0	底径5.8 残存率3/4	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。 外面黒斑有り。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面10YR7/2にぶい黄橙 内面10YR7/2にぶい黄橙	Ⅲ
258	土師器 杯	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	12.4	3.3	底径8.2 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。底部内面に回転ナデの後、ユビナデが一条入る。(二本指)。	細砂粒を若干含む	外面10YR7/2にぶい黄橙 内面10YR7/3にぶい黄橙	Ⅲ
259	土師器 杯	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	12.0	3.5	底径7.6 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。 全体に器壁うすい。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面2.5YR6/6橙 内面2.5YR6/6橙	Ⅲ
260	土師器 杯	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	11.0	2.6	底径4.0 残存率1/1	外面回転ナデのちナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデのちナデ。底部内面に回転ナデの後ユビナデが一条入る。(一本指)。	細砂粒をかすかに含む。	外面10YR6/3にぶい黄橙 内面10YR6/3にぶい黄橙	Ⅲ
261	土師器 皿	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－2	14.6	2.0	底径7.7 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 内外面に黒斑有り。	石英・雲母・赤色斑粒	外面10YR8/3浅黄橙 内面10YR8/3浅黄橙	Ⅲ
262	土師器 皿	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ I－19	15.0	1.7	底径8.1 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。底部回転ナデのちヘラミガキ(幅2mm)。 底部外面に黒斑有り。内外面に赤色塗彩。	石英・雲母・赤色斑粒	外面7.5YR7/2明褐灰 内面7.5YR7/2明褐灰	Ⅲ
263	土師器 杯	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ O－19	12.7	3.6	底径8.5 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・赤色斑粒	外面7.5YR7/4にぶい橙 内面2.5YR6/6橙	Ⅲ
264	土師器 杯	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ P－2	13.0	3.4	底径7.8 残存率4/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母	外面5YR8/3淡橙 内面5YR7/6橙	Ⅲ
265	土師器 皿	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－20	(12.0)	0.9	底径(7.0) 残存率2/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母	外面2.5Y7/1灰白 内面2.5Y7/1灰白	Ⅲ
282	土師器 杯	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	12.6	3.5	底径7.9 残存率7/8	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面7.5YR6/4にぶい橙 底面2.5YR6/2灰黄 内面2.5YR6/2灰黄	Ⅳ
283	土師器 杯	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－2	13.4	3.2	底径7.8 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	細砂粒・小礫をわずかに含む。	外面7.5YR8/2灰白 内面7.5YR7/3にぶい橙	Ⅳ
284	土師器 杯	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－20	12.4	2.8	底径7.6 残存率4/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。底部内面回転ナデのちナデ。 内外面赤色塗彩。	結晶結晶片岩礫を含む。細砂粒をわずかに含む。	外面2.5YR6/6橙 内面10YR5/6黄褐	Ⅳ
285	土師器 杯	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ I－19	14.4	3.1	底径8.4 残存率1/2	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。底部内面回転ナデのちナデ(ユビナデ?)。 底部外面以外は赤色塗彩であるが、剥落が著しいため一部しか残存していない。灯明皿としたためか部分的に内外面ともにススが付着している。口縁端部はやや厚みが有り、丸みをもって整えられる。	細砂粒をやや含む。	外面10YR4/2灰黄褐 内面10YR4/2灰黄褐	Ⅳ
286	土師器 皿	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	(14.3)	1.7	底径7.6 残存率3/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 底部外面に黒斑有り。底部外面に焼きムラが有る。	砂粒	外面10YR7/3にぶい黄橙 内面5YR7/4にぶい橙	Ⅳ
287	土師器 杯 墨書	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ P－1	(12.8)	3.5	底径(8.1) 残存率1/2	外面回転ナデ、底部外面ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。底部内面回転ナデのちナデ。 底部外面に墨書有り。板目圧痕有り。	石英・雲母・赤色斑粒	外面5YR6/6橙 内面7.5YR6/3にぶい褐	Ⅳ
288	土師器 杯	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－20	13.0	4.2	底径8.0 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち丁寧なナデ。 内面回転ナデ。 外面全体赤色塗彩。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面2.5Y6/2灰黄 内面10YR6/3にぶい黄橙	Ⅳ
289	土師器 杯	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－19	13.2	4.3	底径8.8 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・結晶片岩	外面2.5YR6/6橙 内面5YR6/4にぶい橙	Ⅳ
290	土師器 皿	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－20	12.3	2.0	底径(8.6) 残存率3/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母	外面7.5YR7/2明褐灰 内面7.5YR6/3にぶい褐	Ⅳ

掲載番号	分類 器種	出土遺構	調査区	出土地点 (大グリッド) (中グリッド) (小グリッド)	法量 (口径)	法量 (器高)	その他法量	調整技法　特徴	含有物	色調	大別 層位
291	黒色土器 椀	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－20	12.3	4.9	底径8.2 残存率7/8	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデのちヘラミガキ。 黒色土器A類。貼付高台。	石英・雲母・赤色斑粒	外面7.5YR7/4にぶい橙 内面5Y2/1黒	Ⅳ
520	須恵器 杯 刻書	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－2	16.3	4.0	底径11.4 残存率7/10	外面回転ナデ。底部外面回転ヘラ切り。高台部外面回転ナデ。 内面回転ナデ。底部外面に刻書有り。	石英・雲母	外面2.5Y3/2黒褐 内面2.5Y3/2黒褐	Ⅴ
521	緑釉 皿 墨書	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ O－18	(14.1)	2.8	底径6.9 残存率3/5	外面回転ナデ。底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。 底部外面高台内側に墨書有り。「三条」。	石英	外面2.5GY6/1オリーブ灰 内面2.5GY6/1オリーブ灰	Ⅴ
522	須恵器 壺	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－19		(10.7)	底径10.1 残存率1/2	体部外面上部回転ナデ、下部回転ヘラケズリ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。高台部回転ナデ。 内面回転ナデ。 自然釉。外面に黒斑有り。貼付高台。	石英・雲母・黒色斑粒	外面N6/0灰 内面5Y7/1灰白	Ⅴ
523	土師器 蓋	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－19	(22.6)	3.2	残存率1/3	口縁部外面回転ナデ、体部外面回転ヘラケズリ。 口縁部内面回転ナデ、体部内面ナデ中心部分はユビオサエ。摘みは回転ナデ。 ヘラミガキ（暗文）が一条。	雲母or結晶片岩？	外面5YR5/6明赤褐 内面5YR6/6明赤褐	Ⅴ
524	土師器 杯 墨書	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ O－1	(14.8)	3.0	底径7.3 残存率 口縁部1/4	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 底部外面に墨書有り。絵か。	石英・雲母	外面5Y8/2灰白 内面5Y7/1灰白	Ⅴ
525	土師器 杯 墨書	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－20	(15.6)	3.9	底径(10.8) 残存率1/3	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。 外面に墨で取り巻くように模様を書く。貼付高台。	雲母	外面5YR4/2灰褐 内面5YR6/4にぶい橙	Ⅴ
526	土師器 杯 墨書	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ Q－2		残存高 (0.8)	底径(7.0) 残存率1/4	底部外面回転ヘラ切りのちヘラミガキ（幅2mm）。 内面回転ナデ。 底部外面に墨書。	石英・長石・雲母	外面2.5Y5/2暗灰黄 内面7.5YR6/4にぶい橙	Ⅴ
527	土師器 杯 墨書	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－19		残存高 (1.2)	底径(6.4) 残存率 底部1/5	外面回転ナデ。底部外面回転ヘラ切りのちヘラミガキ（幅5.5mm）。 内面回転ナデ。底部内面回転ナデのちナデ。 底部外面に墨書。	結晶片岩	外面体部10YR6/4にぶい黄橙底部10YR6/3にぶい黄橙 内面2.5GY6/2灰黄	Ⅴ
528	土師器 杯	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－3	16.9	3.8	底径11.2 残存率9/10	外面回転ナデ、底部外面静止ヘラケズリ。 内面回転ナデ。 全体的に器壁はうすく、内外面ともに全面赤色塗彩。口縁端部は丸く仕上げられる。口縁内側沈線明瞭。底部穿孔。焼成後内面より外面へ。	細砂粒。小礫を僅かに含む。	外面5YR7/6橙 内面5YR7/6橙	Ⅴ
529	土師器 杯	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－2	16.0	3.9	底径10.8 残存率9/10	外面回転ナデ。底部外面手持ちヘラケズリ。 底部外面静止ヘラケズリ。 内面回転ナデ、底部内面ナデ。 口縁部の一部、長さ5cm程を内から外へ打ち欠いている。口縁端部尖り気味に仕上げる。口縁部内面弱い沈線が入る。	細砂粒	外面5YR5/6明赤褐 内面5YR5/6明赤褐	Ⅴ
530	土師器 杯	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－1	14.6	4.1	底径6.1 残存率1/2	外面回転ナデのちナデ。底部外面ヘラ切りのちハケ目。やや粗いハケ目で6～12条/cm単位で施される。 内面回転ナデのちナデ、施順は一定していない。	雲母・赤色斑粒	外面5YR6/6橙 内面5YR6/6橙	Ⅴ
531	土師器 杯	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－20	16.3	5.0	底径7.8 残存率7/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ、底部内面回転ナデのちナデ。	石英・雲母・赤色斑粒	外面5YR4/1褐灰 内面7.5YR7/2明褐灰	Ⅴ
532	土師器 杯	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－19	18.6	4.0	底径13.2 残存率3/4	口縁部・体部上部外面回転ナデ、体部外面下部ヘラケズリ、上部回転ナデ時のユビのあて方が強いためくぼむ。底部外面回転ヘラケズリ。高台部外面回転ナデ。 内面回転ナデ。 口縁端部は丸みが強く厚く仕上げられる。沈線有り。貼付高台。高台付杯。	結晶片岩・砂粒	外面5YR5/4にぶい赤褐 内面7.5YR4/3褐	Ⅴ
533	土師器 杯	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－19	13.2	3.8	底径7.0 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち一部ナデ。 内面回転ナデ。 内外面にスス付着。内面にも2ヶ所黒斑有り。灯明皿か。	細砂粒をやや多く含む。	外面10YR6/2灰黄褐 内面10YR6/2灰黄褐	Ⅴ
534	土師器 杯	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－19	13.2	3.9	底径9.0 残存率4/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	雲母	外面5Y7/2灰白 内面2.5Y7/2灰黄	Ⅴ
535	土師器 杯	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－19	(13.6)	2.9	底径8.2 残存率2/3	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。 底部外面以外に赤色塗彩。	細砂粒をかすかに含む。	外面5YR4/6赤褐 底面2.5YR5/2暗灰黄 内面5YR4/6赤褐	Ⅴ
536	土師器 杯	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－19	12.6	3.4	底径7.4 残存率3/4	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち一部ナデ。 内面回転ナデ。	細砂粒を含む。	外面10YR7/3にぶい黄橙 内面2.5YR7/2灰黄	Ⅴ

掲載番号	分類 器種	出土遺構	調査区	出土地点 (大グリッド) (中グリッド) (小グリッド)	法量 (口径)	法量 (器高)	その他法量	調整技法　特徴	含有物	色調	大別 層位
537	土師器 杯	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－2	12.5	2.9	底径8.9 残存率9/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 底部内面に黒斑有り。	石英・雲母	外面7.5YR6/4にぶい橙 内面7.5YR6/3にぶい黄橙	V
538	土師器 杯	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－19	12.2	3.0	底径6.8 残存率3/4	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	細砂粒をやや含む。	外面5YR7/3にぶい橙 内面5YR6/4にぶい橙	V
539	土師器 杯	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ M－18	11.8	3.1	底径7.1 残存率1/2	外面回転ナデ。底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。	細砂粒小礫をわずかに含む。	外面5YR6/4にぶい橙 内面2.5YR6/4にぶい橙	V
540	土師器 杯	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－19	(13.0)	3.1	底径(7.0) 残存率2/5	外面回転ナデ、底部外面ナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母	外面10YR8/3浅黄橙 内面10YR8/3浅黄橙	V
541	土師器 皿	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－19	11.3	1.8	底径6.0 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・赤色斑粒	外面10YR7/1灰白 内面10YR7/2にぶい黄橙	V
542	土師器 皿	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－20	(14.4)	1.7	底径10.5 残存率1/2	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ、底部内面ナデ。 灯明皿。灯芯を置いたと思われる位置の内外面にスス付着。底部外面以外に赤色塗彩。	細砂粒を若干含む	外面2.5YR5/6明赤褐 底面5YR5/4にぶい赤褐 内面2.5YR5/6明赤褐	V
543	土師器 皿	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ O－19	13.0	2.1	底径8.2 残存率9/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。 灯明皿。灯芯が接した部分にスス付着。ただし内面も同様に口縁部付近のみ付着。	細砂粒	外面7.5YR7/4にぶい橙 内面7.5YR7/4にぶい橙	V
544	土師器 皿	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ M－19	(13.2)	2.9	底径8.6 残存率4/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。高台部外面回転ナデ。 内面回転ナデ。 口縁端部器壁は厚く、丸く仕上げる。貼付高台。高台付皿。	細砂粒を若干含む	外面5YR5/4にぶい赤褐 内面7.5YR5/3にぶい褐	V
545	土師器 椀	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ P－20	15.2	5.7	底径8.9 残存率2/3	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。高台部回転ナデ。 内面回転ナデ。 貼付高台。高台部の一部が欠損しているが、切り欠きの様に意図的なものか。口縁部に多少ゆがみが生じる。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面5YR7/6橙 内面5YR7/4にぶい橙	V
546	土師器 椀	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ R－19	(18.1)	残存高 (6.9)	高台径 (10.2) 残存率1/5	口縁部外面回転ナデ、体部外面横方向のヘラミガキ。底部外面残存部少なく調整判断できない。 内面放射状ヘラミガキ。 内外面に赤色塗彩。口縁端部丸みをもって整えられやや厚い。高台欠損。	細砂粒をかすかに含む。	外面2.5YR3/3暗赤褐 内面2.5YR4/3にぶい赤褐	V
547	黒色土器 椀	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ O－19	20.4	残存高 (6.6)	残存率3/4	外面回転ナデ、体部外面下部ヘラケズリ。底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 貼付高台。高台部欠損。黒色土器A類。	石英・雲母	外面10YR5/3にぶい黄褐 内面N2/0黒	V
548	土師器 高杯	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－20		(2.4)	底径14.0 高杯底部のみ残存	外面ヘラケズリ。 内面回転ナデ。 高杯の底部のみ。表面ほぼ摩滅している。	雲母・赤色斑粒	外面5YR6/6橙 内面5YR4/6赤褐	V
549	土師器 甕	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ H－1	(11.5)	(9.0)	最大径 (11.6) 残存率4/5	口縁部外面回転ナデ、体部ハケ目（8条/1.3cm）。 内面回転ナデ。 内面にスス、炭化物付着のため調整不鮮明。	石英・赤色斑粒	外面10YR4/1褐灰 内面2.5YR5/1黄灰	V
550	土師器 甕	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ H－3	12.5	(27.7)	最大径 (24.6) 残存率3/4	口縁部・頸部外面回転ナデ、体部ハケ目（5条/cm）。 口縁部・頸部内面ハケ目（5条/cm）、体部内面回転ナデのちハケ目（8条/2cm）。	石英・結晶片岩	外面2.5YR5/6明赤褐 内面2.5YR5/6明赤褐	V
551	土師器 甕	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－20	24.0	残存高 (23.0)	残存率3/4	口縁部・頸部外面回転ナデ、体部外面ハケ目（5条/cm）。 口縁部・頸部内面回転ナデ、体部内面ユビオサエ・摩滅のため調整不明。 外面全体スス付着。	石英・長石・雲母	外面7.5YR5/4にぶい褐 内面2.5Y5/2暗灰黄	V
568	土師器 杯	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ Q－5	11.0	3.0	底径9.5 残存率3/4	口縁部外面回転ナデ、体部外面ヘラミガキ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。暗文。	雲母・赤色斑粒	外面5YR6/6橙 内面5YR7/6橙	Ⅵ
569	土師器 杯	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ J－1	(13.6)	3.9	底径10.0 残存率3/4	外面回転ナデ、底部外面ナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母	外面10YR5/4にぶい黄褐 内面10YR5/4にぶい黄褐	Ⅵ
570	土師器 杯	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ L－18	(13.0)	3.3	底径(8.8) 残存率3/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。 内外面に赤色塗彩。	雲母	外面10YR5/4にぶい黄褐 内面7.5YR5/4にぶい褐	Ⅵ
571	土師器 杯	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ L－18	13.3	3.3	底径6.5 残存率3/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。内外面に赤色塗彩。	石英・雲母	外面5YR5/6明赤褐 内面5YR5/6明赤褐	Ⅵ
572	弥生土器 甕	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ H－5	(13.7)	残存高 (4.9)	残存率 口縁部のみ 1/5	口縁部外面ナデ（沈線2本）、頸部外面ユビオサエのちナデ、体部外面ハケ目（8条/cm）。 口縁部内面ナデ、頸部内面ハケ目（単位不明）、体部内面ユビオサエのちナデ。	石英・雲母・赤色斑粒	外面5YR6/4にぶい橙 内面7.5YR6/4にぶい橙	Ⅵ
577	土師器 杯	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ K－4	(19.6)	5.3	底径(11.4) 残存率1/2	口縁部外面回転ナデ、体部外面ヘラミガキ（幅不明）、底部外面ユビオサエのちヘラミガキ（幅4mm）。 内面回転ナデ、底部内面回転ナデのちナデ。	石英・長石・雲母・赤色斑粒	外面2.5Y3/3暗オリーブ褐 内面2.5Y4/1黄灰	Ⅷ

掲載番号	分類 器種	出土遺構	調査区	出土地点 (大グリッド) (中グリッド) (小グリッド)	法量 (口径)	法量 (器高)	その他法量	調整技法　特徴	含有物	色調	大別 層位
578	土師器 杯	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ K－2	(13.4)	4.1	底径8.2 残存率1/2	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・結晶片岩	外面10YR4/1褐灰 内面10YR4/2灰黄褐	Ⅷ
579	土師器 甕	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ N－20	(18.8)	残存高 (14.3)	体部 最大径 (19.8) 残存率 口縁部1/5	口縁部・頸部外面回転ナデ、体部外面ハケ目（13本/2.7cm)。 口縁部・頸部内面ハケ目（12本/1.9cm)、体部内面板ナデ(幅2.2cm)・ユビオサエ有り。	石英・雲母	外面2.5Y6/3にぶい黄 内面2.5Y6/2灰黄	Ⅷ
580	土製品 土錘か	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－20	長さ (2.5)	幅1.7	厚さ1.6 残存率不明	外面ナデ。7.9g。縦に扁平な孔1（下部の孔の形状はスリット状)。	雲母・赤色斑粒	外面10YR6/3にぶい黄橙 内面10YR6/3にぶい黄橙	Ⅷ
581	土師器 ミニチュア 土器	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－20	3.8	2.1	底径0.9 残存率1/1	外面ユビオサエ・ユビナデ。 内面ユビオサエ・ユビナデ。	雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面2.5Y6/3にぶい黄 内面2.5Y6/3にぶい黄	Ⅷ
589	須恵器 杯	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ O－6	16.3	5.1	底径11.4 残存率2/3	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。 高台付杯。	石英・長石・雲母	外面2.5Y7/2灰黄 内面2.5Y7/1灰白	Ⅸ
590	須恵器 杯	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ P－3	13.2	6.0	底径8.5 残存率3/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ、底部内面ナデ。 貼付高台。	石英	外面 N4/0灰 内面 N5/0灰	Ⅸ
591	土師器 甕	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ Q－2	16.8	残存高 (14.2)	最大径19.0 残存率1/2	口縁部外面ユビオサエのち回転ナデ、頸部外面タテハケ目（12条/cm）のち回転ナデ、体部外面タテハケ目（12条/cm）のちヨコハケ目（12条/cm)。 口縁部内面回転ナデ、頸部・体部内面ヘラケズリ（単位不明）のちユビナデ。 内外面スス付着。口縁部成形時に歪み。	石英・雲母	外面10YR6/3にぶい黄橙 内面10YR3/1黒褐	Ⅸ
596	黒色土器 椀	SR3001	南区 (00－1)	Loc.F－1	(14.7)	5.8	底径(7.0) 残存率1/2	外面回転ナデ、底部外面ヘラケズリ。 内面横方向のヘラミガキ。 内外面とも黒色処理される。口縁端部はやや厚く丸みをもって整えられる。貼付高台。黒色土器Ｂ類。	砂粒	外面 N3/0暗灰 内面 N3/0暗灰	
637	土師器 杯	SR3001	南区 (04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ L－18	12.8	4.0	底径7.8 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。	石英・雲母・赤色斑粒	外面7.5YR7/3にぶい橙 内面7.5YR7/3にぶい橙	Ⅱ
638	土師器 杯	SR3001	南区 (04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ M－18	10.8	2.4	底径7.0 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 底部外面板目圧痕有り。	石英・雲母・赤色斑粒	外面10YR7/2にぶい黄橙 内面10YR7/2にぶい黄橙	Ⅱ
639	土師器 皿	SR3001	南区 (04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ Q－17	9.4	(1.9)	底径(5.0) 残存率3/4	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 貼付高台。高台部欠損。接合痕有り。	雲母・結晶片岩	外面10YR8/3浅黄橙 内面10YR8/3浅黄橙	Ⅱ
640	黒色土器 椀	SR3001	南区 (04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ Q－16	15.2	6.0	底径8.3 残存率5/5	外面回転ナデ、底部外面ナデ。 内面回転ナデのちミガキ（単位不明)。底部内面ミガキ（単位不明)。 貼付高台。黒色土器Ｂ類。接合痕有り。	結晶片岩	外面 N1.5/0黒 内面 N1.5/0黒	Ⅱ
641	土製品 土錘	SR3001	南区 (04－2)	Loc.F－1 ε－Ⅲ K－17	長さ 7.1	幅4.0	厚さ4.0 残存率1/1	外面ユビオサエ、ナデ。92.0g。孔径17mm。	石英・雲母・赤色斑粒	外面7.5YR6/4にぶい橙 内面7.5YR6/4にぶい橙	Ⅱ
642	土製品 用途不明	SR3001	南区 (04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ M－18		残存高 3.4	底径3.5 残存率1/2	外面回転ナデ、内面回転ヘラケズリ。沈線有り。 高杯の脚部に似るが鉄釘が中央に有る。	雲母・赤色斑粒	外面7.5YR6/6橙 底内面５YR6/4にぶい橙	Ⅱ
644	土師器 杯	SR3001	南区 (04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ I－18	12.0	3.4	底径7.5 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。 底部に板目圧痕らしき痕有り。	長石・雲母・結晶片岩・赤色斑粒（長石10×４mm１個・２～３mmの粒３％）	外面10YR7/3にぶい黄橙 内面10YR7/3にぶい黄橙	Ⅲ
645	土師器 皿	SR3001	南区 (04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－18	9.7	1.7	底径3.6 残存率9/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。	石英・雲母・赤色斑粒	外面５YR6/4にぶい橙 内面7.5YR6/4にぶい橙	Ⅲ
646	土製品 土錘	SR3001	南区 (04－2)	Loc.F－1	長さ 2.2	幅0.9	厚さ0.9 残存率1/1	外面ナデ。1.7g。小形。孔径２mm。		2.5Y7/2明赤灰	Ⅲ
664	緑釉 椀	SR3001	南区 (04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－19	12.0	4.2	底径6.3 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面ヘラケズリ。 内面回転ナデ。 高台内側を削り成形。底部外面に墨付き。底部内面に高台と同じ径の円形の圧痕有り。		外面7.5Y5/2灰オリーブ 内面7.5Y5/2灰オリーブ	Ⅳ
665	土師器 杯	SR3001	南区 (04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ I－18	(14.6)	4.2	底径(7.5) 残存率1/3	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・赤色斑粒	外面10YR7/3にぶい黄橙 内面10YR7/3にぶい黄橙	Ⅳ
666	土師器 杯	SR3001	南区 (04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－19	13.2	4.1	底径5.1 残存率3/8	口縁部外面回転ナデ、体部外面回転ヘラケズリ。底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。	石英・雲母	外面2.5Y7/1灰白 内面2.5Y8/1灰白	Ⅳ
667	土師器 杯	SR3001	南区 (04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ H－19	10.5	3.0	底径6.0 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面５YR6/4にぶい橙 内面５YR6/4にぶい橙	Ⅳ
668	土師器 皿	SR3001	南区 (04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ I－18	13.9	1.8	底径9.1 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面7.5YR7/4にぶい橙 内面10YR7/3にぶい黄橙	Ⅳ
669	土師器 皿	SR3001	南区 (04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ I－18	13.0	1.5	底径10.4 残存率3/4	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。 底部外面に板目圧痕らしき跡有り。	石英・雲母	外面10YR7/4にぶい黄橙 内面10YR7/2にぶい黄橙	Ⅳ

掲載番号	分類 器種	出土遺構	調査区	出土地点 (大グリッド) (中グリッド) (小グリッド)	法量 (口径)	法量 (器高)	その他法量	調整技法　特徴	含有物	色調	大別 層位
670	土師器 皿	SR3001	南区 (04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ I－18	11.7	1.3	底径7.8 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。 変形が著しい。	雲母・赤色斑粒	外面2.5YR6/6橙 内面５YR6/3にぶい橙	Ⅳ
736	土師器 杯	SR3001	南区 (04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ M－18	12.8	3.8	底径7.7 残存率3/4	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・長石・雲母・赤色斑粒	外面7.5YR7/4にぶい橙 内面7.5YR7/4にぶい橙	Ⅴ
737	土師器 杯	SR3001	南区 (04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ L－18	12.8	4.8	底径8.0 残存率7/8	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。内外面に赤色塗彩。	石英・雲母・結晶片岩	外面2.5YR5/6明赤褐 内面2.5YR5/6明赤褐	Ⅴ
738	土師器 杯	SR3001	南区 (04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ I－18	(12.8)	3.4	底径(7.3) 残存率1/2	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。内外面に赤色塗彩。	石英・雲母・赤色斑粒	外面５YR7/6橙 内面2.5YR6/8橙	Ⅴ
739	土師器 杯	SR3001	南区 (04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－19	12.8	3.7	底径7.7 残存率4/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 内面一部にスス付着。灯明皿か。底部外面に底部外面に板目圧痕有り。	石英・雲母・赤色斑粒	外面2.5Y7/1灰白 内面2.5Y7/1灰白	Ⅴ
740	土師器 皿	SR3001	南区 (04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ I－18	15.9	2.1	底径11.8 残存率2/3	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。 内外面に赤色塗彩。	石英・雲母・赤色斑粒	外面7.5YR7/3にぶい橙 内面2.5Y6/2灰黄	Ⅴ
741	土師器 椀	SR3001	南区 (04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ L－17	13.4	5.4	底径7.2 残存率1/1	外面回転ナデのちミガキ（幅３～４mm）。 底部外面ヘラ切りのちナデ。 内面ミガキ（幅2.5～3.0mm）。 高台付椀。内外面に赤色塗彩。	石英・雲母・結晶片岩	外面2.5YR5/6明赤褐 内面2.5YR5/6明赤褐	Ⅴ
745	土師器 杯	SR3001	南区 (04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ L－18	(13.0)	3.9	底径8.2 残存率3/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・赤色斑粒	外面10YR7/3にぶい黄橙 内面10YR7/3にぶい黄橙	Ⅵ
746	土製品 土錘	SR3001	南区 (04－2)	Loc.F－1	長さ 4.8	幅1.5	厚さ1.3 残存率1/1	外面ナデ。8.2g。小形。孔径４mm。	石英・雲母・結晶片岩	2.5Y6/1黄灰	Ⅵ
747	土師器 皿 墨書	SR3001	南区 (04－2)	Loc.F－1 δ－Ⅲ R－15	長さ (5.6)	幅 (3.8)	厚さ(0.6) 残存率 底面の1/6	底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 内外面に墨書。底部外面に板目圧痕有り。内外面に赤色塗彩。	石英・雲母	外面10YR7/3にぶい黄橙 内面５YR6/6橙	
830	須恵器 壺	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	12.2	残存高 (11.3)	残存率 口縁1/1	口縁部外面回転ナデ、体部外面タタキ（３条/cm）（工具縦２cm×横５cm以上）。 内面回転ナデ。 口縁部内面・口縁部外面3/4・体部外面自然釉。	不明	外面５YR2/1黒褐 内面10YR4/1褐灰	Ⅲ
831	須恵器 壺	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11		残存 (4.5)	体部 最大径10.5 底部径7.2 残存率1/2	外面回転ヘラケズリ、底部外面ナデ。 内面回転ナデ。 接合痕有り。自然釉。	石英・雲母	外面7.5Y4/1灰 内面５Y5/1灰	Ⅲ
832	土師器 杯	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	14.9	4.9	底径9.1 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 口縁部内外面の一部にススが付着。灯明皿に転用。	石英・雲母・結晶片岩	外面7.5YR7/4にぶい橙 内面7.5YR7/4にぶい橙	Ⅲ
833	土師器 杯	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	14.5	4.8	底径8.5 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。内面に付着物有り。漆か。内外面にスス付着。	石英・雲母・結晶片岩	外面５Y6/2灰オリーブ 内面10YR7/2にぶい黄橙	Ⅲ
834	土師器 杯	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	14.6	4.5	底径9.2 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 底部外面に板目圧痕有り。	石英・雲母・結晶片岩	外面10YR7/2にぶい黄橙 内面10YR6/2灰黄褐	Ⅲ
835	土師器 杯	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	12.9	3.4	底径8.9 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面2.5YR6/1黄灰 内面10YR7/2にぶい黄橙	Ⅲ
836	土師器 杯	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	12.5	3.3	底径8.8 残存率9/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 底部外面に板目圧痕有り。	石英・雲母	外面7.5YR6/4にぶい橙 内面５YR7/3にぶい橙	Ⅲ
837	土師器 杯	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－10	12.8	3.4	底径9.0 残存率3/4	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・結晶片岩	外面7.5YR6/4にぶい橙 内面7.5YR6/4にぶい橙	Ⅲ
838	土師器 杯	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－９	11.7	2.8	底径7.9 残存率1/1	外面ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。	石英・雲母	外面10YR6/2灰黄褐 内面10YR6/3にぶい黄橙	Ⅲ
839	土師器 杯	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－12	11.2	2.6	底径8.0 残存率7/8	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。内外面にスス付着。	石英・雲母・赤色斑粒	外面５YR6/4にぶい橙 内面7.5YR6/4にぶい橙	Ⅲ
840	土師器 杯	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	12.6	3.5	底径7.0 残存率2/3	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 内面に墨・漆付着。	石英・雲母・黒色斑粒	外面7.5YR5/4にぶい褐 内面7.5YR6/4にぶい橙	Ⅲ
841	土師器 杯	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	13.5	3.5	底径7.7 残存率2/3	外面回転ナデ、体部外面下部ヘラケズリのちユビオサエ。底部外面回転ヘラ切りのちユビオサエ。 内面回転ナデ。底部内面回転ナデのちナデ。	石英・長石・雲母・赤色斑粒	外面7.5YR6/4にぶい橙 内面５YR6/4にぶい橙	Ⅲ
842	土師器 椀	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10		残存高 (4.1)	底径8.7 残存率不明	外面回転ナデ、底部外面ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 底部中央に外面からの穿孔有り。貼付高台。	石英・雲母・赤色斑粒	外面7.5YR6/4にぶい橙 内面7.5YR6/4にぶい橙	Ⅲ
843	土師器 皿	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－11	18.2	2.1	底径10.0 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデのちナデ。 高台剥離痕有り。口縁部外面一部黒斑。外面にスス付着。	石英・雲母・結晶片岩	外面5YR7/4にぶい橙 内面7.5YR7/4にぶい橙	Ⅲ

掲載番号	分類 器種	出土遺構	調査区	出土地点 (大グリッド) (中グリッド) (小グリッド)	法量 (口径)	法量 (器高)	その他法量	調整技法　特徴	含有物	色調	大別 層位
844	土師器 皿	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	12.8	1.3	底径9.3 残存率7/8	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・長石・雲母・赤色斑粒	外面7.5YR6/3にぶい褐 内面7.5YR7/4にぶい橙	Ⅲ
845	土師器 皿	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	12.1	1.3	底径7.7 残存率3/4	外面回転ナデ、底部外面ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・赤色斑粒	外面7.5YR8/4浅黄橙 内面7.5YR7/4にぶい橙	Ⅲ
846	土師器 皿	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	13.3	1.9	底径8.1 残存率9/10	外面回転ナデ、底部ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・赤色斑粒・結晶片岩	外面7.5YR6/4にぶい橙 内面2.5YR6/6橙	Ⅲ
847	土師器 皿	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	9.2	1.5	底径7.7 残存率3/4	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。底部内面回転ナデのちナデ。 底部外面に板目圧痕有り。	石英・長石・雲母・赤色斑粒	外面10YR7/4にぶい黄橙 内面7.5YR7/4にぶい橙	Ⅲ
848	土師器 皿	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	13.9	2.8	底径8.3 残存率3/4	外面回転ナデ、底部外面ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 貼付高台。台付皿。	雲母・赤色斑粒	外面7.5YR7/4にぶい橙 内面7.5YR7/4にぶい橙	Ⅲ
849	土師器 皿	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	9.6	2.4	底径6.0 残存率4/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。高台部外面回転ナデ。 内面回転ナデ。底部内面ユビオサエのちナデ。 貼付高台。台付皿。	石英・長石・雲母・赤色斑粒	外面10YR6/2灰黄褐 内面7.5YR6/4にぶい橙	Ⅲ
850	黒色土器 椀	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(15.8)	5.1	底径(7.8) 残存率3/5	口縁部外面回転ナデ、体部外面ユビオサエのちナデ、高台部外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面全面ヘラミガキ。 貼付高台。黒色土器A類。	石英・結晶片岩	外面7.5YR4/2灰褐 内面N3/0暗灰	Ⅲ
851	土師器 椀	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	(15.4)	5.2	底径9.1 残存率3/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・結晶片岩	外面5YR6/6橙 内面5YR6/6橙	Ⅲ
852	土師器 椀	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10		残存高 (4.1)	底径9.0 残存率1/2	外面回転ナデ。沈線有り。底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。底部外面にスス付着。	石英・雲母・赤色斑粒	外面2.5Y6/2灰黄 内面2.5Y6/2灰黄	Ⅲ
853	土師器 椀 墨書	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－11		(1.7)	底径7.1 残存率 底部1/1	外面ユビナデ。 内面ナデ、底部内面ユビナデ。 高台部外面に墨書「佐」。内側から打ち欠いたような痕跡有り。貼付高台。	長石・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面7.5YR5/2灰褐 内面7.5YR5/3にぶい褐	Ⅲ
854	土師器 杯 墨書	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10		(1.7)	底径8.0 残存率1/2	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。底部内面に墨書「此不」。底部外面に墨書「八七六」。外面黒斑有り。	石英・長石・雲母	外面2.5Y7/2灰黄 内面2.5Y7/2灰黄	Ⅲ
855	土師器 杯 墨書	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(10.8)	(2.4)	残存率1/5	外面回転ナデ。内面回転ナデ。 体部内外面に墨書。	石英・長石・雲母・結晶片岩	外面10YR7/3にぶい黄橙 内面10YR7/3にぶい黄橙	Ⅲ
856	土師器 杯 墨書	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(11.2)	(2.4)	残存率1/14	外面回転ナデ。 内面回転ナデ。 外面に墨書。内面にスス付着。	石英・雲母	外面2.5YR6/2赤灰 内面10YR4/2灰黄褐	Ⅲ
857	土師器 杯 墨書	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－11	(12.3)	(2.3)	残存率 口縁部1/10	外面回転ナデ。 内面回転ナデ。 墨書による模様有り。外面は螺旋状、内面は松葉状のもの。	石英・結晶片岩	外面7.5YR6/4にぶい橙 内面10YR7/2にぶい黄橙 (一部5YR6/4にぶい橙)	Ⅲ
858	土師器 杯 墨書	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10		(1.5)		外面回転ナデ。 内面回転ナデ。 内外面に墨書。	雲母	外面7.5YR6/4にぶい橙 内面10YR7/3にぶい黄橙	Ⅲ
859	黒色土器 椀 墨書	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10		(2.9)	底径(10.0) 残存率 高台部1/4	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面ヘラミガキ。 外面に墨書。黒色土器A類。	石英・雲母	外面10YR5/3にぶい黄橙 内面N1.5/0黒	Ⅲ
860	土師器 椀 墨書	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	15.2	5.5	底径8.4 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。高台部外面回転ナデ。 内面回転ナデ。底部内面ユビナデのちナデ。 底部外面高台内に墨書「松嶋」。内外面赤色塗彩。完形。貼付高台。	石英・雲母・赤色斑粒	外面7.5YR7/3にぶい橙 内面7.5YR7/3にぶい橙	Ⅲ
861	土師器 皿 墨書	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－11			底径(8.0) 残存率 底部1/4	外面回転ナデ。底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。内面に墨書「衣」。外面「□」。	石英・雲母	外面2.5Y7/2灰黄 内面2.5Y7/1灰白	Ⅲ
862	土師器 羽釜	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	(25.0)	残存高 (8.5)	残存率1/4	口縁部外面回転ナデ。体部外面上部ユビオサエのちナデ。下部ユビオサエのちハケ目（11条/cm）。 口縁部内面回転ナデ。体部内面ヘラケズリのち板ナデ。 内外面スス付着。	石英・長石・雲母・赤色斑粒	外面5Y2/1黒 内面2.5Y3/1黒褐	Ⅲ
863	土師器 竈	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	残存幅 (12.4)	7.4	残存長9.6 残存率不明	外面ナデ・ユビオサエのちハケ目・ナデ。 内面ナデ・ユビオサエのちハケ目・ナデ。内外面スス付着。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面N2/0黒 内面7.5YR6/6橙	Ⅲ
864	瓦 軒平瓦	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	残存長 (15.6)	残存幅 (21.9)	厚さ4.5 残存率不明	凹面布目圧痕。凸面タタキ（縄蓆紋）。 端面4条の沈線にて成形。内面スス付着。	石英・結晶片岩	凸面7.5Y5/1灰 凹面7.5Y4/1灰	Ⅲ
865	瓦 丸瓦	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－11	長さ (11.2)	幅 (12.4)	厚さ (2.0－2.2) 高さ6.3 残存率不明	凹面布目圧痕・ナデ。凸面タタキ（縄蓆文）のちナデ。 360.7g。内面にスス付着。	石英・雲母	凸面5Y6/1灰 凹面5Y5/1灰	Ⅲ

掲載番号	分類 器種	出土遺構	調査区	出土地点 (大グリッド) (中グリッド) (小グリッド)	法量 (口径)	法量 (器高)	その他法量	調整技法　特徴	含有物	色調	大別 層位
866	瓦 平瓦	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	残存長 (14.3)	残存幅 (18.2)	厚さ2.4 残存率不明	凹面布目圧痕。 凸面タタキ（縄蓆紋）。	石英・雲母・ 赤色斑粒	凹面2.5Y6/1黄灰 凸面2.5Y6/1黄灰	Ⅲ
867	瓦 平瓦	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－9	残存長 (15.0)	残存幅 (16.9)	厚さ3.6 残存率不明	凹面布目圧痕のちナデ。 凸面タタキ（縄蓆紋）。内外面にスス付着。	石英・雲母	凹面2.5Y7/2灰黄 凸面5Y6/1灰	Ⅲ
868	瓦 平瓦	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－10	残存長 (16.5)	残存幅 (14.5)	厚さ3.5 残存率不明	凹面布目圧痕。 凸面タタキ（縄蓆紋）。内外面にスス付着。	石英・雲母・ 結晶片岩	凹面10YR6/3にぶい黄橙 凸面10YR6/3にぶい黄橙	Ⅲ
869	瓦 平瓦	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	残存長 (12.3)	残存幅 (16.7)	厚さ3.5 残存率不明	凹面布目圧痕。 凸面タタキ（縄蓆紋）。	長石・雲母・ 結晶片岩	凹面5Y6/1灰 凸面5Y5/1灰	Ⅲ
870	瓦 平瓦	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	残存長 (13.4)	残存幅 (10.6)	厚さ2.1 残存率不明	凹面布目圧痕。 凸面タタキ（縄蓆紋）。内外面にスス付着。	石英・雲母・ 赤色斑粒	凹面2.5Y4/2暗灰黄 凸面2.5Y5/2暗灰黄	Ⅲ
871	瓦 軒平瓦	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－9	残存長 (11.6)	残存幅 (15.2)	厚さ5.9 残存率不明	凹面布目圧痕。 凸面タタキ（縄蓆紋）。	石英・雲母・ 結晶片岩・赤 色斑粒	凹面10YR6/3にぶい黄橙 凸面10YR6/4にぶい黄橙	Ⅲ
872	土製品 土錘	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	長さ 7.7	幅4.9	厚さ5.0 残存率1/1	外面ナデ。 160g。孔径16mm。	長石・雲母・ 結晶片岩・赤 色斑粒	7.5YR7/3にぶい橙	Ⅲ
906	須恵器 壺	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	8.6	残存高 (11.5)	口縁3/4 残存	外面回転ナデ。 内面回転ナデ。 自然釉有り。内面に付着物有り。	石英・雲母	外面5Y5/1灰 内面10YR4/1褐	Ⅳ
907	土師器 皿	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	14.1	1.8	底径10.0 残存率3/4	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 内外面に赤色塗彩。	雲母・黒色斑粒	外面7.5YR5/4にぶい褐 内面7.5YR4/3褐	Ⅳ
908	土師器 皿	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－9	14.2	3.2	底径9.0 残存率3/4	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 貼付高台。台付皿。	雲母・結晶片 岩・赤色斑粒	外面7.5YR7/3にぶい橙 内面7.5YR7/3にぶい橙	Ⅳ
909	土師器 皿 墨書	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(14.4)	3.3	底径8.0 残存率 口縁部1/6	体部外面回転ナデ。底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 底部外面に墨書。	雲母	外面7.5YR6/3にぶい褐 内面10YR6/3にぶい黄橙	Ⅳ
910	土師器 杯 墨書	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－11	長さ (5.3)	厚さ (0.7)	幅(3.0)	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちユビオサエ。 内面回転ナデ。内外面に墨書。	石英・雲母	外面10YR7/2にぶい黄橙 内面2.5Y7/1灰白	Ⅳ
911	土製品 土錘	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－9	長さ 5.4	幅 3.1	厚さ3.1 残存率1/1	外面ナデ。41.2g。孔径9mm。表面を赤く塗ったものか。	石英・雲母・ 赤色斑粒・黒 色斑粒	5Y7/1灰白	Ⅳ
1070	須恵器 杯	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－12	12.0	2.9	底径9.4 残存率9/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 内外面に赤色塗彩。	石英・雲母・ 結晶片岩	外面5Y5/1灰 内面5Y5/1灰	Ⅴ
1071	土師器 杯	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	12.6	3.2	底径7.5 残存率1/1	外面上部回転ナデ、下部ヘラケズリのちナデ。底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 内外面に赤色塗彩。	石英・長石・ 雲母	外面7.5YR3/2黒褐 内面7.5YR3/2黒褐	Ⅴ
1072	土師器 杯	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	13.0	3.4	底径10.0 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデのちナデ。 内面回転ナデ。 内外面に赤色塗彩。外面にスス付着。	石英・雲母・ 結晶片岩	外面10YR4/2灰黄褐 内面5YR3/4暗赤褐	Ⅴ
1073	土師器 杯	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	13.4	3.6	底径8.8 残存率3/4	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 底部外面に板目圧痕有り。	石英・雲母・ 結晶片岩	外面2.5Y6/1黄灰 内面2.5Y6/1黄灰	Ⅴ
1074	土師器 杯	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	13.5	3.5	底径9.5 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 外面にスス付着。	石英・雲母・ 赤色斑粒	外面7.5YR5/4にぶい褐 内面2.5Y7/2灰黄	Ⅴ
1075	土師器 杯	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－11	14.0	3.4	底径9.2 残存率5/6	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 内外面に赤色塗彩。	石英・雲母・ 赤色斑粒	外面10YR6/2灰黄褐 内面2.5YR5/6明赤褐	Ⅴ
1076	土師器 杯	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－12	(17.4)	3.6	底径(14.0) 残存率1/2	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデのちナデ。 内面回転ナデ。底部内面回転ナデのちヘラミガキ。 内外面に赤色塗彩。	石英・雲母・ 結晶片岩	外面2.5Y5/8明赤褐 内面5YR5/4にぶい赤褐	Ⅴ
1077	須恵器 杯	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	12.7	4.2	底径8.6 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。 貼付高台。	長石・赤色斑 粒	外面5Y6/1灰 内面2.5YR6/2灰黄	Ⅴ
1078	土師器 皿	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－9	16.9	2.1	底径14.1 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・ 赤色斑粒	外面5YR6/4にぶい橙 内面5YR6/4にぶい橙	Ⅴ
1079	土師器 皿	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－11	(15.2)	2.1	底径(12.6) 残存率1/4	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・ 結晶片岩	外面5YR6/4にぶい赤褐 内面5YR6/4にぶい赤褐	Ⅴ

掲載番号	分類 器種	出土遺構	調査区	出土地点 (大グリッド) (中グリッド) (小グリッド)	法量 (口径)	法量 (器高)	その他法量	調整技法　特徴	含有物	色調	大別 層位
1080	土師器 甕	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－11	(28.6)	21.4	最大径24.6 残存率1/2	口縁部外面回転ナデ（沈線らしき跡有り）。頸部外面ユビオサエのちナデ。体部外面上部ユビオサエのちハケ目（15条/2.6cm）。体部外面下部タタキ（7～8本/2.9～3.5cm）。口縁部内面回転ナデ。頸部内面ユビオサエのち回転ナデ。体部内面ユビオサエのちユビナデ。底部内面ユビオサエのち板ナデのちナデ。 底部外面にスス付着。	石英・長石・雲母・結晶片岩	外面2.5YR6/2灰黄 内面2.5YR6/3にぶい黄	Ⅴ
1081	土師器 甕	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(25.5)	残存高 (15.0)	残存率1/4	口縁部外面回転ナデ、体部外面ハケ目（7～8条/1.3cm）。 内面ハケ目（9～10条/1.2cm）。口縁部内外面にスス付着。	石英・雲母	外面7.5YR5/6明褐 内面10YR6/4にぶい黄橙	Ⅴ
1082	須恵器 蓋 墨書	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	(12.4)	1.5	残存率1/8	外面回転ナデ。天井部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 外面に墨書「少」。	石英・長石・雲母	外面 N7/0灰白 内面 N7/0灰白	Ⅴ
1083	土師器 杯 墨書	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－9	(12.9)	3.1	底径(8.7) 残存率1/3	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。 底部外面に不鮮明な墨書「安人」。	石英・結晶片岩	外面10YR6/2灰黄褐 内面2.5YR5/6明赤褐	Ⅴ
1084	土師器 皿 墨書	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(16.6)	1.6	底径(12.4) 残存率 口縁部1/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。 底部外面に墨書有り。内外面に赤色塗彩。	石英・雲母	外面7.5YR6/3にぶい褐 内面2.5YR6/6橙	Ⅴ
1085	土製品 土錘	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－12	長さ 4.4	幅1.0	厚さ1.0 残存率1/1	外面ナデ。3.5g。孔径2mm。	雲母・黒色斑粒	5Y6/1灰	Ⅴ
1190	須恵器 蓋	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－12	長さ 6.3	幅8.5	厚さ1.6 残存率1/4	外面回転ナデ。 内面回転ヘラケズリのちナデ。	石英・雲母	外面7.5Y7/1灰白 内面5Y6/2灰オリーブ	Ⅵ
1191	須恵器 高杯	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－11		残存高 (9.3)	残存率 脚部1/4	外面回転ナデ。 内面回転ナデ。 脚部。外面極少量自然釉付着。	石英・雲母	外面 N5/0灰 内面 N5/0灰	Ⅵ
1192	土師器 杯	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	16.9	4.3	底径11.2 残存率3/4	口縁部・体部外面上部回転ナデのちヘラミガキ（摩滅のため単位不明）、体部外面下部回転ナデ。底部外面回転ヘラ切りのち丁寧なナデ。 内面回転ナデ（沈線有り）、底部内面ナデ。 高台付杯。内外面に赤色塗彩。貼り付け高台。	石英・雲母・赤色斑粒	外面2.5Y5/6明赤褐 内面5YR4/4にぶい赤褐	Ⅵ
1193	土師器 杯	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－10	(15.3)	3.7	底径10.3 残存率3/5	外面回転ナデ・ヘラケズリ、底部外面回転ヘラ切り。高台部外面回転ナデ。 内面回転ナデ。 貼付高台。	石英・長石・雲母・赤色斑粒	外面2.5YR5/6明赤褐 内面2.5YR5/6明赤褐	Ⅵ
1194	土師器 蓋	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	19.3	3.4	残存率1/2	外面回転ナデのちヘラミガキ（幅4mm）。 内面回転ナデのちヘラミガキ（幅4mm）。 内外面に赤色塗彩。	雲母	外面5YR4/8赤褐 内面5YR5/6明赤褐	Ⅵ
1195	土師器 杯	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－11	(16.4)	4.0	底径(11.2) 残存率1/2	外面回転ナデのちヘラミガキ（幅2mmヘラ状工具で半円状の文様）。底部外面ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデのちナデ。口縁部沈線1条。 内外面に赤色塗彩。底部内面に墨付着。	石英・赤色斑粒	外面2.5Y8/2灰白 内面2.5Y8/2灰白	Ⅵ
1196	土師器 杯	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(15.3)	4.4	底径(11.6) 残存率1/3	外面回転ナデのちヘラミガキ、底部外面ユビオサエ・ナデ。 内面回転ナデ、底部内面ナデのちヘラケズリ。暗文有り。 高台接合痕有り。貼付高台。	石英・雲母・赤色斑粒	外面5YR6/6橙 内面7.5YR5/3にぶい褐	Ⅵ
1197	土師器 壺	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－11	8.4	9.9	底径(8.0) 残存率9/10	口縁部外面回転ナデ。体部外面ユビオサエのち回転ナデのちヘラミガキ。 底部外面回転ヘラ切りのちナデ。把手部ナデ。高台部ナデ。 内面回転ナデ。 把手付高台付壺。貼付高台。	石英・雲母・結晶片岩	外面5YR5/4にぶい赤褐 内面5YR5/4にぶい赤褐	Ⅵ
1198	土製品 土錘	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	長さ 8.7	幅2.3	厚さ2.1 残存率1/1	外面ナデ。34.2g。孔径5mm。	長石・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	10YR6/6明黄褐	Ⅵ
1199	土師器 皿	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	(11.2)	1.7	底径(10.5) 残存率1/2	外面回転ナデ、底部外面ヘラケズリのちヘラミガキ（幅不明）。 内面回転ナデのちヘラミガキ。 底部内面中央に螺旋状暗文、体部内面放射状暗文。	長石・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面7.5YR6/4にぶい褐 内面7.5YR6/3にぶい褐	Ⅵ
1200	土師器 鍋	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－10	41.0	残存高 (17.2)	残存率4/5	口縁部外面回転ナデ、体部外面上部ハケ目（22条/4.0cm）のちユビオサエ・ナデ、体部外面下部ハケ目（22条/4.0cm）。 口縁部内面横方向ハケ目（6条/cm）、体部内面上部横方向ハケ目（6条/cm）のち板ナデ（幅3.3cm）、体部内面下部ヘラケズリ（幅3.3cm）。 外面全面にスス付着。口縁部内面の一部と体部スス付着。	石英	外面2.5Y3/1黒褐 内面2.5Y6/4にぶい黄	Ⅵ

掲載番号	分類 器種	出土遺構	調査区	出土地点 (大グリッド) (中グリッド) (小グリッド)	法量 (口径)	法量 (器高)	その他法量	調整技法　特徴	含有物	色調	大別 層位
1201	須恵器 蓋 墨書	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－11	(12.7)	4.8	残存率3/4 口縁1/2	外面回転ナデ、天井部回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 天井部内面に墨痕有り。	長石	外面2.5Y4/2暗灰黄 内面2.5Y4/2暗灰黄	Ⅵ
1202	土師器 杯 墨書	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	15.9	3.8	底径11.4 残存率3/4	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 底部外面に墨書「是小□」。	石英・雲母	外面7.5YR4/3褐 内面7.5YR6/3にぶい褐	Ⅵ
1203	土師器 甕 刻書	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(12.0)	(11.3)	最大径13.2 残存率 口 縁～体 部 にかけ2/5 程度	口縁部・頸部外面回転ナデ、体部外面ユビオサエのちナデ。 口縁部内面回転ナデ、頸部内面・体部内面上部に板ナデ（横方向）のちユビオサエ。体部内面下部に板ナデ（斜め方向）のちユビオサエ。 頸部内面と断面に接合痕。頸部外面に未完通の穴有り。体部外面刻書スイジカイ＋勾玉文様。	石英・結晶片岩	外面10YR4/2灰黄褐 内面10YR5/2灰黄褐	Ⅵ
1217	土師器 高杯	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－12		残存高 (8.0)	底径15.2 残存率不明	脚部外面ヘラケズリ、底部外面回転ナデのちヘラミガキ（暗文）。 杯部底部内面ヘラミガキ（暗文）。脚部内面ヘラケズリ・回転ナデ。	石英・雲母	外面7.5YR6/4にぶい橙 内面7.5YR6/6橙	Ⅷ
1218	土師器 皿	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－10	(14.4)	2.7	底径(12.0) 残存率1/2	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデのちナデ。 内面回転ナデ。 底部外面に黒斑有り。	石英・雲母・ 結晶片岩	外面7.5YR5/3にぶい褐 内面7.5YR5/4にぶい褐	Ⅷ
1219	弥生土器 壺	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	(18.4)	残存高 (6.0)	残存率1/4	口縁部外面回転ナデ。 口縁部内面回転ナデ。	石英・長石・ 雲母・赤色斑粒	外面2.5Y6/3にぶい黄 内面2.5Y6/2灰黄	Ⅷ
1235	土師器 杯 墨書	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10		(1.5)	底径(6.0) 残存率1/3	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。底部内面ユビナデのちナデ。 底部外面に墨書。	石英・雲母	外面５YR6/4にぶい橙 内面５YR6/4にぶい橙	
1236	土師器 皿	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	11.1	1.5	底径8.3 残存率2/3	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。	石英・長石・ 雲母・赤色斑粒	外面7.5YR7/4にぶい橙 内面7.5YR7/4にぶい橙	
1237	土師器 皿	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－12	9.0	1.5	底径7.1 残存率4/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	雲母・赤色斑粒	外面2.5YR6/6橙 内面10YR6/2灰黄褐	
1242	須恵器 杯 刻書	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－8	長さ (3.8)	厚さ (1.3)	幅(4.8)	外面ナデ。 内面回転ナデ。底部外面にヘラ記号か。	石英・長石・ 雲母	外面５Y7/1灰白 内面５Y7/1灰白	Ⅱ
1243	土師器 杯	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－9	14.1	3.6	底径8.2 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 工具痕有り。	石英・雲母・ 結晶片岩	外面10YR5/2灰黄褐 内面10YR5/2灰黄褐	Ⅱ
1244	土師器 杯	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－8	13.1	3.5	底径7.8 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	雲母・赤色斑粒	外面10YR7/2にぶい黄橙 内面10YR7/2にぶい黄橙	Ⅱ
1245	土師器 皿	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	(10.1)	0.7	底径(9.4) 残存率1/2	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。底部に内面からの穿孔有り。	雲母・赤色斑粒	外面10YR7/2にぶい黄橙 内面10YR7/2にぶい黄橙	Ⅱ
1485	土師器 杯	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	14.1	4.5	底径8.6 残存率3/4	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。 口縁部の一部にスス付着。	石英・雲母・ 結晶片岩・赤色斑粒	外面10YR6/3にぶい黄橙 内面10YR7/3にぶい黄橙	Ⅲ
1486	土師器 杯	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	13.0	3.5	底径7.6 残存率1/2	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。	石英・雲母・ 結晶片岩・赤色斑粒	外面7.5YR6/4にぶい橙 内面7.5YR6/4にぶい橙	Ⅲ
1487	土師器 杯	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－7	13.4	3.5	底径8.0 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・ 赤色斑粒	外面10YR6/3にぶい黄橙 内面10YR6/4にぶい黄橙	Ⅲ
1488	黒色土器 杯 刻書	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－7	13.0	3.7	底径8.4 残存率9/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ、底部内面回転ナデのちユビオサエ。 底部外面にヘラ記号有り。底部内面にスス付着。底部外面に板目圧痕有り。黒色土器B類。	雲母・結晶片岩	外面５Y2/1黒 内面５Y2/1黒	Ⅲ
1489	土師器 杯	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	13.9	3.7	底径10.5 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・ 結晶片岩・赤色斑粒	外面2.5YR7/2灰黄 内面10YR7/2にぶい黄橙	Ⅲ
1490	土師器 杯	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－9	12.9	3.7	底径7.4 残存率3/4	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデのちユビオサエ。 内面回転ナデ。 内外面に黒斑有り。内外面全体に赤色塗彩。 外面にスス付着。内面に付着物有り。	石英・雲母	外面10YR7/3にぶい黄橙 内面10YR7/3にぶい黄橙	Ⅲ
1491	土師器 杯	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	12.2	3.4	底径8.3 残存率9/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 底部外面に板目圧痕有り。	石英・雲母・ 結晶片岩	外面5YR5/6明赤褐 内面5YR6/4にぶい橙	Ⅲ
1492	土師器 杯	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	13.1	3.6	底径8.0 残存率4/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。	石英・雲母	外面2.5Y6/2灰黄 内面10YR7/3にぶい黄橙	Ⅲ
1493	土師器 杯	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	13.0	3.6	底径8.2 残存率3/4	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・ 赤色斑粒	外面10YR7/3にぶい黄橙 内面10YR7/3にぶい黄橙	Ⅲ

掲載番号	分類 器種	出土遺構	調査区	出土地点 (大グリッド) (中グリッド) (小グリッド)	法量 (口径)	法量 (器高)	その他法量	調整技法　特徴	含有物	色調	大別 層位
1494	土師器 杯	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	13.5	4.3	底径7.0 残存率9/10	外面回転ナデ、体部外面下部ヘラケズリのちナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ、底部内面回転ナデのちナデ。 内外面顔料塗布。板目圧痕有り。	石英・長石・雲母・赤色斑粒	外面10YR6/4にぶい黄橙 内面10YR6/3にぶい黄橙	Ⅲ
1495	土師器 杯	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－7	12.7	3.5	底径7.7 残存率9/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。	石英・雲母・赤色斑粒	外面5YR7/4にぶい橙 内面5YR7/4にぶい橙	Ⅲ
1496	土師器 杯	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	11.6	3.0	底径8.0 残存率4/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・赤色斑粒・黒色斑粒	外面7.5YR7/4にぶい橙 内面7.5YR7/3にぶい橙	Ⅲ
1497	土師器 杯	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	12.3	3.5	底径8.3 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 楕円形に歪み有り。口径12.3～13.2cm。底部外面に板目圧痕有り。	雲母	外面10YR7/4にぶい黄橙 内面7.5YR7/4にぶい橙	Ⅲ
1498	土師器 杯	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	11.8	3.2	底径7.4 残存率3/4	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・結晶片岩	外面7.5YR6/4にぶい橙 内面7.5YR6/4にぶい橙	Ⅲ
1499	土師器 杯	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	11.8	2.5	底径7.8 残存率3/4	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。	石英・雲母・赤色斑粒	外面7.5YR7/6橙 内面7.5YR6/4にぶい橙	Ⅲ
1500	土師器 椀	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－9	23.0	7.0	底径9.4 残存率4/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ、底部内面回転ナデのちナデ。 底部外面に板目圧痕有り。外面にスス付着。	石英・長石・雲母	外面10YR4/2灰黄褐 内面2.5Y4/1黄灰	Ⅲ
1501	土師器 椀	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－9	(16.7)	6.0	底径9.2 残存率1/2	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 高台付杯。貼付高台。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面7.5YR6/2灰褐 内面7.5YR7/4にぶい橙	Ⅲ
1502	土師器 椀	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	15.7	5.3	底径8.5 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 貼付高台。	石英・雲母	外面2.5Y7/2灰黄 内面2.5Y7/3浅黄橙	Ⅲ
1503	土師器 椀	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	13.3	5.0	底径7.0 残存率7/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ、工具痕有り。 貼付高台。	石英・赤色斑粒	外面5YR5/4にぶい赤褐 内面5YR5/4にぶい赤褐	Ⅲ
1504	土師器 椀	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－7	(14.4)	4.9	底径(8.6) 残存率2/3	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。底部内面回転ナデのちユビオサエ。 高台付杯。	石英・雲母・赤色斑粒	外面10YR7/3にぶい黄橙 内面10YR7/3にぶい黄橙	Ⅲ
1505	土師器 杯	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	13.5	5.1	底径9.2 残存率9/10	外面回転ナデ、底部外面ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 内外面ともにスス付着。高台接合痕有り。	石英・雲母・赤色斑粒	外面10YR7/3にぶい黄橙 内面2.5YR6/2灰黄	Ⅲ
1506	土師器 Ⅲ	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－6	13.3	1.6	底径8.9 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。内面にスス付着。	石英・雲母・赤色斑粒	外面2.5Y8/2灰白 内面2.5Y8/2灰白	Ⅲ
1507	土師器 Ⅲ	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－9	10.7	1.6	底径8.4 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ、底部内面回転ナデのちユビナデ。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面7.5YR6/3にぶい褐 内面7.5YR6/3にぶい褐	Ⅲ
1508	土師器 Ⅲ	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	13.0	1.7	底径8.0 残存率 口縁1/4	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。内外面にスス付着。	石英・雲母・赤色斑粒	外面7.5YR6/3にぶい褐 内面7.5YR6/3にぶい褐	Ⅲ
1509	土師器 Ⅲ	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	10.9	1.1	底径8.3 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。	石英・雲母・赤色斑粒	外面7.5YR6/4にぶい橙 内面7.5YR6/3にぶい褐	Ⅲ
1510	土師器 Ⅲ	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	11.3	1.6	底径9.3 残存率5/6	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・赤色斑粒	外面5YR6/4にぶい橙 内面5YR6/4にぶい橙	Ⅲ
1511	土師器 Ⅲ	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	(9.9)	2.3	底径7.2 残存率3/4	外面回転ナデ、底部外面ヘラ切りのちナデ。 内面ナデ。台付Ⅲ。接合痕有り。底部に焼成後内面から穿孔（孔径6mm）有り。	石英・雲母・赤色斑粒	外面7.5YR6/6橙 内面5YR6/6橙	Ⅲ
1512	土師器 椀	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	13.4	5.1	底径8.4 残存率2/3	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。内外面に赤色塗彩。	石英・雲母	外面5YR4/4にぶい赤褐 内面5YR6/4にぶい橙	Ⅲ
1513	土師器 椀	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	15.5	5.2	底径10.2 残存率 口縁4/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 貼付高台。	石英・雲母・赤色斑粒	外面10YR7/3にぶい黄橙 内面10YR6/3にぶい黄橙	Ⅲ
1514	土師器 椀	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	14.7	5.0	底径7.7 残存率3/4	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。高台部外面ナデ。 内面回転ナデ。 高台付椀。内外面の大部分にスス付着。	石英・雲母・結晶片岩	外面10YR4/1褐灰 内面7.5YR5/3にぶい褐	Ⅲ
1515	土師器 椀	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－7	14.7	4.5	底径7.6 残存率4/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 貼付高台。	石英・雲母	外面7.5YR6/4にぶい橙 内面7.5YR6/4にぶい橙	Ⅲ
1516	土師器 竈	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－7	長さ (13.2)	幅 (9.6)	厚さ7.5	外面板ナデ・ナデ。 内面板ナデ・ナデ・ユビナデ。 内外面にスス付着。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面5YR5/4にぶい赤褐 内面10YR5/2灰黄褐	Ⅲ
1517	土製品 土錘	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－8	長さ (4.4)	幅 (1.6)	厚さ(1.2)	外面ナデ。9.6g。棒状土錘。上部に穿孔。孔径3mm。	石英・雲母・結晶片岩	外面2.5Y7/2灰黄	Ⅲ

掲載番号	分類器種	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量(口径)	法量(器高)	その他法量	調整技法　特徴	含有物	色調	大別層位
1518	土師器 甕	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－7	28.0	(15.5)	残存率 口縁3/4	口縁部外面回転ナデ、体部外面ハケ目（10条/1.7cm）。 内面ヘラケズリのちナデ。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面2.5Y6/2灰黄 内面10YR7/2にぶい黄橙	Ⅲ
1520	緑釉 椀 墨書	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9		(1.3)	底径6.2 残存率	底部外面回転ナデ。 底部内面ミガキ（幅3mm）。 内外側から打ち欠く。削り出し高台か。底部外面に墨書有り。内外面に施釉。	長石	外面10YR5/1褐灰 内面5G4/1暗緑	Ⅲ
1521	土師器 杯 墨書	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	12.2	3.4	底径8.1 残存率9/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 底部・体部外面に墨書有り。底部外面中央に「恵師殿」。脇に「盞」と獣の顔か。体部外面に一文字「斗」。	石英・雲母・結晶片岩	外面7.5YR6/4にぶい橙 内面7.5YR6/4にぶい橙	Ⅲ
1522	土師器 杯 墨書	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	12.8	4.5	底径9.5 残存率3/4	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 底部外面「鳥凡□片垙」。体部外面横向きに縦書き「送」7回、並べて「奉攸」「送送□」「遣鳥鳥貝□」の墨書。外面に黒斑有り。板目圧痕有り。	石英・雲母・結晶片岩	外面5YR6/6橙 内面7.5YR6/4にぶい橙	Ⅲ
1523	土師器 杯 墨書	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	(12.7)	3.3	底径8.0 残存率1/2	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 内外面に赤色塗彩。底部外面に墨書。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面10YR7/2にぶい黄橙 内面10YR7/2にぶい黄橙	Ⅲ
1524	土師器 杯 墨書	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	(13.4)	2.8	底径(9.6) 残存率1/5	外面回転ナデ。 内面回転ナデ。 内外面に墨書。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面10YR8/2灰白 内面10YR7/2にぶい黄橙	Ⅲ
1525	土師器 杯 墨書	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	(13.0)	(2.3)	口縁 一部残存	外面回転ナデ。 内面回転ナデ。 内外面に墨書で文様を描いたものか。	石英・雲母・赤色斑粒	外面7.5YR7/4にぶい橙 内面10YR8/2灰白	Ⅲ
1526	土師器 不明 墨書	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8		(1.0)	底径(8.6) 残存率 底部1/7	底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面ナデ。 内外面に墨書。	石英・結晶片岩	外面2.5Y6/1黄灰 内面2.5Y6/1黄灰	Ⅲ
1527	土師器 不明 墨書	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－9	長さ (4.7)	厚さ (0.5)	幅(4.5)	外面回転ナデ、底部外面ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。底部内面回転ナデのちユビナデ。 底部外面に墨書。	石英・雲母	外面2.5Y6/1黄灰 内面2.5Y6/1黄灰	Ⅲ
1528	土師器 甕 墨書	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8		(5.1)		外面ハケ目（3条/cm）。 内面ハケ目（3条/cm）。内外面同じ工具。 外面に墨書、顔か。	石英・結晶片岩・赤色斑粒	外面2.5Y6/2灰黄 内面2.5Y6/1黄灰 （7.5Y6/4にぶい橙）	Ⅲ
1569	須恵器 杯	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	(12.0)	4.2	底径8.2 残存率 口縁1/4	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 貼付高台。	石英・雲母・黒色斑粒	外面7.5Y5/1灰 内面7.5Y6/2灰オリーブ	Ⅳ
1570	須恵器 高杯	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7		(7.7)	底径(11.2) 残存率 脚部1/2	脚部外面ナデ、底部外面回転ナデ。 内面上部しぼり痕、底部内面回転ナデのちナデ。外面にスス付着。	石英・雲母・黒色斑粒	外面N4/0灰 内面N6/0灰	Ⅳ
1571	土師器 杯	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－9	12.6	3.3	底径7.4 残存率1/1	外面回転ナデ（沈線有り）、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・赤色斑粒	外面7.5YR7/3にぶい橙 内面7.5YR6/3にぶい褐	Ⅳ
1572	土師器 杯	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	13.0	3.4	底径7.9 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。 口縁の一部と内面にスス付着。灯明皿か。内外面に赤色塗彩。	雲母・結晶片岩	外面5YR3/2明赤褐 内面7.5YR4/3褐	Ⅳ
1573	土師器 杯	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	12.4	3.1	底径6.8 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母	外面10YR7/2にぶい黄橙 内面10YR8/3浅黄橙	Ⅳ
1574	土師器 杯	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	13.4	3.1	底径9.3 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。内外面に赤色塗彩。外面にスス付着。	石英・雲母	外面7.5YR4/3褐 内面5YR5/6明赤褐	Ⅳ
1575	土師器 杯	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－7	12.5	3.5	底径8.6 残存率9/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	雲母・赤色斑粒	外面10YR6/4にぶい黄橙 内面10YR6/2灰黄褐	Ⅳ
1576	土師器 杯	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－8	(12.0)	3.6	底径(9.4) 残存率1/2	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 内外面に赤色塗彩。貼付高台。	石英・雲母	外面10YR7/3にぶい黄橙 内面10YR7/3にぶい黄橙	Ⅳ
1577	土師器 杯	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－6	12.5	3.5	底径7.8 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。内外面に赤色塗彩。	石英・雲母・黒色斑粒	外面7.5YR6/3にぶい褐 内面10YR6/2灰黄褐	Ⅳ
1578	土師器 高杯	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8		(7.2)	底径(10.0) 残存率 脚底部1/5	脚部外面回転ナデ。杯部底部内面回転ナデ。 内面回転ナデ。 高杯脚部。内外面に赤色塗彩。	石英・雲母	外面2.5YR5/6明赤褐 内面2.5YR6/8橙	Ⅳ
1579	土師器 皿	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	13.0	1.8	底径9.8 残存率3/4	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面7.5YR6/4にぶい橙 内面7.5YR6/4にぶい橙	Ⅳ
1580	土師器 甕	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	(43.5)	(18.2)	残存率2/5	口縁部外面回転ナデ、体部外面ハケ目（10本/3.5cm）。 口縁部・頸部内面板ナデ、体部内面ユビオサエのちユビナデ・ナデ。 内面ユビナデ左上がり。外面にスス付着。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面2.5Y5/3黄褐 内面2.5Y5/3黄褐	Ⅳ

掲載番号	分類 器種	出土遺構	調査区	出土地点 (大グリッド) (中グリッド) (小グリッド)	法量 (口径)	法量 (器高)	その他法量	調整技法　特徴	含有物	色調	大別 層位
1581	黒色土器 椀	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－7	13.5	4.8	底径7.1 残存率4/5	外面回転ヘラケズリのちナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。高台部回転ナデ。 内面ヘラミガキ（幅4mm以上）。 貼付高台。黒色土器A類。	石英・結晶片岩	外面10YR6/2灰黄褐 内面5Y2/1黒	Ⅳ
1582	土師器 杯 刻書	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	(14.0)	4.8	底径(7.5) 残存率1/4	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。 体部内面に刻書。	石英・雲母・赤色斑粒	外面10YR7/3にぶい黄橙 内面10YR7/2にぶい黄橙	Ⅳ
1583	土師器 杯 墨書	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	長さ (4.0)	厚さ (0.5)	幅(3.4)	内面ヘラミガキ。内面に赤色塗彩。 墨書「上□」。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面5YR6/3にぶい橙 内面5YR6/4にぶい橙	Ⅳ
1584	土師器 把手	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	残存長 (5.6)	残存幅 (6.4)	把手部のみ 1/1残存	外面ユビオサエ。 内面ナデ。 甕の把手部のみ残存。空胴。外面片側のみスス付着。	雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面10YR7/4にぶい黄橙 内面10YR7/4にぶい黄橙	Ⅳ
1850	須恵器 杯	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	12.6	4.2	底径8.8 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。 自然釉。貼付高台。	石英・雲母・黒色斑粒	外面5Y5/1灰 内面7.5Y5/1灰	Ⅴ
1851	須恵器 杯	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	(13.5)	3.9	底径(9.4) 残存率1/2	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・長石・雲母	外面2.5Y6/1黄灰 内面2.5Y4/1黄灰	Ⅴ
1852	須恵器 壺	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6		残存高 (12.4)	底径7.0 残存率 体部1/1	体部外面上部に回転ナデ（自然釉）、下部に回転ナデのちヘラケズリ・ナデ。底部外面回転ヘラ切りのちナデ。高台部外面回転ナデ（自然釉）。 内面回転ナデ（自然釉）。 高台付壺。自然釉。体部外面下部に沈線が残存か。貼付高台。	石英・雲母・結晶片岩	外面2.5Y4/1黄灰 内面2.5Y4/1黄灰	Ⅴ
1853	土師器 杯	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	13.4	3.5	底径11.0 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデのちヘラミガキ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・赤色斑粒	外面7.5YR5/6明褐 内面7.5YR4/3褐	Ⅴ
1854	土師器 杯	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－9	(13.5)	3.2	底径8.2 残存率2/3	外面回転ナデ、底部静止ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 底部外面に黒斑有り。	石英・雲母・結晶片岩	外面2.5Y7/3浅黄 内面2.5Y7/3浅黄	Ⅴ
1855	土師器 杯	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－8	15.7	4.0	底径10.2 残存率8/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 貼り付け高台。	長石・雲母・赤色斑粒	外面2.5YR6/6橙 内面2.5YR6/6橙	Ⅴ
1856	土師器 杯	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	16.3	4.2	底径10.7 残存率9/10	口縁部・体部外面上部に回転ナデ・体部外面下部にヘラケズリ、底部外面回転ヘラ切り、高台部外面回転ナデ。 内面回転ナデ。高台付杯。貼付高台。	長石・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面5YR5/6明赤褐 内面5YR6/6橙	Ⅴ
1857	土師器 杯	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6		(3.5)	底径(6.0) 残存率1/4	外面回転ナデのちミガキ（幅3mm）、底部外面ミガキ（幅3mm）。 内面回転ナデのちヘラミガキ（暗文）、底部ナデのちミガキ（幅3mm）のちヘラミガキ（暗文）。 底部外面に板目圧痕有り。	石英・長石・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面5YR6/4にぶい橙 内面5YR6/4にぶい橙	Ⅴ
1858	土師器 杯	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	(16.0)	3.1	底径(13.4) 残存率 口縁1/7	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちヘラケズリ。 内面回転ナデ。	雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面5YR6/6橙 内面5YR5/6明赤褐	Ⅴ
1859	土師器 甕	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	(27.4)	残存高 (9.6)	残存率 口縁1/2	口縁部外面回転ナデ、頸部・体部外面タテハケ目（5条/cm）のち回転ナデ。 内面ヨコハケ目（5条/cm）のち回転ナデ。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面5Y6/2灰オリーブ 内面5Y6/2灰オリーブ	Ⅴ
1860	土師器 杯 墨書	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	18.3	2.9	底径15.2 残存率8/9	口縁部外面回転ナデ（沈線1条）。体部外面板ナデのちナデ、底部外面ヘラケズリ（幅1.4cm）のちユビナデ。 内面回転ナデのちナデ（沈線1条）。底部内面ユビナデのちナデ。 底部外面に墨書「方」。内外面に赤色塗彩。 底部外面にスス付着。	石英・雲母	外面7.5YR8/4浅黄橙 内面7.5YR8/4浅黄橙	Ⅴ
1861	土師器 杯 墨書	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－7	12.5	3.3	底径8.7 残存率5/6	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。 底部内面に墨線（縦2本横3本）。九字を略したものか。	雲母	外面2.5YR5/6明赤褐 内面10YR6/2灰黄褐	Ⅴ
1870	須恵器 壺	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－9	8.4	8.7	底径7.6 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラケズリのちヘラケズリ。 内面回転ナデ、底部内面ナデ。 自然釉。	石英・雲母・赤色斑粒・黒色斑粒	外面N7/0灰 内面N7/0灰	
1871	土師器 蓋	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－6	17.3	2.5	残存率9/10	外面回転ナデ。 内面回転ナデのちヘラミガキ（暗文有り）。 内面中央付近回転ナデのちナデ。 外面スス付着。	石英・長石・雲母・赤色斑粒	外面5YR5/4にぶい赤褐 内面5YR6/4にぶい橙	
1895	須恵器 杯	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ T－2	(13.2)	4.3	残存率4/5	口縁部・体部外面上部回転ナデ。体部外面下部・底部外面回転ヘラケズリ。 内面回転ナデ。	石英	外面10Y7/1灰白 内面N7/0灰白	Ⅱ
1896	須恵器 高杯	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－3	14.3	残存高 (9.5)	底径残存 (6.7) 残存率杯部 1/2	外面回転ナデ。底部外面回転ナデ。 内面回転ナデ。 しぼり痕有り。	石英・赤色斑粒	外面N7/0灰白 内面N7/0灰白	Ⅱ

掲載番号	分類 器種	出土遺構	調査区	出土地点 (大グリッド) (中グリッド) (小グリッド)	法量 (口径)	法量 (器高)	その他法量	調整技法　特徴	含有物	色調	大別 層位
1897	土師器 椀	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ C－20	14.2	5.2	底径8.4 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 杯部内面の一部にスス付着。灯明皿か。内外面に赤色塗彩。	石英・結晶片岩	外面2.5YR6/6橙 内面2.5YR5/6明赤褐	Ⅱ
1898	土師器 杯	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－3	12.6	3.8	底径8.2 残存率4/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 内外面に赤色塗彩。	石英・長石・雲母	外面2.5YR5/6明赤褐 内面10R5/6赤	Ⅱ
1899	土師器 杯	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－1	(12.0)	3.2	底径(8.7) 残存率1/2	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。内外面に赤色塗彩。	雲母・赤色斑粒	外面５YR6/6橙 内面7.5YR7/3にぶい橙	Ⅱ
1900	土師器 椀 墨書	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－5	(13.8)	(3.4)	底径不明 残存率1/8	外面回転ナデ。 内面回転ナデ。 内外面に墨線有り。	石英・雲母・赤色斑粒	外面10YR6/2灰黄褐 内面2.5Y6/2灰黄	Ⅱ
1901	土師器 蓋	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－2	(17.2)	1.6	残存率2/5 口縁1/4	外面回転ナデ。 内面回転ナデのちヘラミガキ。暗文有り。内外面に赤色塗彩。	石英・雲母・赤色斑粒	外面５YR6/6橙 内面５YR6/6橙	Ⅱ
1902	須恵器 こね鉢	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－2	(27.0)	残存高 (14.6)	底径(15.0) 残存率3/5	外面回転ナデ。底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。片口部ユビオサエ。	石英・結晶片岩	外面５Y6/1灰 内面５Y7/1灰白	Ⅱ
1934	土師器 杯	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－3	15.0	4.7	底径9.6 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面５YR7/4にぶい橙 内面7.5YR7/3にぶい橙	Ⅲ
1935	土師器 杯	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－4	13.0	3.6	底径8.4 残存率7/8	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。内面にスス付着。	石英・雲母・結晶片岩	外面10YR7/1灰白 内面10YR7/1灰白	Ⅲ
1936	土師器 杯	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－1	12.4	3.7	底径7.6 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面2.5Y6/2灰黄 内面2.5Y6/2灰黄	Ⅲ
1937	土師器 杯	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－3	12.8	2.9	底径7.3 残存率7/8	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。	雲母・結晶片岩	外面10YR7/2にぶい黄橙 内面10YR7/2にぶい黄橙	Ⅲ
1938	土師器 杯	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－2	11.8	3.2	底径4.7 残存率1/1	外面回転ナデ。底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。底部外面中央部へコミ有り。	雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面10YR6/2灰黄褐 内面7.5YR6/1褐灰	Ⅲ
1939	土師器 杯	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－1	11.4	3.1	底径9.2 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。	石英・雲母	外面５YR7/3にぶい橙 内面５YR8/4淡橙	Ⅲ
1940	土師器 皿	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－4	14.5	2.0	底径9.2 残存率3/4	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面7.5YR8/3浅黄橙 内面7.5YR8/3浅黄橙	Ⅲ
1941	土師器 杯	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－2	11.8	3.8	底径8.6 残存率7/8	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面2.5Y6/1黄灰 内面2.5Y6/1黄灰	Ⅲ
1942	土師器 皿	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	13.2	2.1	底径8.9 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。口縁部２ヶ所にスス付着。灯明皿。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面５YR6/6橙 内面５YR6/6橙	Ⅲ
1943	土師器 杯	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－2	11.7	2.8	底径8.2 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。 内側の一部にスス付着。灯明皿。	雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面7.5YR8/2灰白 内面7.5YR6/4にぶい橙	Ⅲ
1944	土師器 椀	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－3	(15.0)	5.4	底径8.0 残存率3/4	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面ミガキ（幅５mm）。 黒色土器Ａ類。	雲母	外面10YR6/2灰黄褐 内面 N1.5/0黒	Ⅲ
2138	土師器 杯	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－4	13.1	3.7	底径8.9 残存率3/4	外面回転ナデ。底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ、底部内面ナデ。内外面にスス付着。	石英・雲母・赤色斑粒	外面10YR7/3にぶい黄橙 内面10YR7/2にぶい黄橙	Ⅳ
2139	土師器 杯	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－1	12.9	3.9	底径8.0 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。 内外面に付着物有り。	雲母・結晶片岩	外面7.5YR5/3にぶい褐 内面7.5YR5/3にぶい褐	Ⅳ
2140	土師器 杯	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ C－20	12.8	3.3	底径7.7 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。	石英・雲母	外面2.5YR8/2灰白 内面10YR7/1灰白	Ⅳ
2141	土師器 杯	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－4	12.5	4.0	底径6.5 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	雲母・結晶片岩	外面５YR6/6橙 内面５YR6/6橙	Ⅳ
2142	土師器 杯	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ D－20	12.4	3.5	底径8.0 残存率9/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 内外面に赤色塗彩。内面全体、外面は口縁から底部の3/4に。	雲母	外面７Y7/3にぶい褐 内面2.5Y5/6明赤褐	Ⅳ
2143	土師器 杯	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ C－20	13.0	3.7	底径8.4 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 底部外面に板目圧痕有り。	石英・長石・雲母・結晶片岩	外面10YR8/3浅黄橙 内面10YR8/2灰白	Ⅳ
2144	土師器 杯	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ C－20	12.4	3.6	底径7.5 残存率3/4	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・結晶片岩	外面10YR7/2にぶい黄橙 内面10YR7/2にぶい黄橙	Ⅳ
2145	土師器 杯	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－5	13.2	3.8	底径7.0 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。	結晶片岩	外面10YR6/2灰黄褐 内面2.5Y6/2灰黄	Ⅳ

掲載番号	分類 器種	出土遺構	調査区	出土地点 (大グリッド) (中グリッド) (小グリッド)	法量 (口径)	法量 (器高)	その他法量	調整技法　特徴	含有物	色調	大別 層位
2146	土師器 杯	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－3	12.3	3.5	底径7.0 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。口縁部にスス付着。	石英・雲母	外面7.5YR7/4にぶい橙 内面5 YR7/4にぶい橙	Ⅳ
2147	土師器 杯	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ C－20	12.9	3.6	底径8.0 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。内外面にスス付着。	石英・雲母・ 結晶片岩	外面2.5Y7/2灰黄 内面10YR7/2にぶい黄橙	Ⅳ
2148	土師器 杯	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－4	12.8	3.3	底径8.5 残存率4/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 底部外面に板目圧痕有り。口縁部にスス付着。	石英・雲母	外面7.5YR7/2明褐灰 内面7.5YR7/3にぶい橙	Ⅳ
2149	土師器 杯	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1	13.3	3.4	底径7.1 残存率7/8	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 内外面に赤色塗彩。底部内面に付着物有り。漆か。	雲母	外面7.5YR7/4にぶい橙 内面2.5YR6/8橙	Ⅳ
2150	土師器 杯	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－3	11.3	3.3	底径6.3 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。 底部外面に板目圧痕有り。	石英・雲母・ 結晶片岩	外面10YR7/1灰白 内面10YR7/2にぶい黄橙	Ⅳ
2151	土師器 杯	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－1	11.4	3.2	底径6.2 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。内外面にスス付着。	雲母・赤色斑粒	外面10YR8/3浅黄橙 内面10YR8/3浅黄橙	Ⅳ
2152	土師器 椀	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－4	13.8	5.2	底径7.7 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 内外面にスス付着、灯明皿に転用か。	石英・長石・ 雲母・結晶片 岩・赤色斑粒	外面7.5YR7/3にぶい橙 内面7.5YR7/3にぶい橙	Ⅳ
2153	土師器 杯 墨書	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－4	(12.4)	4.2	底径(8.0) 残存率7/8	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 外底部外面に墨書「上」。底部外面に板目圧痕有り。	石英・雲母・ 結晶片岩	外面10YR7/2にぶい黄橙 内面10YR6/2灰黄褐	Ⅳ
2154	土師器 皿 墨書	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ F－20	12.8	1.7	底径6.8 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。底部外面に墨書「ナ」。底部外面にスス付着。	石英・雲母・ 赤色斑粒	外面5 YR7/6橙 内面10YR7/3にぶい黄橙	Ⅳ
2155	土師器 椀 墨書	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ D－20	(10.7)	(2.3)	底径8.1 残存率1/3	外面回転ナデ、底部外面ナデ。 内面ナデ。 底部外面に墨書「本」。底部高台のみ残存。 内外面に赤色塗彩。貼付高台。	石英・雲母・ 結晶片岩	外面10YR7/2にぶい黄橙 内面10YR6/1褐灰	Ⅳ
2156	土師器 杯 墨書	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－2	不明	(0.9)	底径(8.0) 残存率 不明	底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 底部外面に墨書「中」。	石英・雲母・ 結晶片岩	外面2.5Y7/2灰黄 内面2.5Y7/2灰黄	Ⅳ
2157	土師器 皿	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ C－20	16.0	3.0	底径9.7 残存率9/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 高台付皿。貼付高台。接合痕有り。	石英・雲母・ 赤色斑粒	外面7.5YR6/4にぶい橙 内面5 YR6/6橙	Ⅳ
2158	土師器 皿	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－2	13.0	1.5	底径9.5 残存率1/2	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。 底部外面に板目圧痕有り。内面にスス付着。 灯明皿か。	石英	外面10YR8/1灰白 内面10YR8/2灰白	Ⅳ
2159	土師器 甕	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－4	12.8	11.1	最大径13.4 残存率9/10	口縁部・頸部外面回転ナデ。体部外面ユビオサエ・ハケ目。底部外面ハケ目（9条/cm）。 口縁部内面回転ナデ。頸部・体部・底部内面ハケ目（8条/cm）。 外面全体にススを吸着。黒色土器か。	石英・雲母・ 赤色斑粒	外面7.5YR6/6橙 内面10YR6/4にぶい黄橙	Ⅳ
2160	土師器 甕	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－3	31.4	(28.7)	最大径28.4 残存率3/4	口縁部・頸部外面回転ナデ。体部外面上部回転ナデのちハケ目（5本/cm）。体部外面下部回転ナデのちハケ目（5本/cm）のちミガキ？（単位幅35mm）。底部外面ハケ目（5本/cm）。 口縁部・頸部内面回転ナデ。体部内面上部回転ナデのち板ナデ（幅不明）。体部内面下部ユビオサエのち板ナデ（幅不明）。 口縁部内面に窯印痕有り。外面全面に炭化物付着。	石英・雲母・ 結晶片岩	外面10YR3/2黒褐 内面10YR6/2灰黄褐	Ⅳ
2161	土製品 土錘	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－5	長さ 6.2	幅1.2	厚さ1.1 残存率1/1	外面ナデ。6.0g。孔径3 mm。	雲母・赤色斑粒	2.5Y7/1灰白	Ⅳ
2162	土製品 土錘	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－2	長さ 5.4	幅2.2	厚さ2.1 残存率1/1	外面ナデ。21.5g。孔径4～5 mm。	雲母・赤色斑粒	5 Y5/1灰	Ⅳ
2163	土製品 土錘	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－5	長さ 4.1	幅2.3	厚さ2.1 残存率1/1	外面ナデ。16.1g。孔径5.5mm。	石英・雲母	10YR6/2灰黄褐	Ⅳ
2164	土製品 土錘	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－1	長さ 5.0	幅1.2	厚さ1.2 残存率1/1	外面ナデ。6.0g。孔径2 mm。上側端部に縄ずれ跡有り。	石英・雲母・ 結晶片岩	5 Y5/1灰	Ⅳ
2165	土製品 土錘	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ E－2	長さ 3.9	幅0.9	厚さ0.9 残存率1/1	外面ナデ。3.5g。孔径4 mm。	石英・長石・ 雲母・結晶片 岩	10YR5/1褐灰	Ⅳ
2166	土製品 土錘	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－2	長さ 3.2	幅1.0	厚さ1.1 残存率1/1	外面ナデ。4.1g。孔径3 mm。	雲母	2.5Y7/1灰白	Ⅳ
2318	須恵器 杯	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－2	(11.8)	6.1	底径7.8 残存率2/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。底部内面回転ナデのちナデ。 自然釉。接合痕有。	黒色斑粒	外面N7/0灰白 内面2.5Y4/1黄灰	Ⅴ

掲載番号	分類器種	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量(口径)	法量(器高)	その他法量	調整技法　特徴	含有物	色調	大別層位
2319	須恵器杯	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－3	13.8	3.2	底径11.0 残存率5/6	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。内面回転ナデ。	石英・雲母・結晶片岩	外面2.5Y5/2暗灰黄 内面2.5Y5/2暗灰黄	V
2320	須恵器皿	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－4	(18.4)	2.4	底径(15.8) 残存率1/4	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。内面回転ナデ。底部外面に板目圧痕有り。	雲母・結晶片岩	外面 N8/0灰 内面 N8/0灰	V
2321	須恵器甕	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－ⅢⅣ D－20、C－2、B－5、6	(13.4)	残存高(52.0)	底径(17.6) 体部最大径(39.4) 残存率2/3	口縁部外面回転ナデ、体部外面回転ナデのちタタキのちナデ、底部外面回転ナデ。口縁部内面回転ナデ、体部内面青海波紋のちナデ、底部ユビナデ、ユビオサエ。	長石・雲母	外面 N6/0灰 内面 N6/0灰	V
2322	須恵器壺	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－5	不明	残存高(8.6)	底径6.2 最大径12.9 残存率体部底部のみ1/1	上部外面回転ナデ、体部外面下部ケズリのちナデ、底部外面ナデ。内面回転ナデ。	石英・雲母・結晶片岩	外面 N5/0灰 内面 N5/0灰	V
2323	土師器杯	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－4	12.8	3.7	底径8.2 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。内面回転ナデ。底部内面ナデ。	石英・雲母・結晶片岩	外面7.5YR7/3にぶい橙 内面10YR7/3にぶい黄橙	V
2324	土師器杯	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－1	13.1	3.3	底径8.9 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。内面回転ナデ。内外面に赤色塗彩。内面中央黒斑有り。	石英・長石・雲母	外面2.5YR6/6橙 内面2.5YR6/6橙	V
2325	土師器杯	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－1	12.4	3.7	底径7.9 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。内面回転ナデ。	雲母	外面7.5YR7/4にぶい橙 内面5YR7/3にぶい橙	V
2326	土師器杯	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－3	12.9	3.3	底径7.0 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。内面回転ナデ。内外面とも表面にスス付着。底部外面に板目圧痕有り。	石英・結晶片岩	外面10YR5/2灰黄褐 内面10YR5/3にぶい黄褐	V
2327	土師器杯	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－5	12.7	3.0	底径11.3 残存率7/8	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。内面回転ナデ。内外面に赤色塗彩。底部外面に線刻。	石英・雲母	外面5YR4/8赤褐 内面5YR4/8赤褐	V
2328	土師器杯	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－5	19.7	5.0	底径14.5 残存率4/5	口縁部外面回転ナデ。体部外面上部ケズリのちミガキ（幅5mm以上）。体部外面下部回転ナデ。底部外面静止ヘラ切りのちナデ。口縁部内面回転ナデ。内面回転ナデ、底部内面回転ナデのちミガキ（幅4.5mm以上）。内外面に赤色塗彩。口縁部内面にスス付着。接合痕有。		外面2.5YR4/3にぶい赤褐 内面2.5YR5/6明赤褐	V
2329	土師器杯	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－4	(19.6)	4.3	底径14.8 残存率1/2	外面回転ナデのちミガキ（幅2mm）。底部外面回転ヘラ切りのちナデのちミガキ（摩滅著しい幅2mm）。内面回転ナデのちミガキ（幅2mm）。	石英・雲母・結晶片岩	外面10YR4/2灰黄褐 内面5YR4/3にぶい赤褐	V
2330	土師器杯	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－5	13.0	2.9	底径8.6 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。内面回転ナデ。底部内面ナデ。内外面に赤色塗彩。内外面にスス付着。	石英・雲母・黒色斑粒	外面5YR6/6橙 内面2.5YR6/6橙	V
2331	土師器杯	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ D－20	13.2	3.7	底径6.8 残存率11/12	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。内面回転ナデ。	雲母・赤色斑粒	外面10YR7/2にぶい黄橙 内面10YR7/2にぶい黄橙	V
2332	土師器杯	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－5	12.8	3.4	底径8.2 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。内面回転ナデ。	長石・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面7.5YR7/4にぶい橙 内面5YR6/4にぶい橙	V
2333	土師器杯	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－1	13.4	2.9	底径9.4 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。内面回転ナデ。内外面に赤色塗彩。	雲母・結晶片岩	外面5YR7/3にぶい橙 内面2.5YR5/6明赤褐	V
2334	土師器杯	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－5	12.3	4.2	底径8.9 残存率4/5	外面回転ナデ、底部外面ナデ。内面回転ナデ。内外面に赤色塗彩。底部外面に板目圧痕有り。	石英・雲母・結晶片岩	外面2.5YR5/8明赤褐 内面2.5YR5/8明赤褐	V
2335	土師器杯	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－3	(11.9)	3.7	底径(9.4) 残存率1/2	口縁部外面回転ナデ、体部外面上部ケズリのちナデ。体部外面下部ナデ。底部外面回転ヘラ切りのちナデ。内面回転ナデ。内外面に赤色塗彩。外面に墨付着。	石英・雲母	外面5YR5/3にぶい赤褐（表面塗布2.5Y2/1黒） 内面5YR5/4にぶい赤褐	V
2336	土師器高杯	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ D－20		(7.1)	残存率 脚部3/4	杯部外面回転ナデ。内面ユビナデ。脚部外面回転ナデ。内面絞り痕のち回転ナデ。脚部のみ残存。	石英・雲母・赤色斑粒	外面10YR7/2にぶい黄橙 内面10YR7/4にぶい黄橙	V
2337	土師器皿	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－4	13.4	1.6	底径9.5 残存率4/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。内面回転ナデ。内外面に赤色塗彩。	石英・雲母	外面7.5YR4/3褐 内面7.5YR4/3褐	V
2338	土師器皿	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ D－20	12.6	2.3	底径9.8 残存率11/12	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。内面回転ナデ。内面にスス付着。	石英・雲母・結晶片岩	外面7.5YR7/4にぶい橙 内面7.5YR7/2明褐灰	V
2339	土師器鍋	SR3001	南区(04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－6	(29.8)	残存高(10.1)	残存率1/10	口縁部外面回転ナデ。体部外面板ナデ（摩滅のため幅不明）のち回転ナデ。口縁部内面回転ナデ。体部内面板ナデ（工具幅2.7cm）のち回転ナデ。内外面に赤色塗彩。口縁部4ヶ所孔有り（2対で2ヶ所）。	長石・雲母・結晶片岩	外面5YR6/4にぶい橙 内面5YR6/4にぶい橙	V

掲載番号	分類器種	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量(口径)	法量(器高)	その他法量	調整技法　特徴	含有物	色調	大別層位
2340	土師器 壺	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－4	(11.8)	残存高 (9.3)	把手含最大径(24.2) 残存率1/4	口縁部外面回転ナデ。頸部・体部外面上部ユビオサエのちミガキ（単位不明）。摩滅。体部外面下部板ナデ（単位不明）のちミガキ（単位不明）。 口縁部・頸部内面回転ナデ。体部内面ケズリ（単位不明）のちナデ。把手部分ユビオサエのちナデ。 把手付短頸壺。把手片側残存。接合痕有り。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面5YR5/4にぶい赤褐 内面5YR5/4にぶい赤褐	Ⅴ
2341	土師器 甕	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ C－20	(24.7)	(11.0)	残存率 口縁1/4	口縁部外面回転ナデ。頸部外面ユビオサエ。体部外面ハケ目（11本/1.7cm）。 口縁部内面ナデ、頸部内面ハケ目。体部内面ヘラケズリ（1.8cm）。外面にスス付着。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面10YR7/2にぶい黄橙 内面2.5Y7/1灰白	Ⅴ
2342	土師器 甑	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－4	(29.0)	残存高 (14.0)	最大径 (36.8) 残存率1/4	口縁部外面回転ナデ。頸部・体部外面上部ユビオサエのちハケ目（7条/cm）。把手部ユビオサエのちナデ。 口縁部内面ハケ目（6条/cm）。頸部・体部内面上部ユビオサエのちハケ目（6条/cm）。体部内面下部ユビオサエのちナデ。 把手付甕。把手片側残存。内面全体・口縁部外面・把手部にスス付着。接合痕有り。	石英・雲母・赤色斑粒	外面2.5Y7/3浅黄 内面2.5Y7/2灰黄	Ⅴ
2343	土製品 土錘	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－2	長さ 8.1	幅1.2	厚さ1.1 残存率1/1	外面ナデ、ユビオサエ。10g。 両端に孔（孔径4～5mm）2ヶ所有り。そのうち1ヶ所に穴をあけたときに出来たと思われる皺有り。棒状土錘。	長石・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	2.5Y6/1黄灰	Ⅴ
2344	須恵器 蓋 墨書	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－4	(15.0)	(2.1)	残存率1/2	外面回転ナデ。天井部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。天井部内面指ナデのちナデ。 外面上部に墨書「名方□」。外面上部摘み痕有り。	石英・黒色斑粒	外面5Y8/1灰白 内面5Y8/1灰白	Ⅴ
2345	土師器 皿 墨書	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－2	13.2	1.7	底径8.0 残存率3/4	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 底部外面に墨書「玉」。底部外面にスス付着。	雲母・赤色斑粒	外面10YR7/3にぶい黄橙 内面10YR7/3にぶい黄橙	Ⅴ
2399	須恵器 杯	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－3	11.7	3.7	底径8.8 残存率1/2	外面回転ナデ。底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ、底部回転ナデのちナデ。 底部外面に墨付着。内面に付着物有り。貼付高台。接合痕有り。	石英・長石・雲母	外面N7/0灰白 内面N7/0灰白	Ⅵ
2400	須恵器 杯	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－4	14.7	4.2	底径(11.0) 残存率3/5	外面回転ナデ。底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ、底部内面回転ナデのちナデ。 内面に布でなでたような痕跡有り。底部外面に工具痕有り。接合痕有り。	石英・雲母	外面5Y5/2灰オリーブ 内面2.5Y4/3オリーブ褐	Ⅵ
2401	須恵器 甕	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－4	18.6	残存高 (15.3)	残存率1/10	口縁部・頸部外面回転ナデ。体部外面タタキ（7条/2.7cm）のちハケ目（22条/2.9cm）。 口縁部・頸部内面回転ナデ。体部内面青海波紋。 外面全体・口縁部内面に自然釉。	石英・長石	外面10Y6/1灰 内面5Y6/1灰	Ⅵ
2402	土師器 杯	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－3	13.0	3.5	底径5.9 残存率7/8	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。内面回転ナデ。底部ハケ目（10条/2.6cm）。	石英	外面7.5YR6/4にぶい橙 内面10YR6/3にぶい黄橙	Ⅵ
2403	土師器 杯	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－4	16.8	3.7	底径13.0 残存率4/5	外面回転ナデ。体部外面ユビオサエ・ヘラケズリのちヘラミガキ（幅3mm）。底部外面ヘラケズリのちヘラミガキ（幅3mm）。 口縁部内面回転ナデ。体部～底部内面ヘラケズリのちナデ。	石英・長石・雲母・赤色斑粒	外面7.5YR5/4にぶい褐 内面7.5YR5/4にぶい褐	Ⅵ
2404	土製品 土錘	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－1	長さ 6.9	幅1.7	厚さ1.4 残存率1/1	外面ナデ。 15.1g。両端近くに横から穿孔2ヶ所。孔径5mm。棒状土錘。	石英・雲母	5Y6/1灰	Ⅵ
2405	土製品 土錘	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－5	長さ (4.1)	幅1.4	厚さ1.3 残存率1/2	外面ナデ。8.3g。孔径4mm。下部欠損。棒状土錘。	石英	10YR7/4にぶい黄橙	Ⅵ
2413	須恵器 杯	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－5	(15.0)	(3.8)	底径(10.8) 残存率2/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。 接合痕有。底部外面に墨付着。	石英・雲母	外面N4/1暗オリーブ灰 内面7.5Y4/1灰	Ⅷ
2414	土師器 蓋	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－1	(19.2)	7.7	残存率2/5	外面回転ナデ、天井部外面ナデ。 内面回転ナデ、天井部内面ナデ。 摘み中心より若干ずれる。内面に付着物有り。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面5YR6/6橙 内面5YR5/4にぶい赤褐	Ⅷ
2415	土師器 甕	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ E－20	(26.6)	残存高 (15.4)	最大径 (32.8) 残存率 口縁部1/8	口縁部外面回転ナデ。頸部外面ユビオサエのちハケ目（4本/cm）のちナデ。体部外面ハケ目（8本/2.6cm）。 口縁部・頸部内面ハケ目（8本/2.6cm）。体部内面板ナデ（幅2cm）。ユビオサエのちナデ。把手部分はユビオサエのちナデ。 把手付甕。頸部に工具跡有り。接合痕有り。	石英・雲母・結晶片岩	外面10YR5/3にぶい黄橙 内面10YR5/3にぶい黄橙	Ⅷ
2419	土製品 土錘	SX3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－1	長さ 4.4	幅1.1	厚さ1.0 残存率1/1	外面ナデ。4.9g。孔径2mm。	石英・赤色斑粒	10YR4/2灰黄褐	
2420	土製品 土錘	SX3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－1	長さ (5.6)	幅2.1	厚さ2.1 残存率1/1	外面ナデ。18.5g。孔径6mm。	石英・赤色斑粒	5YR5/3にぶい赤褐	

掲載番号	分類 器種	出土遺構	調査区	出土地点 (大グリッド) (中グリッド) (小グリッド)	法量 (口径)	法量 (器高)	その他法量	調整技法　特徴	含有物	色調	大別 層位
2421	土製品 土錘	SX3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－1	長さ 4.5	幅0.7	厚さ0.8 残存率1/1	外面ナデ。2.6g。孔径2mm。	石英・赤色斑粒	2.5Y7/1灰白	
2422	土製品 土錘	SX3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－1	長さ 5.1	幅1.8	厚さ2.0 残存率1/1	外面ナデ。14.6g。孔径4mm。表面に砂粒多数。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	10YR7/3にぶい黄橙	
2423	土製品 土錘	SX3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－1	長さ 4.4	幅0.9	厚さ1.0 残存率1/1	外面ナデ。4.9g。孔径2mm。	石英・雲母	10YR3/2黒褐	
2425	瓦器 椀	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	(13.9)	4.6	底径4.1 残存率3/4	口縁部外面回転ナデ、体部外面上部ユビオサエのちナデ、下部回転ナデ。底部外面ナデ。 内面回転ナデ。 暗文有り。貼付高台。	石英・雲母	外面 N3/0暗灰 内面7.5Y4/1灰	Ⅱ
2426	瓦器 椀	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－11	(13.8)	4.9	底径(3.9) 残存率1/4	外面回転ナデ。 内面ユビナデ。 暗文有り。貼付高台（接合痕有り）。	石英・雲母・結晶片岩	外面 N3/0暗灰 内面 N4/0灰	Ⅱ
2427	瓦器 椀	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	長さ (5.0)	幅 (1.3)	厚さ(4.8) 残存率不明	外面ナデ。 内面ナデ。 暗文有り。高台付き。	石英・雲母	外面 N4/0灰 内面 5 Y4/1灰黄	Ⅱ
2428	土師器 竈	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12		(8.1)	幅2.7 残存率不明	左側面にハケ目痕有り。	石英・雲母・赤色斑粒	外面7.5YR6/4にぶい橙 内面7.5YR6/3にぶい褐	Ⅱ
2429	瓦 丸瓦	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	長さ (11.4)	幅 (4.8)	厚さ(5.5) 残存率不明	凹面布目圧痕。 凸面ナデ。	石英・雲母・結晶片岩	凸面7.5YR6/4にぶい橙 凹面7.5YR5/4にぶい褐	Ⅱ
2430	瓦 平瓦	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	長さ (8.9)	幅 (11.5)	厚さ(4.7) 残存率不明	凹面ナデ・布目圧痕。 凸面タタキ（縄席紋）・ユビオサエ。	石英	凹面 5 Y6/1灰 凸面 5 Y6/1灰	Ⅱ
2442	土師器 杯	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	(13.5)	3.4	底径9.0 残存率1/2	外面回転ナデ。底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。内外面に付着物有り。	石英・雲母	外面10YR7/1灰白 内面10YR5/1褐灰	Ⅲ
2443	土師器 杯	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	(11.8)	3.1	底径8.7 残存率3/5	外面回転ナデ。底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。	雲母・赤色斑粒	外面10YR6/4にぶい黄橙 内面10YR6/4にぶい黄橙	Ⅲ
2444	土師器 皿	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	(10.3)	2.4	底径(6.8) 残存率1/4	外面回転ナデ。高台部ナデ。 内面回転ナデ。 貼付高台（接合痕有り）。	石英・雲母・赤色斑粒	外面7.5YR6/4にぶい橙 内面7.5YR6/4にぶい橙	Ⅲ
2445	黒色土器 椀	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	14.8	8.1	底径4.8 残存率3/5	外面回転ナデ・ミガキ。底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。摩滅しているがミガキ痕有り。 黒色土器Ｂ類。貼付高台。	雲母	外面 N2/0黒 内面 N2/0黒	Ⅲ
2446	瓦 平瓦	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－11	長さ (14.2)	幅 (12.2)	厚さ(2.9) 残存率不明	凹面布目圧痕。 凸面タタキ（縄席紋）。内面にスス付着。	長石・雲母・結晶片岩	凹面10YR3/2黒褐 凸面10YR7/3にぶい黄橙	Ⅲ
2465	須恵器 甕	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	(26.0)	(5.3)	残存率 口縁部のみ 1/5	口縁部外面回転ナデ、頸部外面タタキ（単位不明）のちカキ目（11本/cm）体部外面回転ナデ。 内面回転ナデ。 内外面に自然釉。	石英・雲母	外面 N5/0灰 内面 N5/0灰	Ⅳ
2466	土師器 皿	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	14.4	2.0	底径10.5 残存率3/4	外面回転ナデ。底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。内外面に赤色塗彩。口縁部内外面にスス付着。	雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面 5 YR6/6橙 内面 5 YR6/6橙	Ⅳ
2467	土師器 皿	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	12.2	1.5	底径8.7 残存率4/5	外面回転ナデ。底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。	石英・雲母	外面10YR6/4にぶい黄橙 内面10YR6/3にぶい黄橙	Ⅳ
2468	土師器 蓋	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－11	17.3	3.2	残存率7/8	外面回転ナデ。摘み部ナデ。 内面回転ナデ・ナデ。 摘み直径2.8cm。口縁部に沈線有り。	石英・雲母・結晶片岩	外面2.5YR5/6明赤褐 内面2.5YR5/8明赤褐	Ⅳ
2469	土師器 椀	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	(14.8)	5.5	厚さ8.4 残存率1/3	口縁部・体部外面ヘラミガキ（幅2～3mm）体部外面下部回転ナデ。底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面ヘラミガキ（幅2～3mm）。 底部外面に板目圧痕有り。貼付高台。内外面に赤色塗彩。	石英・長石・雲母	外面2.5YR5/6明赤褐 内面 5 YR5/4にぶい赤褐	Ⅳ
2470	土師器 杯	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	13.6	4.1	底径6.5 残存率2/3	外面回転ナデ。底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 体部内面回転ナデ、底部内面回転ナデのちナデ。 底部外面に板目圧痕有り。	石英・雲母・赤色斑粒	外面 5 Y5/2灰オリーブ 内面 5 Y6/2灰オリーブ	Ⅳ
2471	土師器 杯	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－11	13.4	3.3	底径7.5 残存率3/4	外面回転ナデ。底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面 5 YR5/4にぶい赤褐 内面 5 YR5/4にぶい赤褐	Ⅳ
2472	土師器 杯	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	13.0	5.0	底径7.8 残存率1/2	外面回転ナデ。底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 内面にスス付着。	石英・雲母・結晶片岩	外面10YR6/3にぶい黄橙 内面10YR6/2灰黄褐	Ⅳ
2473	土師器 杯	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	13.0	3.3	底径8.9 残存率3/4	外面回転ナデ。底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 底部内面に幅3.0mm位のミガキによる光沢の輪有り。	石英・雲母・結晶片岩	外面10YR6/3にぶい黄橙 内面10YR6/2灰黄褐	Ⅳ
2474	土師器 杯	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	13.4	4.0	底径7.5 残存率3/5	外面回転ナデ。底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 底部外面に板目圧痕有り。	雲母	外面10YR6/2灰黄褐 内面2.5Y6/2灰黄	Ⅳ

掲載番号	分類 器種	出土遺構	調査区	出土地点 (大グリッド) (中グリッド) (小グリッド)	法量 (口径)	法量 (器高)	その他法量	調整技法　特徴	含有物	色調	大別 層位
2475	土師器 杯	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	13.4	3.4	底径7.7 残存率7/8	外面回転ナデ。底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 内面にスス付着。	長石・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面2.5Y7/1灰白 内面2.5Y5/2灰	Ⅳ
2476	土師器 杯	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	12.4	3.4	底径7.4 残存率7/8	外面回転ナデ。底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。口縁部内面にスス付着。	雲母・赤色斑粒	外面7.5Y4/2灰オリーブ 内面7.5Y4/1灰	Ⅳ
2477	土製品 土錘	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	長さ 4.1	幅 1.4	厚さ1.3 残存率1/1	外面ナデ。5.7g。孔径２mm。	長石・雲母	外面10Y5/1灰 内面10Y5/1灰	Ⅳ
2478	土製品 土錘	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	長さ 4.6	幅 1.0	厚さ0.9 残存率1/1	外面ナデ。3.4g。孔径２mm。	雲母	外面 N2/0黒	Ⅳ
2497	土師器 杯	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－11	15.6	3.8	底径11.2 残存率4/5	外面回転ナデ。底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。内外面に赤色塗彩。	雲母	外面7.5Y5/1灰 内面10Y5/1灰	Ⅴ
2498	土師器 杯	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	(16.7)	2.9	底径(10.0) 残存率1/2	外面回転ナデ。底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。内外面に赤色塗彩。	石英・雲母	外面５YR5/6明赤褐 内面2.5YR5/8明赤褐	Ⅴ
2499	土師器 杯	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	－	(1.7)	底径(10.0) 残存率1/4 底面のみ	底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 内外面に赤色塗彩。	石英・雲母・結晶片岩	外面2.5YR4/4にぶい赤褐 内面2.5YR4/6赤褐	Ⅴ
2500	土師器 鉢	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	(27.6)	16.9	残存率3/4	口縁部外面回転ナデ、体部・底部外面ユビオサエのちハケ目（８条/cm）。 口縁部内面回転ナデ、体部・底部内面ユビオサエのちヘラケズリ。 体部～底部内面スス付着。	石英・長石・雲母	外面2.5Y7/2灰黄 内面2.5Y7/2灰黄	Ⅴ
2501	土師器 甕	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	(28.8)	(12.5)	残存率5/12 口縁部のみ	口縁部外面ナデ、頸部外面ナデのち刺突紋、体部外面縦方向のハケ目（６～７本/cm）。 口縁部内面ナデ。頸部内面横方向のハケ目（６～７本/cm）体部内面上部ユビオサエのち横方向のハケ目（６～７本/cm）、体部内面下部板ナデ、斜め方向のハケ目（６～７本/cm）。	石英・雲母・結晶片岩	外面7.5YR5/4にぶい褐 内面7.5YR5/4にぶい褐	Ⅴ
2502	土製品 土錘	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	長さ (6.5)	幅1.4	厚さ1.2 残存率4/5	外面ナデ。13g。一端に孔１ヶ所残存。他端は孔部より欠損。孔径６mm。	雲母	10YR7/1灰白	Ⅴ
2503	土製品 土錘	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	長さ 5.6	幅2.2	厚さ2.0 残存率1/1	外面ナデ。19.9g。孔径６mm。	長石・雲母	５Y6/1灰	Ⅴ
2504	土製品 土錘	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	長さ 5.8	幅1.9	厚さ1.7 残存率1/1	外面ナデ。15.7g。孔径６mm。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	7.5YR7/1明褐灰	Ⅴ
2505	土製品 土錘	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	長さ 5.0	幅1.4	厚さ1.5 残存率1/1	外面ナデ。8.4g。孔径４mm。	石英	５Y6/1灰	Ⅴ
2507	土師器 杯 墨書	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－11	14.4	2.3	底径12.2 残存率 9/10～ 口縁1/6欠損	外面回転ナデ。底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。内外面に赤色塗彩。 口縁部外側の一部にスス付着。底部外面に墨書「井」。	雲母・結晶片岩	外面2.5YR6/6橙 内面５YR3/2暗赤褐	Ⅵ
2508	土師器 皿	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－11	14.5	2.2	底径11.5 残存率 1/1	外面回転ナデ。底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。 底部内面スス付着。内外面に赤色塗彩。口縁部内面沈線有り。		外面５YR6/4にぶい橙 内面7.5YR6/3にぶい褐	Ⅵ
2509	土師器 竈	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－11	長さ (6.3)	幅 (8.1)	厚さ3.0 残存率不明	外面ユビオサエのちナデ。	雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面7.5YR6/4にぶい橙 内面7.5YR6/4にぶい橙	Ⅵ
2512	須恵器 蓋	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	(25.6)	1.9	残存率1/8	口縁部外面回転ナデ、体部外面ケズリ。 内面回転ナデ。 内面沈線有り。	石英・雲母・結晶片岩	外面 N4/0灰 内面 N7/0灰白	
2513	瓦 平瓦	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1	長さ (5.4)	幅 (5.7)	厚さ(2.2) 残存率不明	凹面布目圧痕。 凸面ナデ。	雲母・赤色斑粒	凹面10YR7/2明褐灰 凸面10YR7/3にぶい黄橙	
2514	土製品 用途不明	SR3001	南区 (07－1)	Loc.F－1	長径 3.1	短径 3.0	厚さ1.8 残存1/1	ナデ。18.3g。	雲母	円板部 N3/0暗灰 側面 N6/0灰	
2515	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13・14	(12.6)	3.5	底径7.4	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。口縁部内面にスス付着。	長石・雲母・赤色斑粒	外面口縁部7.5YR7/3にぶい橙底部 N2/0 内面2.5Y7/2灰黄	Ⅱ
2516	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13	(12.8)	2.9	底径(9.2) 残存率2/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。外面にスス付着。	長石・雲母・赤色斑粒	外面10YR6/3にぶい黄橙 内面10YR6/2灰黄褐	Ⅱ
2517	土製品 土錘	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－17	残長 5.6	幅1.1	残存率不明	外面ナデ。5.4g。孔径４mm。外面にスス付着。	長石・雲母・赤色斑粒	外面 N2/0黒	Ⅱ
2522	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T・S－14	(13.0)	3.5	底径(7.6) 残存率1/2	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面５YR6/6橙 内面7.5YR6/4にぶい橙	Ⅲ
2523	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ S－14	11.2	3.0	底径(7.6) 残存率1/2	外面ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・赤色斑粒	外面10YR6/2灰黄褐 内面10YR6/2灰黄褐	Ⅲ
2524	土師器 皿	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	11.9	1.3	底径9.0 残存率1/1	体部外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ。 体部内面回転ナデ、底部内面回転ナデのち板ナデ。	長石・雲母・結晶片岩・赤色斑粒・黒色斑粒	外面7.5YR7/4にぶい橙 内面7.5YR6/4にぶい橙	Ⅲ

掲載番号	分類 器種	出土遺構	調査区	出土地点 (大グリッド) (中グリッド) (小グリッド)	法量 (口径)	法量 (器高)	その他法量	調整技法　特徴	含有物	色調	大別 層位
2525	土師器 椀	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	(15.0)	5.2	高台径(7.1) 残存率3/5	外面回転ナデ、底部外面回転ナデ、高台部外面回転ナデ。 内面回転ナデ。 貼付高台。接合痕有り。	石英・雲母・結晶片岩	外面7.5YR7/4にぶい橙 内面7.5YR7/6橙	Ⅲ
2526	黒色土器 椀	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13	(16.1)	5.6	高台径7.0 残存率 底部1/1 口縁部1/3	口縁部外面回転ナデ、体部外面回転ナデのち回転ヘラミガキ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ、高台部内面ナデ。 口縁部内面ナデ、体部・底部内面ヘラミガキ。 貼付高台。口縁部外面にスス付着。黒色土器A類。	石英・雲母・結晶片岩	外面10YR6/3にぶい黄橙 内面 N3/0暗灰	Ⅲ
2527	黒色土器 椀	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ S－13	(16.2)	(5.1)	底径(10.2) 残存率口縁部～底部1/3	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 口縁部内面回転ナデ、体部・底部内面ヘラミガキ（幅3.0mm）。 貼付高台。黒色土器A類。	石英・雲母・赤色斑粒	外面10YR7/3にぶい黄橙 内面 N4/0灰	Ⅲ
2528	瓦 丸瓦	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13・14			残存率不明	凹面布目圧痕のち化粧土のちナデ。 凸面タタキ（縄席文）のち化粧土のちナデ。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	凸面7.5YR7/3にぶい橙 凹面10YR6/2灰黄褐	Ⅲ
2529	瓦 平瓦	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15			不明	凹面布目圧痕・ナデ。 凸面タタキ（縄席文）。 側面布目圧痕。内面にスス付着。	石英・雲母・黒色斑粒	凹面10Y7/1灰白 凸面7.5Y7/1灰白	Ⅲ
2530	瓦 平瓦	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－14			残存率不明	凹面布目圧痕。 凸面タタキ（縄席文）。 側面ナデ。	石英・長石・雲母・黒色斑粒	凹面7.5Y6/1灰 凸面7.5Y6/1灰	Ⅲ
2531	土製品 土錘	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－17	残存長 (4.8)	幅1.5	残存率4/5	外面ナデ。6.7g。孔径3mm。	長石・雲母・結晶片岩・黒色斑粒	外面2.5Y5/2暗灰黄	Ⅲ
2570	須恵器 蓋	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	(18.6)	1.4	底径(14.8) 残存率1/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・結晶片岩	外面 N6/0灰 内面7.5Y6/1灰	Ⅳ
2571	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－17	(18.9)	5.9	底径10.4 残存率 口縁部1/3 底部4/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ。 内面回転ナデ。	長石・雲母・結晶片岩・赤色斑粒・黒色斑粒	外面10YR7/3にぶい黄橙 内面10YR7/3にぶい黄橙	Ⅳ
2572	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13	(15.5)	5.6	底径9.0 残存率 底部1/1 全体3/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面7.5YR7/4にぶい橙 内面7.5YR7/4にぶい橙	Ⅳ
2573	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	14.6	4.5	底径9.2 残存率 底部1/1 口縁部7/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ。 内面回転ナデ。	石英・長石・雲母・赤色斑粒・黒色斑粒	外面7.5YR7/4にぶい橙 内面7.5YR7/4にぶい橙	Ⅳ
2574	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)		13.3	3.5	底径8.8 残存率7/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面10YR6/3にぶい黄橙 内面10YR6/3にぶい黄橙	Ⅳ
2575	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13	(12.8)	3.5	底径8.2 残存率 口縁部2/5 底部4/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ。 内面回転ナデ。	長石・雲母・赤色斑粒・黒色斑粒	外面10YR7/3にぶい黄橙 内面10YR8/1灰白	Ⅳ
2576	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	12.2	3.5	底径9.3 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面7.5YR7/4にぶい橙 内面7.5YR7/4にぶい橙	Ⅳ
2577	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13	13.5	3.1	底径(8.7) 残存率4/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。内外面に赤色塗彩。	長石・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面5YR6/6橙 内面2.5YR6/6橙	Ⅳ
2578	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－17	12.6	3.4	底径8.2 残存率 底部1/1全体4/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面10YR7/3にぶい黄橙 内面10YR7/3にぶい黄橙	Ⅳ
2579	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	12.6	3.2	底径7.9 残存率 口縁部2/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデのちナデ。 内外面に赤色塗彩。底部外面に付着物有り。	石英・長石・雲母	外面10YR7/3にぶい黄橙 内面5YR7/3にぶい橙	Ⅳ
2580	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13	12.0	3.1	底径7.2 残存率9/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。底部外面にスス付着。	長石・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面10YR5/2灰黄褐 内面7.5YR6/3にぶい褐	Ⅳ
2581	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13	12.1	3.3	底径8.2 残存率 口縁部3/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちヘラケズリ。 内面回転ナデ、底部内面回転ナデのちヘラケズリ。	石英・雲母・結晶片岩	外面7.5YR8/2灰白 内面7.5YR8/2灰白	Ⅳ
2582	土師器 杯 刻書	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	(12.8)	2.9	底径(9.6) 残存率 口縁部2/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ。 内面回転ナデ。 内面に刻書有り。	石英・雲母・結晶片岩	外面2.5Y7/4淡赤橙 内面2.5Y7/6橙	Ⅳ
2583	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13	(11.6)	2.9	底径(7.6) 残存率1/3	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ、底部内面ナデ。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面7.5YR7/3にぶい橙 内面5YR6/3にぶい橙	Ⅳ
2584	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－14	11.8	3.1	底径8.4 残存率1/2	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ、底部内面回転ナデのちナデ。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面10YR6/2灰黄褐 内面10YR6/3にぶい黄橙	Ⅳ
2585	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13		(3.4)	底径8.3 残存率 底部4/5	体部外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ。 内面回転ナデ。内外面にスス付着。	長石・雲母・結晶片岩・赤色斑粒・黒色斑粒	外面10YR7/3にぶい黄橙 内面10YR7/3にぶい黄橙	Ⅳ
2586	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)		(16.9)	5.8	高台径 (10.6) 残存率1/2	外面回転ナデ、底部外面ナデ、高台部外面回転ナデ。 内面回転ナデ。 貼付高台。接合痕有り。外面にスス付着。高台底部外面一部スス付着。底部内面に付着物有り。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面10YR5/3にぶい黄褐 内面10YR5/3にぶい黄褐	Ⅳ

掲載番号	分類 器種	出土遺構	調査区	出土地点 (大グリッド) (中グリッド) (小グリッド)	法量 (口径)	法量 (器高)	その他法量	調整技法　特徴	含有物	色調	大別 層位
2587	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－17	(15.3)	5.4	高台径9.1 残存率口縁部・体部1/5 底部1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ。 内面回転ナデ。 高台付。	長石・雲母・赤色斑粒	外面10YR6/4にぶい黄橙 内面10YR6/3にぶい黄橙	Ⅳ
2588	土師器 不明 刻書	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－17			体部との境 (8.6) 残存率不明	底部外面回転ヘラ切りのちナデ、高台部回転ナデ。 内面回転ナデ。 内面に刻書有り。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面10YR6/2灰黄褐 内面10YR6/2灰黄褐	Ⅳ
2589	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	(14.2)	5.4	高台径8.4 残存率7/10	口縁部・体部外面上部回転ナデ、体部外面下部・底部外面回転ヘラ切りのちナデ、高台部外面回転ナデ。 内面回転ナデ。内面に付着物有り。 貼付高台。接合痕有り。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒・黒色斑粒	外面7.5YR7/4にぶい橙 内面10YR6/4にぶい黄橙	Ⅳ
2590	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)		(13.8)	4.4	底径9.6 残存率 口縁部1/10 底部1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ、高台部外面回転ナデ。 内面回転ナデ。	長石・雲母・赤色斑粒	外面10YR6/2灰黄褐 内面10YR6/2灰黄褐	Ⅳ
2591	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－14	15.4	5.4	高台径8.2 残存率 口縁部1/2 底部4/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ、高台部外面回転ナデ。 内面回転ナデ。 接合痕有り。外面に漆付着。	石英・雲母・赤色斑粒	外面(底)2.5Y2/1黒(体) 7.5YR5/2灰褐 内面2.5Y6/3にぶい黄	Ⅳ
2592	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13	(13.1)	4.7	底径7.1 残存率 口縁部1/5 底部9/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ、高台部外面回転ナデ。 内面回転ナデ。	長石・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面5YR6/6橙 内面5YR6/6橙	Ⅳ
2593	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	12.4	4.1	高台径8.0 残存率 口縁部1/2 底部9/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 貼付高台。接合痕有り。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面5YR5/6明赤褐 内面5YR5/4にぶい赤褐	Ⅳ
2594	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	(14.2)	4.1	高台径(8.7) 残存率 口縁部1/2	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り、高台部回転ナデ。 内面回転ナデ。 貼付高台。接合痕有り。内外面にスス付着。	石英・雲母・赤色斑粒	外面2.5YR7/4淡赤橙 内面10YR6/2灰黄褐	Ⅳ
2595	土師器 皿	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13	13.0	1.4	底径9.1 残存率 底部1/1 全体3/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面10YR8/2灰白 内面10YR8/2灰白	Ⅳ
2596	土師器 皿	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	12.1	1.3	底径9.1 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面2.5Y5/4黄褐 内面2.5Y5/4黄褐	Ⅳ
2597	土師器 皿	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－17	11.0	1.2	底径8.8 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ。 内面回転ナデ。口縁部内面にスス付着。 底部内面からの穿孔有り。	石英・雲母・赤色斑粒	外面7.5YR6/3にぶい褐 内面7.5YR6/3にぶい褐	Ⅳ
2598	黒色土器 椀	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－12	17.0	6.3	高台径9.5 残存率3/5	口縁部外面回転ナデ、体部外面回転ナデのちヘラミガキ、底部外面上部回転ヘラ切りのち回転ナデ、底部外面下部回転ヘラ切りのち板ナデ、高台部外面回転ナデ。 口縁部内面回転ナデ、体部・底部内面ヘラミガキ。 貼付高台。接合痕有り。黒色土器A類。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面10YR4/4褐 内面10YR2/1黒	Ⅳ
2599	黒色土器 椀	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13・14		(4.4)	高台径(8.6) 残存率 体部1/3 底部3/5	体部外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 体部・底部内面ヘラミガキ（幅3mm）。 貼付高台。接合痕有り。黒色土器A類。	石英・雲母・赤色斑粒	外面7.5YR6/4にぶい橙 内面N2/0黒	Ⅳ
2600	土師器 杯 墨書	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－12		(1.1)	底径(8.8) 残存率 底部1/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 内外面に赤色塗彩。底部外面に墨書「本」。	長石・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面7.5YR7/3にぶい橙 内面5YR6/4にぶい橙	Ⅳ
2601	土師器 杯か 墨書	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－17			残存率不明	外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 底部外面に墨書「樹」。内外面に赤色塗彩。	石英・雲母・結晶片岩	外面2.5Y7/2灰黄 内面2.5Y7/2灰黄	Ⅳ
2602	黒色土器 椀 墨書	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13	(16.7)	5.7	高台径9.2 残存率3/5	口縁部外面回転ナデ、体部外面回転ナデ・回転ヘラケズリ。底部外面ナデ。高台部外面回転ナデ。 内面ヘラミガキ。 貼付高台。底部外面に墨書。黒色土器A類。	石英・長石・雲母・結晶片岩	外面7.5YR6/4にぶい橙 内面5Y2/1黒	Ⅳ
2603	黒色土器 椀 墨書	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13	14.3	5.5	高台径8.8 残存率全体3/5	外面回転ナデのちヘラミガキ（幅2mm）、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。高台部外面ナデ。 口縁部内面ナデ、体部内面ヘラミガキ（幅1.5mm）。底部内面ヘラミガキ（幅2.5mm）。 底部外面に墨書「十」。黒色土器A類。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面5YR7/4にぶい橙 内面3/0暗灰	Ⅳ
2604	瓦 平瓦	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13	残存長 (21.9)	残存幅 (16.1)	厚さ(2.1) 残存率不明	凹面布目圧痕・一部ヘラケズリのちナデ。 凸面タタキ（縄席文）。 1129.8g。	石英・雲母・赤色斑粒	凹N6/0灰 凸面N6/0灰	Ⅳ
2605	土師器 竈	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15			残存率不明	外面タテハケ目（8条/1.3cm）のちヨコハケ目（8条/1.5cm）・ヘラケズリ・回転ナデ。 内面ハケ目（8条/1.5cm）・ナデ。	石英・長石・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面2.5Y4/2暗灰黄 内面10YR4/2灰黄褐	Ⅳ
2606	土製品 土錘	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13	残存長 (5.6)	幅1.1	厚さ1.0 残存率9/10	外面摩滅により不明。5.0g。孔径3mm。	石英・長石・雲母・結晶片岩	外面7.5YR6/4にぶい橙	Ⅳ
2607	土製品 土錘	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－17	長さ 6.4	幅1.1	厚さ1.1 残存率1/1	外面ナデ。7.8g。孔径3mm。	石英・雲母・結晶片岩・	外面10YR6/2灰黄褐	Ⅳ
2608	土製品 土錘	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	長さ 4.7	幅1.2	厚さ1.2 残存率1/1	外面ナデ。5.7g。孔径3mm。	長石・雲母	外面2.5Y6/1黄灰	Ⅳ

掲載番号	分類 器種	出土遺構	調査区	出土地点 (大グリッド) (中グリッド) (小グリッド)	法量 (口径)	法量 (器高)	その他法量	調整技法　特徴	含有物	色調	大別 層位
2609	土製品 土錘	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ S－13	残存長 (5.9)	幅2.0	厚さ1.9 残存率不明	外面ナデ。16.7g。孔径８mm。	石英・雲母・ 結晶片岩・赤色斑粒	外面7.5YR7/3にぶい橙	Ⅳ
2610	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－17	14.9	4.7	底径8.4 残存率4/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・ 結晶片岩・赤色斑粒	外面10YR7/1灰白 内面10YR7/2にぶい黄橙	Ⅳ
2611	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－14	(15.2)	4.3	底径(8.9) 残存率 口縁部1/5 底部3/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ。 内面回転ナデ。内面に付着物有り。底部外面にスス付着。	長石・雲母・ 結晶片岩・赤色斑粒・黒色斑粒	外面10YR6/3にぶい黄橙 内面10YR5/4にぶい黄褐	Ⅳ
2612	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	(13.6)	4.4	底径8.6 残存率 底部7/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・ 赤色斑粒	外面7.5YR8/3浅黄橙 内面7.5YR8/3浅黄橙	Ⅳ
2613	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－12	13.0	4.0	底径7.9 残存率4/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。外面にスス付着。	石英・雲母・ 赤色斑粒	外面５YR7/3にぶい橙 内面7.5YR7/3にぶい橙	Ⅳ
2614	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	13.5	3.7	底径7.5 残存率 全体4/5 底部1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・ 赤色斑粒	外面10YR8/4浅黄橙 内面10YR8/4浅黄橙	Ⅳ
2615	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－12	(12.6)	3.4	底径(8.5) 残存率 口縁部1/10 底部7/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・ 結晶片岩	外面10YR7/2にぶい黄橙 内面10YR6/1褐灰	Ⅳ
2616	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ S－13	(13.4)	3.5	底径(8.5) 残存率1/2	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・ 結晶片岩・赤色斑粒	外面7.5YR7/3にぶい橙 内面7.5YR7/3にぶい橙	Ⅳ
2617	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ S－13	13.6	3.6	底径8.2 残存率 底部1/1 全体4/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・ 結晶片岩・赤色斑粒	外面7.5YR7/3にぶい橙 内面7.5YR7/3にぶい橙	Ⅳ
2618	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ S－14	(13.2)	3.1	底径7.7 残存率3/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母	外面7.5YR6/4にぶい橙 内面7.5YR6/4にぶい橙	Ⅳ
2619	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13	13.2	3.4	底径7.8 残存率 口縁部1/2 底部1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。底部内面に漆付着。	石英・雲母	外面7.5YR7/4にぶい橙 内面7.5YR7/3にぶい橙	Ⅳ
2620	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ S－14	(13.0)	3.3	底径(8.5) 残存率 口縁部1/10 底部3/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。	石英・雲母・ 赤色斑粒	外面10YR6/3にぶい黄橙 内面10YR6/3にぶい黄橙	Ⅳ
2621	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13	12.8	3.5	底径8.5 残存率4/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。内外面に付着物有り。口縁部外面にスス付着。	石英・雲母	外面7.5YR8/3浅黄橙 内面7.5YR8/3浅黄橙	Ⅳ
2622	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ S－14	12.6	3.2	底径7.3 残存率4/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ。 内面回転ナデ。 内外面に赤色塗彩。外面にスス付着。	石英・雲母・ 結晶片岩	外面10YR7/3にぶい黄橙 内面10YR7/3にぶい黄橙	Ⅳ
2623	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－14	13.0	3.7	底径8.1 残存率1/2	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ。 内面回転ナデ。 内外面に赤色塗彩。	長石・雲母・ 結晶片岩・赤色斑粒・黒色斑粒	外面7.5YR7/4にぶい橙・５YR6/8橙 内面5YR6/8橙	Ⅳ
2624	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	13.5	3.0	底径9.3 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ。 内面回転ナデ。内面に付着物有り。	長石・雲母・ 黒色斑粒	外面 N5/0灰 内面 N5/0灰	Ⅳ
2625	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－12	(13.1)	(2.9)	底径(8.8) 残存率 底部9/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・ 結晶片岩・赤色斑粒	外面５YR7/3にぶい橙 内面7.5YR7/3にぶい橙	Ⅳ
2626	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－14	(13.1)	2.9	底径8.5 残存率 底部3/5 体部2/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ。 内面回転ナデ。 内外面に赤色塗彩。	長石・雲母・ 結晶片岩・赤色斑粒・黒色斑粒	外面５YR7/4にぶい橙 内面５YR6/6橙	Ⅳ
2627	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13	(12.0)	3.4	底径(8.5) 残存率 底部1/1 口縁部1/3	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母	外面7.5YR7/4にぶい橙 内面7.5YR7/4にぶい橙	Ⅳ
2628	土師器 皿	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－17	13.8	2.0	底径9.3 残存率 口縁部7/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ。 内面回転ナデ、底部内面回転ナデのちナデ。 外面にスス付着。	石英・雲母・ 結晶片岩	外面10YR8/2灰白 内面10YR8/2灰白	Ⅳ
2629	土師器 皿	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ S－13	(12.8)	1.8	底径8.5 残存率 口縁部1/3 底部4/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ。 内面回転ナデ、底部内面回転ナデのち板ナデ。	長石・雲母・ 結晶片岩・赤色斑粒・黒色斑粒	外面7.5YR6/4にぶい橙 内面7.5YR6/4にぶい橙	Ⅳ
2630	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	(14.4)	3.4	底径(8.0) 残存率1/3	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 内外面に赤色塗彩。	石英・雲母	外面2.5Y7/2灰黄 内面7.5YR7/3にぶい橙	Ⅳ
2631	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13		(2.6)	底径8.3 残存率 底部～体部 7/10	体部外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ。 内面回転ナデ。内面に付着物有り。	石英・雲母・ 結晶片岩・赤色斑粒	外面10YR6/2灰黄褐 内面7.5YR6/4にぶい橙	Ⅳ
2632	土師器 杯 刻書	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	(13.0)	3.0	底径(8.7)	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 底部外面に刻書。底部内面にスス付着。	石英・雲母・ 赤色斑粒	外面10YR7/1灰白 内 面10YR7/1灰 白 N3/0 暗灰	Ⅳ
2633	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ S－14	(14.3)	(5.3)	高台径(8.8) 残存率 高台部1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ。高台部外面回転ナデ。 内面回転ナデ。 貼付高台。外面に漆付着。	石英・雲母・ 結晶片岩・赤色斑粒	外面10YR8/3浅黄橙 内面10YR8/3浅黄橙	Ⅳ

掲載番号	分類 器種	出土遺構	調査区	出土地点 (大グリッド) (中グリッド) (小グリッド)	法量 (口径)	法量 (器高)	その他法量	調整技法　特徴	含有物	色調	大別層位
2634	土師器 杯 刻書	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15		(1.4)	底径(6.6) 残存率 底部1/3	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 底部外面に刻書。底部内面にスス付着。	石英・雲母・ 黒色斑粒	外面10YR7/1灰白 内面 N6/0灰	Ⅳ
2635	土師器 高杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15		(9.9)	脚高(8.9) 残存率 高台部4/5	脚部外面回転ナデ。 脚部内面回転ナデ。 外面に赤色塗彩。	石英・長石・ 雲母・結晶片 岩・赤色斑粒	内面５YR6/4にぶい橙	Ⅳ
2636	土師器 皿	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	(14.6)	1.7	底径(10.6) 全体1/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ。 内面回転ナデ、底部内面回転ナデのち板ナデ。 内外面に赤色塗彩。	石英・長石・ 雲母・赤色斑 粒・黒色斑粒	外面2.5YR5/6明赤褐 内面2.5YR5/6明赤褐	Ⅳ
2637	土師器 皿	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－12	13.1	1.9	底径9.2 残存率1/1	体部外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。底部外面にスス付着。	長石・雲母・ 結晶片岩・赤 色斑粒・黒色 斑粒	外面7.5YR7/4にぶい橙 内面５YR7/3にぶい橙	Ⅳ
2638	土師器 皿	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－12	11.4	2.0	高台径5.3 残存率7/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り、高台部外面回転ナデ。 内面回転ナデ。	長石・雲母・ 結晶片岩・赤 色斑粒	外面５YR6/6橙 内面５YR6/6橙	Ⅳ
2639	緑釉 皿	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ S－14	(12.5)	3.2	高台径(6.0) 残存率 口縁部1/3 高台1/2	外面回転ナデ、底部外面ケズリ出し。高台部外面回転ナデ。 内面回転ナデ。 高台付。	石英・雲母・ 黒色斑粒	外面10Y4/2オリーブ灰 内面10Y5/2オリーブ灰	Ⅳ
2640	土師器 皿 刻書	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ S－15	(17.0)	2.8	高台径 (11.3) 残存率 口縁部1/3 底部1/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 貼付高台。接合痕有り。底部内面刻書有り。 内面にスス付着。外面に僅かにスス付着。	石英・雲母・ 赤色斑粒	外面7.5YR5/3にぶい褐 内面10YR2/1黒	Ⅳ
2641	黒色土器 椀	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	(12.4)	4.5	高台径(7.5) 残存率3/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ、高台部外面回転ナデ。 内面回転ナデのちヘラミガキ（幅2.5mm）。 黒色土器Ｂ類。貼付高台。	雲母・赤色斑 粒	外面 N4/0黒 内面 N2/0黒	Ⅳ
2642	黒色土器 椀	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－12	(11.6)	4.4	底径7.9 残存率 底部3/5	体部外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 体部・底部内面回転ナデのちヘラミガキ（幅3.0mm）。黒色土器Ａ類。貼付高台。接合痕有り。	石英・雲母・ 赤色斑粒	外面５YR6/4にぶい橙 内面５Y2/1黒	Ⅳ
2643	土師器 椀	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－14	(20.0)	7.1	高台径 (10.0) 残存率1/3	口縁部外面回転ナデ、体部外面ヘラケズリのちヘラミガキ。底部外面回転ヘラ切りのちナデ。高台部外面回転ナデ。 内面回転ナデのちヘラミガキ。外面全体にスス付着。貼付高台。接合痕有り。	石英・雲母・ 赤色斑粒	外面10YR6/2灰黄褐 内面10YR6/2灰黄褐	Ⅳ
2644	土製品 土錘	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ S－14	長さ 4.5	幅 1.2	厚さ1.3 残存率1/1	外面ナデ。5.5g。孔径４mm。	長石・雲母・ 結晶片岩・赤 色斑粒・黒色 斑粒	外面7.5YR7/6橙	Ⅳ
2645	土製品 土錘	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ S－14	残長 4.7	幅0.9	厚さ0.8 残存率9/10	外面ナデ。3.3g。孔径３mm。	石英・雲母・ 赤色斑粒	外面2.5YR7/2灰黄	Ⅳ
2646	土製品 土錘	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ S－15	長さ 4.1	幅1.1	厚さ1.0 残存率1/1	外面ナデ。4.1g。孔径３mm。	石英・長石・ 雲母・結晶片 岩・赤色斑 粒・黒色斑粒	外面2.5YR5/4にぶい赤 褐	Ⅳ
2647	土製品 土錘	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－17	残存長 (4.2)	幅1.4	厚さ1.3 残存率1/1	体部外面ナデ。6.1g。孔径４mm。	石英・雲母	外面５Y8/1灰白	Ⅳ
2648	土師器 杯 墨書	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－14	15.6	4.9	底径8.8 残存率7/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ。 内面回転ナデ。 底部外面に墨書「南」。内外面にスス付着。	石英・雲母・ 結晶片岩	外面7.5Y8/1灰白 内面7.5Y8/1灰白	Ⅳ
2649	黒色土器 椀 墨書	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－12		(4.6)	高台径(8.8) 残存率 高台部1/3	外面ヘラミガキ（幅５mm）のちナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面ヘラミガキ（幅２mm）のちナデ。 貼付高台。接合痕有り。 高台部外面に墨書「井」（記号か）。黒色土器Ｂ類。	石英・雲母・ 結晶片岩・赤 色斑粒	外面7.5YR7/4にぶい橙 内面 N3/0暗灰	Ⅳ
2650	須恵器 壺	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16		(22.9)	残存率 体部1/3	外面回転ナデ。 内面回転ナデ。 双耳壺。外面自然釉。	長石・雲母・ 黒色斑粒	外面５Y6/1灰 内面 N7/0灰白	Ⅳ
2651	須恵器 壺	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16		(14.1)	高台径 (10.5) 残存率 底部1/3	外面回転ナデ、底部外面ナデ。 内面回転ナデ。 貼付高台。接合痕有り。自然釉（体部外面、底部内面）。	石英・黒色斑 粒	外面５Y7/1灰白 内面2.5Y6/1黄灰	Ⅳ
2652	須恵器 壺	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－17	(7.8)	(3.2)	残存率 口縁部1/10	口縁部外面回転ナデ、体部外面上部自然釉。 内面回転ナデ。	長石・雲母・ 赤色斑粒・黒 色斑粒	外面５PB6/1青灰 内面５PB4/1明紫灰	Ⅳ
2653	須恵器 甕	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	(25.0)	(6.6)	頸部径 (18.6) 残存率1/5	口縁部外面回転ナデ、体部外面タタキ（６条/1.5cm）のちカキ目（８条/1.2cm）。 口縁部内面回転ナデ、体部内面青海波紋。	長石・雲母・ 黒色斑粒	外面 N4/0灰 内面7.5Y4/1灰	Ⅳ
2654	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	16.6	3.9	底径12.3 残存率3/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ。 内面回転ナデ。	石英	外面 N4/0灰 内面５Y4/1灰	Ⅳ
2655	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	12.7	2.6	底径10.0 残存率9/10	外面回転ナデのちヘラミガキ（幅２mm）底部外面ヘラケズリのちヘラミガキ（幅３mm）。 内面回転ナデのちヘラミガキ（幅１mm）、底部内面回転ナデのちヘラミガキ（幅約1.5mm）。内外面に赤色塗彩。口縁部と底部外面にスス付着。	石英・雲母・ 結晶片岩・赤 色斑粒	外面2.5YR5/8明赤褐 内面2.5YR5/8明赤褐	Ⅳ

掲載番号	分類 器種	出土遺構	調査区	出土地点 (大グリッド) (中グリッド) (小グリッド)	法量 (口径)	法量 (器高)	その他法量	調整技法　特徴	含有物	色調	大別 層位
2656	土師器 皿 墨書	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	(15.4)	1.7	底径(12.3) 残存率1/3	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ。 内面回転ナデ、底部内面回転ナデのちユビオサエ。 底部外面に墨書。人物絵か。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面10YR6/2灰黄褐 内面7.5YR6/3にぶい褐	Ⅳ
2657	土師器 杯 刻書	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16		(1.0)	底径(11.0) 残存率 底部1/1	体部外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。内外面に赤色塗彩。 底部外面に刻書有り。内面にスス付着。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面10YR5/3にぶい黄褐 内面7.5YR6/3にぶい褐	Ⅳ
2658	土師器 高杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－14		(13.1)	底径13.5 残存率 脚部1/1	脚部外面上部ヘラケズリのち板ナデ、脚部外面下部回転ナデのち板ナデ。 脚部内面上部回転ナデ・絞り痕、脚部内面中部ヘラケズリ、脚部内面下部回転ナデ。内外面に赤色塗彩。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面2.5YR6/6橙 内面10YR7/3にぶい黄橙	Ⅳ
2659	土師器 皿 刻書	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16・17	(15.4)	2.3	底径(12.8) 残存率1/3	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。内外面に赤色塗彩。 底部内面に刻書有り。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面10YR7/3にぶい黄橙 内面10YR6/3にぶい黄橙	Ⅳ
2660	土師器 皿	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	(16.4)	2.4	底径(12.0) 残存率 底部1/2	外面回転ナデ、底部外面ナデ。 内面回転ナデ。 内外面に赤色塗彩。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面10YR7/2にぶい黄橙 内面5YR5/6明赤褐	Ⅳ
2661	土師器 皿	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	(12.4)	2.4	底径(9.8) 残存率 口縁部1/10 以下底部2/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・赤色斑粒	外面5YR7/4にぶい橙 内面5YR6/3にぶい橙	Ⅳ
2662	土師器 甕	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	(28.0)	(15.4)	頸部径 (23.7) 残存率口縁部～体部1/5	外面回転ナデ、体部外面ハケ目（4条/cm）。 内面ハケ目（5条/cm）。内外面にスス付着。	石英・長石・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面5YR5/4にぶい赤褐 内面10YR5/4にぶい黄褐	Ⅳ
2663	土師器 甕	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－17	(25.2)	(6.2)	頸部(21.2) 残存率 口縁部1/5	口縁部外面回転ナデ、体部外面ハケ目（12条/1.2cm）。 口縁端部内面回転ナデ、ハケ目（10条/1.0cm）のちナデ。体部内面板ナデ。	長石・雲母・結晶片岩・赤色斑粒・黒色斑粒	外面2.5YR4/2暗灰黄 内面2.5YR5/3黄褐	Ⅳ
2664	土師器 甕 墨書	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16			不明	外面ハケ目（3条/cm）。 内面ハケ目（3条/cm）ユビオサエ・ナデ。 体部外面に墨書。人面墨書土器か。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面7.5YR6/4にぶい橙 内面10YR5/3にぶい黄褐	Ⅳ
2665	弥生土器 甕	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15		(3.2)	底径6.1 残存率 底部1/1	外面タタキのちナデ。底部外面ユビオサエ・ナデ。 内面ヘラケズリ。	石英・長石・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面10YR5/3にぶい黄褐 内面2.5Y4/1黄灰	Ⅳ
2666	土師器 蓋 墨書	SR3001	南区 (98－1)	T－16	(14.3)	1.1	底径(8.5) 残存率 口縁部1/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。内面に墨書有り。	石英・雲母・赤色斑粒	外面2.5YR5/4明赤褐 内面5YR5/4にぶい赤褐	Ⅳ
2667	土師器 盤脚部	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16			残存率不明	脚部外面ユビオサエ・ナデ。	石英・長石・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面10YR7/3にぶい黄橙	Ⅳ
2668	土製品 土錘	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－14	長さ 6.1	幅3.3	幅3.0 残存率1/1	外面ユビオサエ・ナデ。41.8g。孔径9mm。 外面にスス付着。	石英・結晶片岩・赤色斑粒	外面10YR8/1灰白	Ⅳ
2669	土製品 土錘	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	長さ 6.3	幅3.0	厚さ3.0 残存率9/10	外面ユビオサエのちナデ。51.1g。孔径9mm。外面にスス付着。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面2.5Y6/2灰黄 内面2.5Y6/3にぶい黄	Ⅳ
2670	須恵器 高杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－17		(8.4)	底径9.6 残存率 脚部1/1	外面回転ナデ。 内面回転ナデ。内外面にスス付着。	石英・長石・雲母・黒色斑粒	外面5PB4/1暗青灰 内面5PB4/1暗青灰	Ⅳ
2671	須恵器 壺	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16		(11.1)	頸部径5.7 残存率2/5	外面回転ナデ。 内面回転ナデ。	長石・雲母・黒色斑粒	外面5Y7/1灰白 内面N6/0灰	Ⅳ
2672	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－14	16.0	3.6	底径11.5 残存率 底部1/1 口縁部7/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ。 内面回転ナデ、底部内面回転ナデのちナデ。 内外面に赤色塗彩。	長石・雲母・赤色斑粒・黒色斑粒	外面5YR7/6橙 内面5YR6/6橙	Ⅳ
2673	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－17	(16.1)	3.0	底径13.1 残存率 底部1/1 全体7/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ。 内面回転ナデ。 内外面に赤色塗彩。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面10YR6/2灰黄褐 内面10YR7/2にぶい黄橙	Ⅳ
2674	土師器 杯 刻書	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－14	(15.7)	3.1	底径(12.6) 残存率2/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデのちナデ。 内外面に赤色塗彩。底部外面にヘラ記号有り。	石英・長石・雲母	外面10YR7/2にぶい黄橙 内面10YR7/1灰白	Ⅳ
2675	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15・16	(12.4)	3.4	底径(7.5) 残存率7/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ。 内面回転ナデ。	雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面10YR6/3にぶい黄橙 内面7.5YR6/3にぶい褐	Ⅳ
2676	土師器 杯 刻書	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－17	12.8	3.3	底径10.0 残存率9/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。 底部外面に刻書有り。内外面に赤色塗彩。内面にスス付着。	長石・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面10YR6/2灰黄褐 内面2.5Y5/6黄褐	Ⅳ
2677	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－17	10.9	2.7	底径8.1 残存率7/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ。 内面回転ナデ。 内外面にスス付着。	石英・雲母・赤色斑粒	外面10YR7/2にぶい黄橙 内面2.5Y6/3にぶい黄	Ⅳ
2678	土師器 甕	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－17	(16.5)	(11.1)	頸部径 (14.5) 残存率 口縁部1/5	口縁部外面回転ナデ、体部外面ハケ目（8条/1.1cm）。 口縁端部内面回転ナデ、頸部内面ハケ目（8条/cm）、体部内面板ナデ。	長石・雲母・赤色斑粒	外面7.5YR6/6橙 内面7.5YR7/4にぶい橙	Ⅳ

掲載番号	分類 器種	出土遺構	調査区	出土地点 (大グリッド) (中グリッド) (小グリッド)	法量 (口径)	法量 (器高)	その他法量	調整技法　特徴	含有物	色調	大別 層位
2679	瓦 平瓦	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－17			残存率不明	凹面布目圧痕。凸面タタキ（縄席文）。	石英・長石・雲母・黒色斑粒	凹面 N6/0灰 凸面 N5/0灰	Ⅳ
2680	土製品 土錘	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－17	長さ 7.3	幅2.0	厚さ1.8 残存率1/1	外面ナデ。22.1g。孔径６mm。	長石・雲母・赤色斑粒・黒色斑粒	外面10YR8/2灰白	Ⅳ
2681	土製品 土錘	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－17	長さ 4.6	幅1.7	厚さ1.6 残存率1/1	外面ナデ。11.3g。孔径６mm。	長石・雲母・赤色斑粒・黒色斑粒	外面2.5Y7/2灰黄	Ⅳ
2728	須恵器 甕	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13	(24.5)	49.5	頸部径 (19.7) 残存率 口縁部1/5 体部1/5 底部1/5	外面回転ナデのちタタキ（３条/cm）のちカキ目のちナデ。 口縁部内面回転ナデ。体部・底部内面青海波紋のち板ナデ。 接合痕有り。自然釉（体部上部）。	石英・黒色斑粒	外面 N4/0灰(自然釉の部分)7.5Y8/1灰白 内面(口縁部、底部)N7/0灰白(体部)N4/0灰	Ⅶ
2729	須恵器 壺 刻書	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13	9.4	(13.1)	頸部径9.3 残存率 口縁部9/10 体部2/5	口縁部～体部外面上部回転ナデ、体部外面中部～下部回転ヘラケズリ。 内面回転ナデ。口縁部内面にヘラ記号有り。	石英・黒色斑粒	外面上部5Y7/1灰白下半部５Y3/1オリーブ黒 内面５Y7/1灰白	Ⅶ
2730	須恵器 壺	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13		21.0	頸部径6.2 残存率 口 縁 部～体部1/5	外面回転ナデ。 内面回転ナデ。 内面上部、外面に自然釉の付着。	長石・雲母・黒色斑粒	外面10YR2/1黒 内面10YR4/1褐灰	Ⅶ
2731	須恵器 壺 刻書	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13	(22.5)	(6.6)	頸部(27.3) 残存率 口縁部1/5	外面回転ナデ。 内面回転ナデ。 頸部外面に刻書有り。	石英・長石・雲母・黒色斑粒	外面 N4/0灰 内面 N5/0灰	Ⅶ
2732	土師器 蓋	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	21.8	2.4	残存率4/5	外面摘み部ナデ、体部回転ナデのちヘラミガキ。 内面回転ナデ。 内外面に赤色塗彩。内外面にスス付着。	長石・雲母・結晶片岩・赤色斑粒・黒色斑粒	外面7.5YR5/6明赤褐 内面7.5YR5/6明赤褐	Ⅶ
2733	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－17	(13.2)	3.5	底径10.1 残存率2/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ。 内面回転ナデ。 内外面に赤色塗彩。	石英・雲母	外面５Y7/1灰白 内面2.5Y8/1灰白	Ⅶ
2734	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13	12.7	3.0	底径8.4 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ。 内面回転ナデ。 内外面に赤色塗彩。	長石・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面2.5YR5/6明赤褐 内面2.5YR5/6明赤褐	Ⅶ
2735	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	11.2	4.2	底径8.2 残存率 口縁部9/10 体､底部1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ。 内面回転ナデ。 内面にスス付着。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面2.5Y7/3浅黄 内面2.5Y7/2灰黄	Ⅶ
2736	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	11.1	3.1	底径7.9 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ。 内面にスス付着。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面2.5Y7/3浅黄 内面2.5Y7/3浅黄	Ⅶ
2737	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	17.8	4.9	底径15.2 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面ヘラケズリ。 内面回転ナデ。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面５YR6/4にぶい橙 内面7.5YR7/4にぶい橙	Ⅶ
2738	土師器 杯 刻書	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	13.6	3.5	底径10.4 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ。 内面回転ナデ、底部内面ヘラ記号。 内外面に赤色塗彩。内外面にスス付着。底部内面に付着物有り。	石英・雲母・結晶片岩	外面7.5YR5/2灰褐 内面7.5YR4/1褐灰	Ⅶ
2739	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－14	(17.9)	4.7	底径(14.3) 残存率1/2	外面回転ナデのちヘラミガキ、底部外面ヘラケズリのちヘラミガキ。内面回転ナデのちヘラミガキ、底部内面ヘラミガキのち暗紋。内外面に赤色塗彩。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面５YR6/6橙 内面５YR6/6橙	Ⅶ
2740	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	18.8	4.6	底径12.8 残存率1/1	外面回転ナデのちヘラミガキ（幅10mm)。底部外面ヘラケズリのちヘラミガキ（幅10mm)。内面回転ナデのち暗紋。	石英・雲母・赤色斑粒	外面7.5YR6/4にぶい橙 内面５YR6/4にぶい橙	Ⅶ
2741	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13	14.6	3.3	底径11.5 残存率 口縁部1/2 底部9/10	外面回転ナデ、底部外面ヘラケズリのちヘラミガキ。 内面回転ナデのちヘラミガキ。内外面に赤色塗彩。	長石・雲母・赤色斑粒・黒色斑粒	外面2.5YR4/3にぶい赤褐 内面2.5YR6/3にぶい赤褐	Ⅶ
2742	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	(20.0)	3.1	底径(16.5) 残存率1/3	外面回転ナデのちヘラミガキ、底部外面ヘラケズリのち板ナデのちヘラミガキ。 内面回転ナデのちヘラミガキ、底部内面板ナデのち暗紋。内外面に赤色塗彩。底部外面にスス付着。	石英・雲母・結晶片岩	外面7.5YR5/4にぶい褐 内面7.5YR5/4にぶい褐	Ⅶ
2743	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	(19.8)	3.5	底径(16.3) 残存率1/10	外面回転ナデ、底部外面ヘラケズリのちナデ。 内面回転ナデのち暗紋。	石英・結晶片岩・赤色斑粒	外面7.5YR5/3にぶい褐 内面7.5YR5/4にぶい褐	Ⅶ
2744	土師器 杯 刻書	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13		0.8	底径(14.1) 残存率 底部1/5	体部外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。底部内面にヘラ記号有り。 内面に赤色塗彩。	石英・雲母・結晶片岩	外面7.5YR7/3にぶい橙 内面7.5YR7/3にぶい橙	Ⅶ
2745	土師器 高杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	25.0	(4.7)	残存率 杯部7/10	口縁端部外面回転ナデ、体部外面回転ナデのちヘラミガキ、脚部外面ケズリ。 口縁端部内面回転ナデ、体部・底部内面回転ナデのちヘラミガキ。内外面に赤色塗彩。	長石・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面５YR6/6橙 内面５YR6/6橙	Ⅶ
2746	土師器 高杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	(23.4)	5.1	底径10.8 高台高3.2 残存率3/5	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り、脚部外面回転ナデ。 内面回転ナデのち暗紋。	長石・雲母・赤色斑粒	外面５YR6/6橙 内面５YR6/6橙	Ⅶ
2747	土師器 高杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16		(6.1)	底径(14.8) 残存率脚1/5	外面上部ヘラケズリ、外面下部回転ナデ。 内面上部絞り痕、内面下部回転ナデ。 内外面に赤色塗彩。	長石・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面2.5YR4/8赤褐 内面7.5YR6/3にぶい褐	Ⅶ

掲載番号	分類 器種	出土遺構	調査区	出土地点 (大グリッド) (中グリッド) (小グリッド)	法量 (口径)	法量 (器高)	その他法量	調整技法　特徴	含有物	色調	大別 層位
2748	土師器 皿	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－14	19.4	2.5	底径12.3 残存率9/10	口縁部外面回転ナデ、体部外面回転ヘラ切りのちナデ、底部外面回転ヘラ切り。 内面回転ナデ、底部内面回転ナデのち板ナデ。内面に付着物有り。底部外面にスス付着。	長石・雲母・結晶片岩	外面10YR8/1灰白 内面10YR4/2灰黄褐	Ⅶ
2749	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	10.1	2.9	底径8.7 残存率9/10	外面回転ナデ、底部外面ユビオサエのち板ナデ。 内面回転ナデ。 内面と口縁部外面にスス付着。	石英・雲母	外面10YR6/2灰黄褐 内面10YR6/2灰黄褐	Ⅶ
2750	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	9.8	2.8	底径8.3 残存率1/1	外面回転ナデ、底部外面ユビオサエのちナデ。 内面回転ナデ、底部ユビオサエのち回転ナデ。 口縁部内面にスス付着。	石英・雲母・結晶片岩	外面10YR5/2灰黄褐 内面10YR5/3にぶい黄褐	Ⅶ
2751	土師器 鉢	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	(24.0)	17.0	底径17.1 残存率9/10	口縁端部外面回転ナデ、体部外面上部ユビオサエ・ハケ目（7条/0.9cm）。底部外面ハケ目（7条/0.9cm）。 口縁部内面回転ナデ。体部・底部内面板ナデ。底部外面にスス付着。	長石・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面10YR7/4にぶい黄橙 内面10YR5/2灰黄褐	Ⅶ
2752	土師器 盤	SR3001	南区 (98－1)		27.5	7.2	高台径12.4 残存率4/5	体部外面回転ナデ・一部ハケ目（5条/0.9cm）底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ。 内面回転ナデ。 高台付。内外面に赤色塗彩。	長石・雲母・赤色斑粒・黒色斑粒	－	Ⅶ
2753	土師器 甕	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13・14	(21.8)	32.9	頸部(17.5) 残存率9/10	口縁部・頸部外面回転ナデ、体部・底部外面ハケ目（9条/2.1cm）。 口縁部・頸部内面回転ナデ、体部・底部内面板ナデのちユビオサエ。 黒斑有り。外面にスス付着。	石英・結晶片岩・赤色斑粒	外面2.5Y8/2灰白 内面10YR8/2灰白	Ⅶ
2754	土師器 甕	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	25.2	(29.9)	頸部径21.8 残存率 口縁部1/1 全体3/5	口縁端部外面ナデ、口縁部～底部外面ユビオサエのちハケ目（14条/1.6cm）。 口縁端部内面ナデ、口縁部内面ハケ目（14条/1.6cm）、体部内面上部ハケ目のちヘラケズリ、体部内面中部～底部ヘラケズリ。外面にスス付着。	石英・雲母・結晶片岩	外面10YR7/4にぶい黄橙 内面2.5Y7/2灰黄	Ⅶ
2755	土師器 鍋	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	(38.4)	(19.4)	頸部径 (33.5) 残存率口縁部～体部1/5	口縁端部外面回転ナデ、口縁部外面ユビオサエのち回転ナデ、体部外面上部ヨコハケ目（8条/cm）体部外面中部～下部タタキ（4条/1.7cm）のちハケ目（6条/cm）。 口縁部内面ハケ目のち回転ナデ、体部内面板ナデ。外面にスス付着。	石英・長石・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面10YR6/4にぶい黄橙 内面2.5Y6/4にぶい黄	Ⅶ
2756	土師器 甕	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	(28.9)	(23.0)	頸部径 (24.1) 残存率 口縁部1/3 体部1/5	外面ハケ目（5条/2.1cm）のちナデのちハケ目（5条/2.1cm）。 口縁部内面回転ナデのちハケ目（5条/2.1cm）、体部内面ユビオサエのち板ナデ。外面にスス付着。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面10YR3/1黒褐 内面10YR4/1褐灰	Ⅶ
2757	土師器 甕	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－12	(23.1)	(20.2)	頸部径 (17.9) 残存率 口縁部1/5	口縁部外面ナデ、体部ハケ目(12条/1.2cm)。 口縁端部内面ナデ、口縁部内面ハケ目（10条/1.2cm）のちナデ、頸部内面ユビオサエのちハケ目（12条/1.2cm）、体部内面ユビオサエのちヘラケズリ。 内外面にスス付着。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面10YR8/2灰白 内面10YR6/3にぶい黄橙	Ⅶ
2758	土師器 甕	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－12	(24.2)	(11.4)	頸部径 (20.4) 残存率 口縁部2/5	口縁部外面回転ナデ、体部外面ハケ目（10条/cm）。 口縁部内面回転ナデ、頸部内面ユビオサエのちハケ目。体部内面ユビオサエのち板ナデ。 内外面にスス付着。	石英・長石・雲母・赤色斑粒・黒色斑粒	外面10YR7/2にぶい黄橙 内面2.5Y7/2灰黄	Ⅶ
2759	土師器 甕	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	(24.2)	(9.0)	頸部径 (19.4) 残存率 口縁部1/5	口縁部外面回転ナデ、体部外面ハケ目（6条/1.3cm）。 口縁端部内面回転ナデ、口縁部内面ハケ目（6条/1.3cm）のちナデ。体部内面板ナデのちユビオサエ。外面にスス付着。	石英・長石・雲母・赤色斑粒・黒色斑粒	外面10YR5/4にぶい黄褐 内面10YR7/3にぶい黄橙	Ⅶ
2760	土師器 甕	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	28.2	(14.5)	頸部径23.9 残存率 口縁部4/5	口縁部外面回転ナデ、体部外面ハケ目（6条/1.5cm）。把手部ユビオサエ・ナデ。 口縁部内面ハケ目（5条/1.6cm）。体部内面ユビオサエのちハケ目（5条/1.6cm）。内外面にスス付着。	石英・雲母	外面10YR7/4にぶい黄橙 内面10YR7/4にぶい黄橙	Ⅶ
2761	土師器 甕	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13	(20.5)	(9.5)	頸部(17.6) 残存率 口縁部3/5	口縁部外面回転ナデ、体部外面ハケ目（8条/cm）。 口縁部内面回転ナデ、体部内面板ナデのちユビオサエ。	石英・長石・雲母・結晶片岩・赤色斑粒・黒色斑粒	外面10YR6/3にぶい黄橙 内面10YR6/3にぶい黄橙	Ⅶ
2762	土師器 甕	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－13	28.0	(19.0)	頸部23.9 残存率 口縁部9/10	口縁部外面ナデ、頸部外面ユビオサエのちナデ、体部外面ハケ目（11条/1.8cm）。把手ユビオサエ・ナデ。 口縁部内面ハケ目（11条/1.8cm）のちナデ、体部内面ユビオサエのち板ナデ。内面に付着物有り。	石英・雲母・赤色斑粒	外面10YR6/3にぶい黄橙 内面10YR6/3にぶい黄橙	Ⅶ
2763	土師器 盤	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15	(35.2)	10.3	残存率1/3	口縁部外面回転ナデ、体部外面回転ナデのちヘラミガキ。底部外面ナデのちヘラミガキ。 口縁部内面ハケ目のちヘラミガキ、体部・底部内面ナデのちヘラミガキ。内外面に赤色塗彩。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面2.5YR6/6橙 内面2.5YR6/6橙	Ⅶ
2764	土師器 杯 墨書	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	18.6	4.1	底径15.4 残存率4/5	口縁部外面回転ナデ、体部外面回転ナデのちヘラミガキ。体部内面回転ナデのち暗紋。 底部内面ナデのち暗紋。 底部外面に墨書「寿」。内外面に赤色塗彩。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面5YR5/4にぶい赤褐 内面5YR5/4にぶい赤褐	Ⅶ
2765	土師器 蓋 墨書	SR3001	南区 (98－1)	－	16.4	2.5	残存率 口縁部9/10	摘み部外面ナデ、口縁端部外面回転ナデ、体部・底部外面ヘラミガキ（幅4mm）。 内面回転ナデ。 摘み部接合痕有り。外面に墨書「仏殿」。外面に赤色塗彩。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面5YR5/6明赤褐 内面5YR6/4にぶい橙	Ⅶ
2766	土師器 杯 墨書	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－16	11.2	3.0	底径9.9 残存率4/5	外面回転ナデ、底部外面ユビオサエのちナデ。 内面回転ナデ。 底部外面に墨書「子□」。内面にスス付着。	長石・雲母・赤色斑粒	外面10YR6/2灰黄褐 内面7.5YR2/1黒	Ⅶ

掲載番号	分類 器種	出土遺構	調査区	出土地点 (大グリッド) (中グリッド) (小グリッド)	法量 (口径)	法量 (器高)	その他法量	調整技法　特徴	含有物	色調	大別 層位
2767	土師器 火舎	SR3001	南区 (98－1)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－15		(21.5)	高台径24.5 残存率 底部9/10	外面ユビオサエのちナデ・ハケ目（9条/1.8cm）。底部外面ハケ目（9条/1.8cm）のちナデ。高台部外面回転ナデ・ナデ。 内面ユビナデ・ユビオサエのちハケ目（9条/1.8cm）、底部内面ナデ。内外面にスス付着。その他付着物有り。	石英・雲母・赤色斑粒	外面10YR7/4にぶい黄橙 内面10YR7/3にぶい黄橙	Ⅶ
2771	土師器 杯	SR3001	南区 (98－1)		(12.6)	2.9	底径(9.6) 残存率1/3	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのち板ナデ。 内面回転ナデ。	長石・雲母・結晶片岩・赤色斑粒・黒色斑粒	外面7.5YR7/6橙 内面5YR6/6橙	
2772	土師器 Ⅲ	SR3001	南区 (98－1)		(9.8)	1.5	底径(8.8) 残存率1/3	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切りのちナデ。 内面回転ナデ。口縁部内外面にスス付着。	長石・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面5YR6/6橙 内面5YR6/4にぶい橙	
2773	土師器 Ⅲ	SR3001	南区 (98－1)		9.6	2.6	高台径5.7 残存率9/10	外面回転ナデ、底部外面回転ヘラ切り、高台部外面回転ナデのちナデ。 内面回転ナデ。 貼付高台。接合痕有り。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面7.5YR7/4にぶい橙 内面7.5YR7/4にぶい橙	
2774	土師器 Ⅲ	SR3001	南区 (98－1)		(10.5)	2.3	高台径(6.5) 残存率 口縁部1/2	外面回転ナデ。底部外面回転ヘラ切りのちナデ。高台部外面回転ナデ。 内面回転ナデ。 貼付高台。接合痕有り。内外面にスス付着。	石英・雲母・結晶片岩・赤色斑粒	外面7.5YR5/6明褐 内面7.5YR5/4にぶい褐	

第５表　金属製品

掲載番号	名称	出土遺構	調査区	出土地点（大グリッド）（中グリッド）（小グリッド）	法量Ｌ長さ［直径］	法量Ｗ幅	法量Ｈ厚	他法量	質量	特　　徴	鏃形式	鏃身部	頸部	茎部	大別層位
2775	銅印	SR3001	南区（05－1）		2.4	2.3	3.1		32.85g	印面一重郭、陽刻。文字「生」（深さ３～４mm）。紐は３枚に分かれた蒼鈕形。紐孔は印面から18mm。縦４mm横３mmの楕円。					Ⅲ
2776	銙尾	SR3001	南区（05－1）		2.1	2.0	板厚0.3	留金長5mm	3.59g	長半円形。裏側に留金３本。					Ⅴ
2777	鉄鏃	SR3001	南区（00－1）		9.8	2.1	0.3	鏃身部3.8 茎部6.0	11.8g		方頭形	断面平造・角関	無頸部	有茎・断面方形	Ⅴ
2778	鉄鏃	SR3001	南区（00－1）		12.9	2.7	0.6	鏃身部5.5 うち刃2.1 茎部7.4	8.6g	雁股部角度小。	雁股形	断面平造・角関	無頸部	有茎・断面方形	Ⅳ
2779	鉄鏃	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－2	(7.2)	2.6	0.5	鏃身部4.4 茎部(2.8)	15.4g		方頭形	断面平造・角関	無頸部	有茎・断面方形	Ⅴ
2780	鉄鏃	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－3	(6.7)	2.3	0.4	鏃身部5.8 茎部(0.9)	13.9g		方頭形	断面平造・角関	無頸部	有茎・断面方形	Ⅳ
2781	鉄鏃	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－2	(12.1)	2.3	0.4	鏃身部3.5 茎部(8.4)	10.9g		方頭形	断面平造・角関	無頸部	有茎・断面方形	Ⅳ
2782	鉄鏃	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－5	(17.5)	2.9	0.9	鏃身(6.0) うち(1.1) 茎部11.5	15.3g	雁股部角度小。	雁股形	断面平片刃造・円形輪関	無頸部	有茎・断面方形	Ⅳ
2783	鉄鏃	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－3	16.4	6.8	4.5	鏃身部8.7 うち刃2.5 茎部(7.7)	23.53g	雁股部角度大。	雁股形	断面平片刃造・棘状関	無頸部	有茎・断面方形	Ⅴ
2784	鉄鏃	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅲ E－20	14.0	3.4	0.9	うち刃0.8 鏃身部5.8 茎部11.2	17.1g	雁股部浅い・角度大・刃短い。	雁股形	断面平片刃造・円形輪関	無頸部	有茎・断面方形	Ⅳ
2785	鉄鏃	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	13.2	3.8	0.8	鏃身部6.7 茎部(6.5)	15.5g	雁股部角度小。	雁股形	断面平片刃造円形輪関	無頸部	有茎・断面方形	Ⅲ
2786	鉄鏃	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－10	10.3	2.4	0.4	鏃身部3.4 茎部6.9	12.6g	関の位置が左右２mmちがう。	方頭形	断面平造・斜関	無頸部	有茎・断面方形	Ⅴ
2787	鉄鏃	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	(9.7)	0.8	0.4		4.8g	茎部のみ。	－	－	－	有茎・断面方形	Ⅲ
2788	鉄鏃	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	22.8	6.5	0.9	鏃身部10.6 うち刃部7.0 茎部12.2	28.8g	雁股部角度小 刃長い。	雁股形	断面平片刃造・台形関	無頸部	有茎・断面方形	Ⅲ
2789	鉄鏃	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－8	11.8	2.7	0.5	鏃身部5.2 茎部6.6	19.62g		方頭形	断面平造・角関	無頸部	有茎・断面方形	Ⅴ
2790	鉄鏃	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－8	15.7	3.0	0.4	鏃身部4.2 茎部11.5	20.8g		方頭形	断面平造・角関	無頸部	有茎・断面方形	Ⅴ
2791	鉄鏃	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－6	14.0	2.8	0.4	鏃身部5.2 茎部8.8	16.3g		方頭形	断面平造・角関	無頸部	有茎・断面方形	Ⅴ
2792	鉄鏃	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ E－7	(6.4)	3.1	0.9	鏃身部5.8 茎部(0.6)	19.3g		方頭形	断面平造・角関	無頸部	欠損	Ⅴ
2793	鉄鏃	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－9	11.2	3.3	0.9	鏃身部4.5 うち刃0.8 茎部(6.7)	13.7g	雁股部角度小 刃短い。	雁股形	断面平片刃造・台形関	無頸部	有茎・断面方形	Ⅲ
2794	鉄鏃	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ D－6	11.0	1.5	0.8	鏃身部6.4 茎部4.6	7.8g	細い圭頭形で先端は丸い。	圭頭形	断面丸造・台形関	無頸部	有茎・断面方形	Ⅲ
2795	鉄鏃	SR3001	南区（98－1）	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－14・13	(16.5)	0.6	0.4	頸部10.4 茎部4.6	9.94g	長い頸部で先端は欠損。	長頸形	形状不明 断面丸造	直線状頸部 棘状関	有茎・断面方形	Ⅶ
2796	鉄鎌	SR3001	南区（05－2）	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－9	19.6	8.8	1.1		80.0g	長柄鎌の刃か？					Ⅲ
2797	鋤先	SR3001	南区（05－1）		11.3	(12.1)	1.3	復元幅14.2	208.0g	逆三角形の板にＵ字型の板を張り付け、内側に土台を差し込む溝をつくる。中央に５mmの穿孔。					Ⅲ
2798	鋤先	SR3001	南区（05－1）	矢板①～⑩中央部西へ７m	(5.2)	(5.5)	1.0		25.0g	No2797と同様のものか？					
2799	鋤先	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－9	17.2	16.7	1.4	刃先幅4.7 溝深0.5～1.0	380.0g	内側に溝があり木枠を差し込む。下端部薄く仕上げる。					Ⅳ
2800	鋤先	SR3001	南区（04－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－3	(19.2)	19.6	1.1	刃幅3.8（最大）	320.0g	内側に溝があり木枠を差し込む。					Ⅴ
2801	釘	SR3001	南区（05－1）	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	16.7	1.6	2.2		64.0g	断面長方形の杭の上端をＬ字に曲げる。					Ⅲ

掲載番号	名称	出土遺構	調査区	出土地点(大グリッド)(中グリッド)(小グリッド)	法量L長さ[直径]	法量W幅	法量H厚	他法量	質量	特徴	鏃形式	鏃身部	頸部	茎部	大別層位
2802	釘(朱付)	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(9.7)	1.0	0.6		7.8g	断面正方形。					Ⅴ
2803	釘	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	4.8	1.0	1.5		11.2g	断面長方形の上端を曲げたもの。短い。					Ⅲ
2804	釘	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ F－8	4.6	0.8	0.7		3.7g	断面長方形の上端を僅かに曲げたもの。					Ⅲ
2805	錐(木柄つき)	SR3001	南区(03－8)		(15.8)	1.7	1.4	身15.4 刃先8.2 木柄(7.5)		木製柄上部残存。刃部ほぼ完形。					Ⅴ
2806	錐	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	14.8	0.6	0.5		10.7g	断面正方形の棒状のものを10～11回ねじる。					Ⅲ
2807	刀子(木柄つき)	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	(22.9)	1.5	1.5	刀身(8.0) 刃先(2.6) 柄(20.6)		木製柄ほぼ完形。					Ⅴ
2808	刀子	SR3001	南区(00－1)		(10.8)	0.9	0.4	刃残存(3.4) 茎部7.4	5.1g	片方から研いで刃をつけている。					Ⅴ
2809	刀子	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－11	(22.0)	1.4	0.4	刃残存(12.5) 茎部9.2	23.8g	片方から研いで刃をつける。先端欠損。刃部が湾曲している。					Ⅲ
2810	刀子	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－9	24.5	1.6	0.5	刃残存(16.4) 茎8.1	30.0g	片方から研いで刃をつける。2809と同様に刃部が湾曲している。					Ⅳ
2811	針金(朱付)	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	(7.2)	0.4	直径0.3		2.3g	全体に朱が付着。					Ⅲ
2812	毛抜き	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	11.2	2.0	6～7mmサビ含	厚さ2.5～4.0	13.5g	細長い板を折り曲げピンセット状にする。先端は内側に曲げる。					Ⅲ
2813	金属板	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－11	(8.6)	(2.8)	0.2		12.3g	上端方形、下端が広がる。両端を薄くのばす。					Ⅲ
2814	工具か	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(15.9)	2.2	0.5		90.0g	上端部の片面に植物の繊維片残存。					Ⅲ
2815	鏃か	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	(15.3)	2.3	0.6		110.0g						Ⅲ
2816	鉄環	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	9.4	7.7	0.7		34.7g	断面円形の針金を円形に曲げ、片方の先端は内側に折り曲げてQの形をつくる。					Ⅲ
2817	用途不明	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	(11.8)	6.5	1.3	針金の径1.0×0.5cm	27.8g	U字に曲げた針金と短い針金を貼合わせ、端を曲げて棒状のものに巻付け固定する。物干し竿のようなものを掛けるものか？					Ⅲ
2818	鉄杭	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	25.4	2.5	1.5(頭部)		325.3g	断面長方形の杭。					Ⅳ
2819	鉄杭か	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 γ－Ⅳ T－10	21.3	2.2	1.2		170.2g	杭状だが上部片側曲線状。					Ⅰ
2820	鏃	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－10	4.9	15.2	0.6	横10.4 縦4.5 板幅2.0 板厚0.4	78.4g	幅広の板を曲げてつくられる。					Ⅲ
2821	刀子	SR3001	南区(00－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ G－19	(8.2)	1.2	0.3	刃残存(3.1) 茎部5.1	6.7g						Ⅴ
2822	釘？(朱付)	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	(5.3)	0.7	0.4		3.63g	朱塗り、断面方形。					Ⅲ
2823	鉤	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	(4.6)	1.4	0.4		4.1g	断面方形の針金を釣り針状に曲げている。					Ⅲ
2824	鉄環	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	2.9	2.1	0.5	断面方形3mm	7.3g	鎖の一部分か。					Ⅲ
2825	鉄環	SR3001	南区(05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	4.0	2.1	0.6		7.8g	鎖の一部分か。					Ⅲ
2826	把手か	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－9	(1.4)	7.2	0.6	断面台形	16.65g	把手の握る部分か。					Ⅰ
2827	把手	SR3001	南区(07－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－12	(2.5)	(7.8)	直径4mm		5.0g	径4mmの針金を楕円形状に曲げる。					Ⅷ
2828	キセルの火口	SR3001	南区(05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－7	火口高1.4	火口径1.7	0.5～1.0		2.79g	火口の円形部分。					Ⅰ
2829	鉄鏃	第5包含層	北区(99－2)	Loc.G－1 α－Ⅲ F－4	5.0	1.1	0.4		8.7g		柳葉形？				
2830	直刀	SK1002	北区(99－1)		(8.8)	1.8	0.5		30.2g						

掲載番号	名称	出土遺構	調査区	出土地点 (大グリッド) (中グリッド) (小グリッド)	法量L 長さ [直径]	法量 W幅	法量 H 厚	他法量	質量	特　　徴	鏃形式	鏃身部	頸部	茎部	大別 層位
2831	刀の柄	SP4001	北区 (99－1)		4.3	7.5	1.0	短辺3.6	23.2g						
2832	刀子	第4 包含層	北区 (99－1)		(4.4)	2.1	0.4	刃残存 (3.4) 茎部(7.3)	12.5g						
2833	刀子	第4 包含層	北区 (99－1)		(5.9)	2.3	0.3		16.7g						
2834	刀子		北区 (99－1)		4.4	2.1	0.5		18.5g						
2835	釘	第5 包含層	北区 (99－2)	Loc.G－1 α－Ⅲ D－17	(2.6)	0.4	0.5		2.4g						
2836	釘	第1 包含層	北区 (99－1)	Loc.G－1 α－Ⅲ A－20	(2.7)	(1.0)	0.7		3.0g						
2837	釘	第1 包含層	北区 (99－2)	Loc.G－1 α－Ⅲ B－2	(5.0)	0.5	0.5		10.7g						
2838	釘	第3 包含層	北区 (99－1)		(5.3)	0.6	0.3		11.8g						
2839	釘	SD3002	北区 (01－1)		5.6	1.4	1.8		12.3g	上端をL字に曲げる。					
2840	釘		北区 (99－2)		(6.4)	0.9	0.9		12.0g						
2841	鉄片	SK1002	北区 (99－1)		(9.5)	1.0	0.4 1.0		18.7g						
2842	鉄片	第3 包含層	北区 (99－1)		(3.4)	1.0	0.4		4.1g						
2843	鉄片	第3 包含層	北区 (99－1)		(3.8)	0.9	0.5		4.4g						
2844	鉄片	第1 包含層	北区 (99－2)	Loc.G－1 α－Ⅲ C－3	(2.6)	1.8	1.1		12.8g						
2845	鉄片	SK4003	北区 (99－2)		1.9	0.9	0.5		2.9g						
2846	鉄片	SK4003	北区 (99－2)		(1.9)	(1.3)	0.4		2.5g						
2847	鉄鏃	SR5001	北区 (01－2)		(10.1)	0.8	0.6		4.6g		長頸形	－	直線状頸部 台形関	有茎・断面方形	
2848	鉄鎌	SR5001	北区 (01－2)		18.0	(2.8)	0.2		39.7g						
2849	銭貨	第1 包含層	北区 (99－2)	Loc.G－1 α－Ⅲ E－17	2.5cm		1.5mm		3.2g	天聖元寶（篆書）					
2850	銭貨	第1 包含層	北区 (01－1)	Loc.F－1 ε－Ⅳ S－4	2.5cm		1.1mm		2.6g	熙寧元寶					
2851	銭貨	第5 包含層	北区 (01－1)	Loc.G－1 α－Ⅲ B－18	2.7cm 錆含		3.5mm 錆含		3.0g 錆含	錆で判別できず。					
2852	銭貨	西壁 表土下	北区 (01－2)		2.2cm		1.0mm		2.7g	一銭か					
2853	銭貨	第2 包含層	南区 (03－8)	Loc.F－1 δ－Ⅳ S－1	2.45cm		1.0mm		2.8g	寛永通寶					
2854	銭貨	撹乱	南区 (04－3)		2.5cm		1.2mm		3.9g	判別できず。					
2855	銭貨	撹乱	南区 (04－3)		2.5cm		1.5mm		3.2g	永楽通寶					
2856	銭貨	SR3001	南区 (04－2)	不明	2.45cm		1.0mm		2.5g	寛永通寶					
2857	銭貨	SR3001	南区 (05－1)		2.5cm		1.0mm		2.6g	永楽通寶					Ⅰ
2858	銭貨	SR3001	南区 (05－1)		2.5cm		1.5mm		3.8g	永楽通寶					Ⅰ
2859	銭貨	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ C－10	1.9cm		1.5mm		2.2g	軋元大寶					Ⅱ
2860	銭貨	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－11	1.9cm		1.5mm		1.8g	延喜通寶					Ⅲ
2861	銭貨	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ B－10	2.6cm		1.5mm		3.9g	萬年通寶					Ⅲ
2862	銭貨	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ G－10	2.4cm		1.1mm		2.4g	寛永通寶					
2863	銭貨	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－9	2.3cm		1.0mm		2.0g	寛永通寶か					Ⅰ

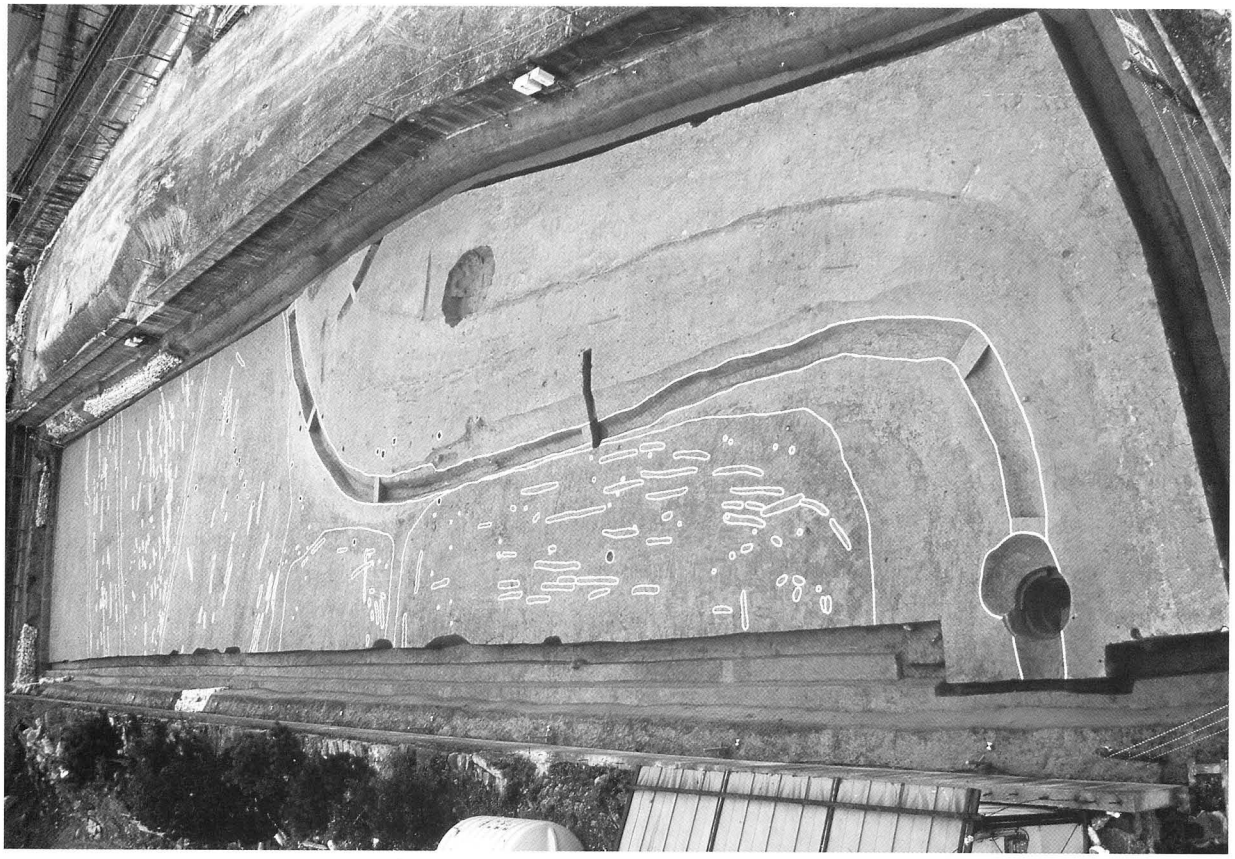
第6表　石器

掲載番号	名称	出土遺構	調査区	出土地点 (Gr.など)	法量L	法量W	法量H	質量	備考1	大別 層位
5	敲石	第1包含層	北区 (99－1)		11.0	1.6	1.9	35.2g	砂岩	
60	敲石	第4包含層	北区 (99－1)		9.4	4.6	3.2	174.8g	砂岩	
873	砥石	SR3001	南区 (05－1)	Loc.F－1 δ－Ⅳ	17.4	最大6.9 最小4.0	5.5	68.1g	砂岩	Ⅲ
1519	温石	SR3001	南区 (05－2)	Loc.F－1 δ－Ⅳ A－7	11.4	3.9	3.2	210.2g	滑石	Ⅲ

第7表　骨製品

掲載番号	分類名称	出土遺構	調査区	出土地点 (小グリッド)	法量L	法量W	法量H	特　　徴	大別層位
2346	楽器 弦巻	SR3001	南区 (04－1)	Loc.F－1 δ－Ⅲ E－20	(4.2)	2.0	2.0	シカの角を円柱状に切断し、片方を細く削る。楽器の弦を張る糸巻きか。 下端部は欠損。	V
2347	武器 鏃	SR3001	南区 (04－1)		4.3	1.5	(0.7)	シカの角を円柱状に切断し、上部を4方向から2回づつ削り、先端を尖らせる。下部から中央内部に穿孔する。 縦に半裁される。	V

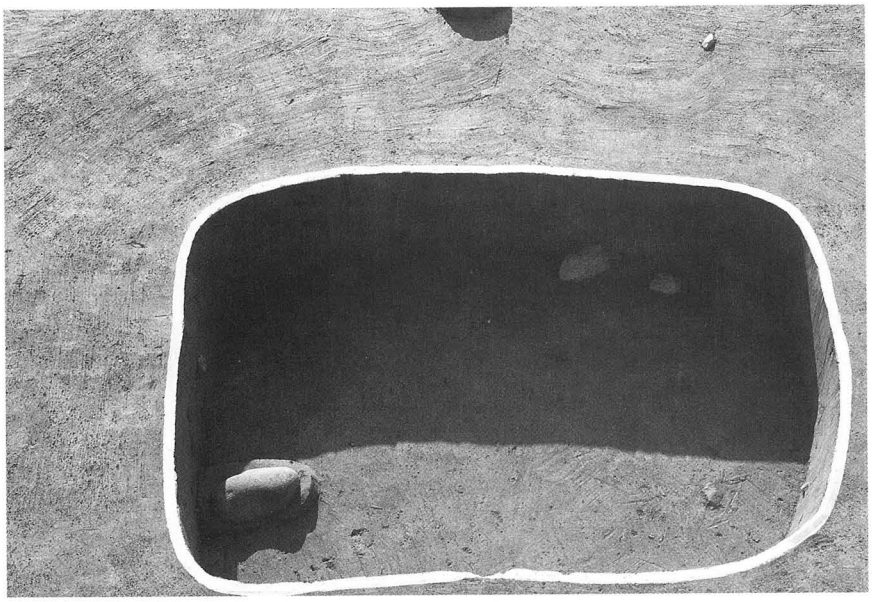
写　真　図　版



北区（1999年度 1 — 1 区）第 3 遺構面検出状況

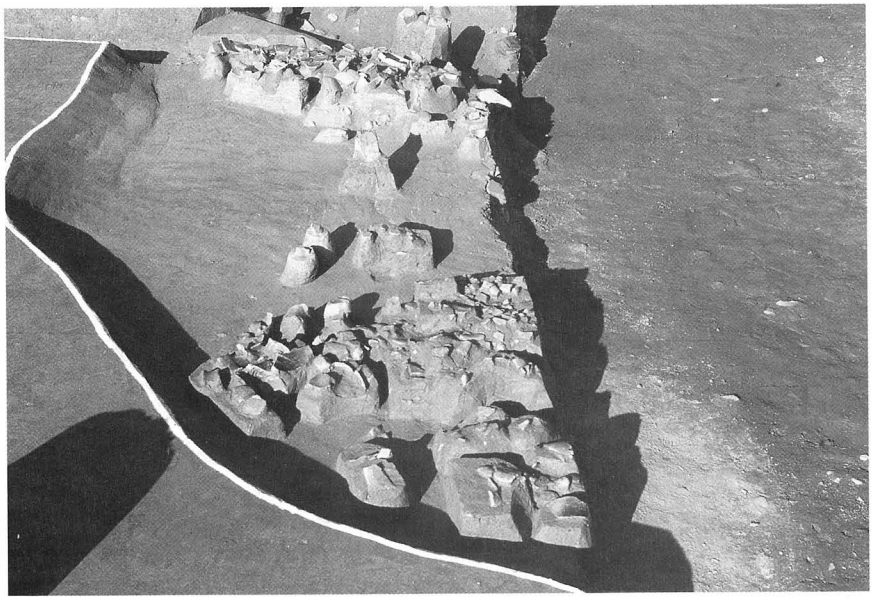
北区（1999年度 1 — 2 区）第 4 遺構面完掘状況

図版 2



北区（1999年度 1 — 2 区）
SK5004遺物出土状況

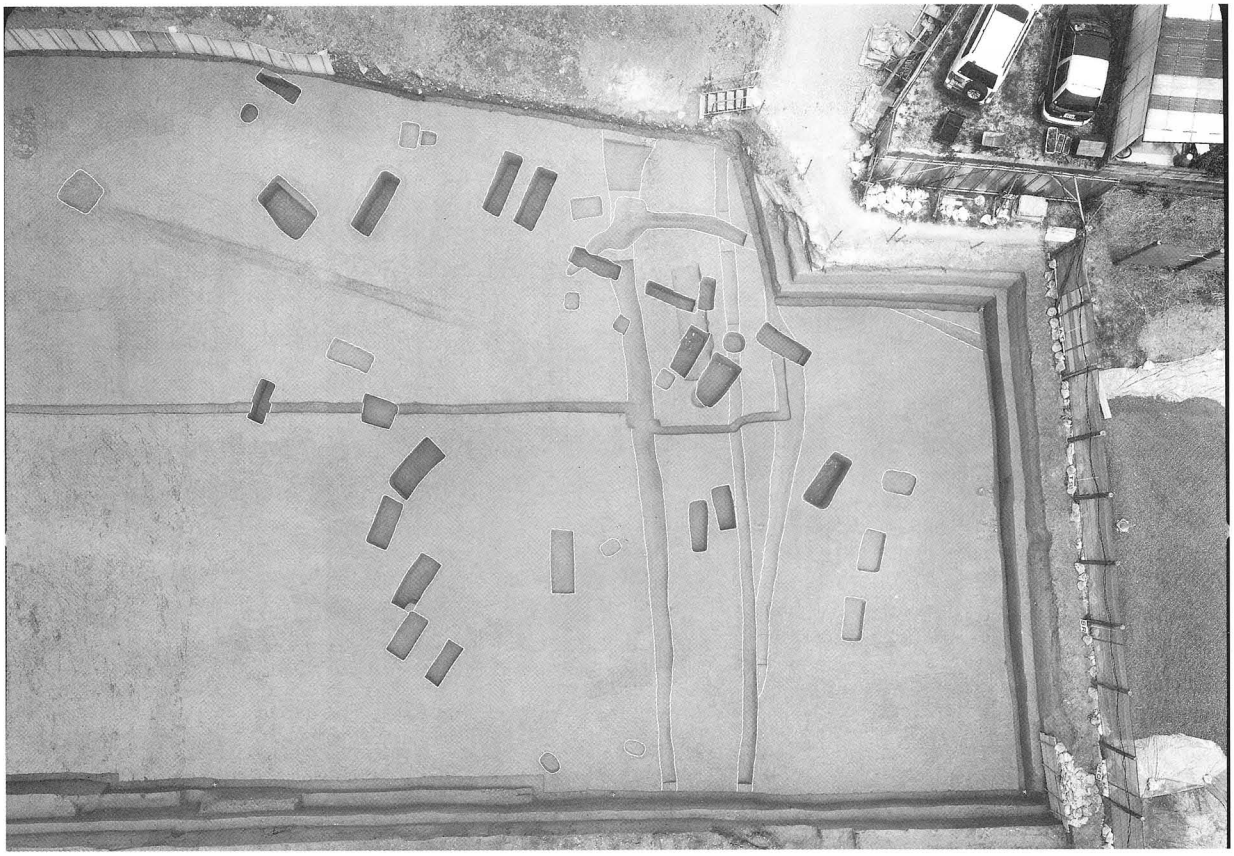
北区（1999年度 1 — 2 区）
SP5004遺物出土状況



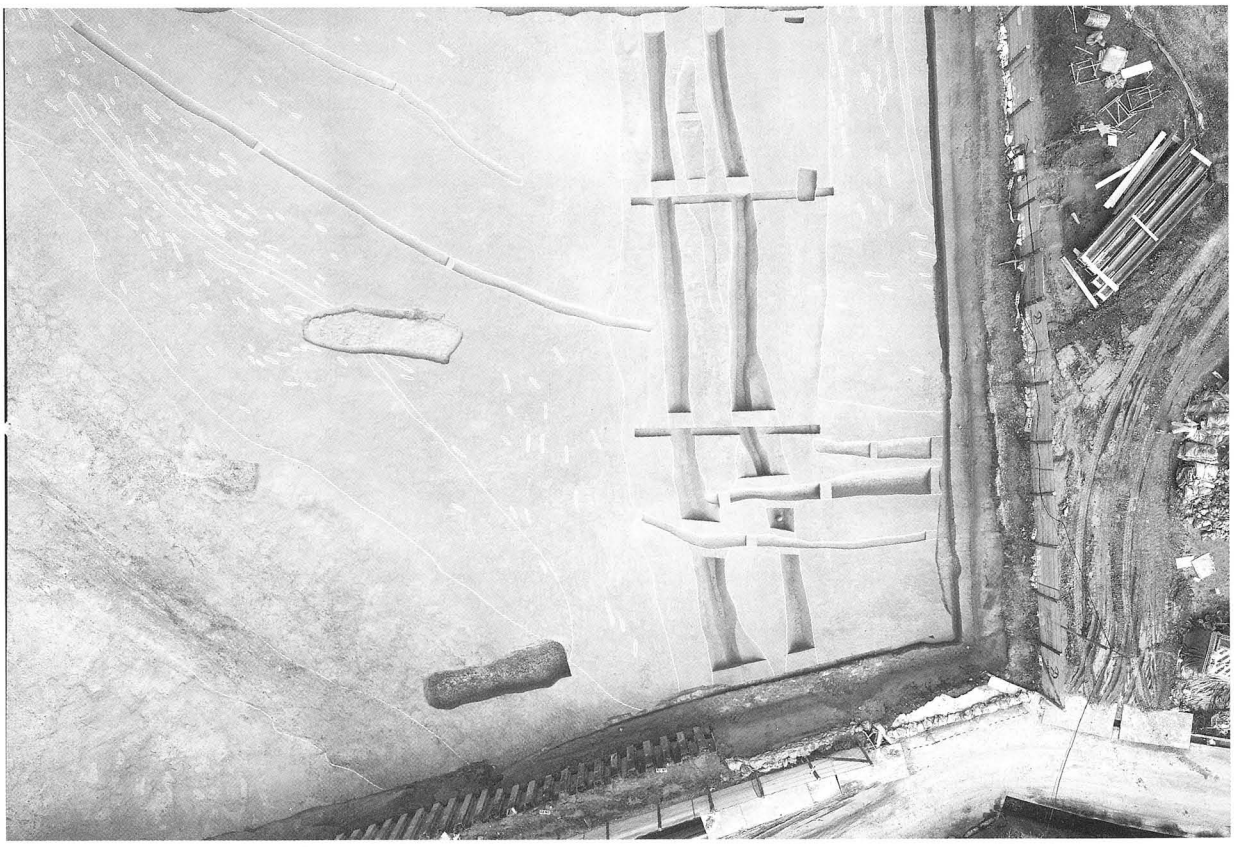
北区（1999年度 1 — 2 区）
SX5003遺物出土状況

北区（2001年度１区）第１遺構面検出状況

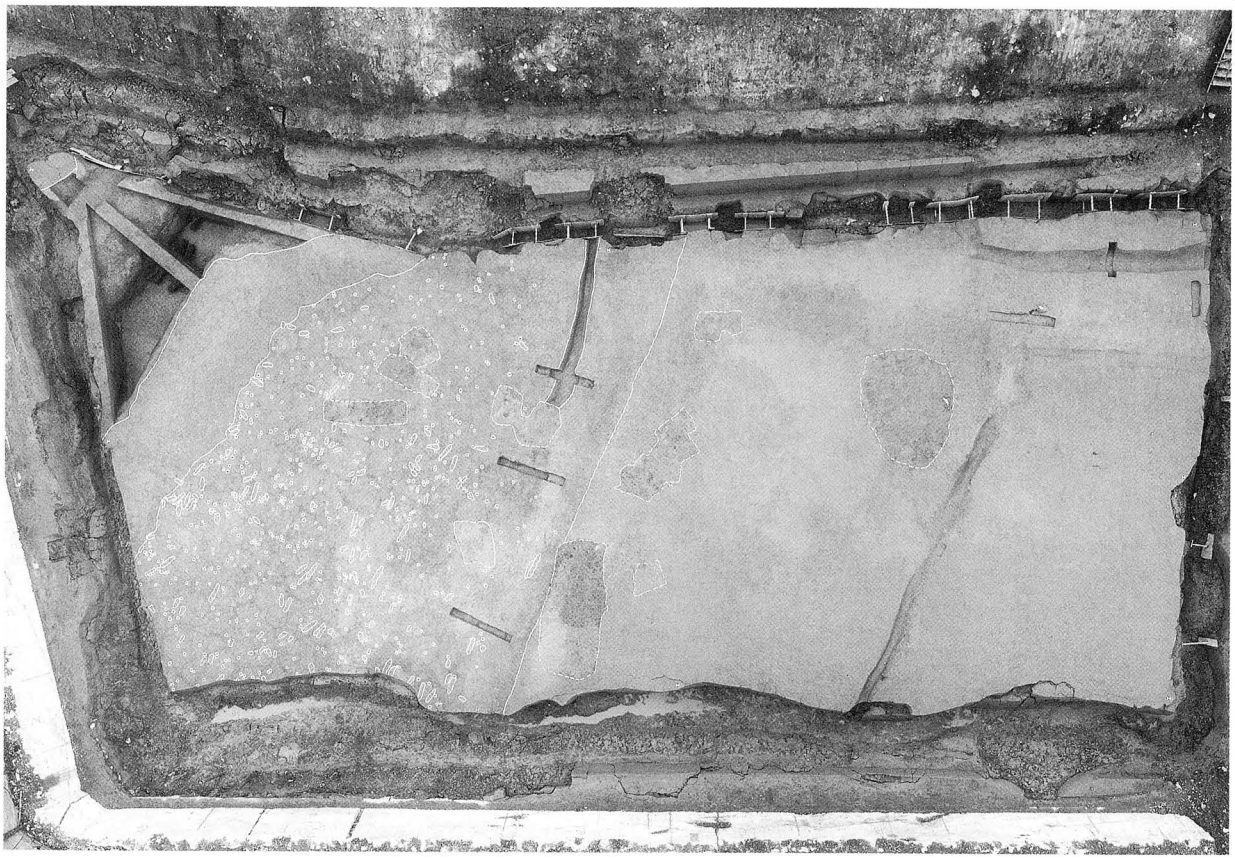
図版 4



北区（2001年度 1 区）第 5 遺構面完掘状況



北区（2001年度 2 区）第 4 遺構面完掘状況

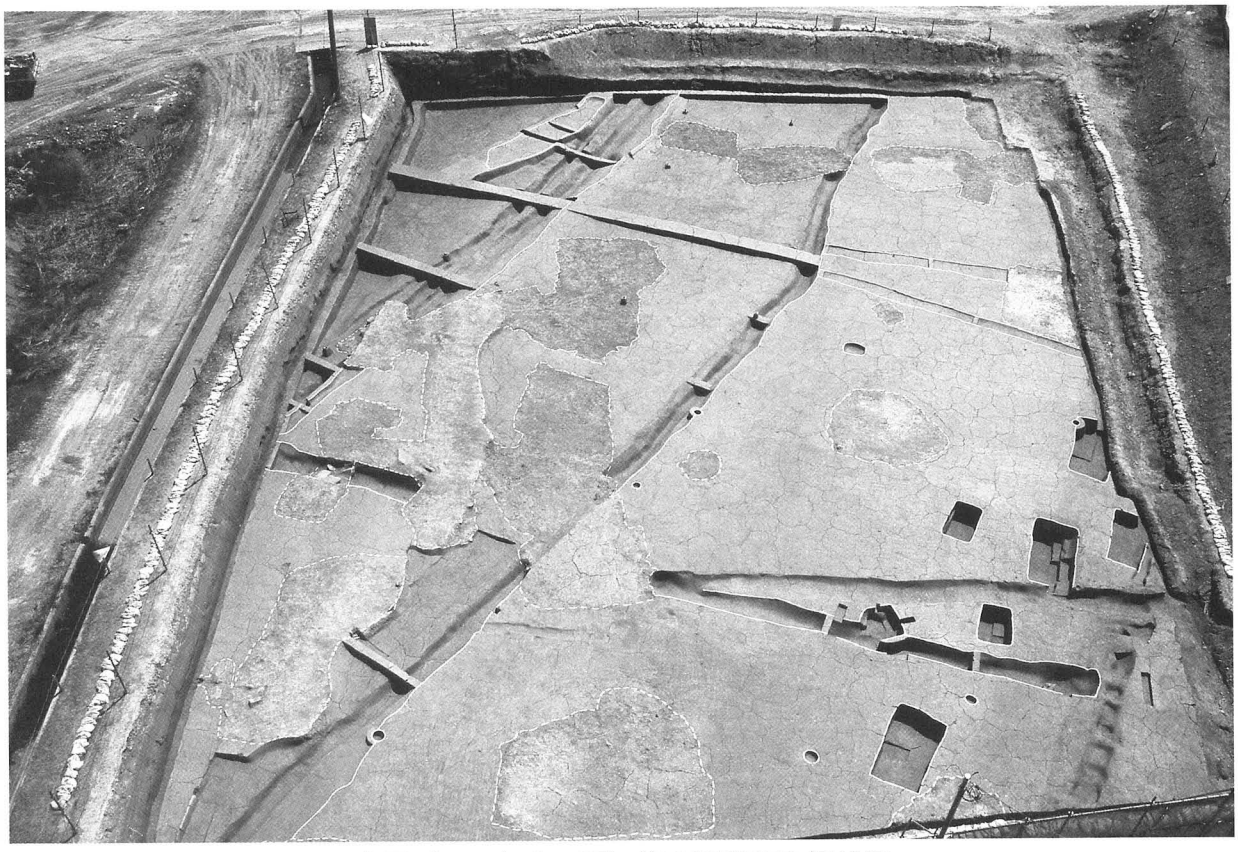


南区（2000年度 2 区）第 3 遺構面検出状況

南区（2000年度 2 区）第 5 遺構面完掘状況

図版 6

南区（2004年度 3 区）第 2 遺構面完掘状況



南区（2004年度 3 区）第 4 遺構面完掘状況